Pioneer sound.vision.soul

液晶カラーテレビ

PDL-30HD

はじめに
設置と準備
テレビを楽しむ
BS・110度CSデジタル放送を楽しむ
他の機器をつないで使う
お知らせ

「据付工事」について

本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

メールサービス登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「**お客様登録**」をお願いいいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

もくじ

このたびはパイオニア製品をお買い求めいただきありがとうございました。

- お使いになる前に、正しく安全にお使いいただくため、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- 本機の機能を十分に発揮させてお使いいただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。
- お読みになった後は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒にして大切に保管してください。

はじめに

設置と準備 23

設置と準備
(つづき)

テレビを楽しむ
67

次ページへつづく

もくじ(つづき)

BS・110度CS
デジタル放送を
楽しむ

他の機器をつないで使う 181

お知らせ 219

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 本取扱説明書では、液晶カラーテレビを「本機」と表現しています。
また、「テレビ」と表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。
※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、
実際の表示とは多少異なります。

安全にお使いいただくために

ご使用前に**「安全にお使いいただくために」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜け

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

⚠ 警告

設　置

本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。本機には、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。また、開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。

注意

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重いものを乗せてしまうことがあります。重いものを乗せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

禁止

使　用　環　境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

100V 以外禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

禁止

使　用　方　法

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほこり除去

次ページへつづく

安全にお使いいただくために（つづき）

⚠ 警告

使 用 方 法

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

禁止

液晶画面をたたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。

禁止

⚠ 注意

設 置

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

放熱を良くするため他の機器・壁等から間隔をとってください（10cm以上）。また、つぎのような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 横倒しにする。
- 逆さまにする。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取りつけてください。

注意

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させる場合は主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜け

⚠ 注意

設　置

本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機は質量が約23kgあり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は2人以上で行ってください。

注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

プラグを抜け

液晶画面はガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

注意

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

注意

本機の背面にある通気孔は、1カ月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください(このとき掃除機は「弱」に設定してください)。
また、通気孔のお手入れは必ず本機の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

注意

地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところに本機を固定してください。

注意

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

確実に差す

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、電源を「切」にしてから接続してください。

注意

次ページへつづく

安全にお使いいただくために（つづき）

⚠ 注意

使用環境

本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。

注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜け

使用方法

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

禁止

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。

禁止

首振り可動部に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

注意

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

禁止

電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。

注意

長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池を取り出せ

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

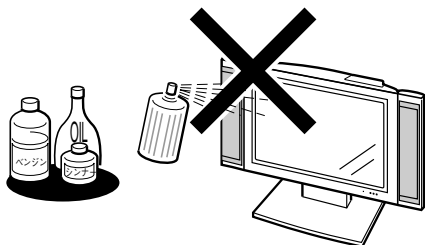
注意

● この取扱説明書で「テレビ」と表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

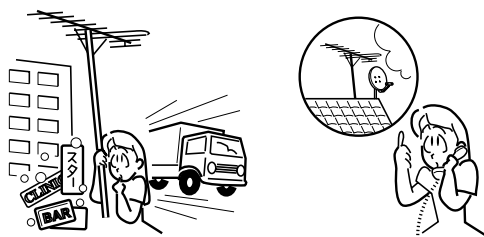
キャビネットのお手入れのしかた

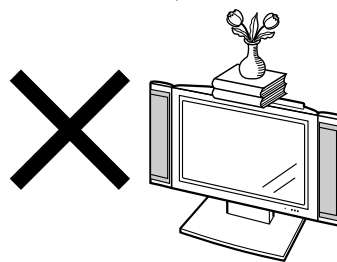
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

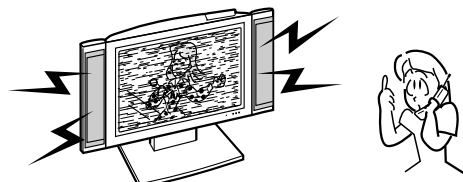
液晶カラーテレビ画面のお手入れのしかた

- 本機の画面の表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、画面の表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 画面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- 画面の保護のため、乾いた布や化学雑巾で拭きとらないでください。
- お手入れの際は、必ず本体天面の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

アンテナについて

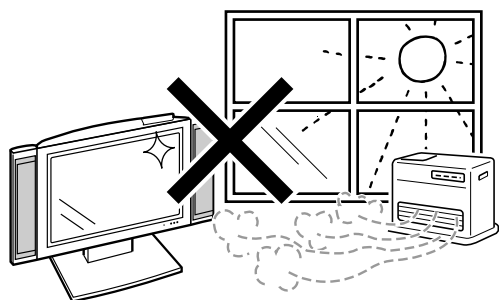
- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(**27**ページ参照)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

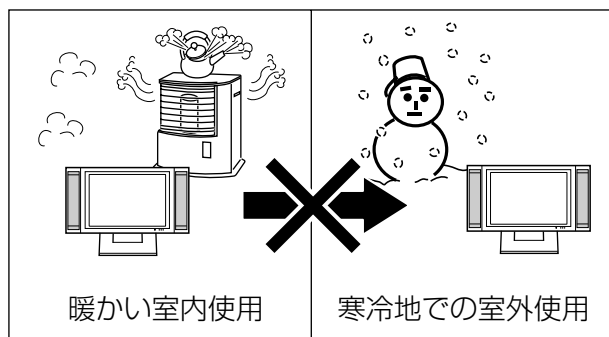
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

使用上のご注意(つづき)

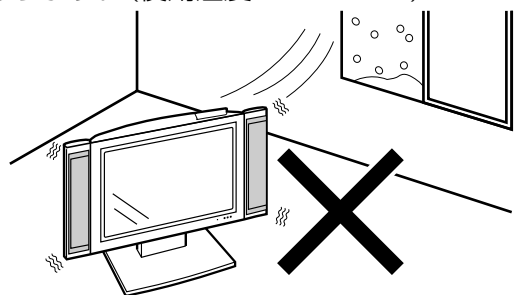
守っていただきたいこと

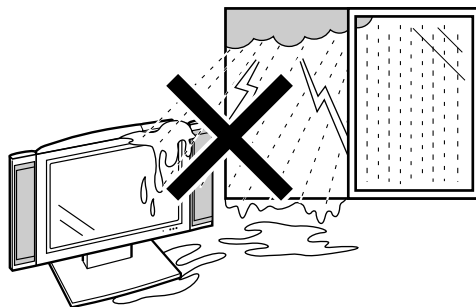
直射日光・熱気は避けてください

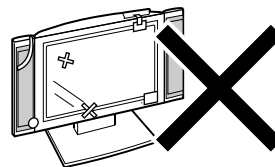
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

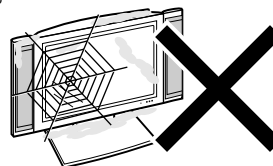
- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

暖かい室内使用　寒冷地での室外使用

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

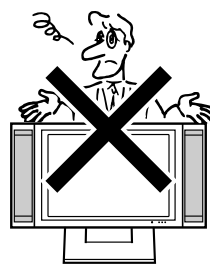
- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度 0℃〜40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

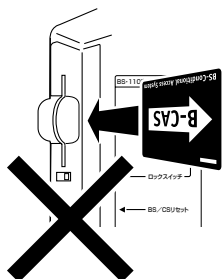
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

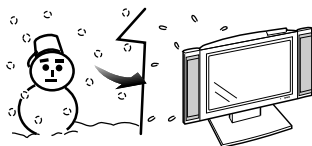
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

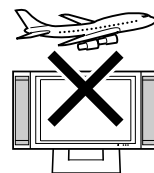
- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

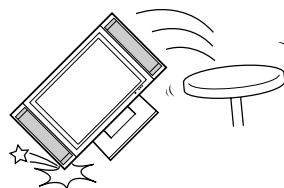
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因となります。

持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押さないように、また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れると危険です。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
  また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

蛍光管について

■ 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間（調光を「標準」に設定している場合）
- 詳しくは、販売店またはもよりのパイオニアお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

本機の特長

30V型ワイドXGA液晶パネルを搭載(ブラウン管テレビ32型相当)

- 水平1280×垂直768画素の高精細パネル採用。
- ASV※1方式低反射ブラックTFT液晶により広視野角、高コントラストを実現。
- 高効率バックライトシステムにより、高輝度を実現。

※1：ASV…Advanced Super Viewの略。

BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーを薄型ボディーに一体化

- テレビ本体の薄型、軽量ボディーに、チューナー部を内蔵。
- オールインワンスタイルなので、手軽に設置・移動が可能。

10W＋10Wの迫力のハイクオリティーサウンド

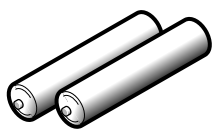
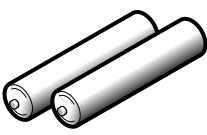
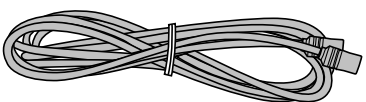
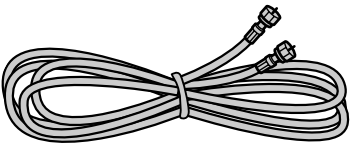
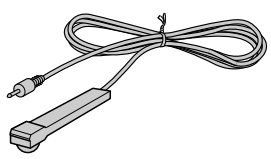
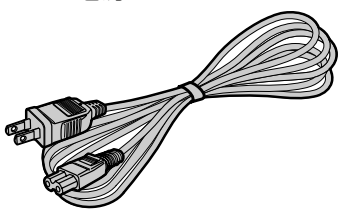
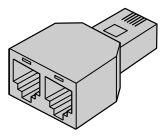
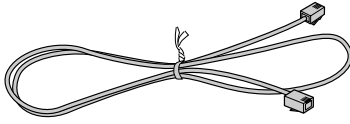
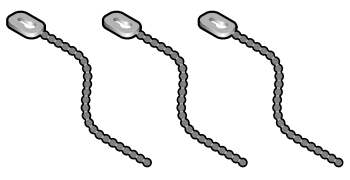
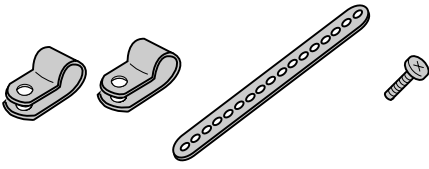
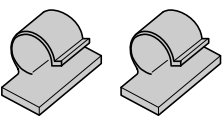
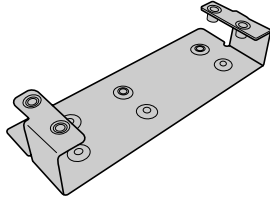
- 薄型フォルムの中で臨場感あふれる高音質を実現するバスレフ式エンクロージャー（スピーカーボックス）と、迫力のサウンドを生み出すダブルマグネットスピーカーユニット採用。
- デジタルアンプとBEE Mach3 Bass回路※2のシステム化により、メリハリのある低音とクリアなサウンドを両立。

※2：「BBE Mach3 Bass」はBBE社の登録商標です。

D4映像入力端子をはじめ、豊富な入出力端子を装備

- パソコンモニター（XGA）にもなるミニD-sub15ピンRGB入力端子。
- デジタルネットワークを実現するi.LINK端子2系統搭載。

環境にやさしい低消費電力・長寿命設計

- 消費電力は144Wの低消費電力を実現。
- スタンバイ時の消費電力0.5Wの省エネルギー設計。
- 長寿命バックライトの採用。
- 周囲の明るさに応じてバックライトを自動的に調光し、節電する「オートセーブ機能」を搭載

機能を限定し使いやすさを追究した簡単リモコン付属

付属品

付属品をご確認ください

ご注意　B-CASカードは開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

簡単リモコン× 1

（使いかた
→**19**ページ）

単４形乾電池× 2

（使いかた→**19**ページ）

リモコン× 1

単４形乾電池× 2

（使いかた→**21**ページ）

（使いかた→**20・21**ページ）

アンテナケーブル×1

（使いかた→**26**ページ）

BS/110度CS用
アンテナケーブル×1
（先端金属ネジ止めタイプ）

（使いかた→**27**ページ）

ビデオコントローラー× 1

（使いかた→**198**ページ）

B-CASカード×1

（使いかた→**53**ページ）

電源コード× 1

（使いかた→**24**ページ）

モジュラー分配器× 1

（使いかた→**50**ページ）

電話線× 1

（使いかた→**50**ページ）

ビーズバンド×3

（使いかた→**183**ページ）

転倒防止用部品一式
（クランプ×2／固定バンド×1／ネジ×1）

（使いかた→**24**ページ）

ケーブルクランプ×2

（使いかた→**183**ページ）

壁掛け金具用アタッチメント× 1

（使いかた→**25**ページ）

- 取扱説明書
- 保証書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- ユーザー登録用紙

この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（本体天面の操作ボタンを使う場合の説明は、「本体の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。）

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定

ダウンロードの設定

■ダウンロードとは、BS・110度CSデジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

扉を開けたところ

1 BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

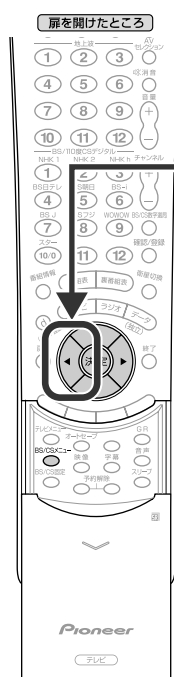
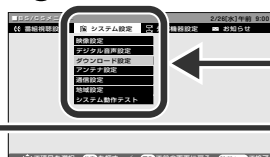
2 ① ◀▶で「システム設定」を選ぶ
② ▲▼で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）
「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

4 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ ●ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。

158

- 番号順に操作してください。
- 機能の概要説明などです。
- 選択･入力する項目や欄です。
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
- 操作するボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作の結果や補足的な説明です。
- テレビ画面に現われる表示です。※
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは
 11 ページ

故障かな？と思ったら
220 ページ

わからない用語があるときは
 228 ページ

各部のなまえ（本体）

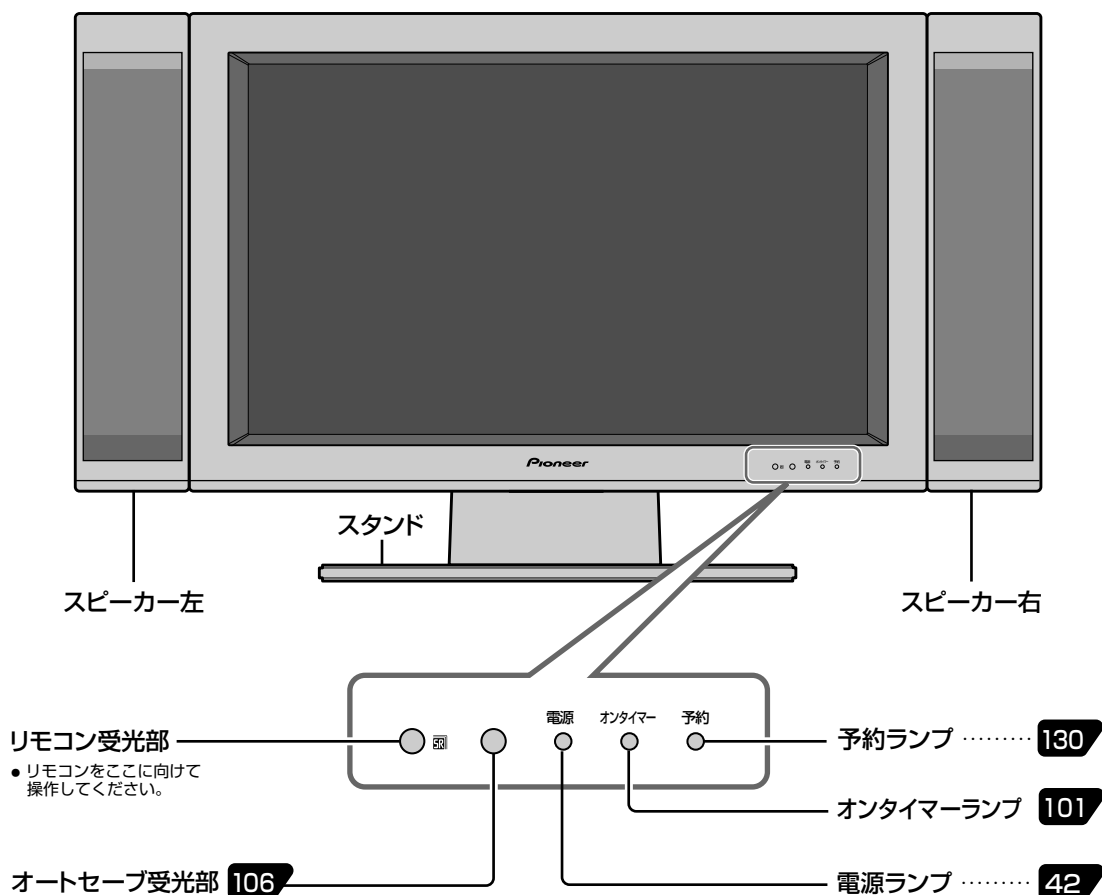
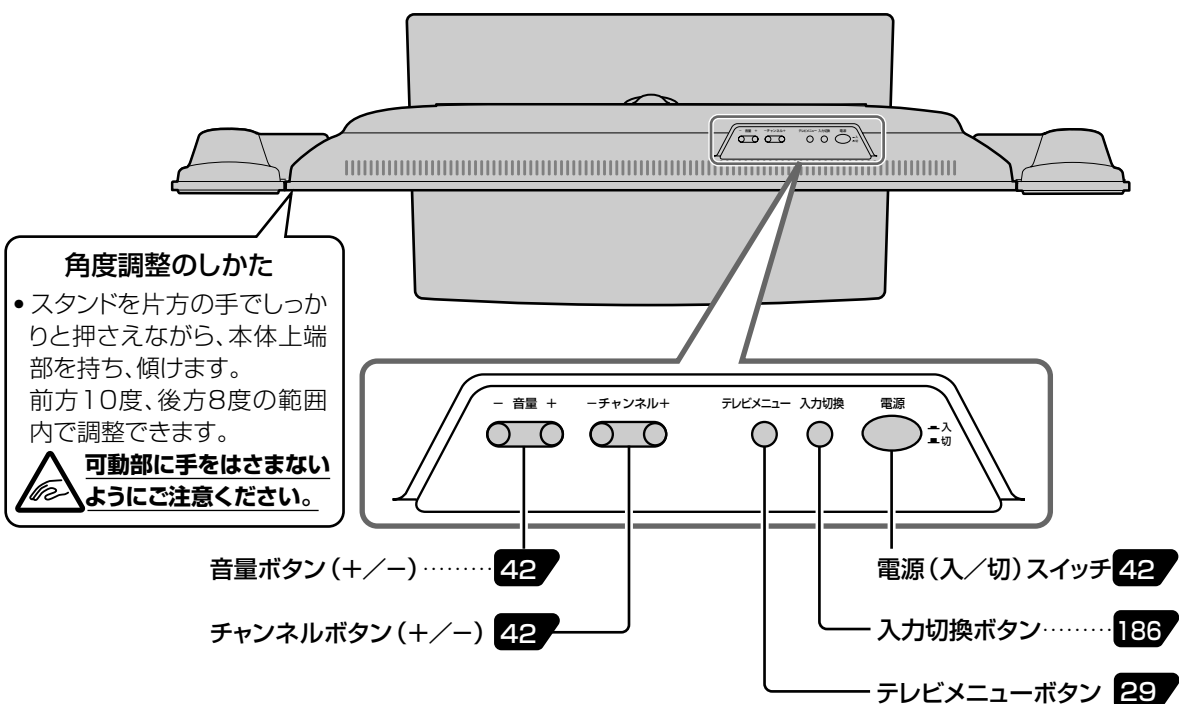
■ 内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

本体（前面）

本体操作部（天面）

角度調整のしかた

- スタンドを片方の手でしっかりと押さえながら、本体上端部を持ち、傾けます。
  前方10度、後方8度の範囲内で調整できます。

可動部に手をはさまないようにご注意ください。

各部のなまえ（本体）（つづき）

本体（後面） ※端子については、**182**・**183**ページの「端子のなまえとはたらき」もご覧ください。

ビデオ2入力端子 184
ヘッドホン端子 … 182
B-CASカード挿入口…… 53
ロックスイッチ…………… 53
BS/CSリセットボタン…… 224
BS/CS出力端子………… 196
デジタル音声出力（光）端子…………………… 215
電話回線端子…………… 50
ビデオ1入力端子…… 185
ビデオ3入力／コンポーネントビデオ1入力端子………………… 185
ビデオ4入力／コンポーネントビデオ2入力／モニター出力端子 185・192
DC9V出力端子……… 182
アンテナ入力（VHF・UHF）端子…… 26
PC音声入力端子……… 212
アナログRGB映像入力端子………… 212
AC100V入力端子 24（電源コード接続部）
BS・110度CSアンテナ入力端子… 27
ビデオコントロール端子… 198
i.LINK端子…… 202

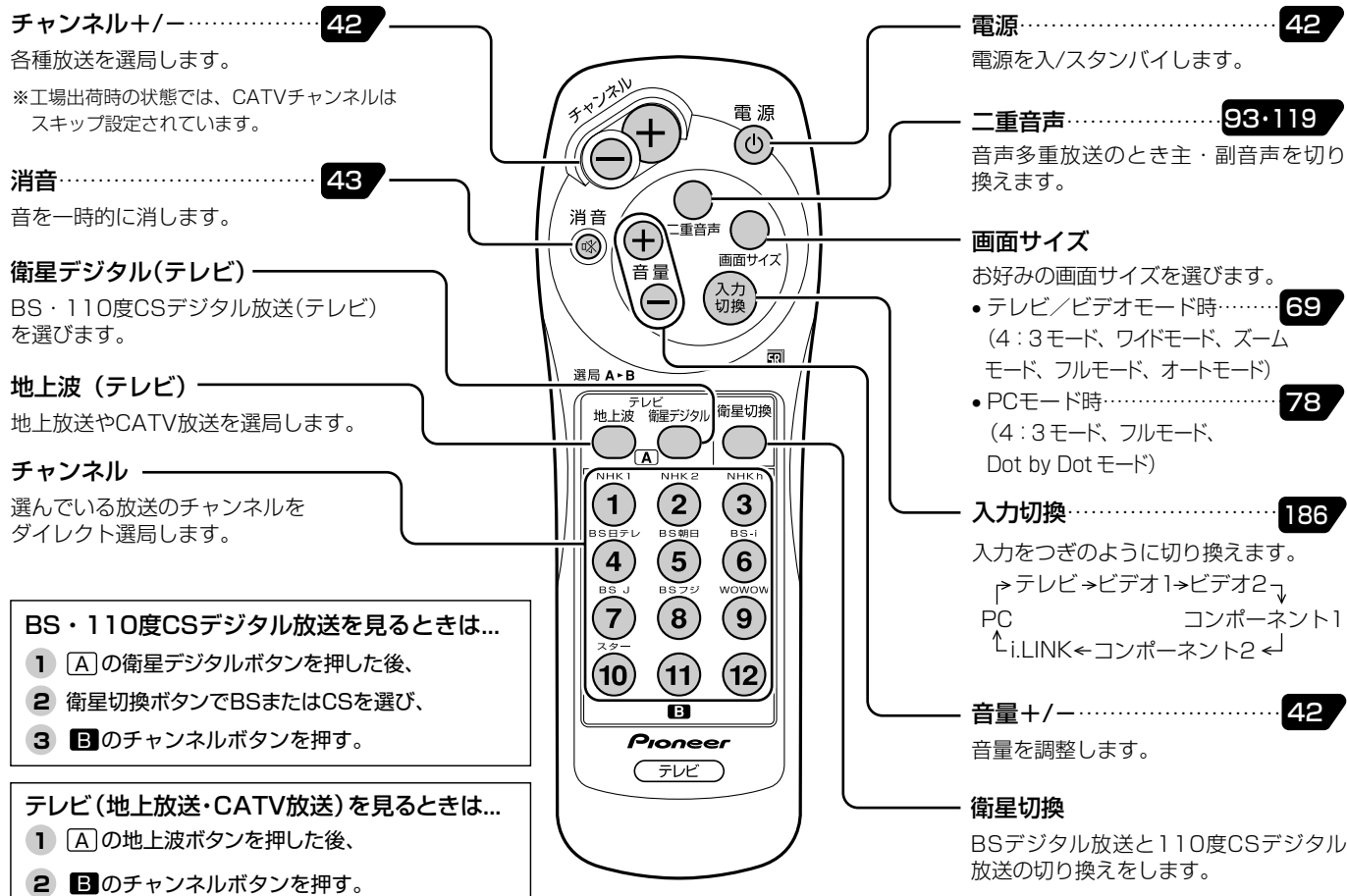
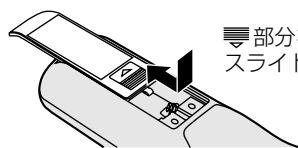
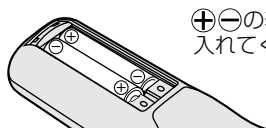
端子カバーの外しかた

カバー上端中央のフックを下方に押して、手前に外します。

カバー上端のフック2カ所を下方に押して、手前に外します。

各部のなまえ（簡単リモコン）

簡単リモコン

電源の入/スタンバイ、選局、音量調整など、ふだんよく使う基本操作は
簡単リモコンだけで行えます。

チャンネル＋/ー……………… 42
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルは
スキップ設定されています。

消音………………………………… 43
音を一時的に消します。

衛星デジタル(テレビ)
BS・110度CSデジタル放送(テレビ)
を選びます。

地上波（テレビ）
地上放送やCATV放送を選局します。

チャンネル
選んでいる放送のチャンネルを
ダイレクト選局します。

電源………………………………… 42
電源を入/スタンバイします。

二重音声………………… 93・119
音声多重放送のとき主・副音声を切り換えます。

画面サイズ
お好みの画面サイズを選びます。
- テレビ／ビデオモード時……… 69
（4：3モード、ワイドモード、ズームモード、フルモード、オートモード）
- PCモード時……………………… 78
（4：3モード、フルモード、Dot by Dot モード）

入力切換…………………………… 186
入力をつぎのように切り換えます。
テレビ→ビデオ1→ビデオ2→コンポーネント1→コンポーネント2→i.LINK→PC→テレビ

音量＋/ー………………………… 42
音量を調整します。

衛星切換
BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の切り換えをします。

BS・110度CSデジタル放送を見るときは…
1. Aの衛星デジタルボタンを押した後、
2. 衛星切換ボタンでBSまたはCSを選び、
3. Bのチャンネルボタンを押す。

テレビ（地上放送・CATV放送）を見るときは…
1. Aの地上波ボタンを押した後、
2. Bのチャンネルボタンを押す。

乾電池の入れかた

1 カバーを開ける

部分を押しながら、
スライドさせます。

2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを元どおりに閉める

⊕⊖の表示どおりに
入れてください。

おしらせ
- 付属の乾電池は保存状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し、電池の向きを確かめて、入れなおしてください。

リモコン使用上のご注意

- リモコンは、前面右下の受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から5m、左右に30度以内です。
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受信部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。
照明またはテレビの向きを変えてください。

乾電池使用上のご注意

注意

乾電池は誤った使いかたをすると液もれしたり破裂することがありますので、つぎのことをお守りください。
- 種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- 乾電池を充電したり、分解しない。
- ⊕極と⊖極を正しく入れる。
- ショートさせない。

不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

各部のなまえ(リモコン)

内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

扉を閉じたところ

電源……42
電源を入／スタンバイします。

2画面……96
2画面表示にします。

操作切換……97
2画面表示のとき、操作できる画面を切り換えます。

地上波チャンネル……42
- 地上放送やCATV放送を選局します。
- チャンネル設定の入力にも使用します。

BS／110度CSチャンネル 116
- BS・110度CSデジタル放送を選局します。
- 各種設定の数字入力にも使用します。

番組表……122
BS・110度CSデジタル放送の電子番組表(EPG)の表示を入／切します。

番組情報……126
視聴中のBS・110度CSデジタル番組の詳細な情報を表示します。

裏番組表……127
BS・110度CSデジタル放送の裏番組表の表示を入／切します。

d(データ連動)……118
BS・110度CSデジタル放送のテレビ番組やラジオ番組に連動したデータ放送を呼び出します。

テレビ……116
BS・110度CSデジタル放送のテレビ番組を選びます。

戻る……44・66
1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

カーソル(上下左右)……44・66
メニューや項目を選びます。

決定……44・66
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

カラーボタン(青／赤／緑／黄)……122
BS・110度CSデジタル放送の電子番組表(EPG)やデータ番組の操作に使います。

入力切換……186
入力を切り換えます。

i.LINK……209
i.LINK入力を選びます。i.LINK操作パネルの表示を入／切します。

画面表示……43
画面表示を入／切します。

静止……98
視聴中の番組を2画面にして、静止画と動画で表示します。

画面サイズ……69・78
お好みの画面サイズを選びます。

AVセレクション……83
最適な画質・音質を選びます。

消音……43
音を一時的に消します。

音量(＋／－)……42
音量を調整します。

チャンネル(＋／－)……42
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。

BS/CS数字選局……117
チャンネル番号を入力してBS・110度CSデジタル放送を選局するときに使います。

確認／登録……120・148
BS／110度CSチャンネルボタンに設定されているBS／110度CSチャンネルの確認／登録画面を表示します。

衛星切換……115
BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の切換えをします。

ラジオ……116
BS・110度CSデジタル放送のラジオ番組を選びます。

データ(独立)……116
BS・110度CSデジタル放送の独立データ番組を選びます。

終了……43・122
2画面、静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。

扉を開けたところ

テレビメニュー……44
テレビメニュー画面の表示を入／切します。

BS・110度CSデジタル用

BS/CSメニュー……66
BS/CSメニュー画面の表示を入／切します。

BS/CS固定……197
現在選んでいるBS／110度CSチャンネルに固定されます。BS・110度CSデジタル番組を録画しながら、地上放送やCATV放送を見たいときなどに便利です。

映像……119
BS・110度CSデジタル放送の主・副映像を選びます。

予約解除……141
予約解除 を2つ同時に押すと、実行中の予約録画を取り消します。

字幕……150
BS・110度CSデジタル放送の字幕表示を入／切します。

オートセーブ……106
周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動調整します。

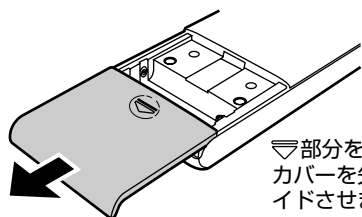
GR……104
GR（ゴースト軽減）を入／切します。

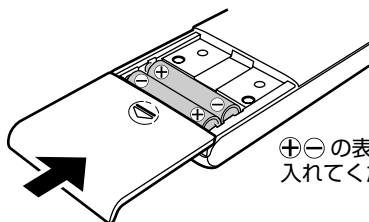
音声……93・119
音声を切り換えます。

スリープ……102
電源を指定時間後に切ります。

扉の開けかた
- この部分を軽く押しながら、手前にスライドさせます。

乾電池の入れかた

1 カバーを開ける

▽部分を軽く押しながら、カバーを矢印の方向にスライドさせます。

2 付属の単4形乾電池を入れ、カバーを元どおりに閉める

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

リモコン使用上のご注意
- リモコンは、前面右下の受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から5m、左右に30度以内です。
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
- リモコン受信部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。
照明またはテレビの向きを変えてください。

乾電池使用上のご注意

注意

乾電池は誤った使いかたをすると液もれしたり破裂することがありますので、つぎのことをお守りください。
●種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
●乾電池を充電したり、分解しない。
●⊕極と⊖極を正しく入れる。
●ショートさせない。
不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

おしらせ
- 付属の乾電池は保存状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 新しい乾電池に交換してもリモコンが動作しないときは、電池を取り出し、電池の向きを確かめて、入れなおしてください。

お使いになる前の準備

1 リモコンに乾電池を入れる ☞ 19・21ページ

2 アンテナ線、電話線をつなぐ ☞ 26・50ページ

⚠注意
アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

3 ビデオやオーディオ等、周辺機器をつなぐ ☞ 182ページ

⚠注意
接続する周辺機器の取扱説明書を併せてご覧になり、正しくつないでください。

4 電源コードをつなぎ、電源プラグをコンセントに差し込む ☞ 24ページ

⚠警告
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

5 テレビのチャンネルを設定する ☞ 28ページ

6 BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備をする ☞ 49ページ

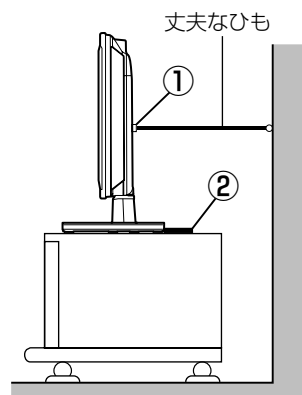
設置と準備

設置のしかた

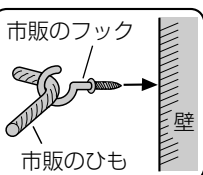
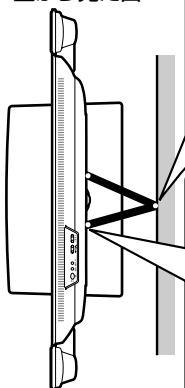
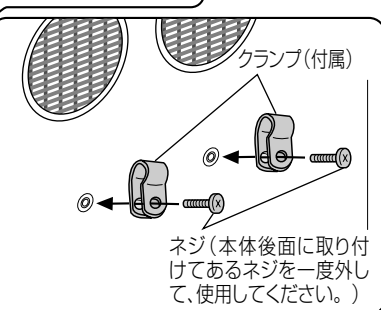
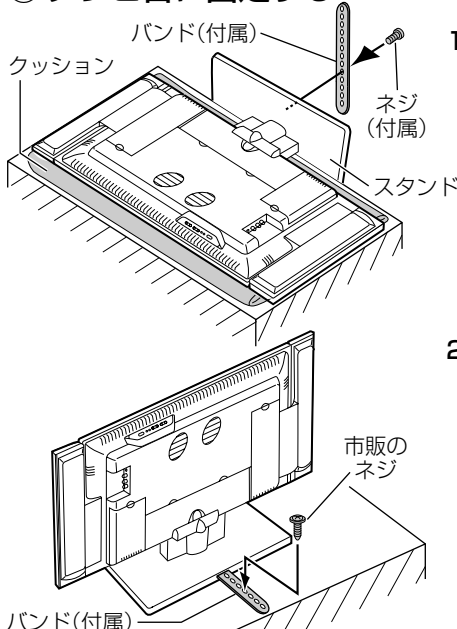
転倒防止について

⚠注意　不意の地震のとき、テレビが倒れてけがをするおそれがあります。安心してご使用いただくために、転倒防止策の実施をお願いいたします。

壁または柱などを利用して固定してください。

付属の転倒防止用部品などを利用し、壁や柱など確実に固定できる堅牢部に取り付けてください。（キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿をご使用ください。）
テレビを移動させるときは、固定されたひもを外してから行ってください。

固定のしかた

① 壁または柱に固定する

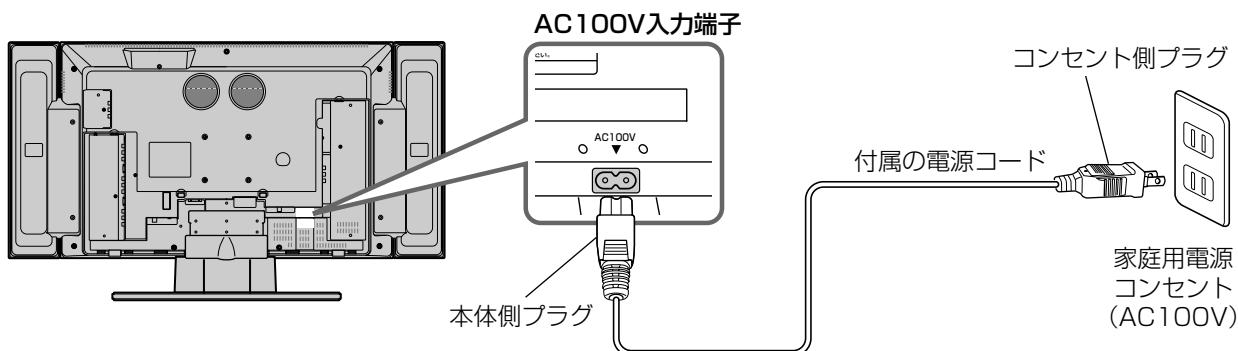
- 本体後面に取り付けてあるネジとネジ穴を利用しクランプを取り付けて、丈夫なひもで壁や柱など確実に固定できる堅牢部に取り付けてください。

② テレビ台に固定する

1. スタンド底面に、付属のバンドを付属のネジで取り付けます。

ご注意　取付け作業は、平らな面にクッションなどを敷いてテレビを寝かせた状態で行ってください。

2. 本機を台に設置した状態にします。市販のネジを使用し、バンドの穴に、上からネジを取り付けて固定してください。

ご注意　市販品のネジは、しっかりと固定できる形状のものを使用してください。

電源コードを接続する

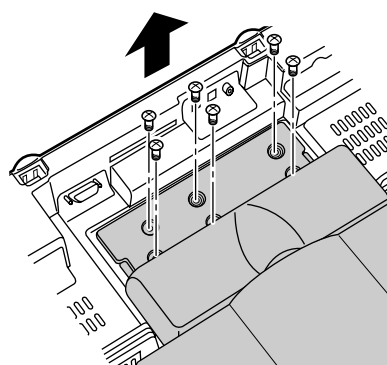
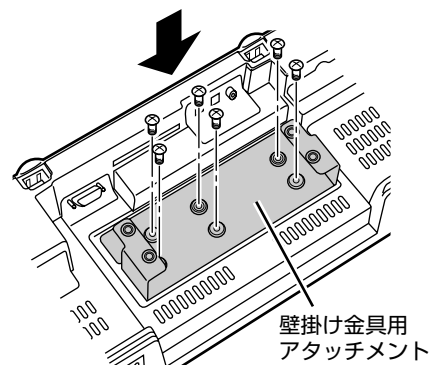
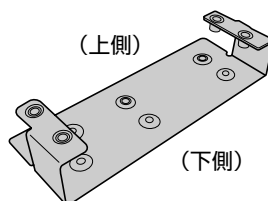
■本体天面の電源スイッチが「切」になっていることを確認し、電源コードの本体側プラグを本体後面の「AC100V入力端子」に接続します。

おしらせ
- 電源コードのプラグが抜けないように、しっかりと接続してください。

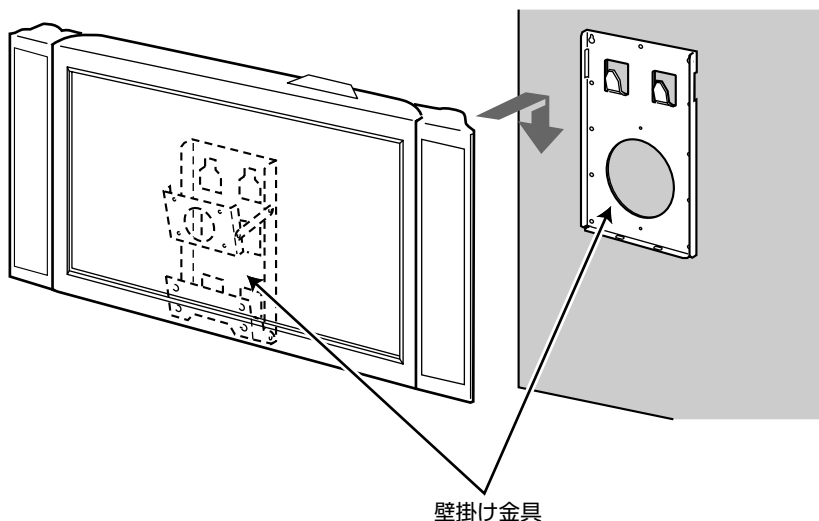
壁掛け金具を使って設置する

■ 本機は壁掛け金具で取り付けて使用することができます。
- 壁掛け金具は本機には付属しておりません。取付け方法など、詳しくは販売店にご相談ください。

壁掛け設置する際には、必ず専用の金具を使用してください。
また、設置・据え付けは工事専門業者または販売店にご依頼ください。

壁にかけて使う

❶ 本機に付属の壁掛け金具用アタッチメントを本機後面に取り付けます。
（スタンドの外しかたについては、壁掛け金具の取扱説明書を合わせてご覧ください。）

❷ 本機に壁掛け金具を取り付けます。
（詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。）

❸ 本機を壁に掛けます。
（詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。）

アンテナを接続する

ご注意 アンテナの接続が終わるまでは、本機の電源を入れないでください。

VHF/UHFアンテナの接続

■アンテナケーブルは付属のアンテナケーブルで、テレビのアンテナ入力(VHF・UHF)端子に接続してください。
■本機のアンテナ入力(VHF・UHF)端子は、VHFとUHFの混合タイプです。
■VHFとUHFが独立している場合は、市販の混合器を使って接続してください。

UHFアンテナ
VHFアンテナ

壁のアンテナ端子

お住まいのアンテナ端子に合ったアンテナ線を選び、接続してください。

VHF/UHFまたは
VHFまたはUHF
VHFまたはUHF
VHFとUHF
VHF/UHFまたは
VHFまたはUHF

平行
フィーダー線

平行
フィーダー線
(市販品)

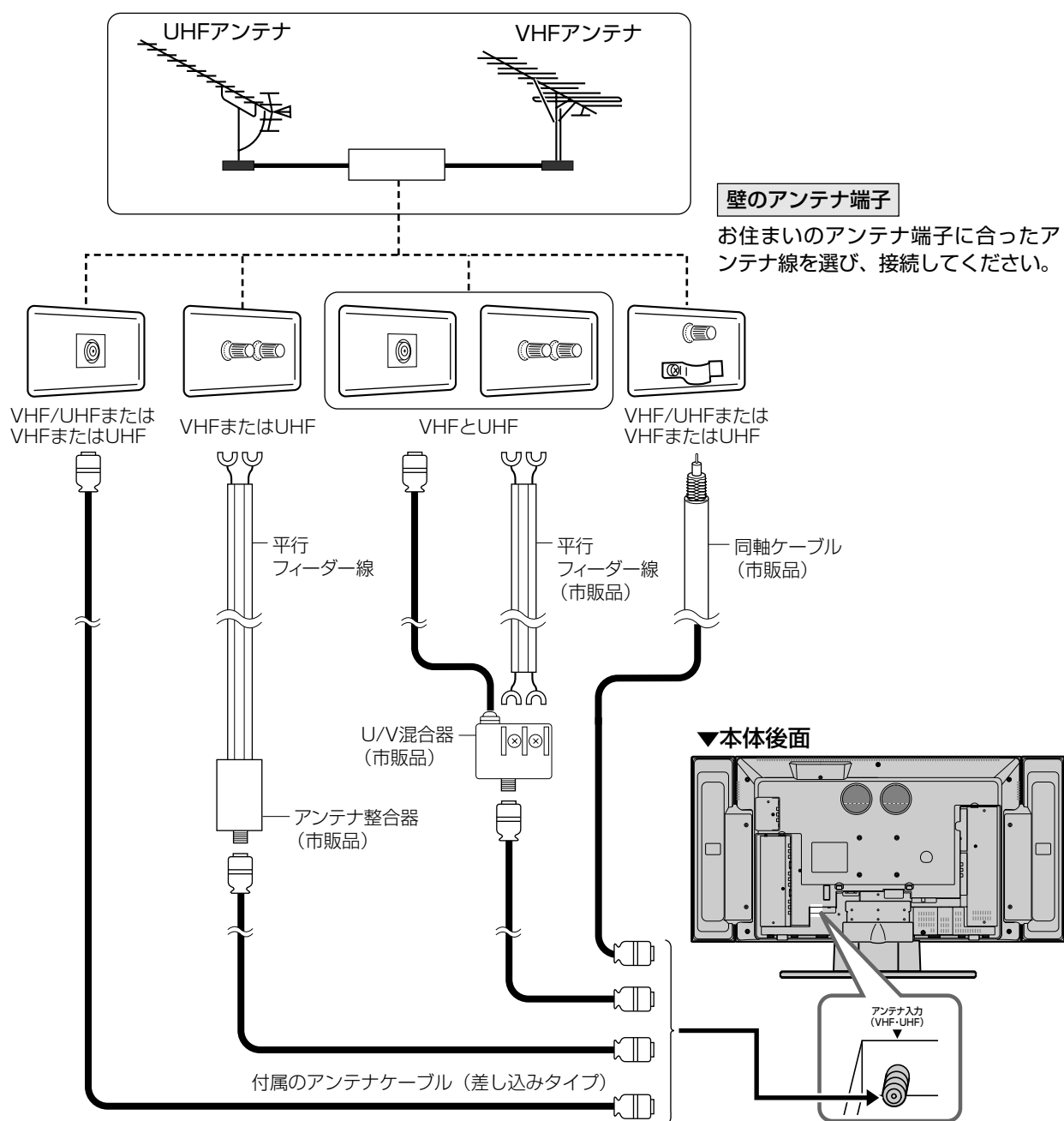
同軸ケーブル
(市販品)

U/V混合器
(市販品)

アンテナ整合器
(市販品)

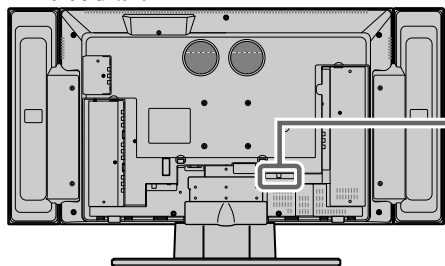
▼本体後面

アンテナ入力
(VHF・UHF)

付属のアンテナケーブル（差し込みタイプ）

- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取付けが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナケーブルは必ず付属のケーブルをご使用ください。

BS・110度CS共用アンテナの接続

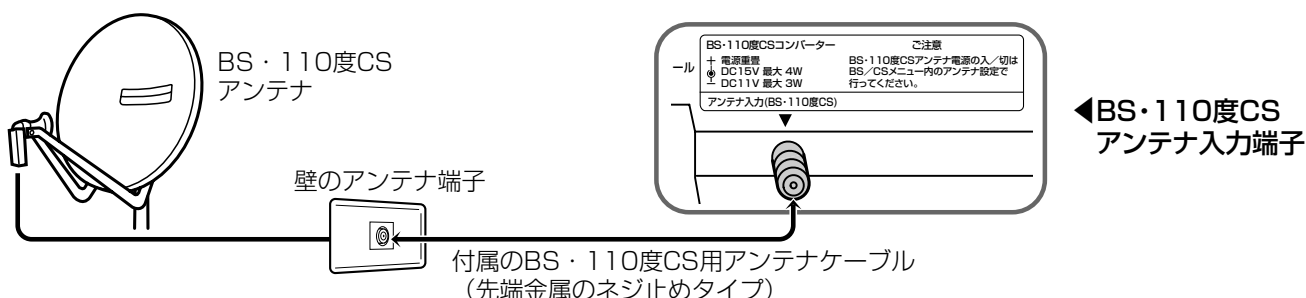
■BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナおよびアンテナ線は、専用のものをご使用ください。
※従来のBSアンテナ、CSアンテナは使用できません。
※アンテナ線は2150MHz対応の広帯域ケーブル(例. S-5C-FB)をお使いください。
■BS・110度CS共用アンテナの取付けについては、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。

▼本体後面

▼BS・110度CSアンテナ入力端子

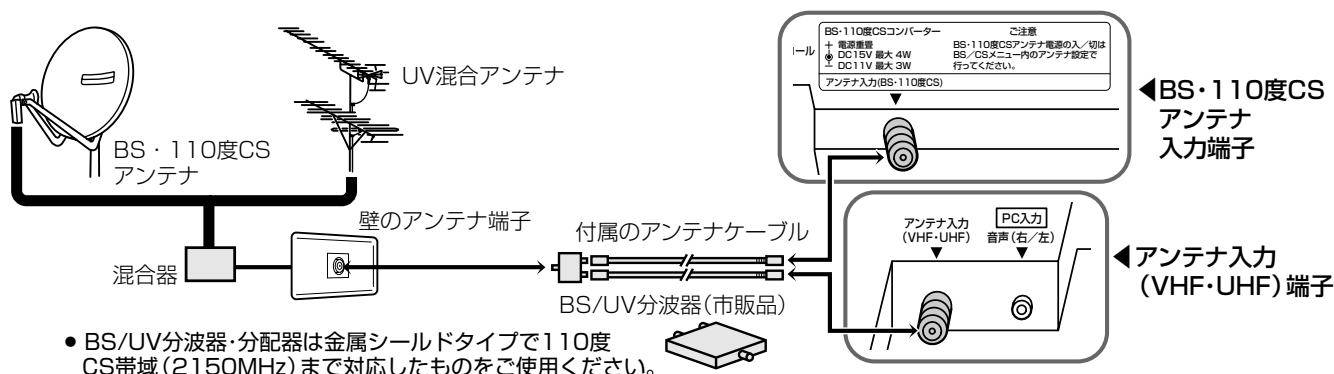
- BS・110度CSアンテナからの衛星放送用ケーブル(同軸ケーブル)をつなぎます。この端子は、BS・110度CSアンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに＋15V/＋11Vの電源を供給する働きももっています。

- BS・110度CSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。（**162**ページ参照）

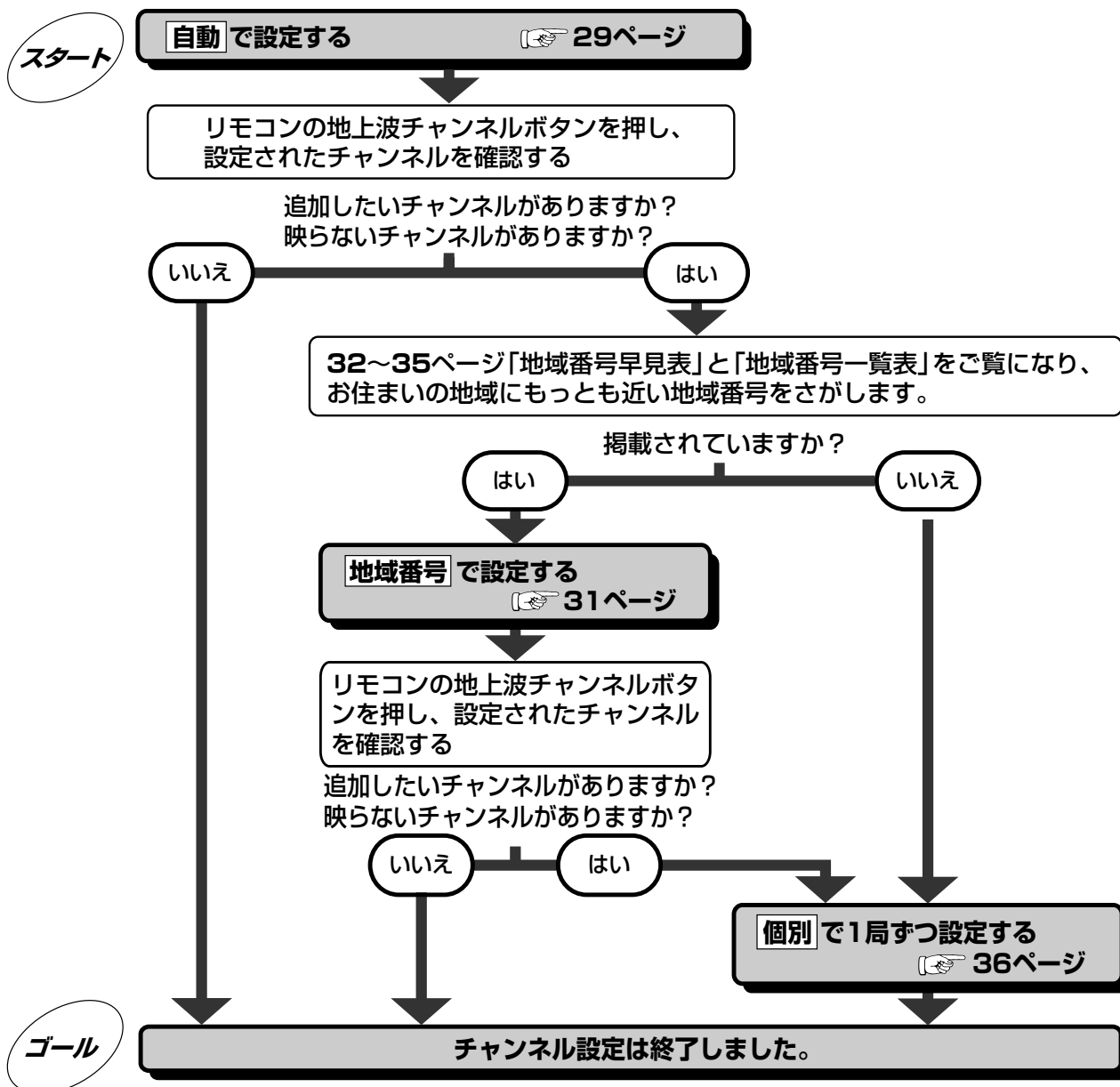
BS・110度CSアンテナを単独で接続するとき

付属のBS・110度CS用アンテナケーブルを本機のBS・110度CSアンテナ入力端子と壁のアンテナ端子に接続します。

BS・110度CSとVHF・UHFが混合されているとき

BS/UV分波器(市販品)を使用して接続します。

- BS/UV分波器・分配器は金属シールドタイプで110度CS帯域(2150MHz)まで対応したものをご使用ください。

BS・110度CSアンテナの接続が終わったら☞**161**ページの「BS・110度CSアンテナの設定」を行ってください。

テレビのチャンネルを設定する

■地上放送(VHF/UHF)やCATV放送の受信チャンネル設定です。
(工場出荷時は、VHF1～12チャンネルが設定されています。)
■チャンネル設定には「自動」と「地域番号」と「個別」の3つの方法があります。(下記参照)

自動	ご使用になる場所の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送チャンネルを自動的にキャッチし、記憶させる方法です。
地域番号	ご使用になる場所にもっとも近い都市(受信している電波を送信している都市)を**32**～**35**ページの地域番号早見表・地域番号一覧表から選び「地域番号」を入力する方法です。 ● その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。 ● 地域番号一覧表(**33**～**35**ページ)には放送局名を記載しています。 ● 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定をしてください。
個別	地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後ほかのチャンネルを追加したり削除するとき、チャンネルを1局ずつ設定する方法です。

■使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチして、記憶させることができます。
■記憶できるチャンネルは、最大12局です。記憶された局の1～12チャンネルは、リモコンの地上波チャンネルボタンで選局できます。

▼本体天面

扉を開けたところ

自動設定

1

① テレビメニュー を押す

●テレビメニュー画面が表示されます。

② ◀ ▶ で「本体設定」を選び、決定を押す

③ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

本体のボタンでチャンネル設定画面を表示するとき

① 本体天面のテレビメニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する。
② 音量ボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選び、入力切換ボタンで決定する。

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへ

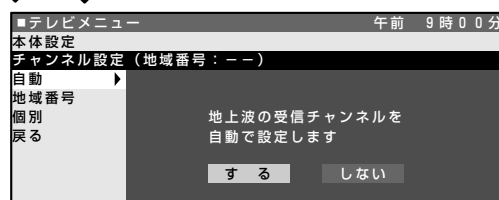
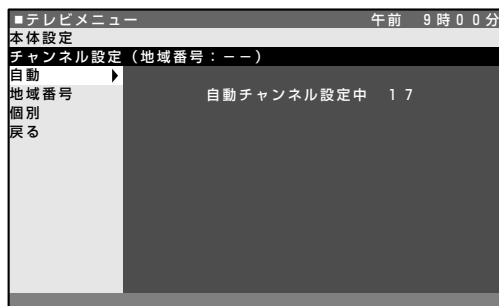
次ページへつづく

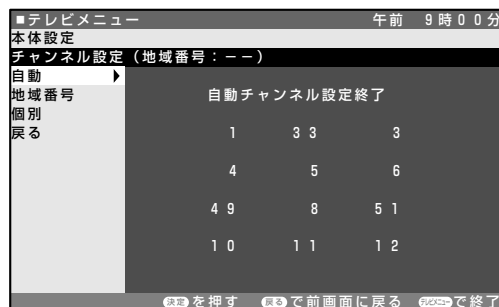
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

▼本体天面

扉を開けたところ

2 ▲▼で「自動」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 自動設定が開始され、「自動チャンネル設定中」が表示されます。

- 自動設定が終了すると、設定されたチャンネルが一覧表示されます。

4 終了を押し、通常画面に戻す

- リモコンまたは、本体天面のテレビメニューボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

地域番号設定

■「地域番号早見表」(**32**ページ)、「地域番号一覧表」(**33**～**35**ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認したうえで、お住まいの地域にもっとも近い地域番号を入力してください。

[例] 東京都八王子市にお住まいの場合
(地域番号「31」を設定する)

1

①テレビメニューを押す

●テレビメニュー画面が表示されます。

② **で「本体設定」を選び、決定を押す**

③ **で「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

本体のボタンでチャンネル設定画面を表示するとき

① 本体天面のテレビメニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する。
② 音量ボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選び、入力切換ボタンで決定する。

2

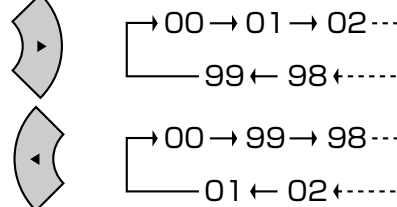
▲▼で「地域番号」を選び、決定を押す

3

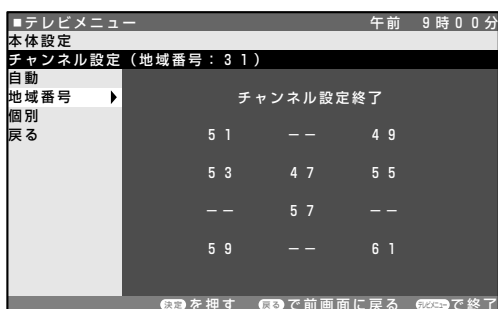
◀▶で「31」を選ぶ

▶: 00 → 01 → 02 … 98 → 99 → 00
◀: 00 → 99 → 98 … 02 → 01 → 00

■テレビメニュー 午前 9時00分
本体設定
チャンネル設定（地域番号：－－）
自動
地域番号
個別
戻る
地上波の受信チャンネルを地域番号で設定します
31
◀ ▶で設定 決定を押す 戻るで前画面に戻る テレビメニューで終了

4

決定を押す

●設定が実行され、設定されたチャンネルが一覧表示されます。

5

終了を押し、通常画面に戻す

●リモコンまたは、本体天面のテレビメニューボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

- 地域番号一覧表に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定(**36**ページ)をしてください。

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号早見表に該当する都市にお住まいの場合は、その都市の地域番号を入力してください。
該当する都市にお住まいでない場合は、もっとも近い都市の地域番号を入力してください。

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	21	か	橿原市	65	せ	仙台市	13	ひ	東久留米市	30
	青森市	10		柏市	29	そ	草加市	27		東村山市	30
	明石市	63		春日井市	54	た	大東市	61		彦根市	59
	昭島市	30		春日部市	27		高岡市	40		日立市	23
	秋田市	15		勝田市	22		高崎市	25		日野市	30
	阿久根市	95		門真市	61		高槻市	61		姫路市	62
	上尾市	27		金沢市	41		高松市	78		枚方市	61
	朝霞市	27		鎌倉市	33		宝塚市	61		平塚市	34
	旭川市	02		刈谷市	54		立川市	30		弘前市	10
	足利市	27		川口市	27		多摩市	32		広島市	71
	厚木市	33		川越市	27	ち	茅ケ崎市	34	ふ	福井市	42
	網走市	01		川崎市	33		千葉市	29		福岡市	83
	我孫子市	29		河内長野市	61		調布市	30		福島市	19
	尼崎市	61		川西市	64	つ	津市	57		福山市	72
	安城市	54	き	木更津市	29		つくば市	29		藤枝市	53
い	飯田市	45		岸和田市	61		土浦市	29		藤沢市	33
	池田市	61		北九州市	84		鶴岡市	18		富士市	51
	生駒市	61		北見市	09	と	東京２３区	30		富士宮市	51
	石巻市	14		岐阜市	47		徳島市	97		府中市(東京)	30
	和泉市	61		京都市１	60		徳山市	74		船橋市	29
	伊勢崎市	25		京都市２	98		所沢市	27	へ	別府市	91
	伊丹市	61		桐生市	26		鳥取市	67	ほ	防府市	74
	市川市	29	く	釧路市	04		苫小牧市	06	ま	前橋市	25
	一宮市	54		熊谷市	28		富山市	39		町田市	33
	市原市	29		熊本市	90		豊川市	55		松江市	68
	茨木市	61		倉敷市	70		豊田市	56		松阪市	57
	今治市	81		久留米市	85		豊中市	61		松戸市	29
	入間市	27		呉市	73		豊橋市	55		松原市	61
	いわき市	20	こ	高知市	82		富田林市	61		松本市	46
	岩国市	77		甲府市	43	な	長岡市	37		松山市	79
	岩槻市	27		神戸市	61		長崎市	88	み	三郷市	27
う	宇治市	60		郡山市	19		長野市	44		三島市	52
	宇都宮市	24		小金井市	30		流山市	29		三鷹市	30
	宇部市	76		越谷市	27		名古屋市	54		水戸市	22
	浦安市	29		小平市	30		那覇市	96		都城市	92
え	海老名市	33		小牧市	54		奈良市	65		宮崎市	92
	江別市	01		小松市	41		習志野市	29	む	武蔵野市	30
お	青梅市	30	さ	さいたま市	27	に	新潟市	37		室蘭市	08
	大分市	91		堺市	61		新座市	27	も	盛岡市	12
	大垣市	47		佐賀市	87		新居浜市	80		守口市	61
	大阪市	61		酒田市	18		西宮市	61	や	矢板市	31
	大館市	16		相模原市	33	ぬ	沼津市	52		焼津市	49
	大津市	58		佐倉市	29	ね	寝屋川市	61		八尾市	61
	大牟田市	86		佐世保市	89	の	野田市	29		八千代市	29
	岡崎市	54		札幌市	01		延岡市	93		八代市	90
	岡山市	70		座間市	33	は	函館市	03		山形市	17
	沖縄市	96		狭山市	27		秦野市	36		山口市	74
	小樽市	07	し	静岡市	49		八王子市	31		大和市	33
	小田原市	35		清水市	49		八戸市	11	よ	横須賀市	33
	帯広市	05		下関市	75		羽曳野市	61		横浜市	33
	小山市	27		上越市	38		浜田市	69		四日市市	57
か	各務原市	48	す	吹田市	61		浜松市	50		米子市	68
	加古川市	63		鈴鹿市	57		半田市	54	わ	和歌山市１	66
	鹿児島市	94	せ	瀬戸市	54	ひ	東大阪市	61		和歌山市２	99

おしらせ

- 工場出荷時は、地域番号「00」に設定されています。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表(**33**～**35**ページ)に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます(地域番号「00」は除く)。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、個別設定(**36**ページ)をしてください。

地域番号一覧表

※ 地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。（2002年11月現在）

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	01	1 北海道放送	2	3 NHK総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6	27 北海道文化放送	8	35 北海道テレビ	10	11	12 NHK教育
	旭川	02	1	2 NHK教育	33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	函館	03	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 NHK教育	11	12 札幌テレビ
	釧路	04	1	2 NHK教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送	5	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	帯広	05	32 北海道文化放送	2	34 北海道テレビ	4 NHK総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 札幌テレビ	11	12 NHK教育
	苫小牧	06	47 テレビ北海道	49 NHK教育	51 NHK総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ	8	9	10	11	12
	小樽	07	24 テレビ北海道	2 NHK教育	26 北海道文化放送	4 北海道テレビ	5	6	7 札幌テレビ	8	9 北海道放送	10	11 NHK総合	12
	室蘭	08	1	2 NHK教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	11 北海道放送	12
	北見	09	1	2 NHK教育	3	4	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	8	9 NHK総合	10	53 北海道放送	12
青森	青森	10	1 青森放送テレビ	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	38 青森テレビ	8	34 青森朝日放送	10	11	12
	八戸	11	1	2	33 青森テレビ	4	31 青森朝日放送	6	7 NHK教育	8	9 NHK総合	10	11 青森放送テレビ	12
岩手	盛岡	12	1	2	3	4 NHK総合	5	6 IBCテレビ	7	8 NHK教育	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手	11	33 めんこいテレビ
宮城	仙台	13	1 東北放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 東日本放送	8	34 宮城テレビ	10	11	12 仙台放送
	石巻	14	59 東北放送	2	51 NHK総合	4	49 NHK教育	6	61 東日本放送	8	55 宮城テレビ	10	11	57 仙台放送
秋田	秋田	15	1	2 NHK教育	3	4	5	6	7	8	9 NHK総合	31 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	37 秋田テレビ
	大館	16	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 秋田放送テレビ	7	8 NHK教育	9 NHK総合	59 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	57 秋田テレビ
山形	山形	17	1	2	3	4 NHK教育	5	36 テレビユー山形	30 さくらんぼテレビ	8 NHK総合	9	10 山形放送	11	38 山形テレビ
	鶴岡	18	1 山形放送	2	3 NHK総合	4	5	6 NHK教育	7	39 山形テレビ	9	22 テレビユー山形	11	24 さくらんぼテレビ
福島	福島	19	1	2 NHK教育	31 テレビユー福島	4	33 福島中央テレビ	6	35 福島放送	8	9 NHK総合	10	11 福島テレビ	12
	いわき	20	1	62 テレビユー福島	3	4 NHK総合	5	58 福島中央テレビ	7	8 福島テレビ	9	10 NHK教育	11	60 福島放送
	会津若松	21	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5	6 福島テレビ	7	47 テレビユー福島	9	37 福島中央テレビ	11	41 福島放送
茨城	水戸	22	44 NHK総合	2	46 NHK教育	42 日本テレビ	5	40 TBSテレビ	7	38 フジテレビ	9	36 テレビ朝日	11	32 テレビ東京
	日立	23	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
栃木	宇都宮	24	29 NHK総合	2	27 NHK教育	25 日本テレビ	5	23 TBSテレビ	7	21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
群馬	前橋	25	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	40 放送大学	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	26	43 NHK総合	2	45 NHK教育	39 日本テレビ	40 放送大学	37 TBSテレビ	7	35 フジテレビ	9	33 テレビ朝日	41 群馬テレビ	31 テレビ東京
埼玉	さいたま	27	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	熊谷	28	33 NHK総合	2	35 NHK教育	25 日本テレビ	5	23 TBSテレビ	16 放送大学	21 フジテレビ	28 テレビ埼玉	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
千葉	千葉	29	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23区	30	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBSテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	31	51 NHK総合	2	49 NHK教育	53 日本テレビ	47 東京メトロポリタン	55 TBSテレビ	7	57 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	多摩	32	30 NHK総合	2	32 NHK教育	26 日本テレビ	28 東京メトロポリタン	24 TBSテレビ	7	22 フジテレビ	9	20 テレビ朝日	11	18 テレビ東京
神奈川	横浜	33	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBSテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ケ崎	34	33 NHK総合	2	29 NHK教育	35 日本テレビ	5	37 TBSテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	35	52 NHK総合	2	50 NHK教育	54 日本テレビ	5	56 TBSテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	36	47 NHK総合	2	49 NHK教育	51 日本テレビ	5	53 TBSテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京

次ページへつづく

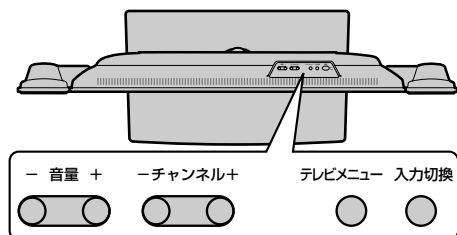
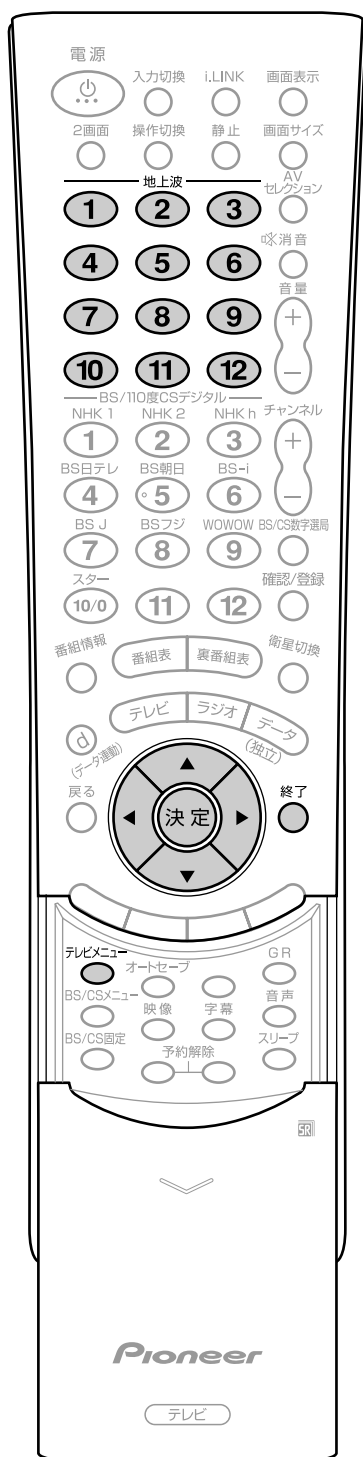
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

地域番号一覧表(つづき)

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
新潟	新潟	37	21 新潟テレビ21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK教育
	上越	38	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5	37 新潟テレビ21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	39	1 北日本テレビ	2	3 NHK総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	40	50 北日本テレビ	2	48 NHK総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	41	1	2	3	4 NHK総合	5	6 MROテレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	42	39 福井テレビ	2	3 NHK教育	4	5	6 MROテレビ	7	8	9 NHK総合	10	11 FBCテレビ	12
山梨	甲府	43	1 NHK総合	2	3 NHK教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	44	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	48 信越放送	12
	飯田	45	44 長野朝日放送	2	3 NHK教育	4 NHK総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	46	1	44 NHK総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	47	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	37 岐阜放送
	各務原	48	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	28 岐阜放送
静岡	静岡	49	1	2 NHK教育	31 静岡第1テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	50	1	30 静岡第1テレビ	3	4 NHK総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	51	1	54 NHK教育	27 静岡第1テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	52	1	51 NHK教育	61 静岡第1テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	53	1	44 NHK教育	24 静岡第1テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	54	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	10	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	55	56 東海テレビ	2	54 NHK総合	4	62 CBCテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK教育	10	60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	56	57 東海テレビ	2	53 NHK総合	4	55 CBCテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK教育	10	61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	57	1 東海テレビ	2	3 NHK総合	4	5 CBCテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK教育	33 三重テレビ	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	58	1	28 NHK総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABCテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK教育
	彦根	59	1	52 NHK総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK教育
京都	京都1	60	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都2	98	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	62	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	63	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	64	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	65	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	66	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	26 NHK教育
	和歌山2	99	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	67	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	68	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	69	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
岡山	岡山	70	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	71	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	11	12 広島テレビ
	福山	72	1 NHK総合	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	73	1 NHK教育	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	74	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	75	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TXN九州	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 NHK総合	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 NHK教育
	宇部	76	14 NHK教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 NHK総合	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口テレビ	12
	岩国	77	1 NHK教育	2	3	4 RCCテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK総合	10 南海テレビ	11 山口テレビ	12 広島テレビ
徳島	徳島	97	1 四国テレビ	2	3 NHK総合	4 毎日テレビ	5	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
香川	高松	78	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK教育	4	37 NHK総合	6	31 OHKテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	79	1	2 NHK教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
	新居浜	80	1	2 NHK総合	3	4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	81	1	30 NHK教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
高知	高知	82	1	2	3	4 NHK総合	5	6 NHK教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	83	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TXN九州	37 福岡放送
	北九州	84	1	2 九州朝日放送	23 TXN九州	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK教育
	久留米	85	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TXN九州	52 福岡放送
	大牟田	86	58 九州朝日放送	19 TXN九州	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	87	19 TXN九州	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	88	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	89	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	90	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	91	1 NHK教育	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 NHK総合	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK教育
宮崎	宮崎	92	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK教育
	延岡	93	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	94	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	12
	阿久根	95	1	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK教育
沖縄	那覇	96	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK教育
工場出荷設定		00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

テレビのチャンネルを設定する（つづき）

▼本体天面

扉を開けたところ

個別設定

■地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。

■ふだん使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくと便利です。

［例］地上波チャンネルボタン(5)（リモコン番号「5」）を押すとUHF放送「42」チャンネルが選局できるように設定する

1

① テレビメニュー を押す

●テレビメニュー画面が表示されます。

② ◀ ▶ で「本体設定」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

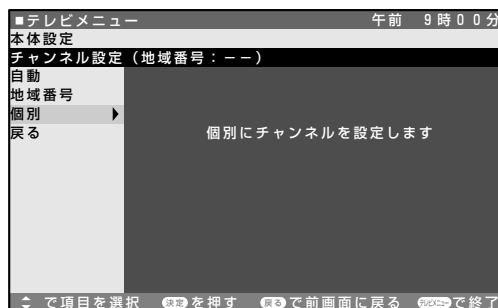
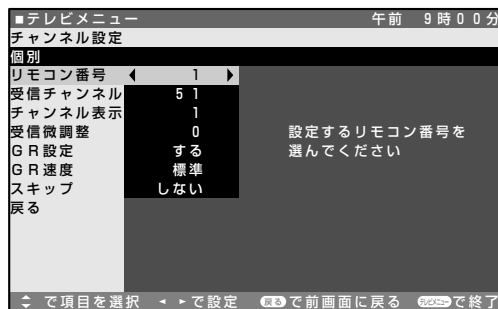
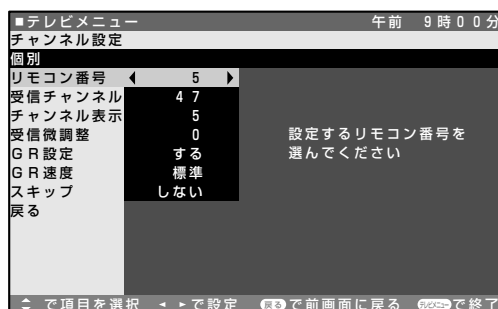
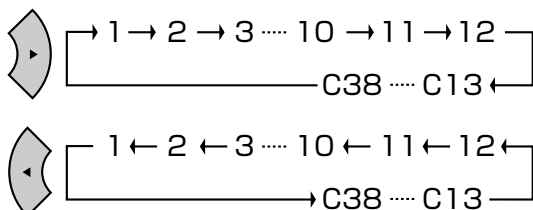
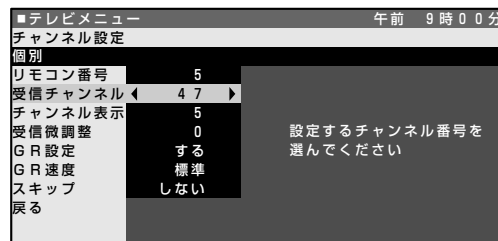
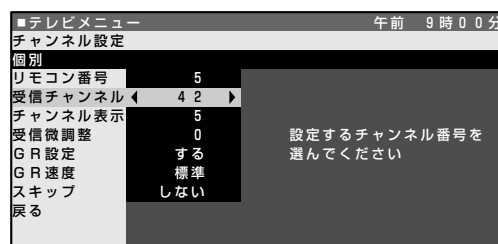
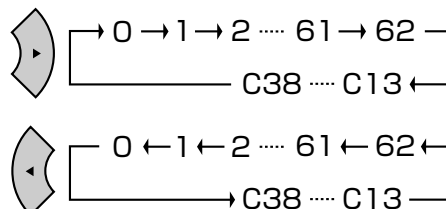
本体のボタンでチャンネル設定画面を表示するとき

① 本体天面のテレビメニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する。
② 音量ボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選び、入力切換ボタンで決定する。

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへ

2 ▲▼で「個別」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「リモコン番号」を選ぶ

4 ◀▶で「5」を選ぶ

5 ▲▼で「受信チャンネル」を選ぶ

6 ◀▶で「42」を選ぶ

- これで地上波チャンネルボタン⑤に42チャンネルが設定されました。
- 続けて他のチャンネルを設定するときは、手順**3**～**6**をくり返します。

7 終了を押し、通常画面に戻す

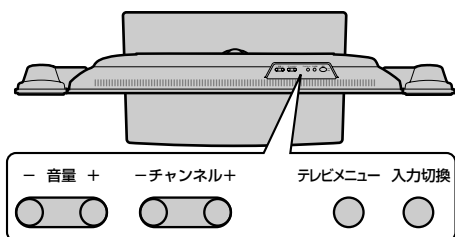
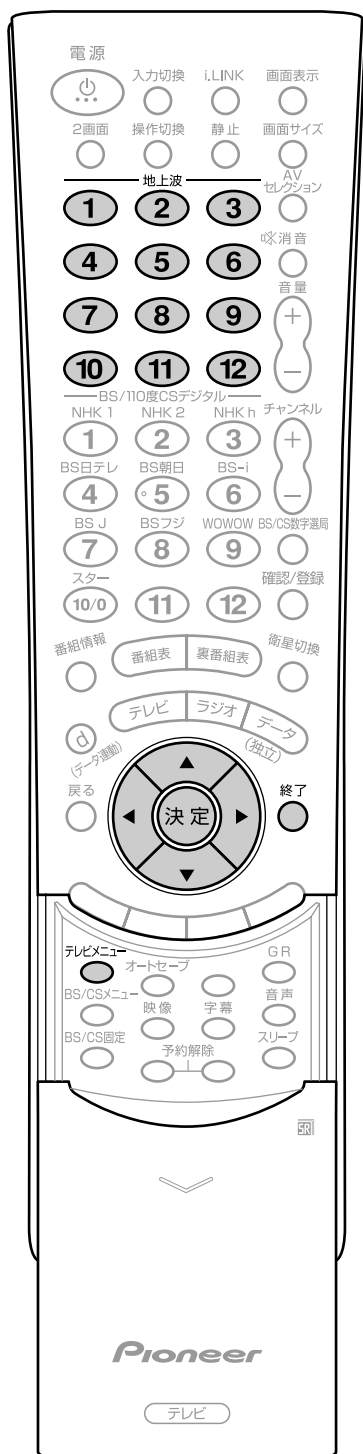
- リモコンまたは、本体天面のテレビメニューボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

おしらせ

CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C38チャンネルの範囲で選局できます。
- リモコン番号C13～C38は、受信チャンネルの設定はできません。

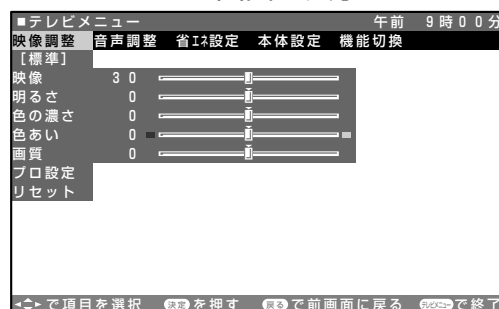
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

▼本体天面

扉を開けたところ

チャンネルスキップを設定する

■あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、チャンネルボタンで選局するときに、空きチャンネル(放送のないチャンネル)や受信状態の悪いチャンネルをとばして選局することができます。

■CATVチャンネルは、工場出荷時にチャンネルスキップ「する」の状態になっています。チャンネルスキップ「しない」(解除)にすると、本体とリモコンのチャンネルボタンで選局ができます。

[例] 地上波チャンネル「11」をスキップ設定する

1 **地上波チャンネルボタン⑪を押し、11チャンネルを選局する**

2 **① テレビメニュー を押す**

●テレビメニュー画面が表示されます。

② ◀ ▶ で「本体設定」を選び、決定を押す

③ ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

本体のボタンでチャンネル設定画面を表示するとき

① 本体天面のテレビメニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する。

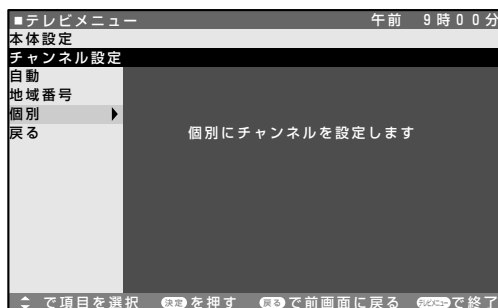
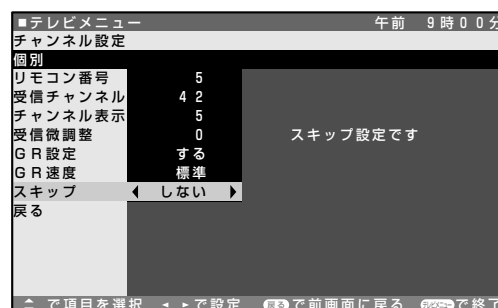
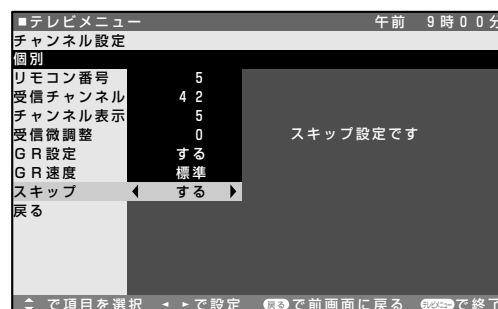
② 音量ボタンで「本体設定」を選ぶ。

③ チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選び、入力切換ボタンで決定する。

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへ

3 ▲▼で「個別」を選び、を押す

4 ▲▼で「スキップ」を選ぶ

5 ◄►で「する」を選ぶ

- チャンネルスキップを解除するときは、「しない」を選びます。

6 終了を押し、通常画面に戻す

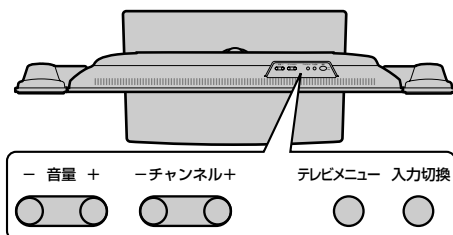
- リモコンまたは、本体天面のテレビメニューボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

CATVチャンネルについて

- 工場出荷時の状態では、ＣＡＴＶチャンネル(C13〜C38)はスキップ「する」に設定されています。
- CATV会社と受信契約し、CATV放送を視聴する場合は、必要なチャンネルのスキップ設定を「しない」にしてください。

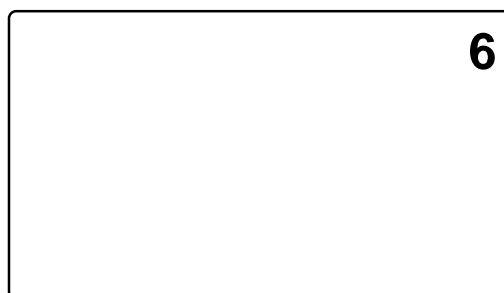
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

▼本体天面

扉を開けたところ

画面のチャンネル表示を変える

■実際の使用状況に合わせて、画面に表示されるチャンネル番号を変えることができます。

［例］地上波チャンネルボタン⑥を押したときのチャンネル表示「6」を「48」に変える

1 地上波チャンネルボタン⑥を押し、48チャンネルを選局する

2 ①テレビメニューを押す

●テレビメニュー画面が表示されます。

②◀▶で「本体設定」を選び、決定を押す

③▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

本体のボタンでチャンネル設定画面を表示するとき

① 本体天面のテレビメニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する。

② 音量ボタンで「本体設定」を選ぶ。

③ チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選び、入力切換ボタンで決定する。

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへ

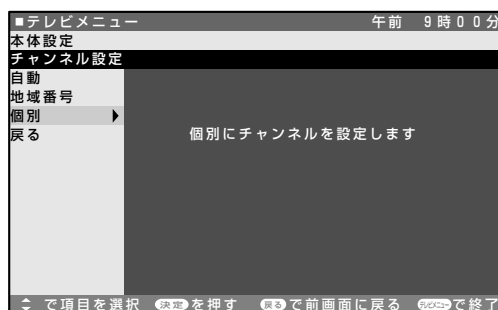
3 **▲▼で「個別」を選び、決定を押す**

4 **▲▼で「チャンネル表示」を選ぶ**

5 **◄ ►で、表示したいチャンネル番号「48」を選ぶ**

◄ 0 ← 1 ← 2 ……… 98 ← 99
C38 → C37 …… C14 → C13

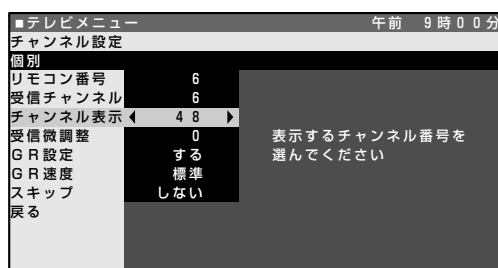
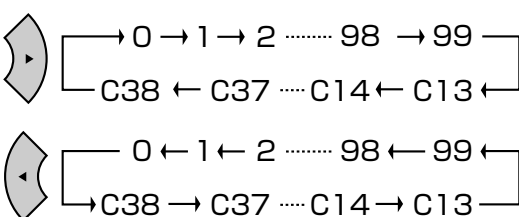
6 **① 終了を押し、通常画面に戻す**

- 本体天面のテレビメニューボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

受信状態を微調整する

■受信状態によっては、調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

[例] 地上波チャンネルボタン⑥の受信状態を微調整する

1 **40ページ手順1～41ページ手順3を行う**

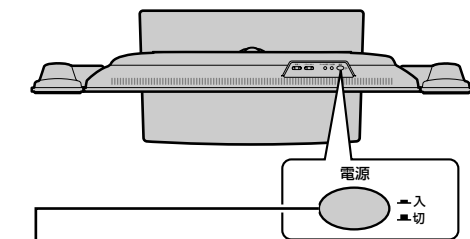
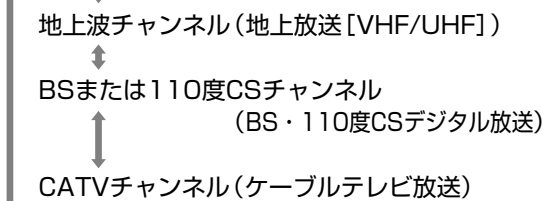
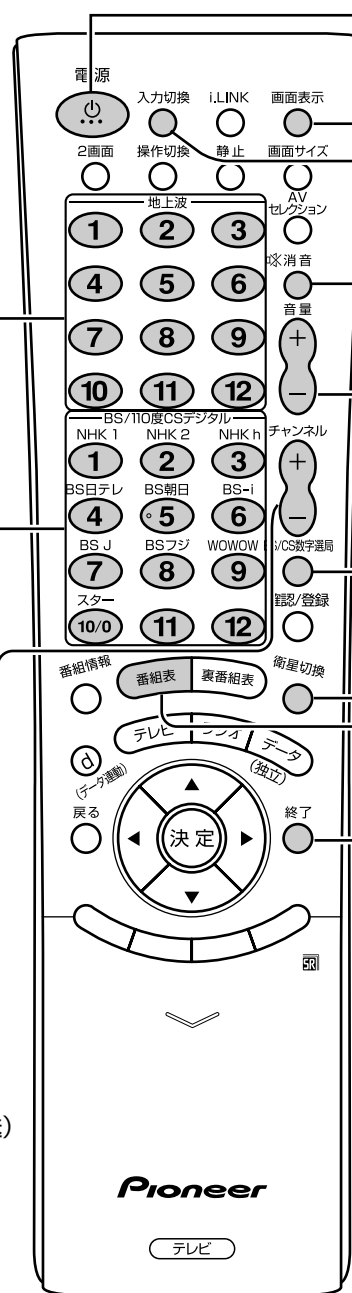
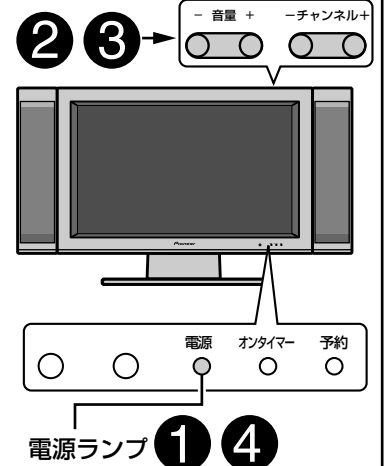
2 **▲▼で「受信微調整」を選ぶ**

3 **◄ ►で、見やすい映像に調整する**

- 背景となっている受信中の映像がもっともよく見える位置に調整してください。
- −128～0～+127の範囲で調整できます。

4 **① 終了を押し、通常画面に戻す**

- リモコンまたは、本体天面のテレビメニューボタンを押しても、通常画面に戻すことができます。

ふだんの使いかた

■電源の入／切、選局、音量調整

BS・110度CSデジタル放送の視聴のしかたについては、112～180ページをご覧ください。

おしらせ

電源プラグの接続について

● 本機は電源「切」の状態でも、放送局と通信を行います。
● 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
● 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。この場合、再度設定を行ってください。

受信チャンネルについて

● 工場出荷時は、VHF1～12チャンネルとBS／110度CSチャンネルが受信できるようにセットされています。UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、**28**ページをご覧ください。

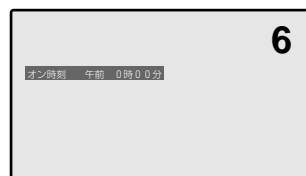
■ 画面表示、入力切換え、消音、チャンネル番号入力、ネットワーク切換え、電子番組表、終了

画面表示を切り換える

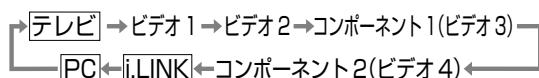
- チャンネル、オンタイマー時刻、スリープ残り時間などが表示されます。

▼画面表示

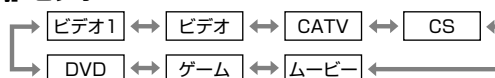
6

オン時刻　午前　0時00分

入力を切り換えるとき

- ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。（工場出荷時）

テレビ → ビデオ1 → ビデオ2 → コンポーネント1(ビデオ3) → コンポーネント2(ビデオ4) → i.LINK → PC → テレビ

ビデオ1～4の表示について

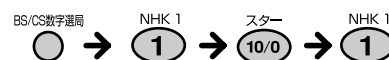
- 各ビデオ入力端子に接続した機器に合わせ、ビデオ表示を変更することができます。詳しくは**190**・**191**ページをご覧ください。

［例］ビデオ1

音を一時的に消す

- もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

BS・110度CSデジタル放送のチャンネル番号を選ぶ

［例］BSデジタル放送の101チャンネルを選ぶとき

① BSデジタル放送受信中、BS/CS数字選局ボタンを押します。
② BS／110度CSチャンネル（数字）ボタンでチャンネル番号（3桁）を入力します。

デジタル放送のネットワーク（BS／CS1／CS2）を切り換える

BS・110度CSデジタル放送の電子番組表を見る

- もう一度押すと、表示が消えます。

操作を終了する

- 2画面、静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。

おしらせ

放送が終了すると

- 約5分後に、テレビの電源が切れます。電源ランプが赤色に点灯…無信号オフ機能（**110**ページ）
- 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく動作しない場合があります。
- ビデオ入力画面のときも、無信号状態になると電源が切れます。

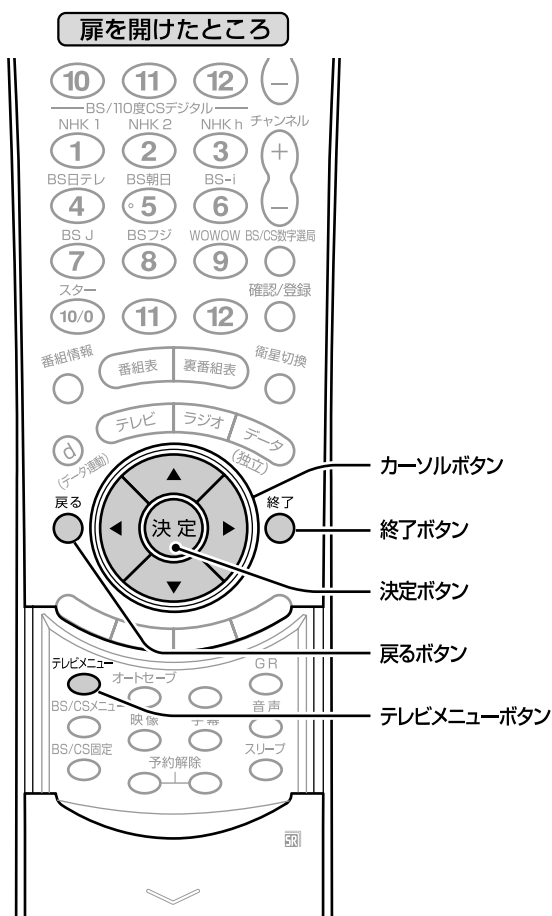
CATV（ケーブルテレビ）について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C38チャンネルの範囲で選局できます。

テレビメニュー画面について

■ 画面を見ながら、リモコン操作で映像や音声などの調整や機能の設定ができます。
ここではテレビメニューの項目を選択する方法について説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

■ BS・110度CSデジタル放送を視聴するための調整や設定(BS/CSメニュー)については、**66**ページをご覧ください。

扉を開けたところ

メニュー項目の表示色について

- いま選ばれている項目が黄色で表示されます。灰色の文字で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

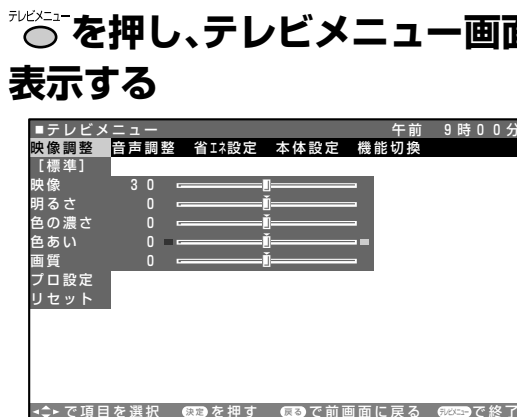
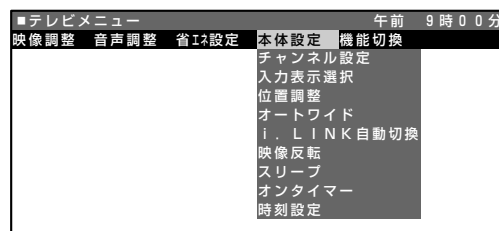
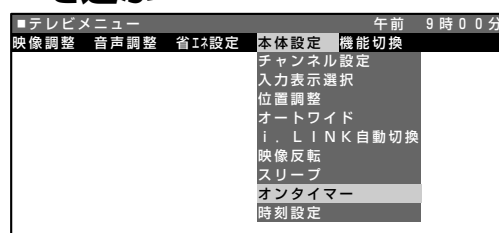
メニュー画面の表示時間について

- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。そのときは、はじめから操作しなおしてください。

- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

テレビメニューの基本操作

[例] 「本体設定」メニューの「オンタイマー」を選ぶ

1 テレビメニュー ◯ **を押し、テレビメニュー画面を表示する**

2 ① ◀ ▶ **で「本体設定」を選ぶ**

② ▲ ▼ **で「オンタイマー」を選ぶ**

3 決定 **を押す**

- つぎの画面に進みます。

操作を誤ったとき、やりなおしたいとき	戻る ◯ を押す ● 1つ前の画面に戻ります。
メニュー操作を終了するとき	テレビメニュー ◯ または 終了 ◯ を押す

■テレビメニューボタンを押したときに表示されるテレビメニュー画面は、テレビ入力とPC入力とで内容が異なります。

テレビ入力のときのテレビメニュー項目

（メニュー項目の詳細については、**226**ページの「テレビメニュー」をご覧ください。）

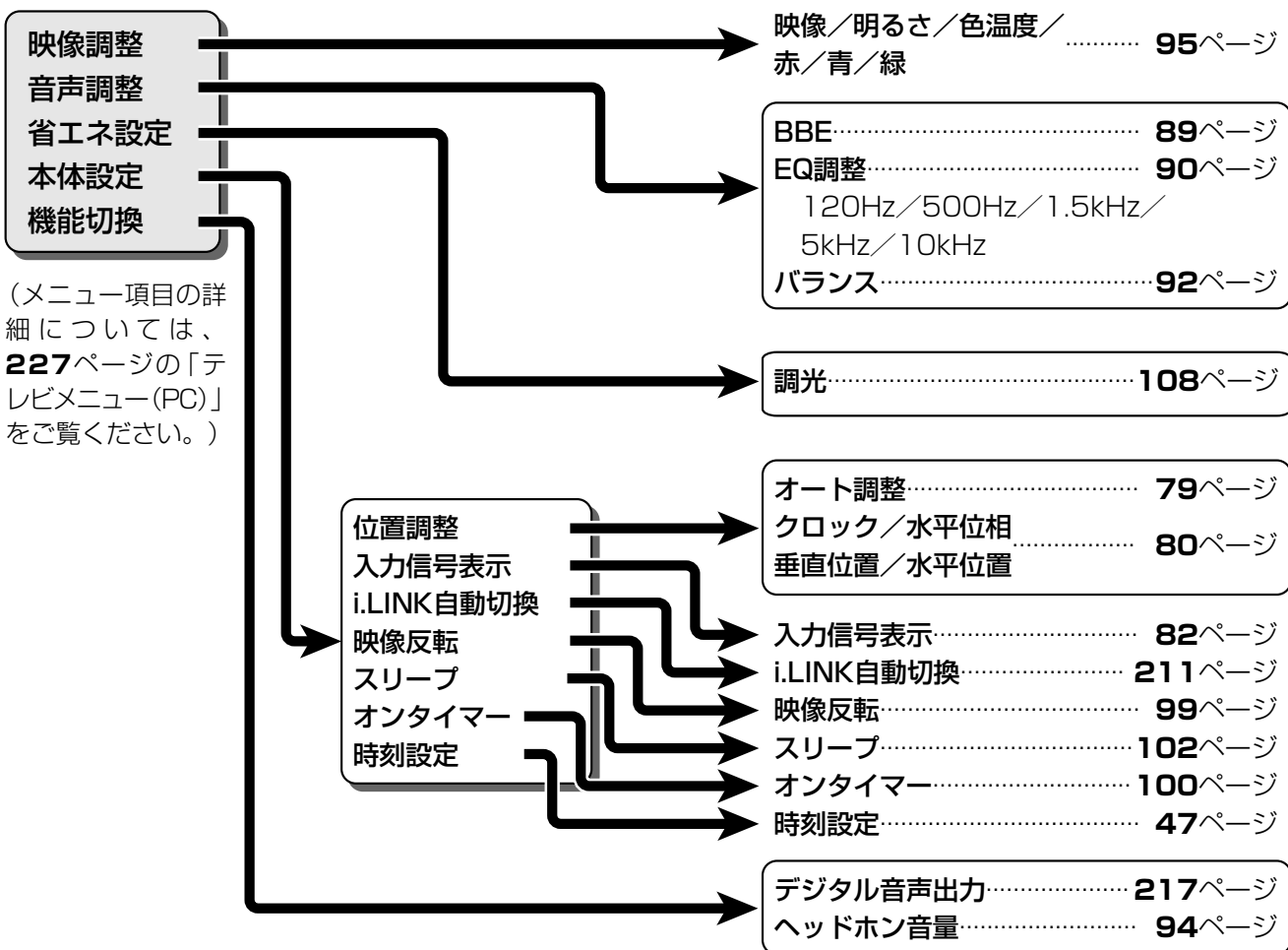
おしらせ
- 画面に灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

次ページへつづく

テレビメニュー画面について(つづき)

PC入力のときのテレビメニュー項目

- 映像調整 → 映像／明るさ／色温度／赤／青／緑 ………… **95**ページ
- 音声調整 →
  - BBE……………… **89**ページ
  - EQ調整……………… **90**ページ
    - 120Hz／500Hz／1.5kHz／5kHz／10kHz
  - バランス……………… **92**ページ
- 省エネ設定 → 調光……………… **108**ページ
- 本体設定 →
  - 位置調整 →
    - オート調整……………… **79**ページ
    - クロック／水平位相 垂直位置／水平位置……………… **80**ページ
  - 入力信号表示……………… **82**ページ
  - i.LINK自動切換……………… **211**ページ
  - 映像反転……………… **99**ページ
  - スリープ……………… **102**ページ
  - オンタイマー……………… **100**ページ
  - 時刻設定……………… **47**ページ
- 機能切換 →
  - デジタル音声出力……………… **217**ページ
  - ヘッドホン音量……………… **94**ページ

（メニュー項目の詳細については、**227**ページの「テレビメニュー（PC）」をご覧ください。）

- 画面に灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

時刻設定について

■ 本機は、メニュー画面に現在時刻を表示する時計機能や、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を備えています。これらの機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。

■ 自動時刻設定機能について

本機はBSデジタル放送から時刻情報を取得し、内蔵時計を自動設定する機能を備えています。
BSデジタル放送が受信できない状態にあるときなど、自動設定されていない場合は、下記の手順によりテレビメニュー画面で時刻設定することができます。

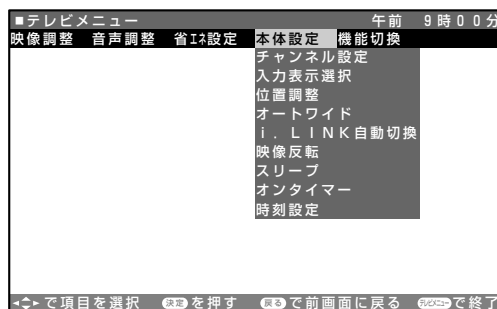
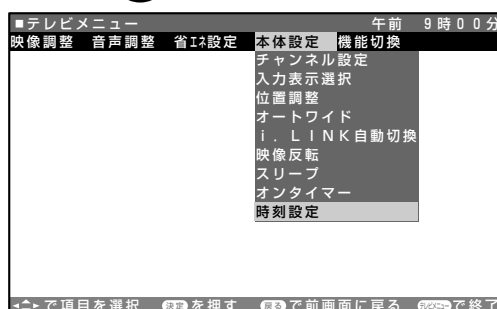
扉を開けたところ

テレビメニューで時刻を設定するとき

［例］午前10時30分に合わせる

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

2

① ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「時刻設定」を選び、決定 を押す

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選択できません。

次ページへ

次ページへつづく

時刻設定について(つづき)

扉を開けたところ

3 ▲▼で[時]を「午前10時」に合わせ、(決定)を押す

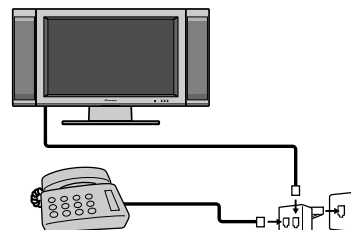
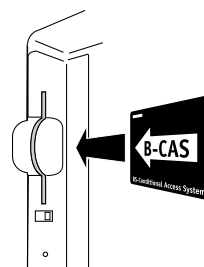
4 ▲▼で[分]を「30分」に合わせ、(決定)を押す

●電話などの時報に合わせて、決定ボタンを押してください。

5 (テレビメニュー)を押し、通常画面に戻す

●これで時刻設定が完了しました。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備

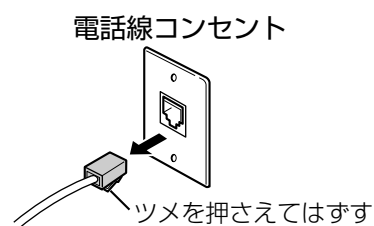
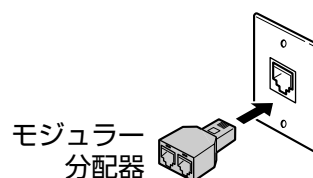
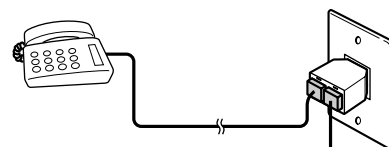
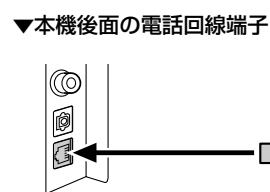
設置と初期設定の大まかな手順はつぎのとおりです。

以上で設置と準備は終わりです。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話回線に接続する(52ページも併せてご覧ください。)

■本機は、視聴記録データの自動送信など放送局との通信のため、モデムを内蔵しています。
ご使用の前に必ず電話回線に接続してください。

1 本機と電話機の電源を切る

2 電話機の接続線(モジュラー線)を電話線コンセントから外す

3 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む

4 電話機の接続線(モジュラー線)をモジュラー分配器の一方に差し込む

5 付属の電話線でモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子を接続する

接続上のご注意

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

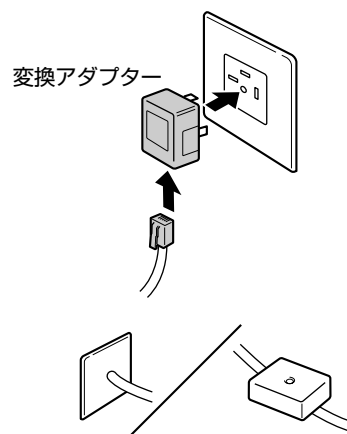
■電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

● **3ピンプラグの場合**

市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。

● **直結配線方式の場合**

簡単な工事が必要です。

詳細はお近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

■構内電話(ビジネスホン／ホームテレホン)では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。

詳細は電話設置会社にご相談ください。

■キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。

詳細はNTT営業窓口へお問い合わせください。

■視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。

視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音(ピーヒョロヒョロ....)が聞こえます。その間は電話をしないでください。

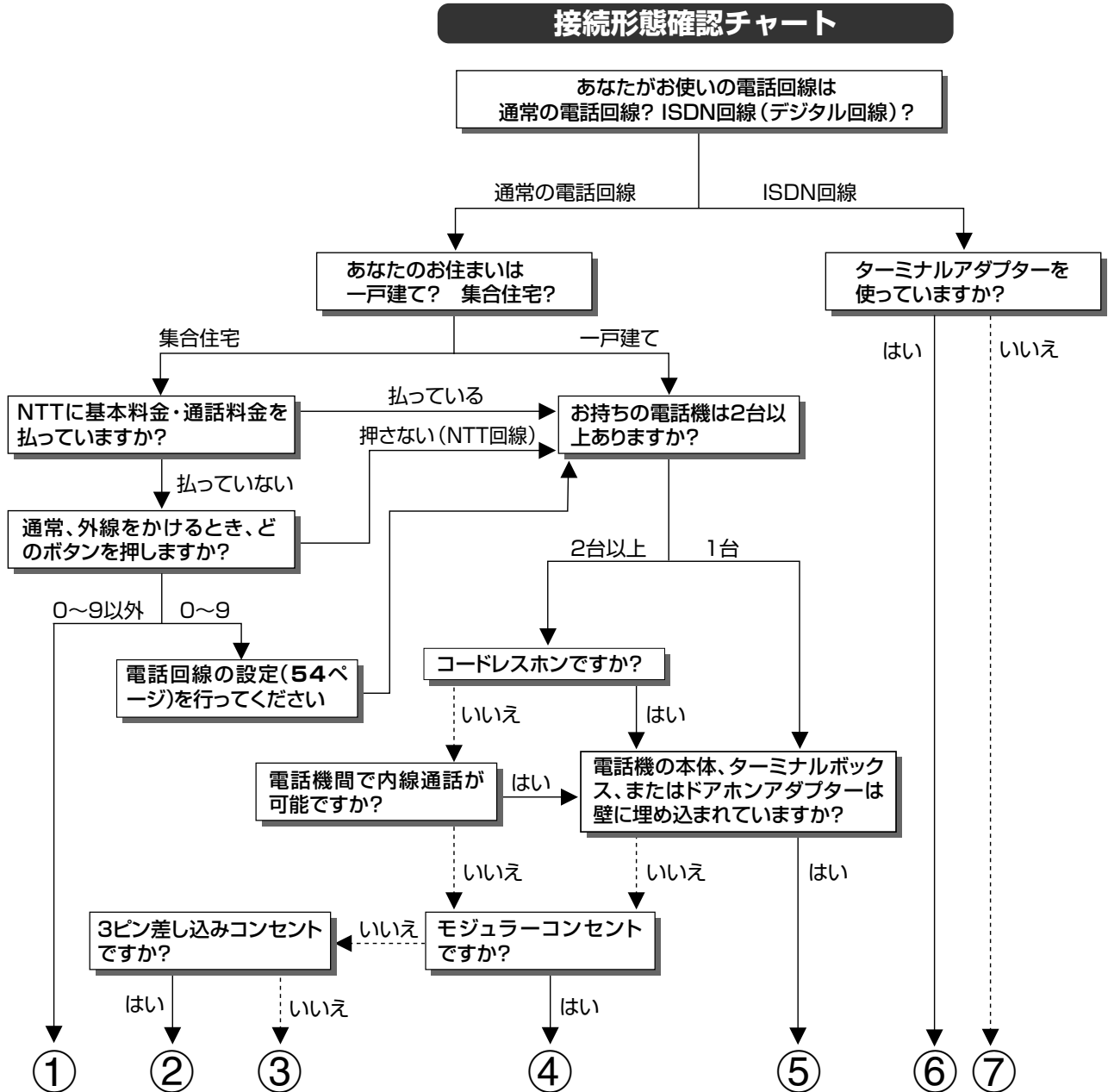
■直接デジタル回線に接続することはできません。

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線(アナログ)であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター(TA)等の端末器を介して接続してください。

● **本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが異常ではありません。**

次ページへつづく

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

下のチャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細はNTTへお問い合わせください。

①マンション交換機(PBX)を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
②市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。(**50**ページ参照)
⑤専門業者による分岐工事が必要です。
⑥本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

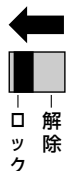
※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください

■BSデジタル放送、110度CSデジタル放送では、B-CASカードを利用した限定受信システム(=CAS)を採用しています。
付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
■B-CASカードは、必ず登録してください。(登録は無料です。)
■プラットワン、スカイパーフェクTV!2、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

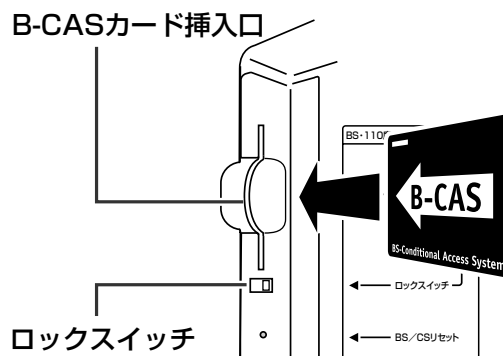
B-CASカードを入れる

B-CAS カードの入れかた

本機に付属のB-CASカードは、本機を電源コンセントに接続していない状態で、つぎの手順にしたがって挿入してください。

① B-CASカードを表面の矢印の方向に差し込む。(奥まで確実に挿入してください。)
② ロックスイッチを左にスライドさせ、「ロック」位置に合わせる。

カード挿入後、必ずロックしてください。
ロックしないとB-CASカードは働きません。

③ 端子カバーを閉める。

▼本機後面の右側端子カバーを外したところ

B-CASカードについて
- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CASカードを入れていないとBSデジタル放送の有料番組や110度CSデジタル放送がご覧になれません。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります。(2002年11月現在)
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
(カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています。)

取扱い上のご注意
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部(集積回路)には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは上記の手順どおり、本機後面の右側端子カバー内のB-CASカード挿入口に正しく差し込んでください。
- B-CASカード挿入口には、本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CASカードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ロックスイッチを右にスライドさせてロックを解除した後、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

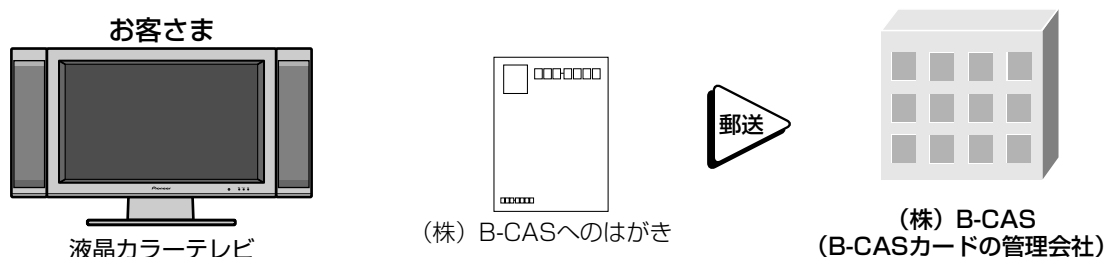
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

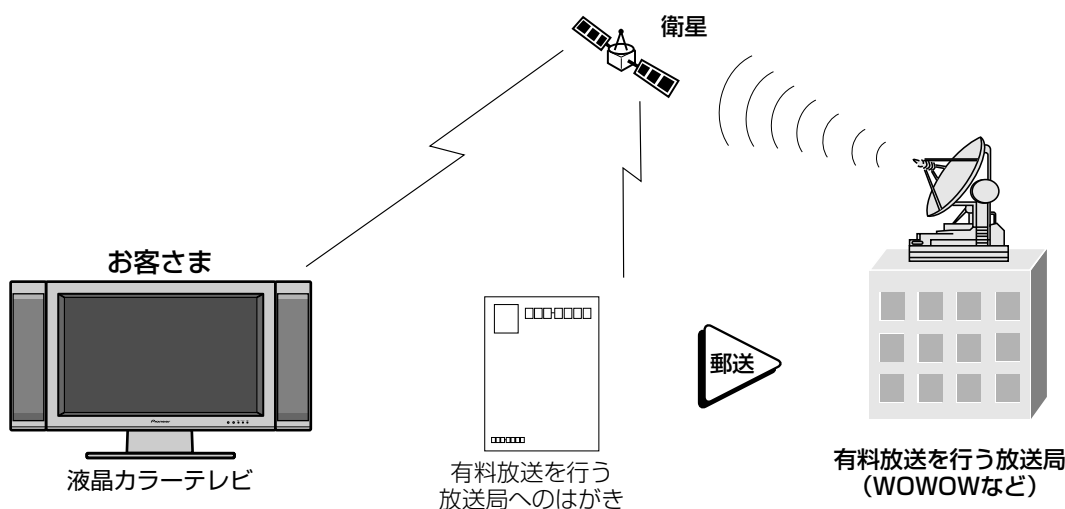
①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

おしらせ

● 本機は、契約データの受信のために、電源「切」(待機状態=電源ランプ赤色点灯)のときでも動作することがあります。

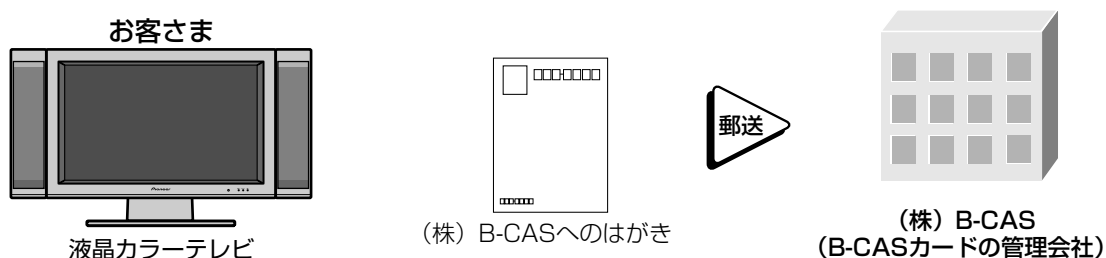
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き

■110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

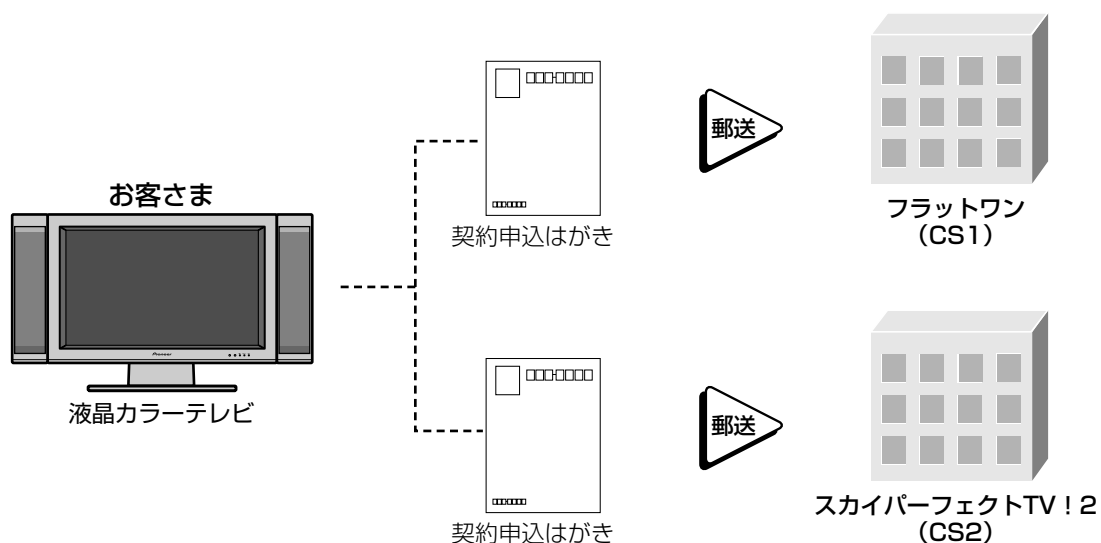
((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

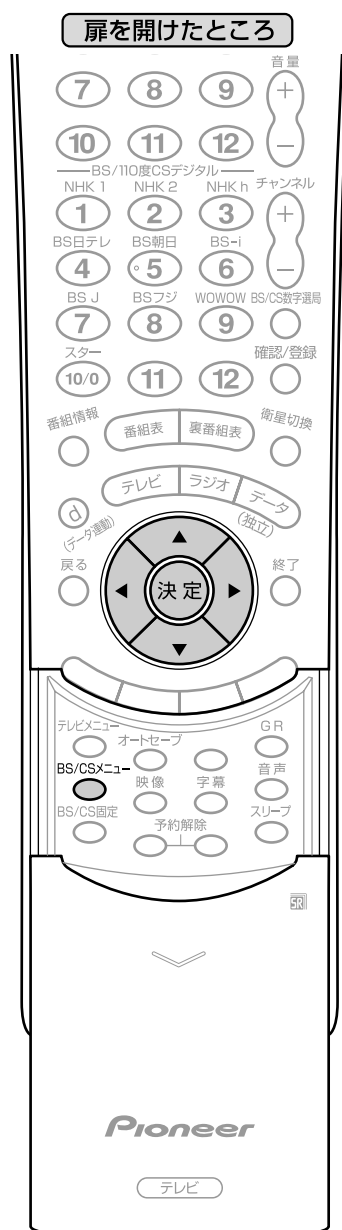
詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したいプラットフォーム(運営会社)に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です(一部、無料放送もあります)。視聴するためには、各プラットフォーム(CS1·····プラットワン、CS2·····スカイパーフェクTV！2)※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、プラットワン、スカイパーフェクTV！2のカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

電話回線を設定する（通信設定）

おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約１分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

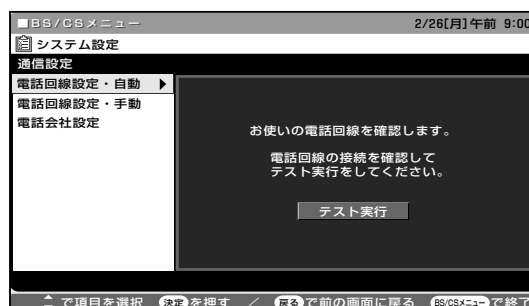
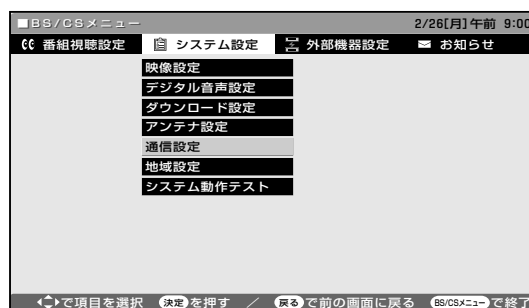
1 電話回線が接続されていることを確認する（50ページ参照）

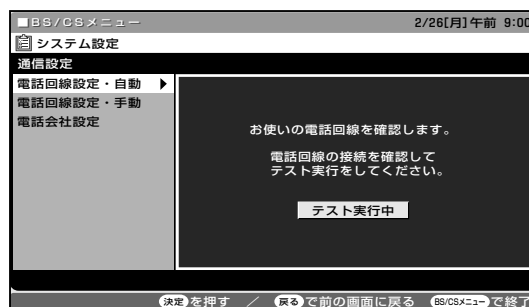
2

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

3

① 「電話回線設定・自動」で決定を押す

② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。（57ページ参照）

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

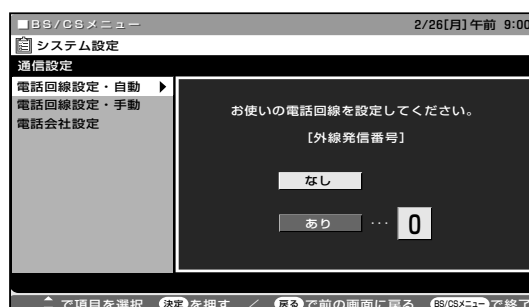
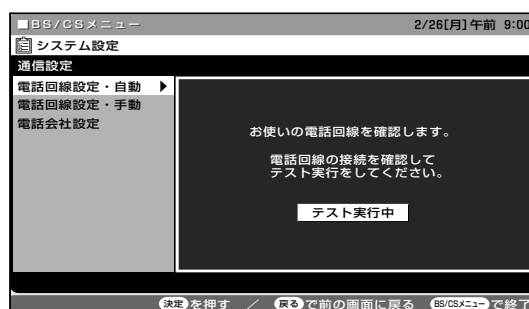
扉を開けたところ

外線発信番号の設定

1 ▲ ▼ で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

●「あり」を選んだ場合は、BS／110度CSチャンネルボタン（1〜10/0）で外線発信番号（0〜9）を右のボックスに入力してから決定ボタンを押します。

2 「テスト実行」で決定を押す

●「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
●電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、58ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

扉を開けたところ

手動による電話回線設定

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定を押す

2

▲ ▼ で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す

3

① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で決定を押す

次ページへ

扉を開けたところ

4 **ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す**

●契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

5 **① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ**

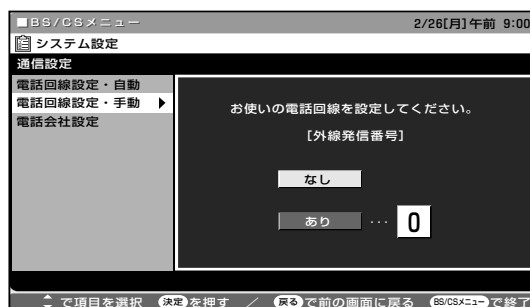
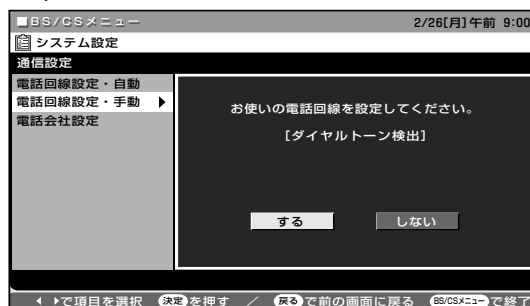
●「あり」を選んだ場合は、BS/110度CSチャンネルボタン(1~10/0)で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

6 **ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す**

7 **BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す**

ご注意

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

電話会社設定

■放送局やプラットフォームなど、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

■**通常は設定する必要はありません。**

扉を開けたところ

おしらせ

メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

発信者番号通知設定

●通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

1 BS/CSメニュー **を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

2 **① ◀▶で「システム設定」を選ぶ**

② ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

3 **▼で「電話会社設定」を選び、決定を押す**

次ページへ

扉を開けたところ

4

① 「現在の設定」を確認する
② 「次へ」で（決定）を押す

5

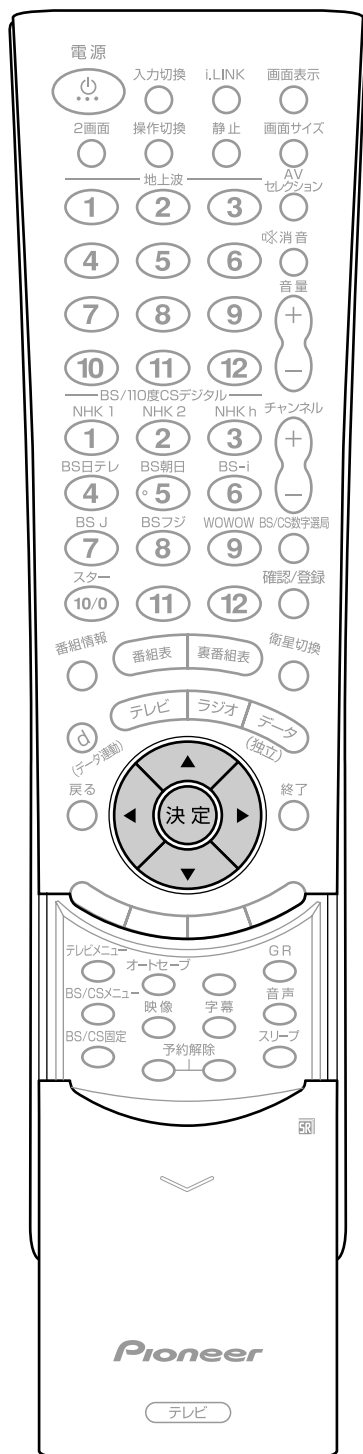
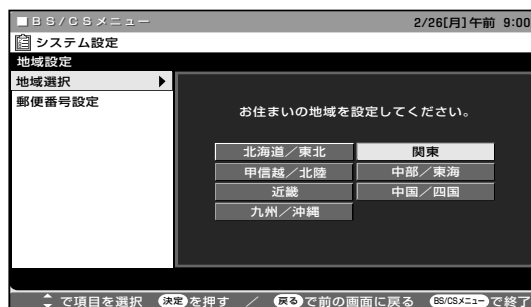
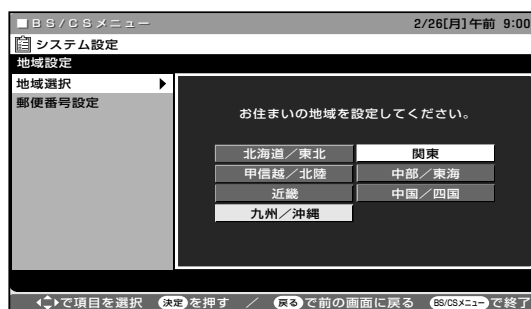
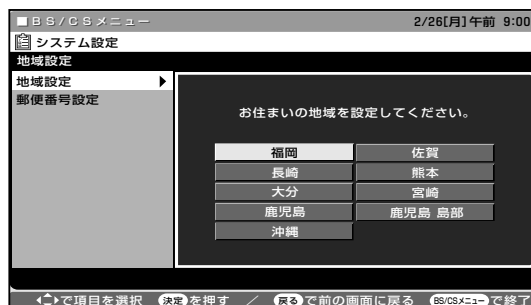
（▲）（▼）で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、（決定）を押す

「設定しない」…… 「186」「184」のどちらにも設定しない
「186」……………… 番号を通知する
「184」……………… 番号を通知しない

次ページへ

次ページへつづく

BS・110度CSデジタル放送を視聴するための準備(つづき)

扉を開けたところ

事業者番号設定

- 電話回線による通信に利用する電話会社の識別番号を登録します。

6 **で、利用している電話会社の識別番号を選び、決定を押す**

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

7 **で「する」または「しない」を選び、** **を押す**

「する」………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」……. マイラインプラスを解除しないで発信します。

8 BS/CSメニュー **を押し、通常画面に戻す**

地域と郵便番号を設定する

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ

地域選択

1 BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

2 ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

3 ▲ ▼で「地域設定」を選び、決定を押す

次ページへ

おしらせ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへつづく

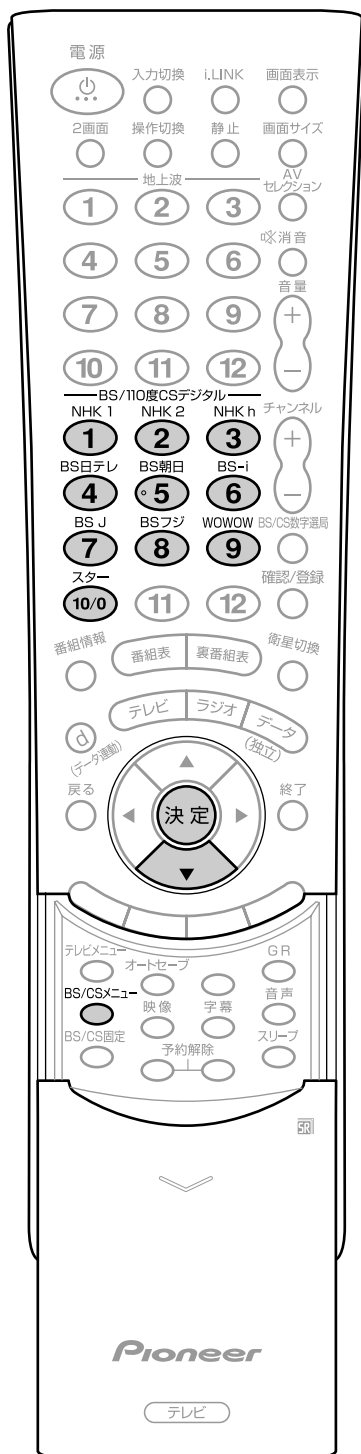
扉を開けたところ

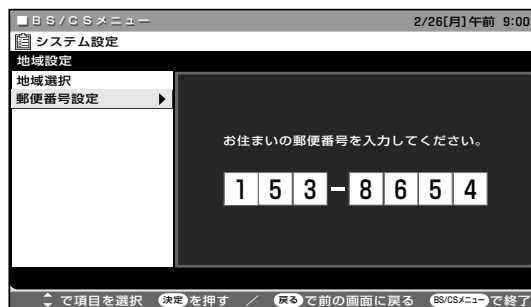
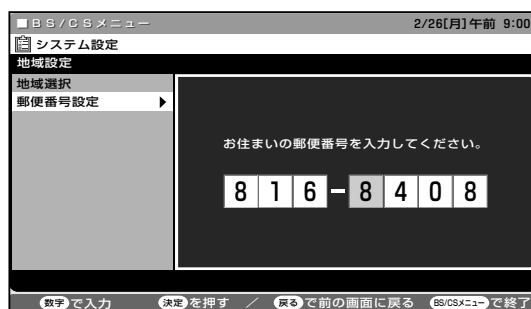
4 で「地域選択」を選び、決定を押す

5 お住まいの地域を▲▼◀▶で選び、決定を押す

6 お住まいの都道府県を▲▼◀▶で選び、決定を押す

次ページへ

扉を開けたところ

郵便番号設定

7 で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

8 BS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で郵便番号を入力し、決定を押す

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BS／110度CSチャンネルボタンで入力しなおします。

9 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

BS/CSメニュー画面について

本機は、暗証番号の設定や予約録画の設定など、各種設定および設定内容の変更・確認、また受信した各種データの表示などをBS/CSメニューを使って行います。
操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

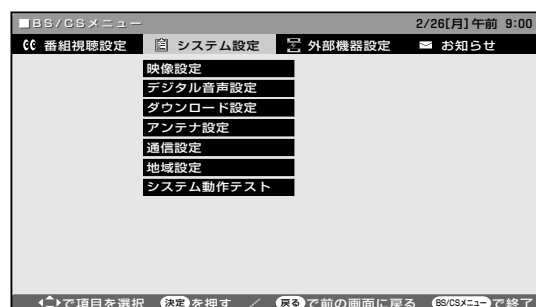
基本操作

BS/CSメニューを表示する／終了する ..... BS/CSメニュー　　カーソルで選ぶ ...... ▲▼◀▶

前に戻る .... 戻る　　決定する .... 決定

メニューの構成

番組視聴設定

BS／CS固定設定 197ページ
字幕表示設定 150ページ
チャンネル表示設定 146ページ
チャンネルスキップ設定.......... 147ページ
画面表示設定 149ページ
暗証番号設定 151ページ
視聴年齢制限設定 154ページ
PPV設定 155ページ

システム設定

映像設定 143ページ
デジタル音声設定 216ページ
ダウンロード設定 158ページ
アンテナ設定 161ページ
通信設定 164ページ
地域設定 171ページ
システム動作テスト 180ページ

外部機器設定

i. LINK設定 204ページ
ビデオ連動録画設定 199ページ

お知らせ

受信メッセージ一覧 174ページ
ボード 175ページ
受信機レポート...................... 177ページ
ICカード番号表示.................. 178ページ
PPV購入履歴 179ページ

設定画面の表示

白で表示されている項目…………現在選択されている項目です。
黄色で表示されている項目………現在カーソルがある項目です。

テレビを楽しむ

テレビ入力のワイド画面設定

■放送やソフトの内容によって、画面サイズが自動的に切り換わるようにしたり、手動で画面サイズを切り換えることができます。

■ワイド機能の画面サイズには、つぎの5つのモードがあります。

4：3モード
- 通常のテレビ画面(横縦比4：3)の映像です。

ワイドモード
- 通常の放送(4：3)を画面いっぱい(16：9)に映します。

ズームモード
- 横長サイズの映画ソフトなどを画面いっぱい(16：9)に映します。

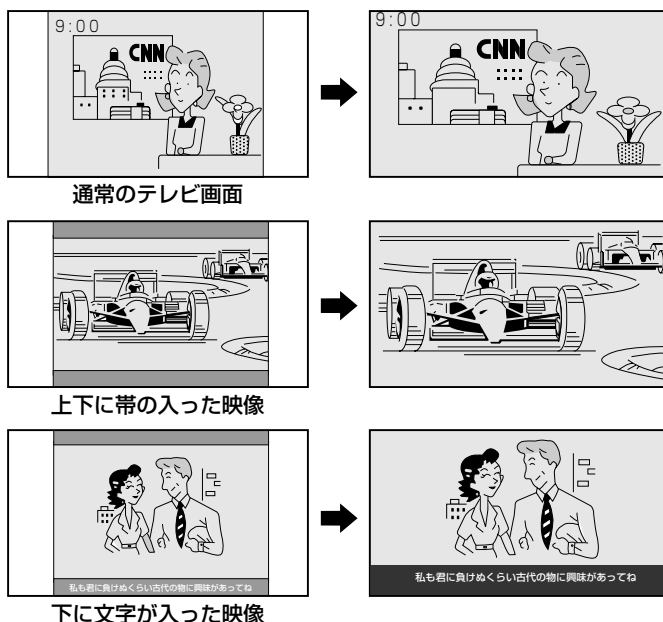
フルモード
- 16：9から4：3に圧縮された映像(フル映像ソフト)を、もとの16：9に戻して画面いっぱいに映します。フルモードはメニューでフル1、フル2の設定ができます。(**71**ページ参照)

オートモード(4：3、またはワイド)
- 映像の内容に応じて自動的に最適な画面サイズに切り換えます。
  オートモードで通常の放送(4：3)を受信した場合の映像をそのまま4：3で映すか、画面いっぱいに広げて映すかをメニューで設定することができます。(**70**ページ参照)

▼ オートモードのときの画面表示例

通常のテレビ画面

上下に帯の入った映像

下に文字が入った映像

ワイドクリアビジョン放送や画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

- 本機は、ワイドクリアビジョン放送、S2映像入力信号、D4映像入力信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。

「EDTVII対応」…………ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適なサイズで表示するように設定することができます。(**74**ページ)

「S2対応」…………………S2入力端子から入力された映像信号に画面サイズの制御信号が含まれているとき、自動的に最適なサイズで表示するように設定することができます。(**75**ページ)

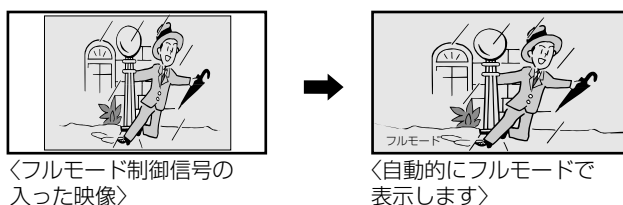
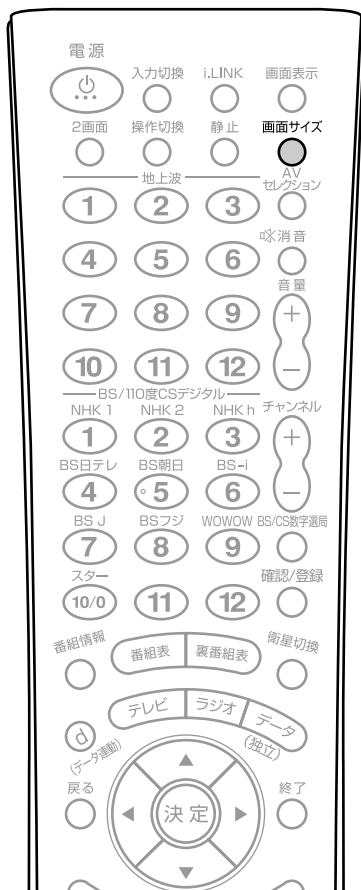
「D4識別対応」…………画面サイズの判定にD4映像入力端子の識別信号を利用するか、映像信号で判別するかを選択することができます。(**76・77**ページ)

フルモード制御信号・レターボックス制御信号とは

- 横縦比16：9の映像であることを示す信号です。

フルモード：オリジナルの映像が16：9のもの。

〈フルモード制御信号の入った映像〉

〈自動的にフルモードで表示します〉

レターボックス：4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

〈レターボックス制御信号の入った映像〉

〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

画面サイズを設定する

1 画面サイズ ◯ を押す

●画面サイズモードが表示されます。

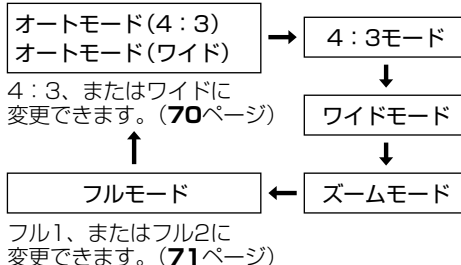
画面サイズモード表示

2 画面サイズモード表示中に 画面サイズ ◯ を押し、お好みの画面サイズ(モード)を選ぶ

●ボタンを押すたびに、つぎのように画面サイズ(モード)が切り換わります。

オートモード(4：3)
オートモード(ワイド)
→ 4：3モード
↓ ワイドモード
↓ ズームモード
← フルモード
↑ オートモード

4：3、またはワイドに変更できます。(**70**ページ)

フル1、またはフル2に変更できます。(**71**ページ)

- オートモードでご使用中、画面が大きくなったり小さくなったりすることがありますが、これはオートモード機能が、受信した映像に応じて最適な画面サイズへ自動切換えをしているために起こる現象で、故障ではありません。気になる場合は、画面サイズボタンでお好みの画面サイズに切り換えてください。
  ご覧になる映像によっては、切り換わる時間に差があります。
- 映像のサイズ(シネマスコープサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。
- ビデオ機器で特殊再生(ビデオサーチやスロー再生など)をしている間は、オートモード機能が働かなくなることがあります。
- 市販ソフトによっては、字幕など一部欠けることがあります。このようなときは、画面サイズボタンで最適なサイズに切り換え、位置調整で垂直位置を調整してご覧ください。
- 本機は各種の画面サイズ切換え機能を備えています。テレビ番組等、オリジナル映像と比率の異なる画面サイズを選択されますと、オリジナルの映像とは違って見えます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない通常(4：3)の映像を、ワイド機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像の端部分が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4：3モードでご覧になれます。
- 受信内容やソフトによってはオートモード機能が正しく動作しないことがあります。この場合は、画面サイズボタンでお好みの画面サイズに手動で切り換えてください。

テレビ入力のワイド画面設定(つづき)

■ 画面サイズをオートモードに設定したとき、通常の4：3映像をそのまま4：3で表示するか、画面いっぱいに広げて表示するかを選択できます。 メニュー項目 オートワイド

オートワイドの設定

「4：3」…… 4：3映像をそのまま映します。
「ワイド」…… 4：3映像を画面いっぱいに拡大して映します。

オートモードで4：3映像をそのまま見る

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

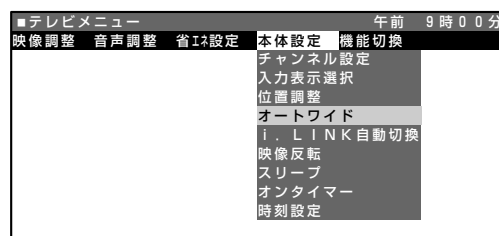
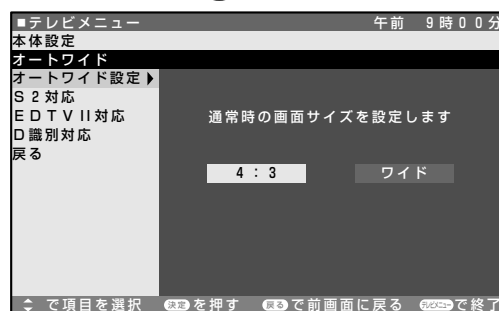
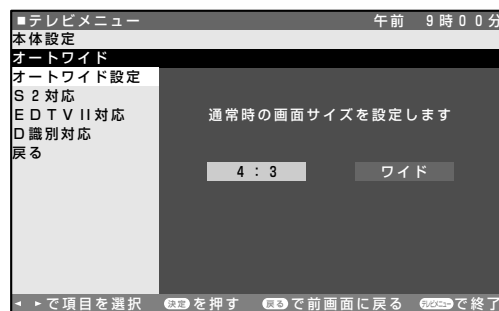
③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す

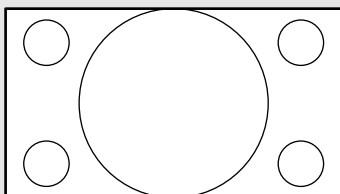
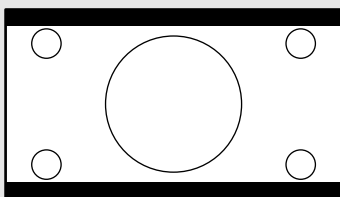
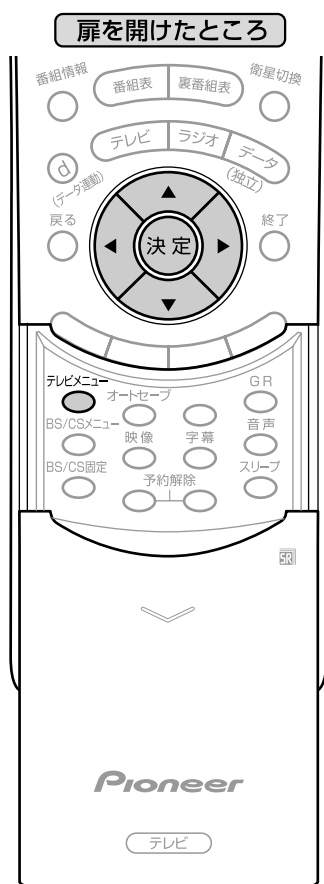
2

▲ ▼ で「オートワイド設定」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「4:3」を選び、決定 を押す

4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

■画面サイズをフルモードに設定したときは、「フル1」か「フル2」を選択することができます。 メニュー項目 フル設定

フル1：画面いっぱいに映します。

フル2：映像全体を映します。
画面の上下に黒い帯が入ります。

フルモードの表示サイズを設定する

［例］フルモード画面を「フル2」に設定する

1

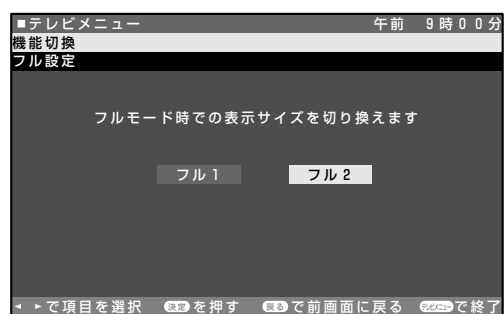
① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「フル設定」を選び、決定を押す

2

◀ ▶ で「フル2」を選び、決定を押す

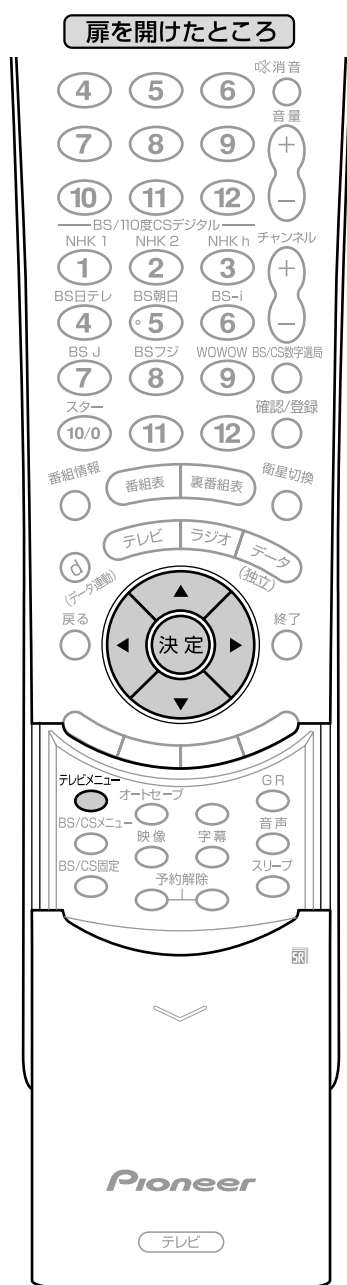
3

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

テレビ入力のワイド画面設定(つづき)

■画面サイズが「ワイドモード」または「ズームモード」のとき、画面位置を調整することができます。 メニュー項目 位置調整

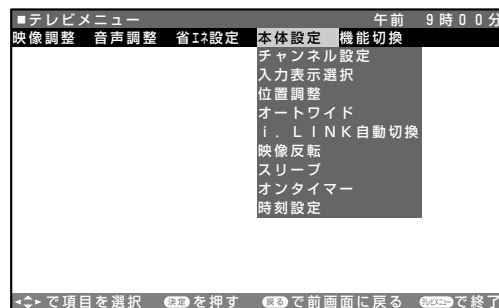
垂直位置：画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

水平位置：画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

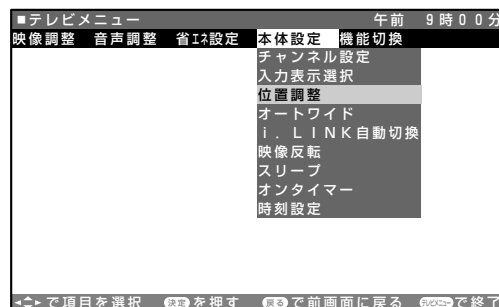
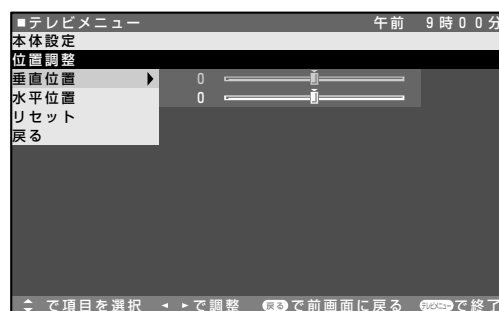
扉を開けたところ

画面の位置を調整する

[例] ズームモードの垂直位置を調整する

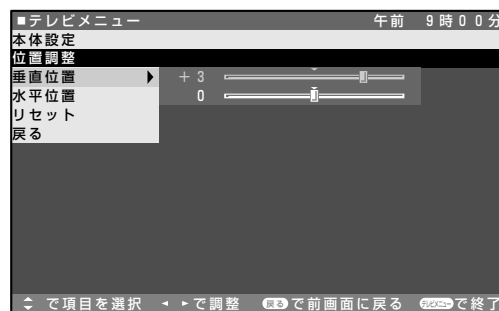
1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定を押す

次ページへ

扉を開けたところ

4

で「垂直位置」を選ぶ

5

で垂直位置を調整する

- －10〜0〜＋10の範囲で調整できます。

6

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

水平位置を調整するには

- 手順**4**のとき「水平位置」を選び、お好みの位置に調整してください。

標準位置（工場出荷時の状態）に戻すには

- 手順**4**のとき「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。
  垂直位置、水平位置ともに「0」に戻ります。

つぎの場合、位置調整はできません

- 4：3モード、フルモード、オートモードのとき。
- ビデオ3入力またはビデオ4入力のD4映像端子に入力されたハイビジョン映像を見ているとき。

画面サイズの自動最適化機能

ワイドクリアビジョン放送、S2映像入力信号、D4映像入力信号に含まれる画面サイズ制御信号をそれぞれ識別して、最適なサイズにする機能を備えています。 メニュー項目 オートワイド

扉を開けたところ

EDTVII対応の設定

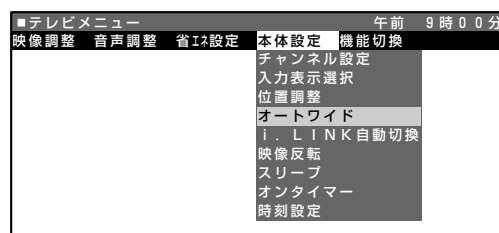
■EDTVII対応を「する」に設定すると、オートモードでワイドクリアビジョン放送を受信したときに、自動的に画面いっぱいに表示します。

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「EDTVII対応」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

次ページへ

4 **を押し、通常画面に戻す**

S2対応の設定

■S2対応を「する」に設定すると、S2映像入力端子からの入力に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適な画面サイズに切り換えます。
この機能は、画面サイズ設定を「オートモード」にしているときに動作します。

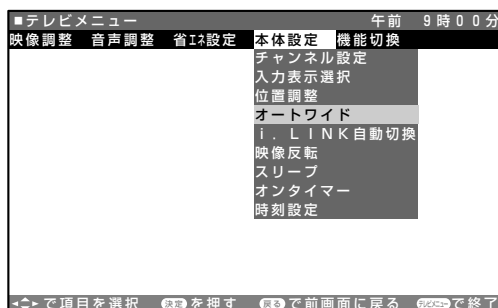
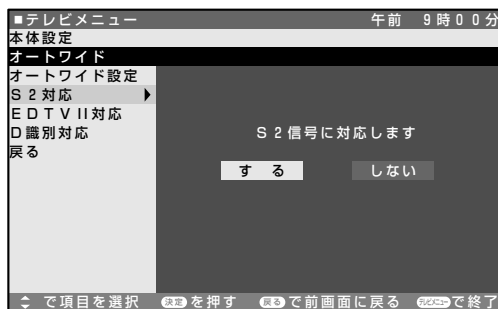
1

① **を押し、テレビメニュー画面を表示する**

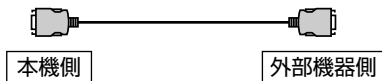
② **で「本体設定」を選ぶ**

③ **で「オートワイド」を選び、決定を押す**

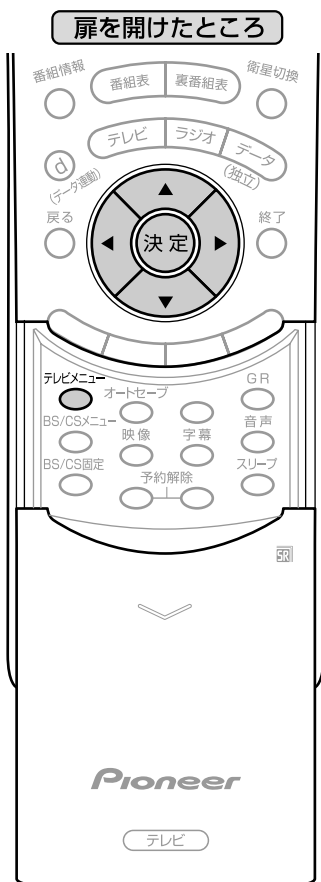
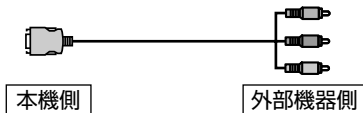
2 **で「S2対応」を選び、決定を押す**

3 **で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

4 **を押し、通常画面に戻す**

画面サイズの自動最適化機能(つづき)

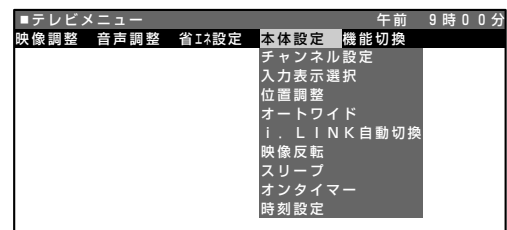
■ D4映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

「端子」：外部機器との接続に使うケーブルがD端子接続ケーブルのときは、「端子」に設定します。

「信号」：外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「信号」に設定します。

扉を開けたところ

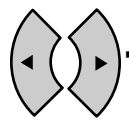
おしらせ
● D端子接続ケーブルやD-コンポーネント変換ケーブルは市販のものをご使用ください。

D識別対応の設定

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「D識別対応」を選び、決定 を押す

次ページへ

扉を開けたところ

5 ◀ ▶で「信号」または「端子」を選び、決定を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

PC入力のワイド画面設定

■PC（コンピューター）入力のとき、表示内容に応じて、おもに表示位置や映り具合を最適な状態にするための調整です。

■PC入力のワイド画面設定には、つぎの3つの項目があります。

画面サイズの設定……… **78**ページ
位置調整 ……………………… **79～81**ページ
入力信号表示 ……………… **82**ページ

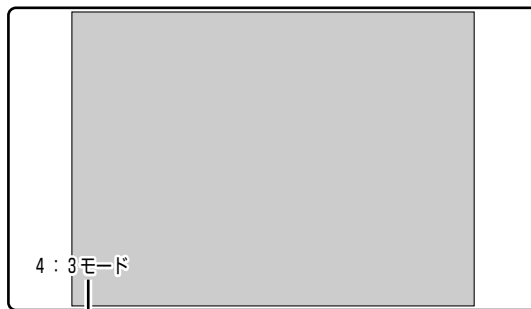
扉を開けたところ

画面サイズを設定する

■PC入力の画面サイズには、「4：3」「フル」「Dot by Dot」の3つのモードがあります。

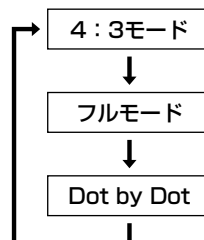
1 (入力切換) を押し、PC画面を表示する

2 (画面サイズ) を押す

●画面サイズモードが表示されます。

画面サイズモード表示

3 画面サイズモード表示中に (画面サイズ) を押し、最適な画面サイズ（モード）を選ぶ

フルモード

●ボタンを押すたびに、つぎのように画面サイズ（モード）が切り換わります。

おしらせ

● W-XGA（1280×768）／60Hz入力の場合は、4：3画面表示は行いません。

Dot by Dotとは

● 接続したPC（コンピューター）の入力信号の解像度を判別し、これに一致した画素数で表示する機能です。

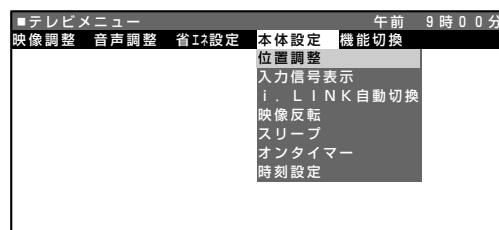
■画面の表示位置や映り具合を自動的に最適な状態に調整することができます。

メニュー項目 位置調整

画面位置を自動調整する（オート調整）

1 入力切換 を押し、PC画面を表示する

2 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ ▲ ▼ で「本体設定」メニューの「位置調整」を選び、決定 を押す

3 ① ▲ ▼ で「オート調整」を選び、決定 を押す

② ◀ ▶ で「実行」を選び、決定 を押す

●「調整中」と表示されます。完了すると「実行」が「ーー」になります。

4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

PC入力のワイド画面設定(つづき)

■PC画面の表示内容に合わせ、手動で画面調整することができます。

メニュー項目 位置調整

手動調整できる項目はつぎの4つです。

クロック：縦じま状のチラツキがあるときに調整します。

水平位相：文字などを表示したとき、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

垂直位置：映像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

水平位置：画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

扉を開けたところ

映り具合や画面位置を手動で調整する

［例］水平位相を調整する

1 入力切換 を押し、PC画面を表示する

2 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

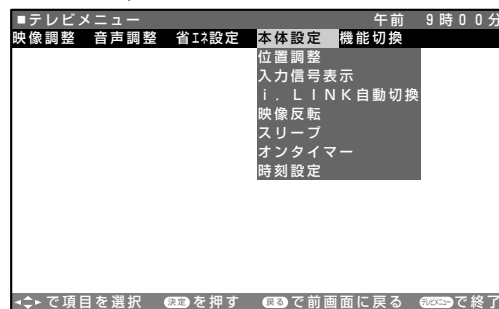
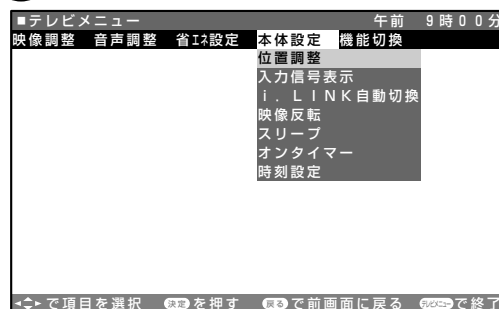
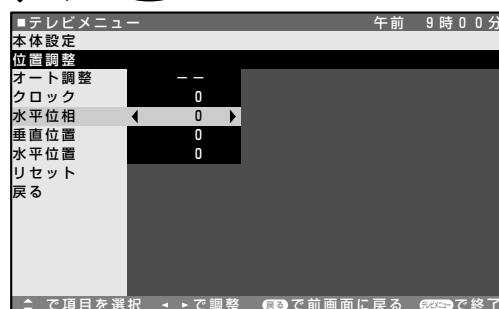
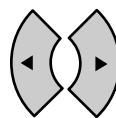
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「水平位相」を選ぶ

■テレビメニュー　午前　9時00分
本体設定
位置調整
オート調整　－－
クロック　0
水平位相　◀ 0 ▶
垂直位置　0
水平位置　0
リセット
戻る
で項目を選択　◀ ▶で調整　戻るで前画面に戻る　テレビメニューで終了

次ページへ

扉を開けたところ

5 で水平位相を最適な状態に調整する

●各項目の調整範囲

クロック	−32〜0〜+32
水平位相	−32〜0〜+32
垂直位置	−32〜0〜+32
水平位置	−64〜0〜+64

6 決定を押す

●続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を上下カーソルボタンで選び、同じ要領で調整してください。

7 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

画面を標準(工場出荷時)の状態に戻すには

● 手順**4**のとき「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。
「クロック」「水平位相」「垂直位置」「水平位置」の4項目すべてが「0」に戻ります。

PC入力のワイド画面設定(つづき)

■本機に接続したコンピューターの入力信号の内容を画面表示して、確認することができます。メニュー項目 入力信号表示

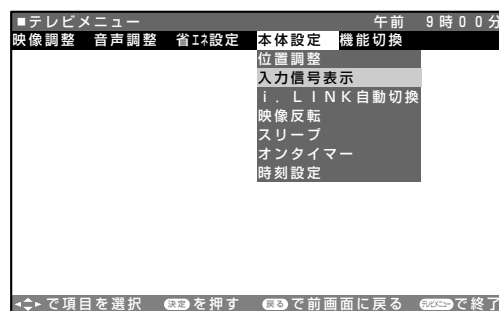
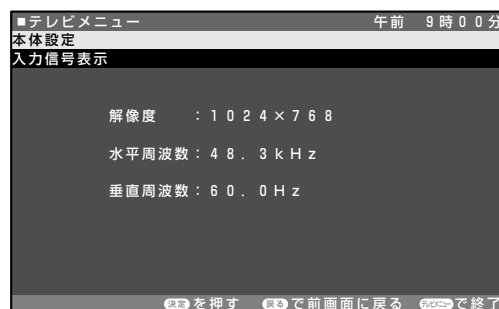
扉を開けたところ

PC入力信号を表示する

1 入力切換 を押し、PC画面を表示する

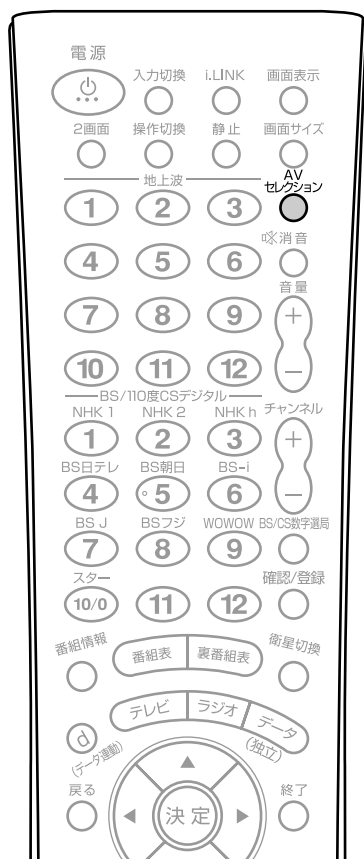
2 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲▼ で「入力信号表示」を選び、決定 を押す

3 入力信号表示内容を確認する

4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

テレビ入力の映像・音声を調整する

■部屋の明るさや番組・再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整(AVセレクション)に設定してご覧いただけます。

AV[標準(固定)]：画質・音質の設定がすべて標準値になります。映像・音声を調整することはできません。
AV[標準]：画質・音質の設定がすべて標準値になります。映像・音声をお好みに調整することができます。
AV[ダイナミック]：くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組を迫力にあふれたものにします。
AV[映画]：コントラスト感を抑え、暗い映像を見やすくします。

最適な映像・音声設定を選ぶ（AVセレクション）

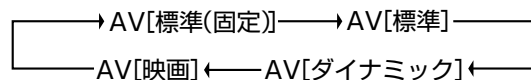
1 **AVセレクションを押す**

●画面左下に現在のAVセレクションが表示されます。

AVセレクション表示

2 **AVセレクション表示が出ている間にAVセレクションを押し、お好みの設定を選ぶ**

●ボタンを押すたびに、AVセレクションがつぎのように切り換わります。

→AV[標準(固定)]→AV[標準]→AV[ダイナミック]→AV[映画]→

おしらせ

●AVセレクションを「AV[標準(固定)]」に設定しているときは、映像調整、音声調整ができません。

テレビ入力の映像・音声を調整する(つづき)

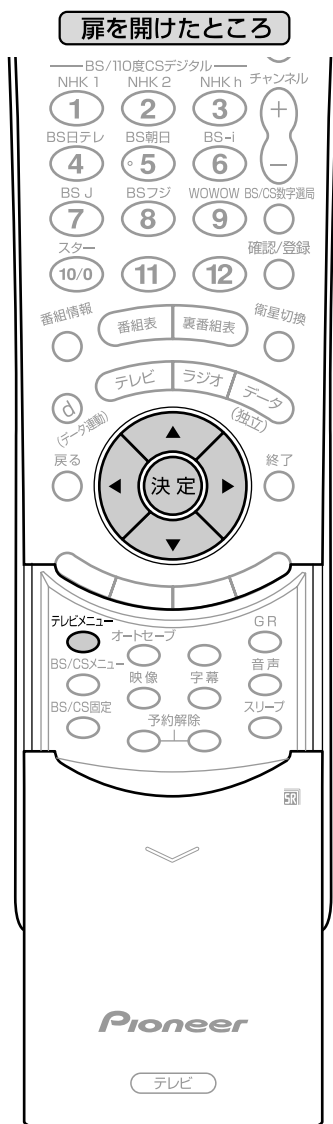
映像調整

■ AVセレクションの「AV[標準]」、「AV[ダイナミック]」、「AV[映画]」は、それぞれ映像の濃淡や明るさなどをお好みの状態に調整することができます。

メニュー項目 映像調整

■「映像」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「画質」「プロ設定」の6つの項目を調整できます。
調整した映像は、各AVセレクションに記憶されます。

おしらせ
- AVセレクションがAV[標準(固定)]のときは、映像調整ができません。

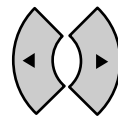
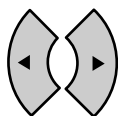
扉を開けたところ

お好みの映像に調整する

[例] AVセレクションAV[標準]の「明るさ」を調整する

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ◀ ▶ で「映像調整」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「明るさ」を選ぶ

■テレビメニュー 午前 9時00分
映像調整 音声調整 省ｴﾈ設定 本体設定 機能切換
[標準]
映像 30
明るさ 0
色の濃さ 0
色あい 0
画質 0
プロ設定
リセット
で項目を選択 ◀ ▶で調整 戻るで前画面に戻る テレビメニューで終了

次ページへ

4 でお好みの明るさに調整する

●「▮」マークが左右に移動し、数字が増減します。

●続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を上下カーソルボタンで選び、同じ要領で調整してください。

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

●表示が消え、調整した内容が映像ポジションに記憶されます。

おしらせ

映像調整項目について

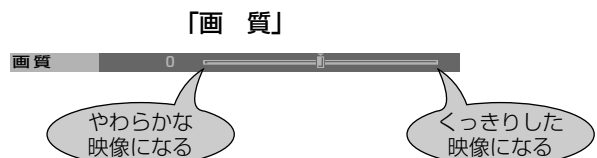
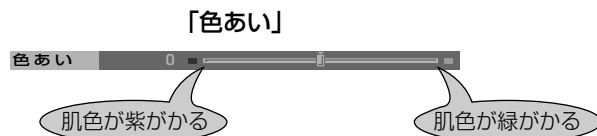
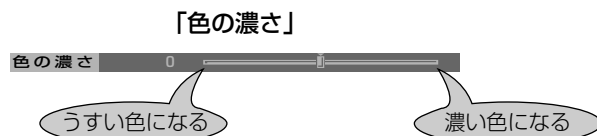
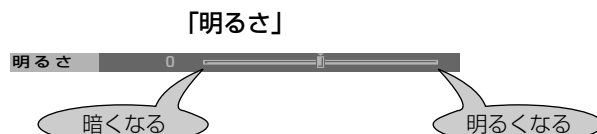
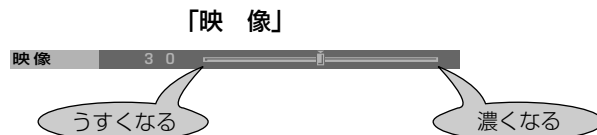
●「映像」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「画質」「プロ設定」の6つの項目を調整できます。

「映　像」

「明るさ」

「色の濃さ」

「色あい」

「画　質」

「プロ設定」

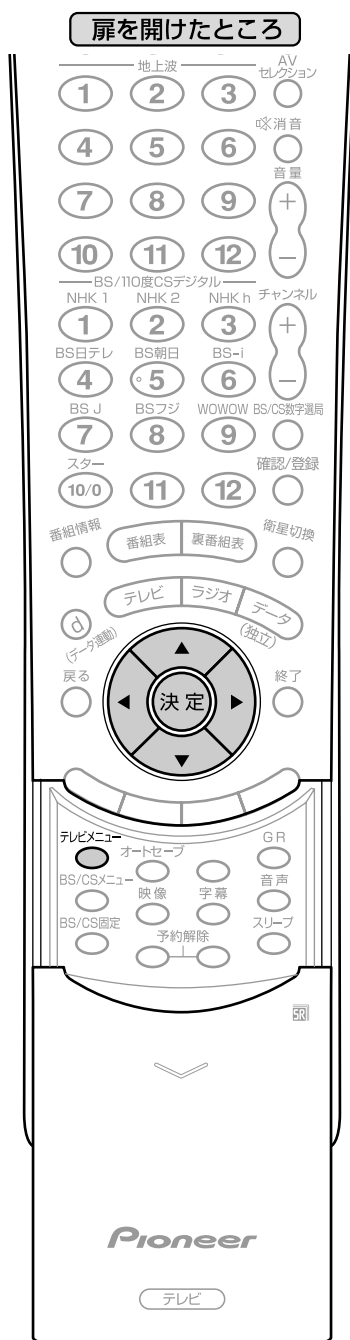
さらに細かく映像調整したいときの設定です。**86**・**87**ページをご覧ください。

●設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順**3**のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

■ **84**ページの映像調整よりさらに細かく、お好みに合わせて映像を調整することができます。 メニュー項目 ▶ プロ設定

■「色温度」「色補正」「黒伸長」「垂直輪郭」「ピュアシネマ」の5つの項目を調整できます。

● AVセレクションがAV[標準(固定)]のときは、プロ設定ができません。

扉を開けたところ

映像プロ設定をする

[例] AVセレクションAV[標準]の「黒伸長」を「強」に設定する

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

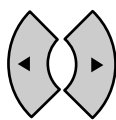
② で「映像調整」を選ぶ

2

▲ ▼ で「プロ設定」を選び、決定を押す

3

▲ ▼ で「黒伸長」を選び、決定を押す

次ページへ

4 ◀▶で「強」を選び、決定を押す

●続けて他の項目を設定するときは、つぎに設定する項目を上下カーソルボタンで選び、同じ要領で行ってください。

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

●表示が消え、設定内容が映像ポジションに記憶されます。

おしらせ

プロ設定項目について

● つぎの5つの項目の調整ができます。

色温度：画面全体の色調を調整します。
設定…低／中／高／標準

色補正：肌色の強調度合いを変化させます。
設定…する／しない

黒伸長：映像の黒い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。
設定…切／弱／強

垂直輪郭：明るい映像での黒い部分のキメ細かさを調整し、映像のメリハリを変更させます。
設定…する／しない

ピュアシネマ：フィルム収録のDVD映像などを高画質に再生します。
設定…する／しない

● 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順**2**のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

動きの速い映像をなめらかにする（QS駆動）

■スポーツ番組など、動きの速い映像をよりなめらかにし、違和感を少なくする機能です。通常はQS駆動「しない」でご覧ください。

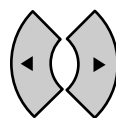
メニュー項目 QS駆動

1

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼で「QS駆動」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」を選び、決定を押す

3 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

テレビ入力の映像・音声を調整する(つづき)

■ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。

■地上放送、CATV、ビデオ入力ごとに設定ができます。なおビデオ入力は各入力別(個別)に設定できます。

メニュー項目 ノイズクリーン

映像をすっきりさせる(ノイズクリーン)

[例] ノイズクリーンを「強」に設定する

1

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

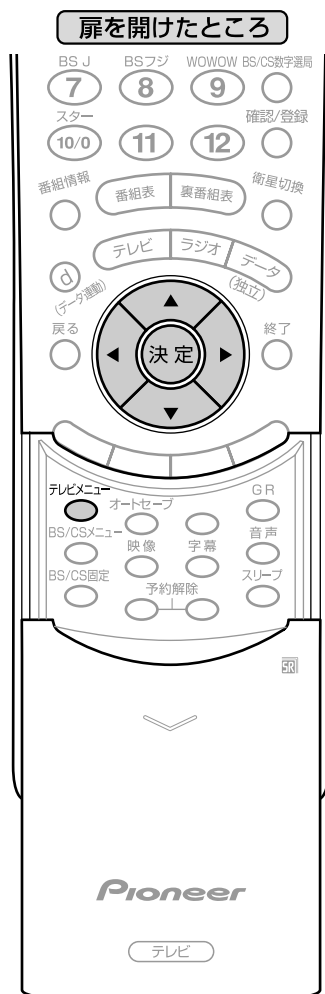
② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲ ▼で「ノイズクリーン」を選び、決定を押す

2

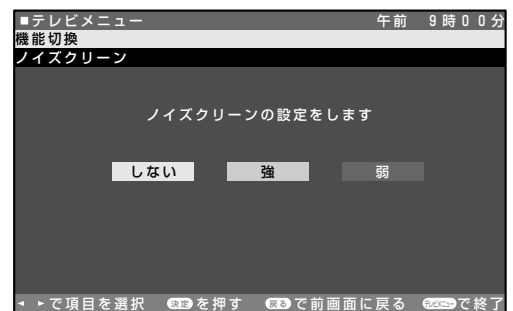
◀ ▶で「強」を選び、決定を押す

3

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

- ノイズクリーンを「強」または「弱」に設定すると、入力切換えをしたとき、画面右上にNCマークが表示されます。

NC 8

- 再生ソフトに合わせて、お好みで設定してください。

音声調整

■AVセレクションの「AV[標準]」、「AV[ダイナミック]」、「AV[映画]」は、それぞれお好みの音声に調整することができます。

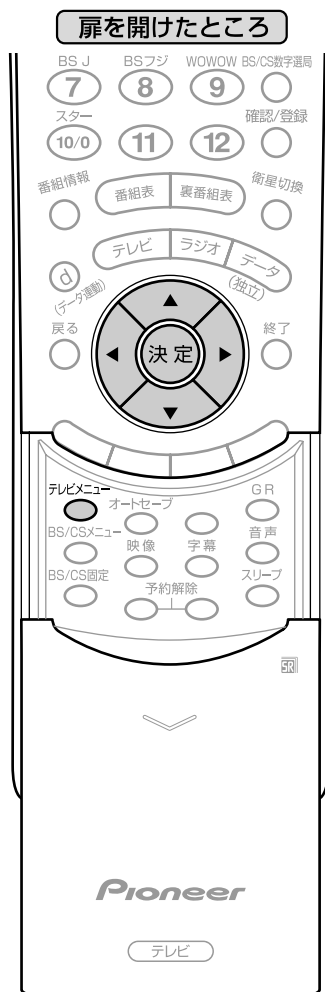
メニュー項目 音声調整

BBE	：音声の明瞭感を補正して、こもり感のない、原音に忠実で聞きやすい音に調整できます。
EQ調整	：高音部から低音部まで全音域をキメ細かく調整できます。
バランス	：左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
リセット	：工場出荷時の設定に戻ります。

おしらせ
- AVセレクションが「AV[標準(固定)]」のときは、音声調整ができません。

扉を開けたところ

原音に忠実な音で聞く(BBE)

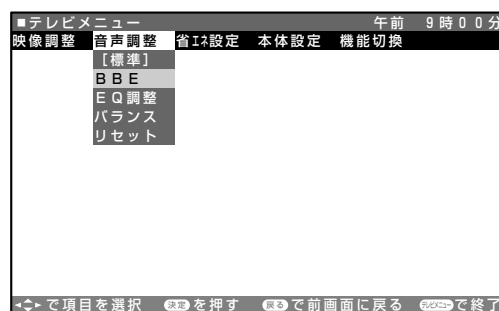
1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② で「音声調整」を選ぶ

③ で「BBE」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」を選び、決定を押す

3

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

おしらせ
- BBEおよびMach3BassはBBEサウンド・インコーポレイテッドからの実施権に基づき製造されています。BBE®、BBE® Mach3Bass はBBEサウンド・インコーポレイテッドの登録商標です。
- 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順1-③のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

テレビ入力の映像・音声を調整する(つづき)

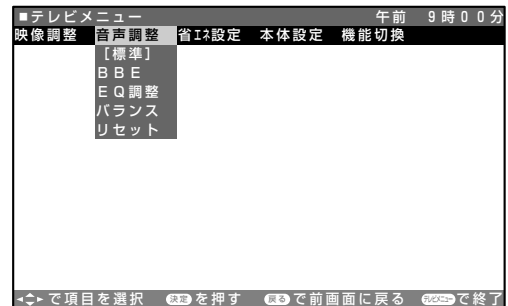
■「120(Hz)」「500(Hz)」「1.5k(Hz)」「5k(Hz)」「10k(Hz)」の5つの周波数で、音声をお好みの音質に調整することができます。周波数ごとの調整操作は、画面に表示されるグラフィックイコライザー(EQ)で行います。

扉を開けたところ

お好みの音質に調整する(EQ調整)

［例］10k(Hz)「高音部」を調整する

1 **テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**

2 **◀ ▶で「音声調整」を選ぶ**

3 **▲ ▼で「EQ調整」を選び、決定を押す**

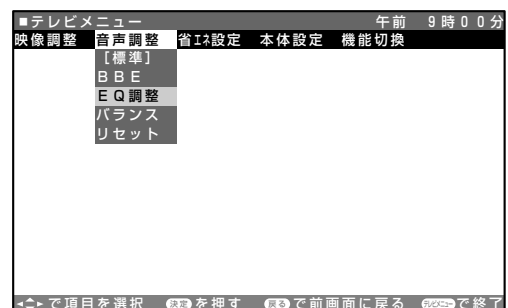
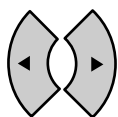
次ページへ

4 ◀▶で「10k」を選ぶ

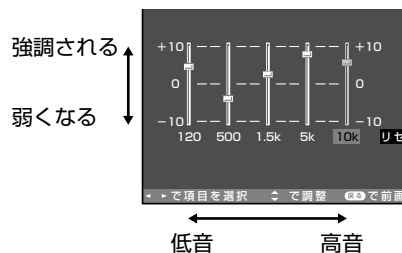
5 でお好みの音質に調整し、決定を押す

●「▬」マークが上下に移動します。

●続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を左右カーソルボタンで選び、同じ要領で調整してください。

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

EQ調整について

● 「120(Hz)」「500(Hz)」「1.5k(Hz)」「5k(Hz)」「10k(Hz)」の5つの項目を調整できます。

● 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順**4**のとき左右カーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。
● BS・110度CSデジタル放送では、番組によって音声レベルが異なる場合があり、周波数を調整しても音声効果が得られないことがあります。そのときは、本体またはリモコンの音量ボタンで音量の調整をしてください。
● ヘッドホンでは、音声調整の効果は得られません。

テレビ入力の映像・音声を調整する(つづき)

■お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

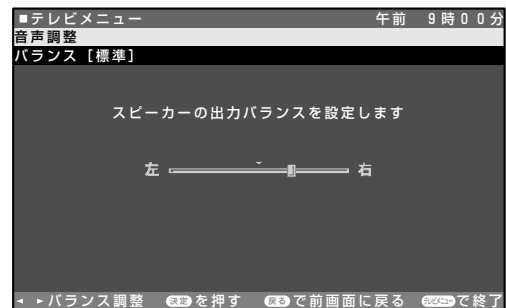
扉を開けたところ

スピーカー音声のバランスを調整する

1

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「音声調整」を選ぶ

③ ▲▼で「バランス」を選び、決定を押す

2

◀▶でバランスを調整し、決定を押す

●「▌」マークが左右に移動します。

3

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

● 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順1-③のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

扉を開けたところ

音声を切り換える

■音声多重放送やステレオ放送を受信しているとき、音声ボタンで音声を切り換えることができます。

音声 を押す

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

モノラル放送のとき	モノラル ↔ （表示なし）
ステレオ放送のとき	モノラル → ステレオ
音声多重放送のとき	メイン → サブ → メインーサブ

おしらせ

● BS・110度CSデジタル放送を視聴しているときの音声切換えについては、**119**ページをご覧ください。

テレビ入力の映像・音声を調整する(つづき)

■本機にヘッドホンを接続して音声を聞くときに、ヘッドホン音量を調整することができます。 メニュー項目 ヘッドホン音量

■2画面時のヘッドホン音声は、「♪」マークのない方の画面(非操作画面)の音声が聞こえます。

扉を開けたところ

ヘッドホンの音量を調整する

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

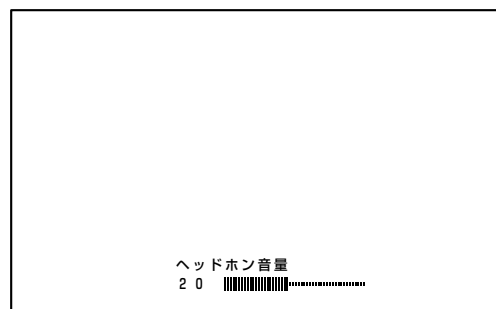
2 ① ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

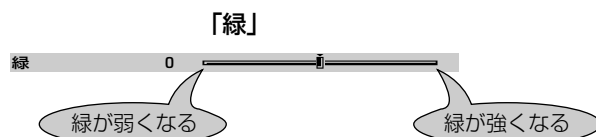
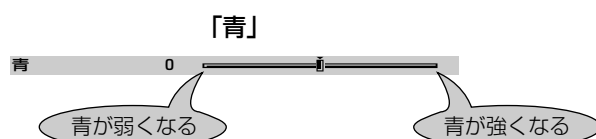
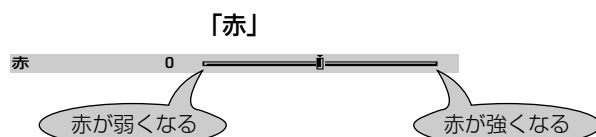
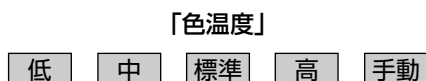
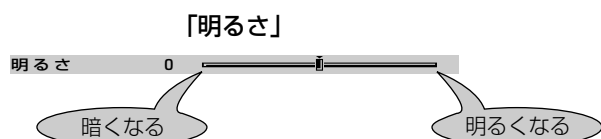
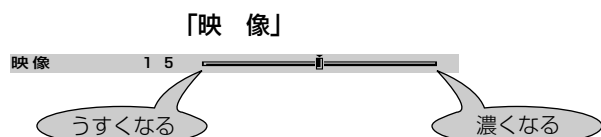
② ▲ ▼ で「ヘッドホン音量」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ でお好みの音量に調整し、決定を押す

●ヘッドホン音量は0〜60の範囲で調整ができます。

4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

PC入力の映像・音声を調整する

映像調整 メニュー項目 映像調整

■PC入力では、「映像」「明るさ」「色温度」「赤」「青」「緑」の6項目の調整ができます。「赤」「青」「緑」の調整は、色温度を「手動」に設定しているときのみ行えます。(操作方法…**84**～**87**ページ参照)

音声調整 メニュー項目 音声調整

■テレビ入力のときと同様、「BBE」「EQ調整」「バランス」を調整することができます。各項目の調整内容と操作方法については、**89**～**92**ページをご覧ください。

ヘッドホン音量の調整 メニュー項目 ヘッドホン音量

■ヘッドホンで聞くときの音量調整は、テレビ入力と同様の操作で行います。(操作方法…**94**ページ参照)

いろいろな画面で楽しむ

■本機は2つの異なる映像を、同時に表示して見ることができます。
また「♪」マークのある方の画面（操作画面）は、チャンネル選局や入力の切換えができます。

2画面で見られる映像の組合せ

	地上放送	BS/CS放送	外部入力	PC入力
地上放送	×	○	○	×
BS/CS放送	○	×	○※1	×
外部入力	○	○※1	○※2	×
PC入力	×	×	×	×

※1　BS/CS放送とi.LINKは同時に見られません。
※2　同じ外部入力どうしは見られません。

扉を閉じたところ

2画面で見る

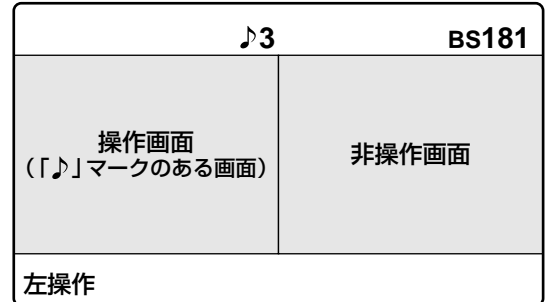
［例］地上放送とBS放送の番組を2画面で見る

2画面 ◯を押す

♪3　BS181

操作画面
（「♪」マークのある画面）

非操作画面

左操作

●左右2画面になります。

2画面のときの音量調整

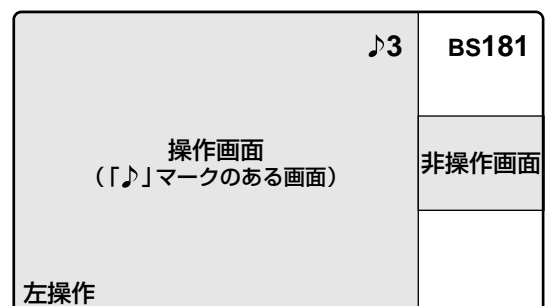
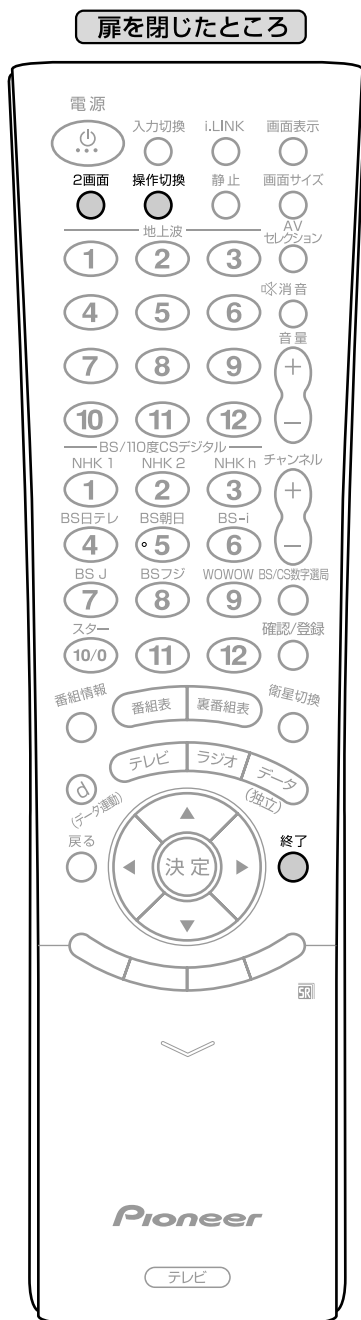
● 音量ボタンで操作画面の音量を調整できます。

2画面のときの音声出力	
スピーカー	操作画面の音声
ヘッドホン	非操作画面の音声
モニター出力音声	スピーカー音声と同じ

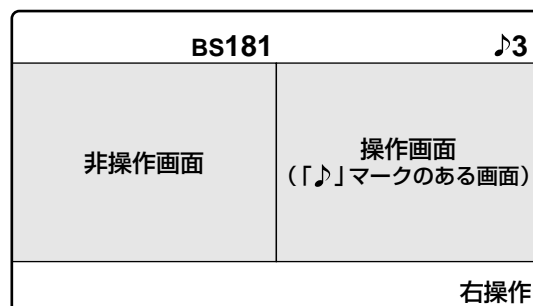
操作画面（「♪」マークのある画面）のチャンネルや入力を切り換えるには

● チャンネルボタンで、チャンネルの選局ができます。
● 片方の画面が外部入力のときは、もう一方の画面は地上放送、BS/CS放送内の選局ができます。
● 外部入力が複数あるときは、外部入力どうしを2画面で見ることができます。
● 入力切換ボタンで、画面の入力切換えができます。

画面を大きくしたいときは

もう一度 2画面 ◯を押す

●「♪」マークのある画面が操作できます。

操作画面を切り換えるには

操作切換
○を押す

- 「♪」マークのある画面が操作できます。
- もう一度押すと、左操作に戻ります。

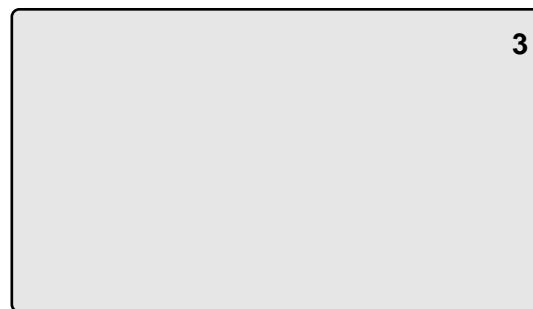
1画面に戻すには

左が大きい2画面のとき

終了　2画面
○または○を押す

左右同じ大きさの2画面のとき

終了
○を押す

- 「♪」マークのある画面が1画面に戻ります。

- 営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、このテレビの2画面機能を使用されますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 2画面のとき、画面サイズモードの切換えはできません。
- 2画面のとき、静止画面機能は働きません。

つぎのようなときは、1画面でご覧ください。

- 2画面の片側を映像がない状態で使用すると、反対側の映像がチラつく場合があります。
- 2画面の片側でビデオなどの特殊再生を行うと、反対側の映像がチラつく場合があります。
- 左画面が大きい2画面のとき、左画面の映像によっては、画面のチラツキが気になる場合があります。

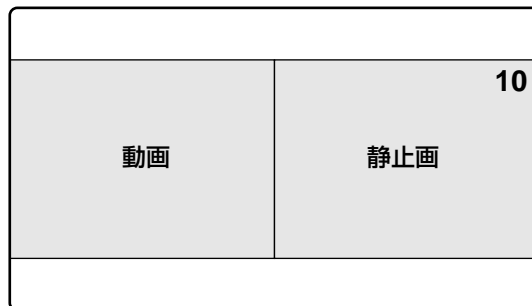
いろいろな画面で楽しむ(つづき)

■いま見ている放送番組やソフトの映像を静止させることができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。（メモ機能）

扉を閉じたところ

静止画面で見る

映像を静止させたいところで、静止を押す

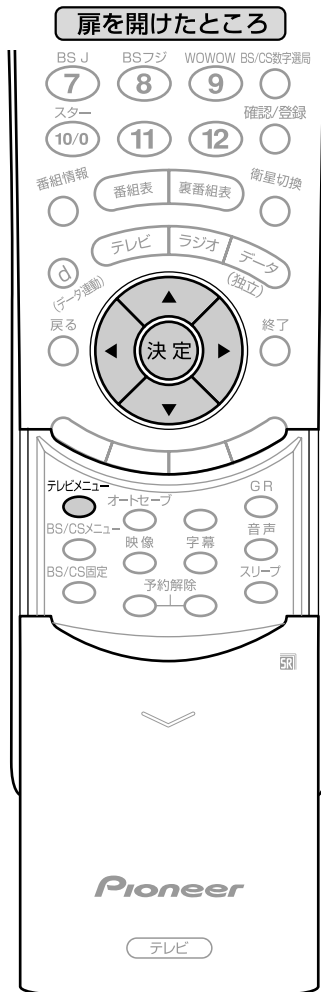
● 2画面表示となり、右側が静止画、左側が動画となります。

1画面に戻すには

静止または終了を押す

● 1画面の動画に戻ります。

● 静止画面の表示中は、画面サイズ切換えはできません。
● PC入力画面は、静止画面にできません。

便利な機能を使う

■設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。 メニュー項目 映像反転
美容院などで、映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

おしらせ

映像反転の表示

しない（工場出荷時）	左右反転
ABC	ƆBA

上下反転	上下左右
∀BC	Ɔ B∀

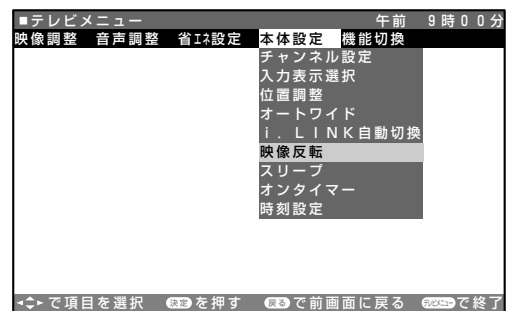
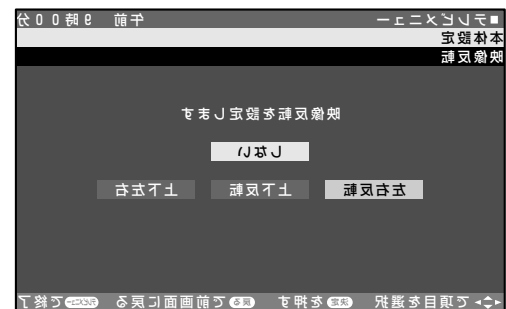
映像を反転させる

1

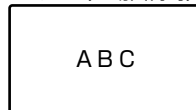
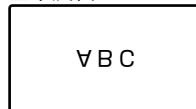
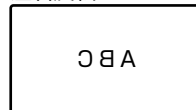
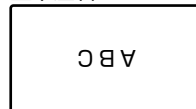
① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ で「映像反転」を選び、決定を押す

2

▲ ▼ ◀ ▶ で「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選び、決定を押す

●映像が反転表示されます。
●音声は反転しません。

3

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

便利な機能を使う（つづき）

■毎日指定した時刻に、指定のチャンネルと音量で本機の電源を自動的に「入」にする機能です。
機能を解除（設定「しない」）にするまで毎日、繰り返しオンタイマーが働きます。

■先に時刻設定が済んでいることを確認してください。（**47**ページ参照）

扉を開けたところ

BSチャンネルが受信できる状態にないとき

- 時刻設定がされていない状態で「オンタイマー」を選択すると、「**時刻が設定されていません**」と注意文が表示され、時刻設定画面になります。
- オンタイマーの「チャンネル」設定で、BS／110度CSチャンネルは選べません。
- ビデオ4を「モニター出力」に設定しているとき（**189**ページ参照）は、オンタイマーの「チャンネル」設定でビデオ4は選べません。

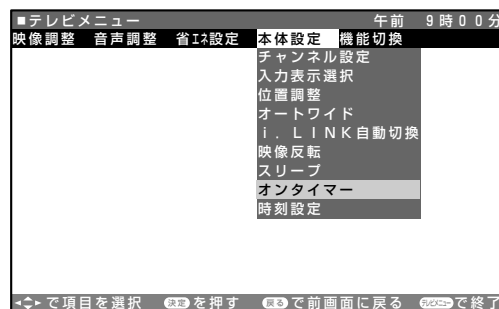
指定した時刻に電源を入れる（オンタイマー）

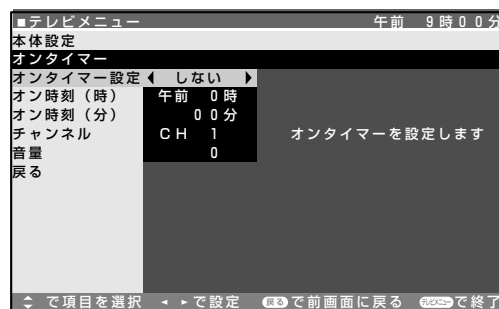
［例］朝6時30分に8チャンネル、音量30で電源を「入」にする

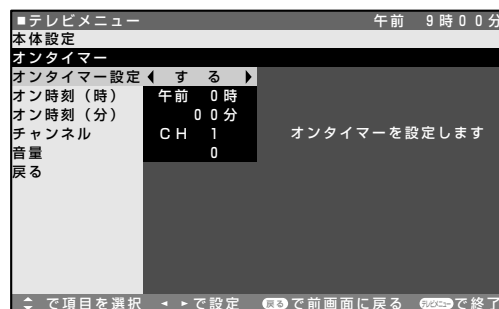
1

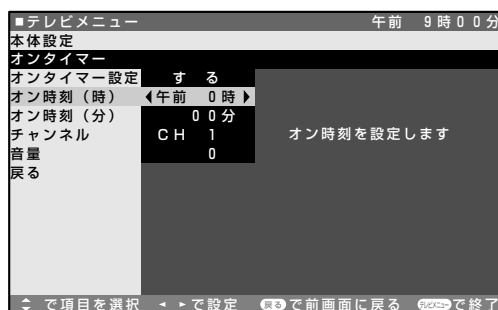
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

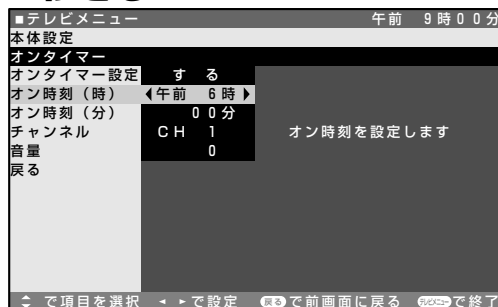
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲▼で「オンタイマー」を選び、決定を押す

2

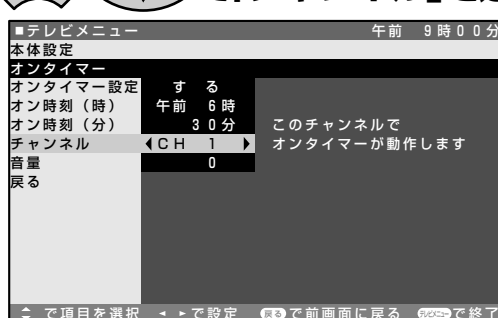
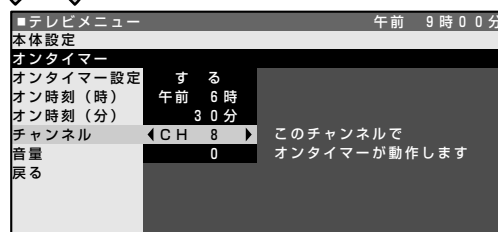
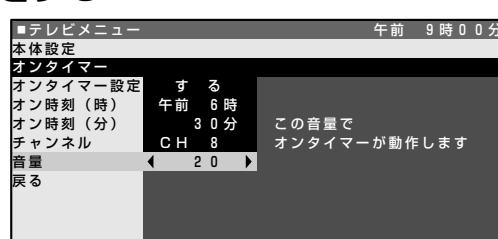
▲▼で「オンタイマー設定」を選ぶ

3

◀▶で「する」を選ぶ

次ページへ

4 [▲][▼]で「オン時刻(時)」を選ぶ

5

① [◀][▶]で[時]を「午前6時」に合わせる

② [▲][▼]で「オン時刻(分)」を選ぶ

③ [◀][▶]で[分]を「30分」に合わせる

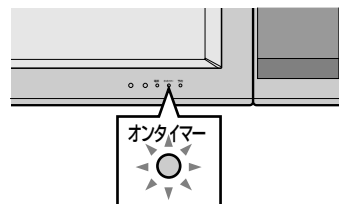
6 [▲][▼]で「チャンネル」を選ぶ

7 [◀][▶]でチャンネル「8」を選ぶ

8 チャンネルと同じ要領で、音量を設定する

9 [テレビメニュー]を押し、通常画面に戻す

10 リモコンの[電源]を押し、電源を切る

- 本体の電源ボタンで電源を切ると、オンタイマーは働きません。

おしらせ

オンタイマーランプについて

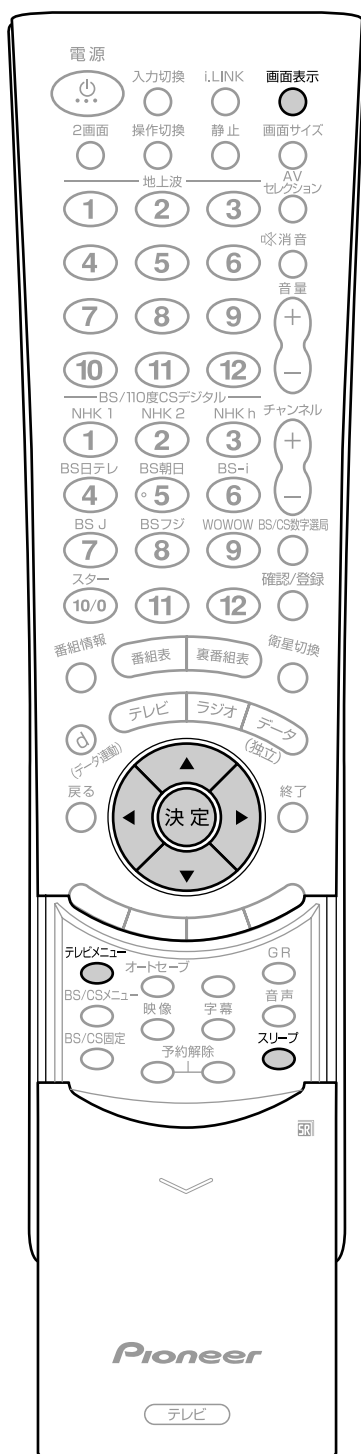
- オンタイマー設定を「する」に設定すると、本体前面のオンタイマーランプが赤色に点灯します。

- 停電になったときや、電源コードを抜いた後、再度電源を入れなおしたとき、時刻が設定されていないときは、オンタイマーは動作しません。

ご注意

- お出かけになるときは、本体の電源ボタンで電源を切るか、オンタイマー設定を「しない」に設定し、オンタイマーランプの消灯を確認してください。
- オンタイマーで電源が入ると、自動的に2時間のスリープが設定されます。2時間以上視聴するときは、スリープを解除してください。(**102**ページ参照)

便利な機能を使う（つづき）

■指定した時間後に、テレビの電源が自動的に切れる機能です。テレビを楽しみながらおやすみになるときなどに便利です。

扉を開けたところ

指定した時間後に電源を切る（スリープ）

［例］「1時間30分」後に電源を切る

1 （スリープ）を押す

●テレビ画面にスリープ設定の画面が表示されます。

スリープ　ー時間ーー分

2 スリープ表示が出ている間に（スリープ）を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

スリープ　1時間３０分

●ボタンを押すたびに、つぎのように設定時間が変わります。

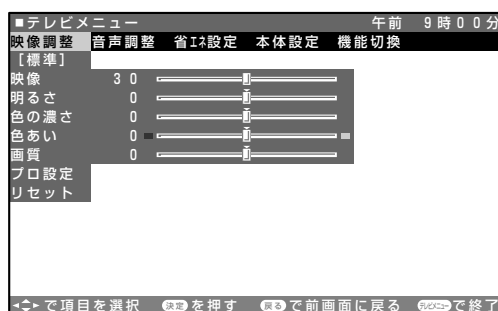
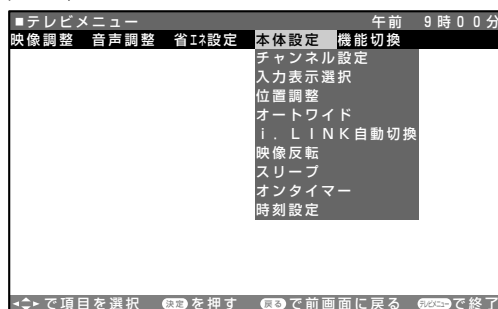
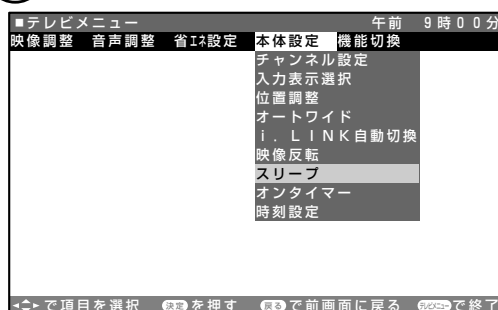
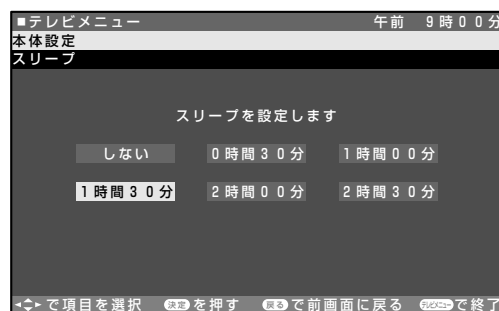
→ ー時間ーー分（解除）→ 0時間30分 → 1時間00分 → 1時間30分 → 2時間00分 → 2時間30分 →（最初に戻る）

おしらせ

● 設定後、画面表示ボタンを押すと現在のスリープ状態（電源が切れるまでの残り時間）が表示されます。
● スリープ設定後、本体やリモコンで電源を切ると、スリープは解除されます。

テレビメニュー画面で設定するには

［例］「1時間30分」後に電源を切る

1 （テレビメニュー）**を押し、テレビメニュー画面を表示する**

2 ◀ ▶ **で「本体設定」を選ぶ**

3 ▲ ▼ **で「スリープ」を選び、**（決定）**を押す**

4 ▲ ▼ ◀ ▶ **で、電源が切れるまでの時間、「1時間30分」を選び、**（決定）**を押す**

5 （テレビメニュー）**を押し、通常画面に戻す**

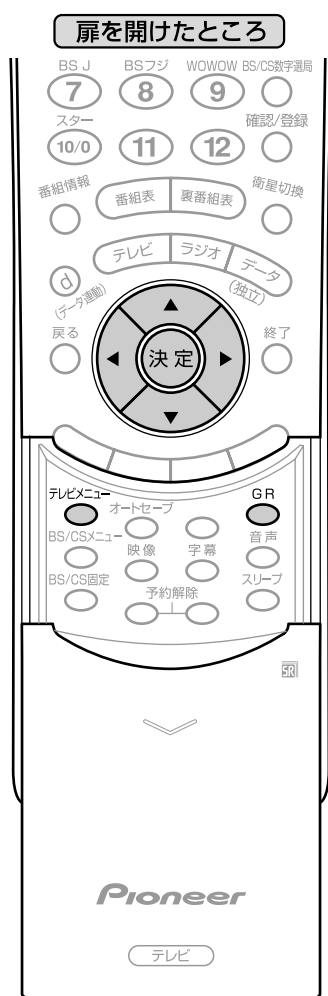
ゴーストを軽減する(GR機能)

■ ゴーストの発生によって見にくくなったチャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)

■ GR機能は、VHF/UHFアンテナ入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■ GR設定は工場出荷時、すべてのチャンネルが「する」に設定されています。

扉を開けたところ

おしらせ

「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

GR機能を使う

1 **(GR)を押す**

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

GR設定表示

2 **GR設定表示が出ている間に、(GR)を押す**

- ボタンを押すたびに「GR [入]」⇄「GR [切]」と切り換わります。
- 「GR [入]」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

テレビメニュー画面で設定するとき

1 **(テレビメニュー)を押し、テレビメニュー画面を表示する**

2 **① で「本体設定」を選ぶ**

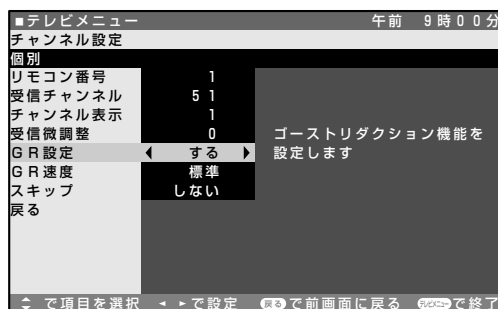
② (▲)(▼)で「チャンネル設定」を選び、を押す

次ページへ

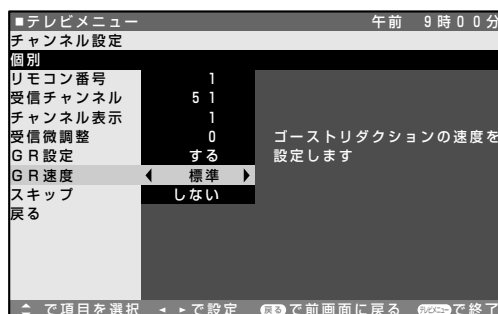
3 で「個別」を選び、を押す

4

① で「GR設定」を選ぶ

② で「する」または「しない」を選ぶ

5

① で「GR速度」を選ぶ

② で「標準」または「速い」を選ぶ

「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。

「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - ・放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - ・飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ・ゴーストの電波が強いとき
  - ・ビデオデッキからの映像を見るとき
- GR設定を「する」にしておくと映像が見づらい場合は、「しない」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。（アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。）
- CATVチャンネルは、リモコンの地上波チャンネルボタンに設定されていないと、GR機能が働きません。

省エネ機能を使う

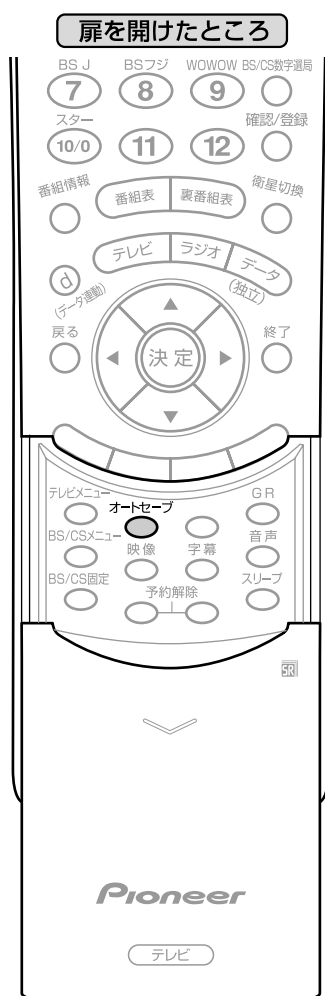
■ 本機は、省エネに役立つ4つの機能を備えています。

オートセーブ
周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整する機能です。省電力に役立ちます。

調光(画面の明るさの調整)
放送内容や再生ソフトに合わせて、画面の明るさを調整することができる機能です。

無操作オフ
操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れる機能です。

無信号オフ
放送が終了するなど無信号状態になると、約5分後に電源が切れる機能です。

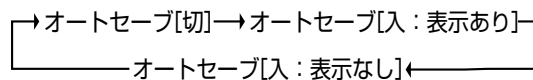
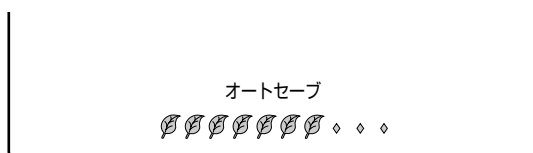
扉を開けたところ

画面の明るさを自動調整する(オートセーブ)

1 **オートセーブ ボタンを押す**

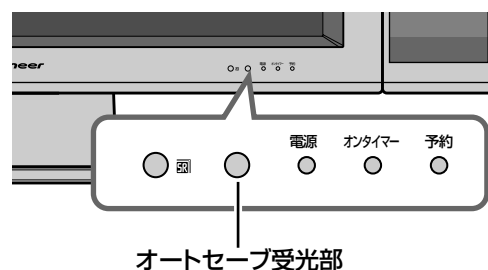
● 画面左下に現在のオートセーブ設定が表示されます。

2 **オートセーブ設定表示が出ている間にオートセーブ ボタンを押す**

● ボタンを押すたびに、オートセーブがつぎのように切り換わります。

→オートセーブ[切]→オートセーブ[入：表示あり]→オートセーブ[入：表示なし]→(オートセーブ[切]に戻る)

●「オートセーブ [入：表示あり]」に設定すると、オートセーブ機能の効果が画面に表示されます。

● 周囲の明るさが変化すると、オートセーブ機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。

おしらせ

● オートセーブ受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

■オートセーブ機能は、メニュー操作でも設定できます。

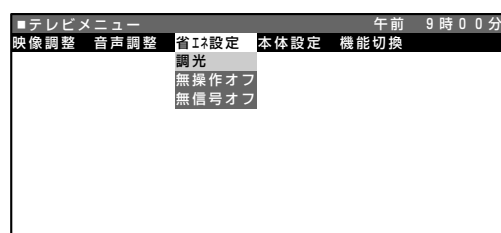
扉を開けたところ

テレビメニュー画面で設定するとき

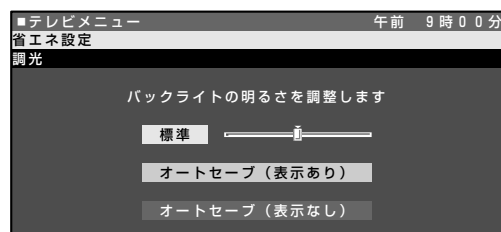
1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「省エネ設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「調光」を選び、決定を押す

2

▲ ▼ で「オートセーブ(表示あり)」または「オートセーブ(表示なし)」を選び、決定を押す

3

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

省エネ機能を使う（つづき）

■放送番組や再生ソフトなど映像に合わせて、画面をお好みの明るさに調整できます。

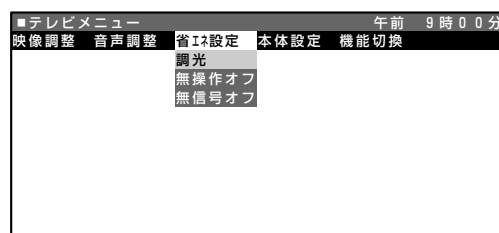
扉を開けたところ

画面の明るさを調整する（調光）

1

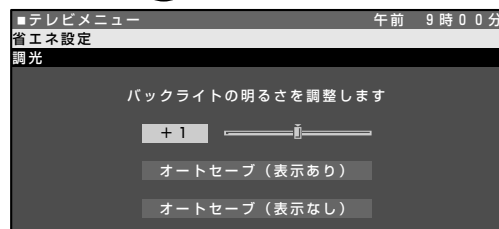
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「省エネ設定」を選ぶ

③ ▲▼で「調光」を選び、決定を押す

2

◀▶でバックライトの明るさを調整し、決定を押す

● −4〜標準〜＋4の範囲で調整できます。

3

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

● オートセーブを「入」に設定しているときは、調光の調整はできません。

■3時間以上操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるよう設定することができます。

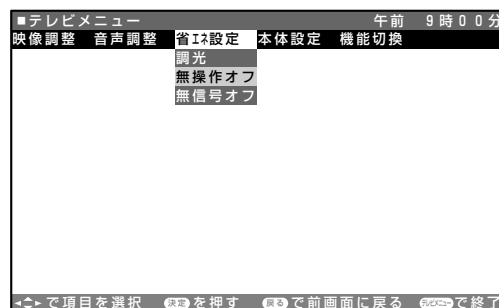
扉を開けたところ

無操作オフ機能を設定する

［例］無操作オフを「する」に設定する

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ① ◀▶ で「省エネ設定」を選ぶ

② ▲▼ で「無操作オフ」を選び、決定を押す

3 ◀▶ で「する」を選び、決定を押す

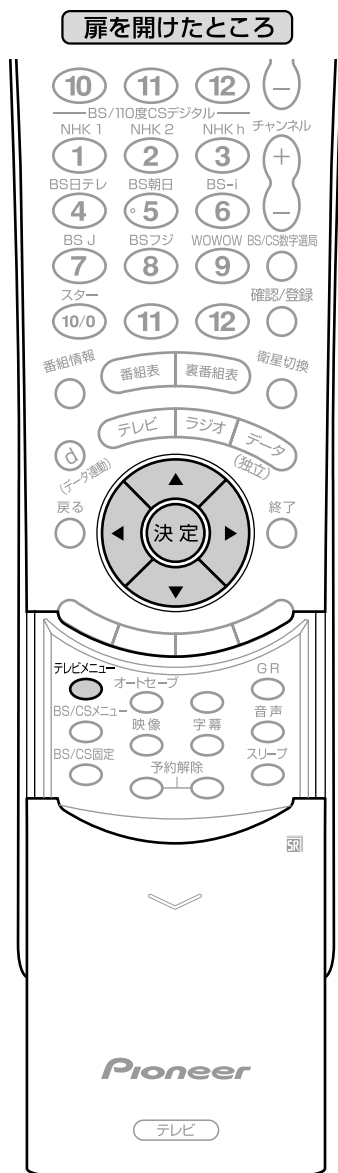
4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。

省エネ機能を使う(つづき)

■無信号になったとき、約5分後に電源を自動的に切り、消し忘れを防ぎます。

おしらせ

- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- 地上波およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- PC入力のとき、無信号オフ機能は働きません。
- 2画面のとき、無信号オフ機能は働きません。

無信号オフ機能を設定する

[例] 無信号オフを「する」に設定する

1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ① ◀ ▶ で「省エネ設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「無信号オフ」を選び、決定を押す

3 ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

4 テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

BS・110度CSデジタル放送を楽しむ

BS・110度CSデジタル放送について

BS・110度CSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

テレビ放送 ………… 従来のアナログBS・CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。(2002年11月現在)

データ放送 ………… 静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送 ………… CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表(EPG) ………… BS・110度CSデジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表(EPG)です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

臨時編成サービス ………… 野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス ………… 1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

- 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送について

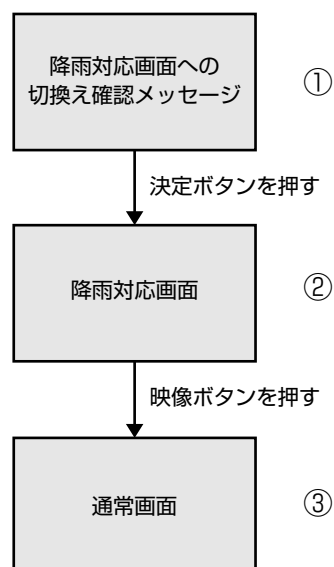
BSデジタル放送のチャンネル番号表

	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ/ラジオ/データ)	NHK BS1	101	なし	700〜709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)※		
	BS日テレ	140〜143、145〜149 (臨時編成サービス時：144)※	440〜449	740〜749
	BS朝日	150〜157 (臨時編成サービス時：158、159)※	450〜459	750〜759
	BS-i	160〜168 (臨時編成サービス時：169)※	460〜469	760〜769
	BSジャパン	170〜179 (臨時編成サービス時：未定)※	470〜479	770〜779
	BSフジ	180〜187 (臨時編成サービス時：188、189)※	488、489	780〜789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)※	491、492	790〜799
	スターチャンネル	200〜209	なし	800〜809
ラジオ/データ	BSC	なし	300、301	なし
	ミュージックバード	なし	310〜319	610〜619
	JFNサテライト	なし	320〜329	620〜629
	セント・ギガ	なし	330〜339	630〜639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900〜909
	ウェザーニュース	なし	なし	910〜919
	DCI	なし	なし	930〜939
	日本データ放送	なし	なし	940〜949
	メディアサーブ	なし	なし	950〜959
	日本メディアーク	なし	なし	960〜969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990〜999

※臨時編成サービス：**112**ページをご覧ください。　(2002年11月現在)

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。(右図①)
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面(小さい画面)に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。(右図②)
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像ボタンを押してください。(右図③)

- 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

110度CSデジタル放送について

■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。

■110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナ、BSアンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。**

■110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム(プラットワン、スカイパーフェクTV!2)※との個別受信契約が必要となります。(一部、無料の放送もあります。)

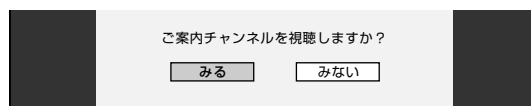
※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎの専用サービスが行われます。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

(画面例)

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコンが表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※注.「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード(掲示板)

プラットフォーム(プラットワン[CS1]、スカイパーフェクTV!2[CS2])単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。

詳しくは**175**ページをご覧ください。

(画面例)

BS・110度CSデジタル放送の番組を選ぶ

ネットワーク、放送の種類、番組の選択手順

1 ネットワークを選ぶ
● 3種類のネットワークから選びます。

●BS（BSデジタル放送）
●CS1（プラットワン）
●CS2（スカイパーフェクTV！2）

2 放送の種類を選ぶ
● 3種類の放送から選びます。

●テレビ放送
●ラジオ放送
●データ放送

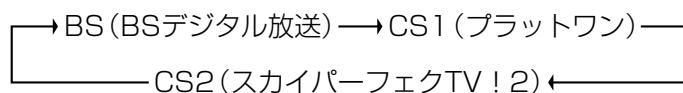
3 チャンネルを選ぶ
● 3種類の選局方法があります。
（**116**〜**118**ページをご覧ください。）

●チャンネルボタンで選ぶ
●チャンネル番号入力で選ぶ
●チャンネル（＋／－）ボタンで選ぶ

操作手順

1 衛星切換 ◯ **を押し、視聴したいネットワークを選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

BS（BSデジタル放送）→CS1（プラットワン）→CS2（スカイパーフェクTV！2）→BS（BSデジタル放送）

2 テレビ／ラジオ／データ（独立）**のいずれかを押し、視聴したい放送の種類を選ぶ**

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

●チャンネルの選局方法には、つぎの3種類があります。各ページをご覧ください。

● チャンネルボタンで選ぶ……………☞ **116**ページ
● チャンネル番号入力で選ぶ…………☞ **117**ページ
● チャンネル（＋／－）ボタンで選ぶ…☞ **118**ページ

電子番組表（EPG）を使って番組を選ぶこともできます

■ 上記手順**1**、**2**の後に、電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表（EPG）の表示のしかた、機能、操作方法については、122・123ページをご覧ください。

BS・110度CSデジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

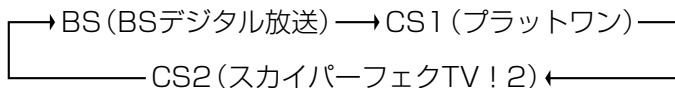
チャンネルボタンで選ぶ

■リモコンのBS／110度CSチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、確認／登録ボタンを押すと、BS／110度CSチャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**120**・**121**ページ参照)

扉を閉じたところ

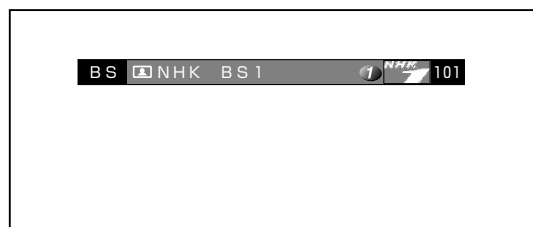
1 **衛星切換 ○ でネットワークを選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→BS(BSデジタル放送)→CS1(プラットワン)→CS2(スカイパーフェクTV！2)→(BSに戻る)

2 ＜例＞ BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選ぶとき

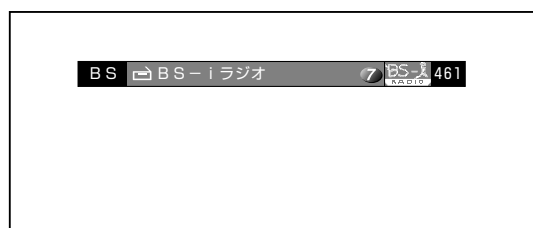
① テレビ を押す

② チャンネルボタン(NHK 1)①を押す

▼画面表示

＜例＞ BSデジタル放送のラジオ放送「BS-iラジオ」を選ぶとき

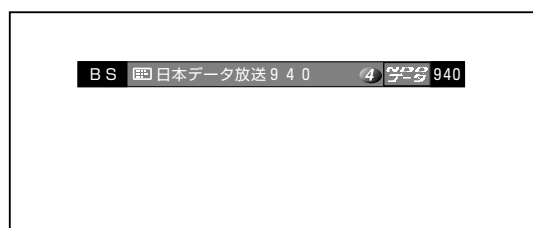
① ラジオ を押す

② チャンネルボタン(BS J)⑦を押す

BS BS－iラジオ 7 BS-i RADIO 461

＜例＞ BSデジタル放送のデータ放送「日本データ放送」を選ぶとき

① データ(独立) を押す

② チャンネルボタン(BS日テレ)④を押す

BS 日本データ放送940 4 940

●独立データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。

チャンネル番号入力で選ぶ

■視聴したい番組のチャンネル番号(3桁)を入力して選局できます。
チャンネル番号表(**113**・**121**ページ)を参照してください。

扉を閉じたところ

1 衛星切換 ○でネットワークを選ぶ

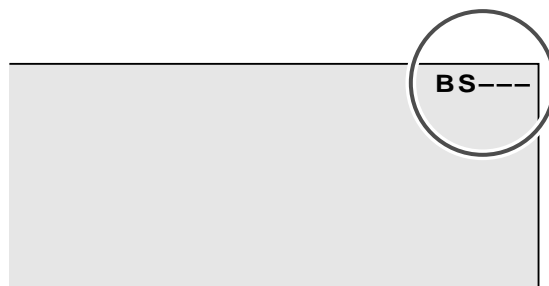
●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

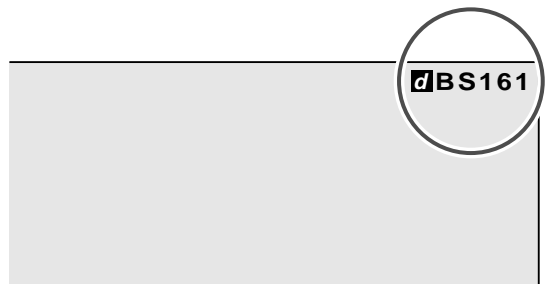
BS(BSデジタル放送)⟶CS1(プラットワン)⟶CS2(スカイパーフェクTV！2)⟶BS…

2 テレビ/ラジオ/データ(独立)で放送の種類を選ぶ

3 <例> BSデジタル放送のテレビ放送で、161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① BS/CS数字選局 ○ を押す

●画面右上に3桁の入力欄が表示されます。

② 数字ボタン 1(NHK 1) 6(BS-i) 1(NHK 1)を押す

●選んだ番組がデータ連動放送のときは、d マークがチャンネル番号の頭に表示されます。
●チャンネル番号表示が画面右上に移動します。

●間違った番号を入力した場合は、再度BS/CS数字選局ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

チャンネル(＋／－)ボタンで選ぶ

■チャンネル(＋／－)ボタンを押すたびに、BSチャンネルまたは110度CSチャンネル、CATVチャンネル、テレビチャンネルが、順／逆に選局できます。

1 ① 衛星切換 ◯でネットワークを選ぶ
② テレビ／ラジオ／データ(独立)で放送の種類を選ぶ

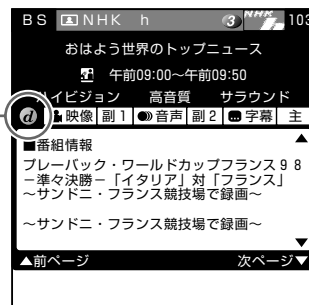
2 チャンネル(＋／－)を押す

●視聴したい番組が表示されるまで、チャンネル(＋／－)ボタンを押してください。

おしらせ
● あらかじめチャンネルスキップ(**147**ページ)を設定しているチャンネルは飛びこします。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」が表示されます。

① 番組情報 ◯ を押し、チャンネル表示内の「*d*」表示を確認する
② d(データ連動) を押す

(連動データ放送の画面例)

●テレビ放送に戻すときは、d(データ連動)ボタンを押します。

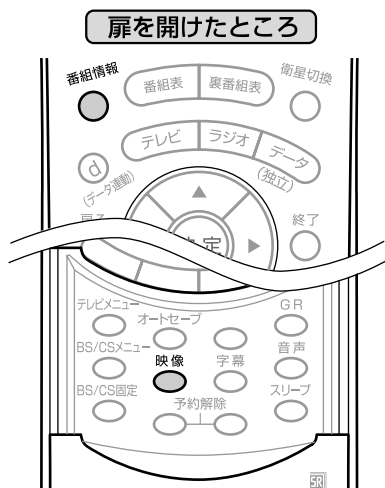
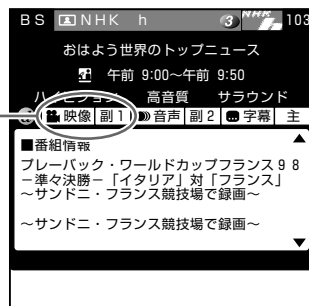
おしらせ
● 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、d(データ連動)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

映像・音声の切り換えかた

主映像と副映像(最大3つ)、または主音声と副音声(最大7つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

主・副映像を楽しむ

■主・副映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「映像」が表示されます。

扉を開けたところ

映像を押し、映像を切り換える

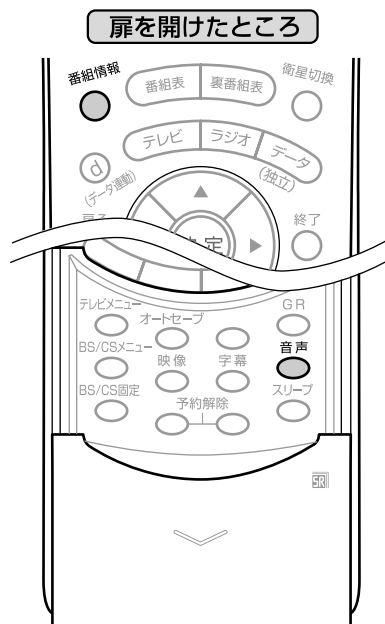
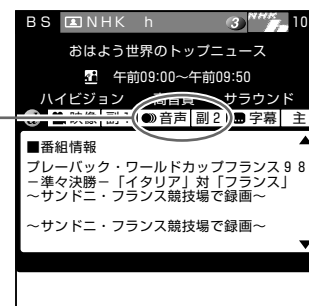
●ボタンを押すたびに、つぎのように映像が切り換わります。

→主映像 → 副映像1〜3※

※番組によって副映像の数は異なります。

主・副音声を楽しむ

■主・副音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「音声」が表示されます。

扉を開けたところ

音声を押し、音声を切り換える

●ボタンを押すたびに、つぎのように音声が切り換わります。

マルチ音声番組のとき　→主音声 → 副音声1〜7※

※番組によって副音声の数は異なります。

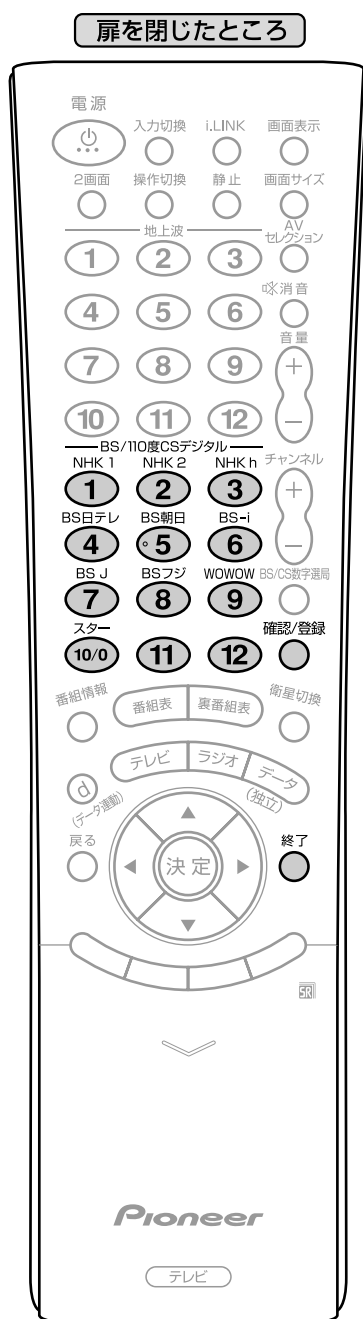
二重音声番組のとき　→主音声→副音声→主/副音声

おしらせ

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、主音声が選択されます。
- 二重音声番組のときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 録画時に「詳細を設定する」を選択していない場合は、前回の設定がそのまま反映されます。

BS/110度CSチャンネルボタンに登録されているチャンネルを確認する

■BS／110度CSチャンネルボタンでワンタッチ選局するときに、登録されているチャンネル内容の確認ができます。

扉を閉じたところ

放送を視聴中に を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

<例> BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

●確認後、画面表示を消すには、確認／登録ボタンか終了ボタンを押します。

おしらせ

- 各放送のチャンネル登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときに確認／登録ボタンを押すと表示されます。
- 確認／登録画面を表示中に、衛星切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データ(独立)ボタンを押すと、ネットワーク・放送の種類が切り換わり、そのチャンネル登録画面が表示されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードで、必ずしも表記通りでないことがあります。

工場出荷時に設定されているBS／110度CSチャンネル一覧

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK 1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
2 NHK 2	NHK BS2	102	ミュージックバード	316	ウェザーニューズ	910
3 NHK h	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
4 BS日テレ	BS 日テレ	141	セントギガ	333	日本データ放送	940
5 BS朝日	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	BS955	955
6 BS-i	BS-i	161	BSAラジオ	455	日本メディアーク	963
7 BS J	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	日本ビーエス放送	999
8 BSフジ	BS　フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	−	−
9 WOWOW	WOWOW	191	LFX488	488	−	−
10/0 スター	スターチャンネル	200	BS QR489	489	−	−
11	−	−	WOWOW WAVE1	491	−	−
12	−	−	−	−	−	−

CS1（プラットワン）チャンネル

チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK 1	プラットワン・プロモチャンネル	001	サウンドスケープテリア	700	データカレッジ	010
2 NHK 2	G＋SPORTS&NEWS	004	ヒーリングテリア	701	CS日本	011
3 NHK h	NNN24	005	ライトクラシックテリア	702	WOWOW PPV NAVI	090
4 BS日テレ	電波少年的放送局	006	スクリーンテリア	703	お一当たりch	900
5 BS朝日	ブルームバーグテレビジョン	007	ストリング・アンサンブルテリア	704	お！宝ch	901
6 BS-i	ミュージックジャパンTVプラス	008	カフェ・ミュージックテリア	705	CS教育テレビ	902
7 BS J	サイエンス教育チャンネル	009	スウィングテリア	706	ゲーちゃん	909
8 BSフジ	epプラザ	055	フュージョンテリア	707	ハローTivi	963
9 WOWOW	ep056	056	カントリー&ウェスタンテリア	708	スポーツTivi	966
10/0 スター	BBTV	085	ラテン&ブラジリアンテリア	709	ニュースTivi	967
11	ベルメゾンTV	088	ボーダーレス・ミュージックテリア	710	ショッピングTV	998
12	WOWOW PPV1	091	R&B・ソウルテリア	711	カルチャーTV	999

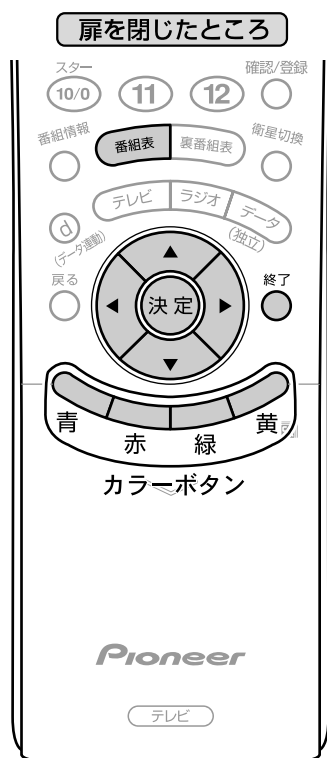
CS2（スカイパーフェクTV！2）チャンネル

チャンネルボタン	テレビボタンを押したとき		ラジオボタンを押したとき		データボタンを押したとき	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1 NHK 1	スカパー2プロモ	100	−	−	ワンテンポータル	110
2 NHK 2	C-TBSウェルカムチャンネル	160	−	−	CS映画	123
3 NHK h	ショップチャンネル	177	−	−	たまごとじ	168
4 BS日テレ	フジテレビ739	182	−	−	たまごとじ	169
5 BS朝日	AQステーション	194	−	−	タカラヅカ・スカイ・ステージ	190
6 BS-i	ザ・ゴルフチャンネル	211	−	−	AQデータ放送	196
7 BS J	日本映画＋時代劇TV	220	−	−	ム・一ハ	501
8 BSフジ	スーパーチャンネル	230	−	−	ム・一ハ	512
9 WOWOW	CS NOW	235	−	−	−	−
10/0 スター	アクティブ！スポーツチャンネル	250	−	−	−	−
11	タカラヅカ・スカイ・ステージ	290	−	−	−	−
12	−	−	−	−	−	−

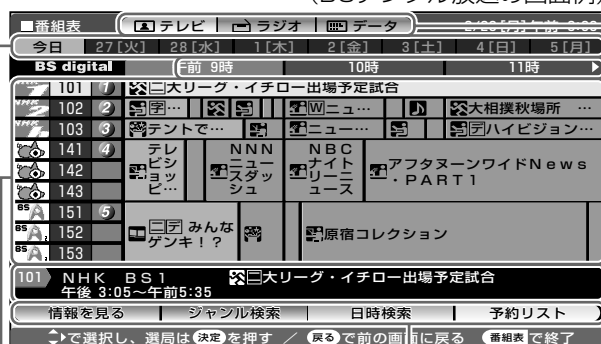
※CS2（スカイパーフェクTV！2）のラジオ放送は、現在放送予定がありません。
※チャンネルプランは2002年11月現在のもので、変更されることもあります。

電子番組表(EPG)の使いかた

BS・110度CSデジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

扉を閉じたところ

1 **BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を視聴中に 番組表 を押す**

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

選んでいる日にち　(BSデジタル放送の画面例)

選んでいる放送の種類の番組表が表示されます

選んでいる番組の時間帯

選んでいる番組の内容

カラーボタンに対応

基本

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは左右カーソルボタンを使います。

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で番組を選び、決定 を押す**

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。(**129**ページ参照)

電子番組表(EPG)画面を消すときは
番組表 または 終了 を押します。

おしらせ

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)が表示されるのは、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送だけです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表(EPG)を表示しているときに衛星切換ボタン、テレビ/ラジオ/データ(独立)ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がなく、色のついていないカラーボタンは、押しても働きません。

カラーボタンの機能について

青 (情報を見る)
番組情報が表示されます。

赤 (ジャンル検索)
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑 (日時検索)
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 (予約リスト)
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

1 番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する

2 見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき⇨選んだ番組が選局されます。
未放送の番組を選んだとき⇨予約選択画面になります。
(129ページ参照)

アイコン一覧

■BS・110度CSデジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

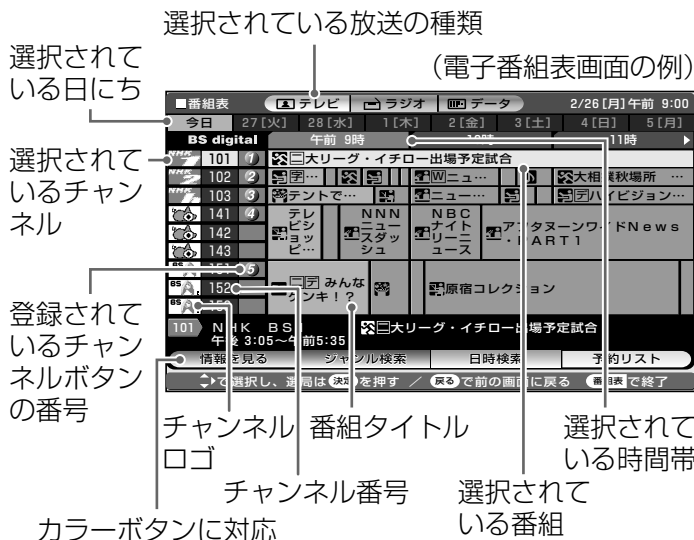
放送の種類を示すアイコン

アイコン	放送の種類
	テレビ放送
	ラジオ放送
	独立データ放送

番組情報を示すアイコン

アイコン	内 容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース・報道		映画
	スポーツ		アニメ・特撮
	情報・ワイドショー		教養・ドキュメンタリー
	ドラマ		劇場・公演
	音楽		趣味・教育
	バラエティー		福祉

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

ジャンルで番組を探す

■番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

扉を閉じたところ

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 赤 (ジャンル検索)を押す

2

見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ

■番組表		2/26［月］午前 9:00
BS digital ■ジャンル検索	◀ ▶でジャンルの切換えができます。 ニュース・報道	
101	NNNモーニングライブ	2/26［月］午前 9:00〜午前 9:50
102	BSニュース50	2/26［月］午前09:00〜午前10:00
103	BSニュース50	2/26［月］午前09:00〜午前10:30
141	NNNニュースダッシュ	2/26［月］午前10:00〜午前10:30
142	ニュース	2/26［月］午前10:00〜午前10:50
143	ニュース	2/26［月］午前10:30〜午前11:00
151	ニュース	2/26［月］午前11:00〜午後12:00
152	ニュース	2/26［月］午前11:30〜午後12:50
153	ニュース	2/26［月］午前11:30〜午後12:50

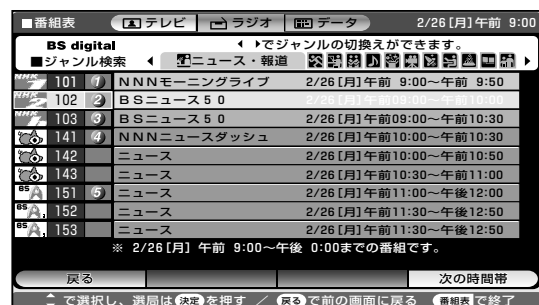
※ 2/26［月］ 午前 9:00〜午後 0:00までの番組です。

戻る ／ 次の時間帯

で選択し、選局は 決定 を押す ／ 戻る で前の画面に戻る 番組表 で終了

3

見たい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●黄ボタンを押すと、時間帯を3時間送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタンを押します。

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

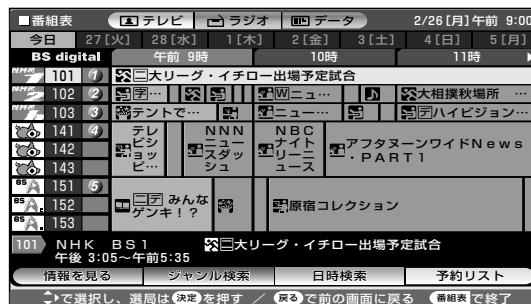
未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**129**ページ参照)

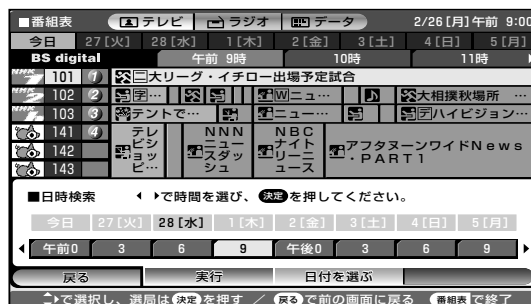
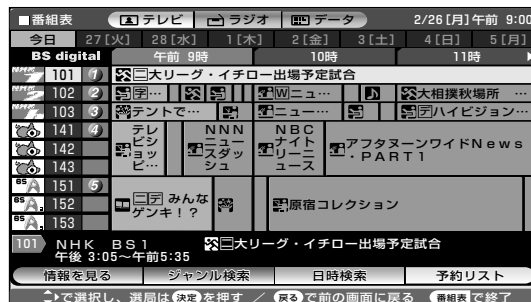
日時を指定して番組を探す

■日付と時間を指定して電子番組表を表示させることができます。

扉を閉じたところ

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する
② 緑(日時検索)を押す

2 ◀▶で日にちを選び、黄(時間を選ぶ)を押す

●日にちを選んだあとに決定ボタンを押すと、選んだ日にちの電子番組表が表示されます。

3 ◀▶で時間を選び、決定を押す

●指定された日時の電子番組表が表示されます。

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

番組の内容を確認する

■番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

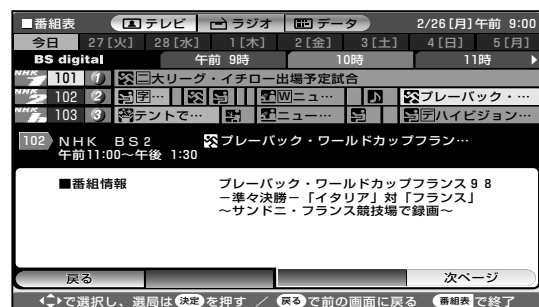
扉を閉じたところ

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を

で選ぶ

3 青(情報を見る)を押す

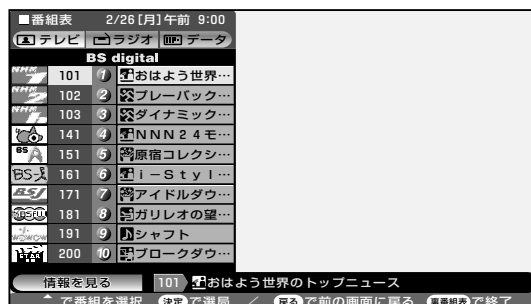
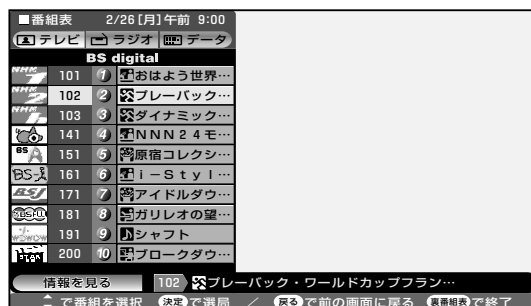
●番組情報が表示されます。

●黄ボタン(次ページ)を押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタン(前ページ)を押します。

視聴中の番組の内容を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。
(電子番組表を表示する必要はありません。)

放送中の他の番組を知りたいとき

扉を閉じたところ

1 (裏番組表)を押し、裏番組表を表示する

2 ▲ ▼ で番組を選ぶ

3 (青)(情報を見る)を押す

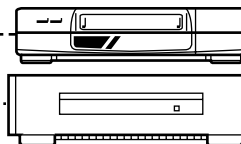
●選んだ番組の情報が表示されます。

●黄ボタン(次ページ)を押すと、つぎのページを見ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタン(前ページ)を押します。

おしらせ

- 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
- BS・CS1・CS2のいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれの放送種類についても、同じように裏番組表を表示することができます。
- 裏番組表を表示しているときに衛星切換ボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

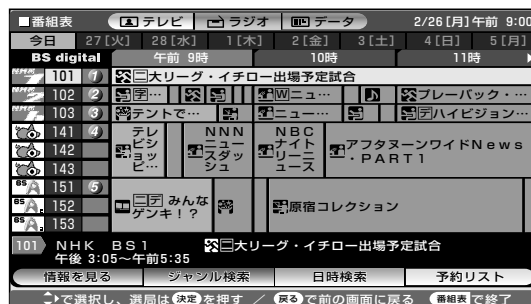
■BS・110度CSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

おしらせ

- データ番組はビデオ連動予約ができません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BS・110度CSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、リモコン扉内の予約解除ボタンで予約を解除（予約解除 の2つを同時に押す）してから操作してください。
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

視聴予約か録画予約かを選ぶ

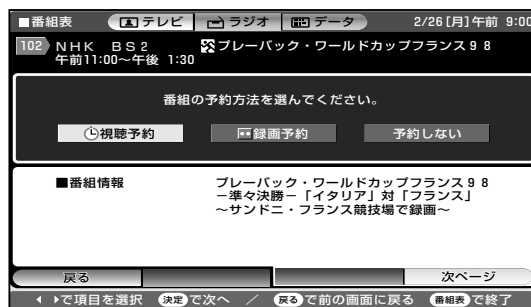
■電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約およびPPV(ペイパービュー)番組の録画予約ができます。

扉を閉じたところ

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**125**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を▲▼◀▶で選ぶ

3 決定を押す

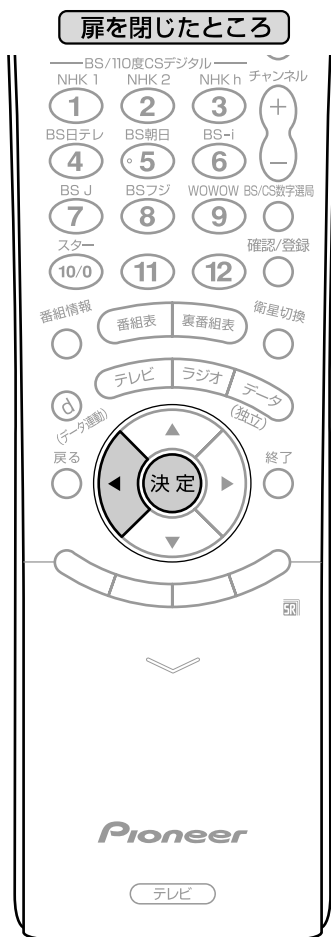
●予約選択画面になります。

「**視聴予約**」…… 視聴のみの予約となります。視聴予約の手順(**130**ページ)に進みます。

「**録画予約**」…… 録画する機器の選択ができます。録画予約の手順(**131**ページ)に進みます。

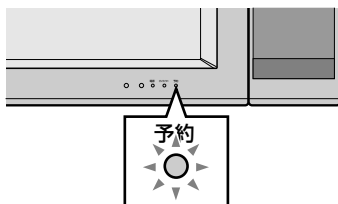
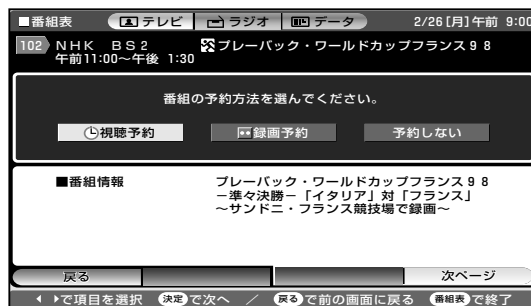
「**予約しない**」… 予約をしないで番組表に戻ります。

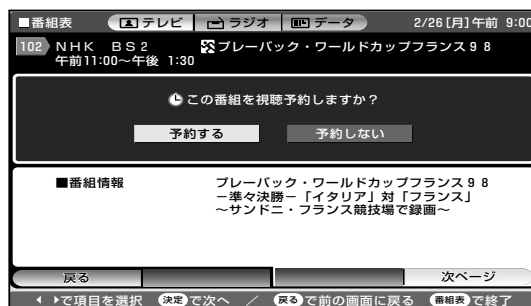
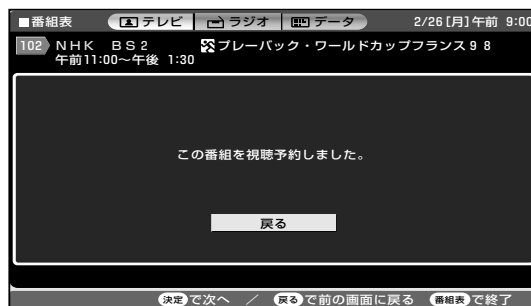
視聴予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**141**ページ)が必要です。

扉を閉じたところ

おしらせ

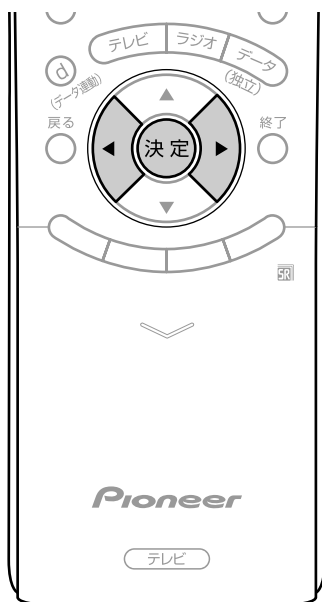
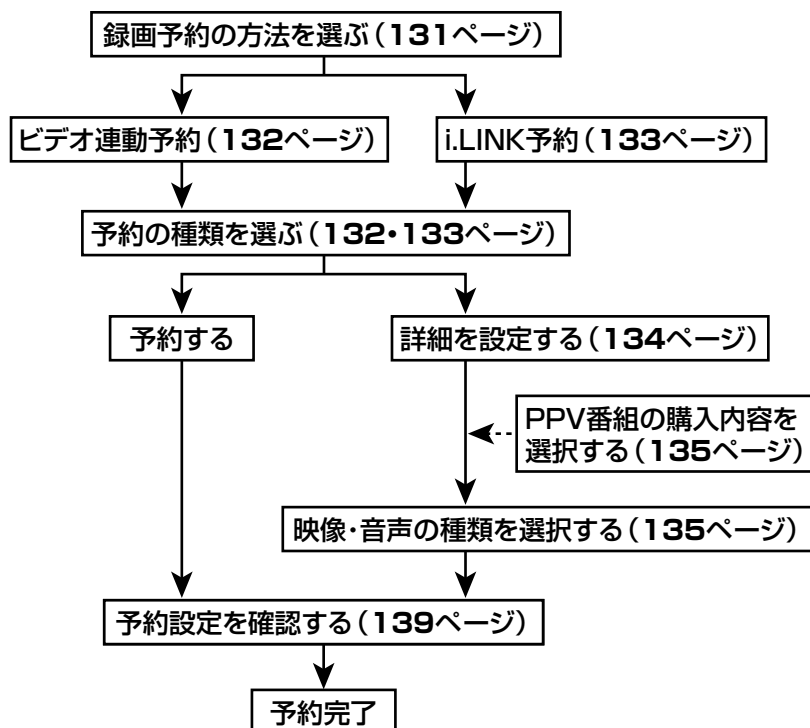
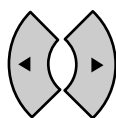
予約ランプについて

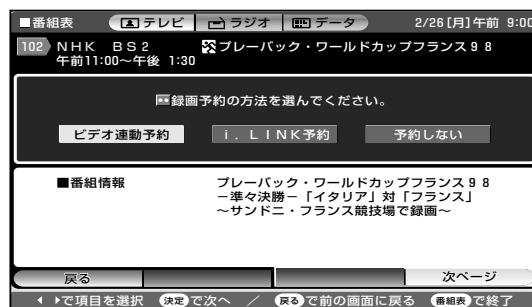
- 番組を予約すると、本体前面の予約ランプが点灯します。

1 ◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。

3 「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定されました。

録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し（**141**ページ）が必要です。
- データ放送はビデオ連動予約ができません。
- BS・110度CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください（**216**ページ）。
- 独立データ放送をD-VHSで録画するときは、i.LINKの設定を行ってください（**204**〜**208**ページ）。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

扉を閉じたところ

録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

録画予約の方法を選ぶ

で録画予約の方法を選び、**を押す**

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約（**132**ページ）に進みます。
「i.LINK予約」……… i.LINK連動予約（**133**ページ）に進みます。
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

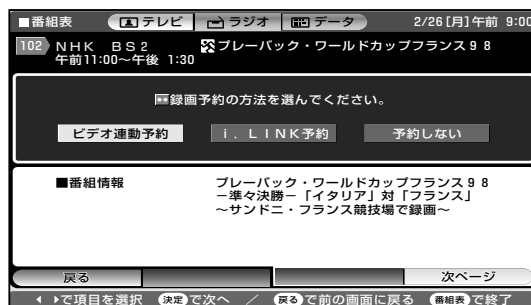
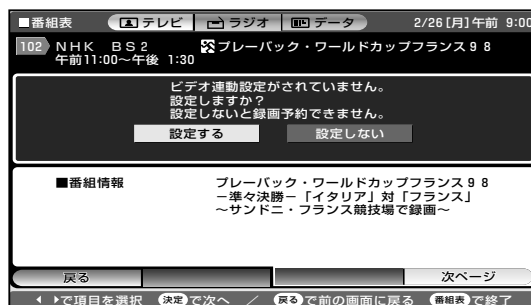
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

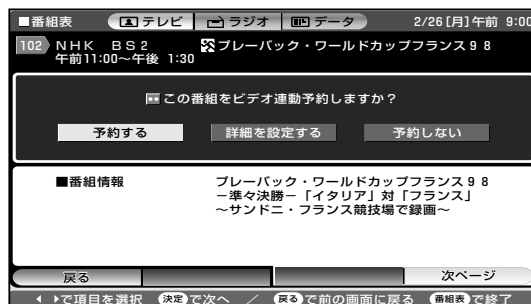
■ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了する予約録画方法です。

- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**198**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**199**ページ)を済ませておいてください。
- **ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。**

扉を閉じたところ

ビデオ連動予約するとき

1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**199**ページ参照)

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。

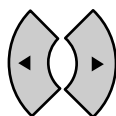
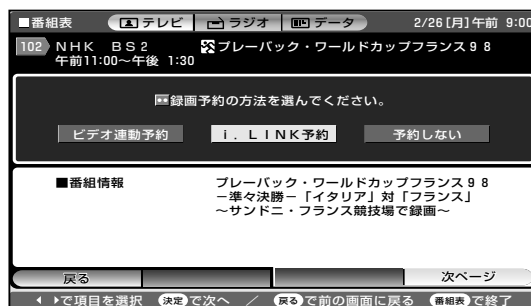
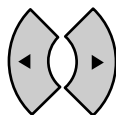
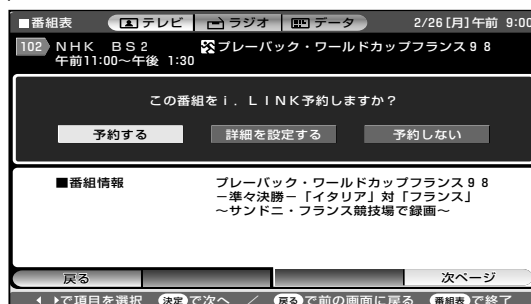
「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

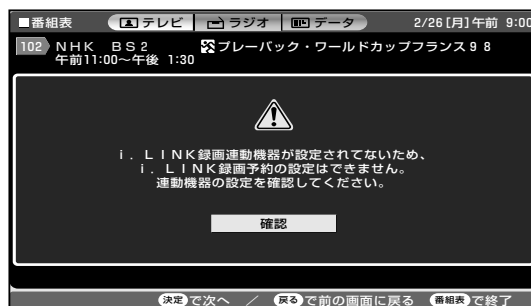
「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

■i.LINK予約とは、本体後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約した番組を録画する方法です。

●i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**202**ページ)とi.LINK設定(**204**〜**206**ページ)を済ませておいてください。

扉を閉じたところ

i.LINK予約するとき

1 ◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

●i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

●「確認」で決定ボタンを押すと、i.LINK設定画面になります。設定を行ってください。(**204**ページ参照)

「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

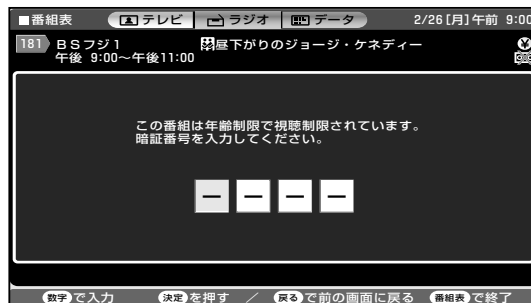
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

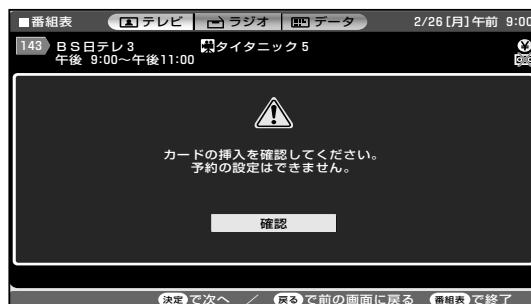
詳細設定

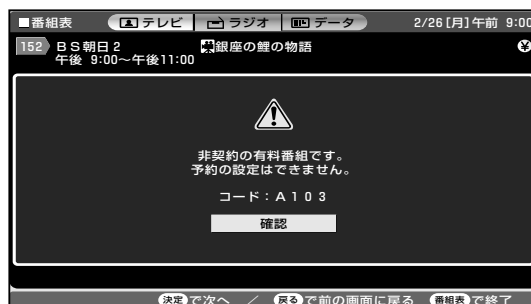
■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

扉を閉じたところ

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

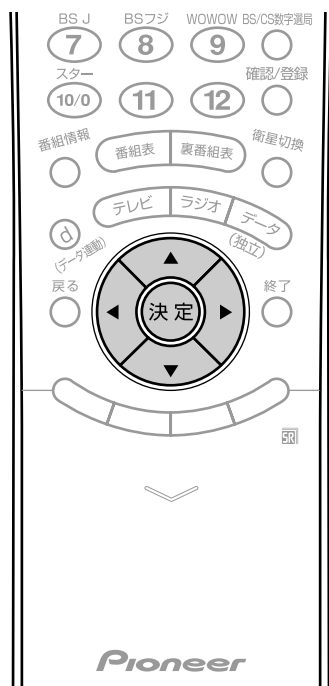
● 暗証番号入力画面が表示されます。

● BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力してください。(**151**ページ参照)

カード未挿入で非契約番組を予約したとき

●「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入し、「確認」で決定ボタンを押してください。

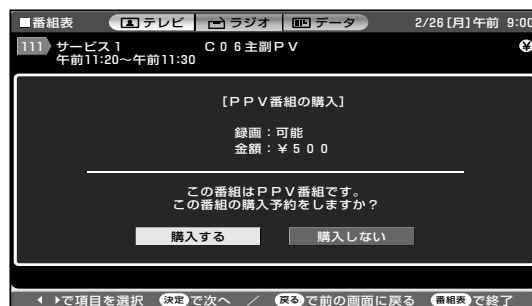
非契約の有料番組を予約したとき

●「(非契約)有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

ビデオ連動予約の場合

■映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」…	いろいろな角度から見た映像
「映像」………	主映像と副映像（最大3つ）
「音声」………	主音声と副音声（最大7つ）
「二重音声」…	主音声と副音声

PPV番組の購入（する／しない）を選択する

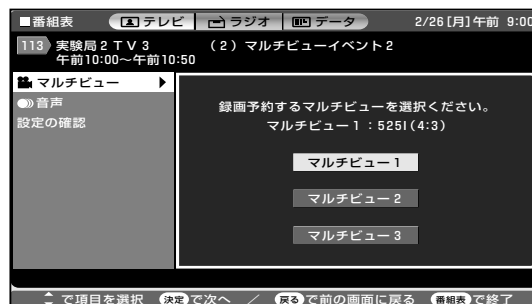
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

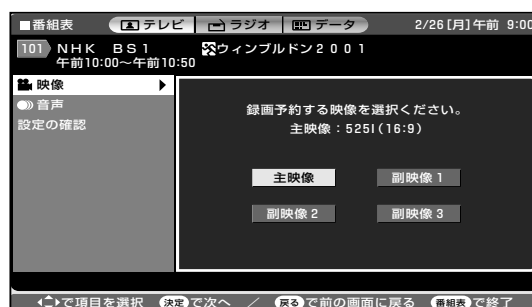
で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

● 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

映像・音声の種類を選択する

1

マルチビュー番組を選んでいるとき

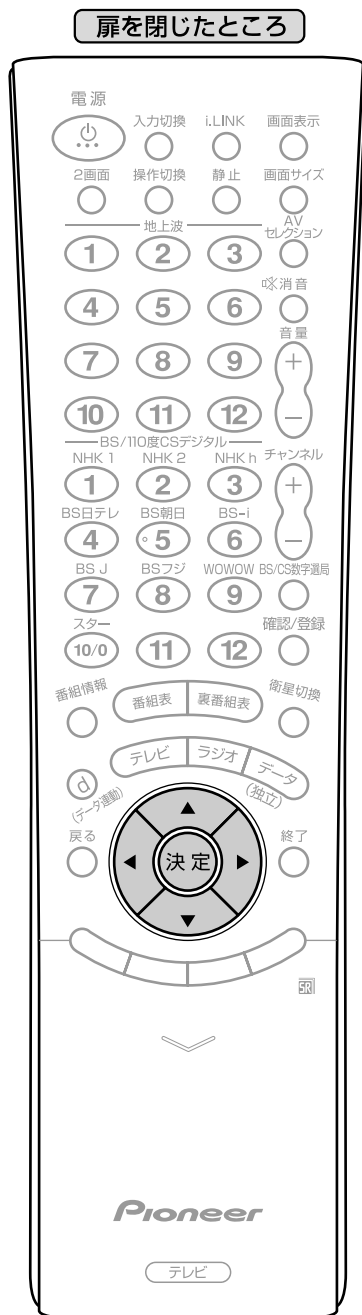
決定を押してから、▲▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

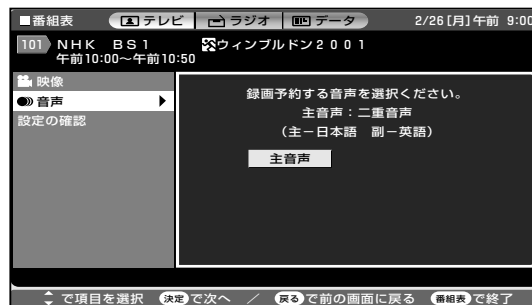
決定を押してから、▲▼◀▶で映像を選び、決定を押す

●副映像の数は、番組によって異なります。

次ページへ

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

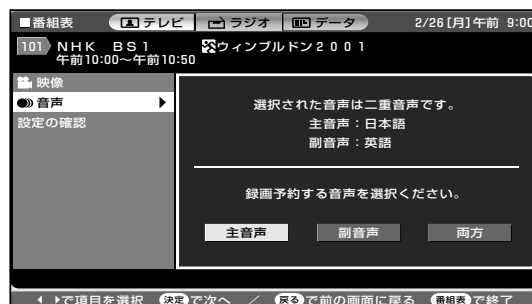
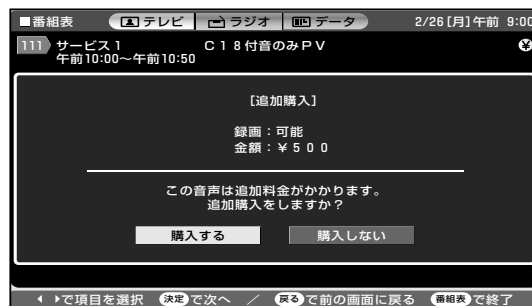
扉を閉じたところ

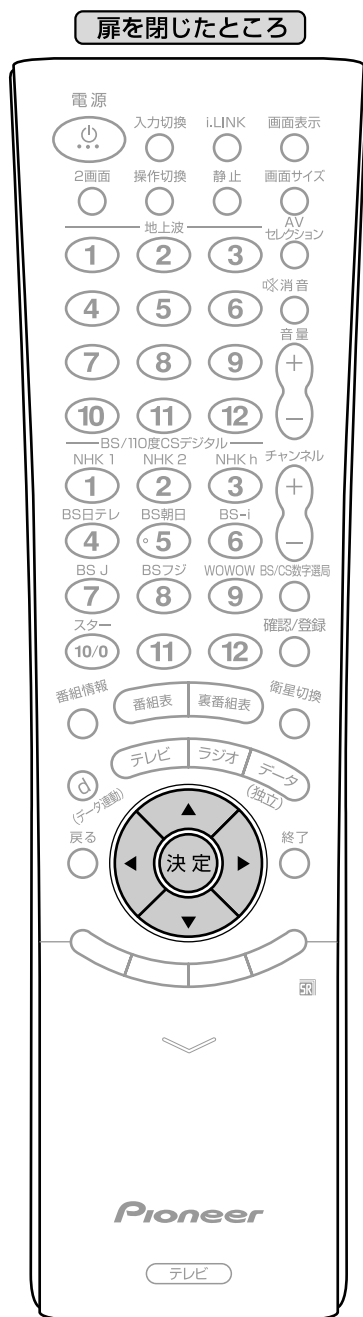
2

① [▼]で「音声」を選び、[決定]を押す

② [▲][▼][◀][▶]で音声を選び、[決定]を押す

●副音声の数は、番組によって異なります。

3

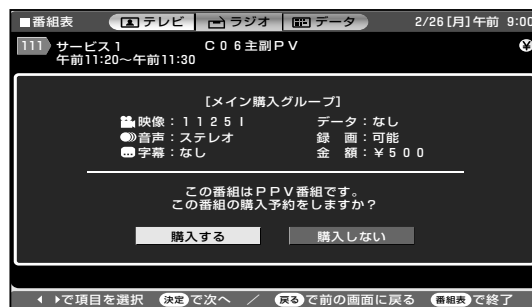
[◀][▶]で二重音声の種類(言語)を選び、[決定]を押す

●この操作は、手順**2**で選んだ音声が二重音声のときのみ必要です。

●映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

●「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

i.LINK予約の場合

扉を閉じたところ

PPV番組の購入(する/しない)を選択する

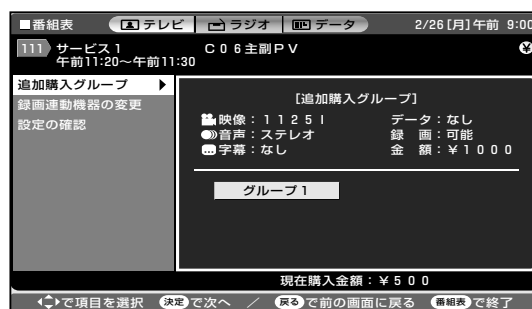
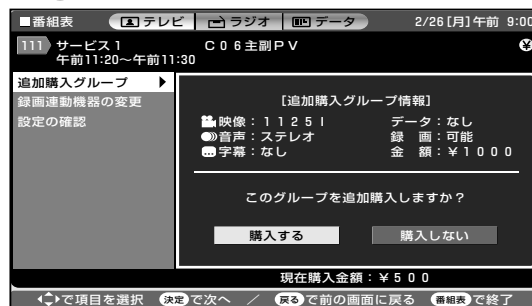
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

● 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

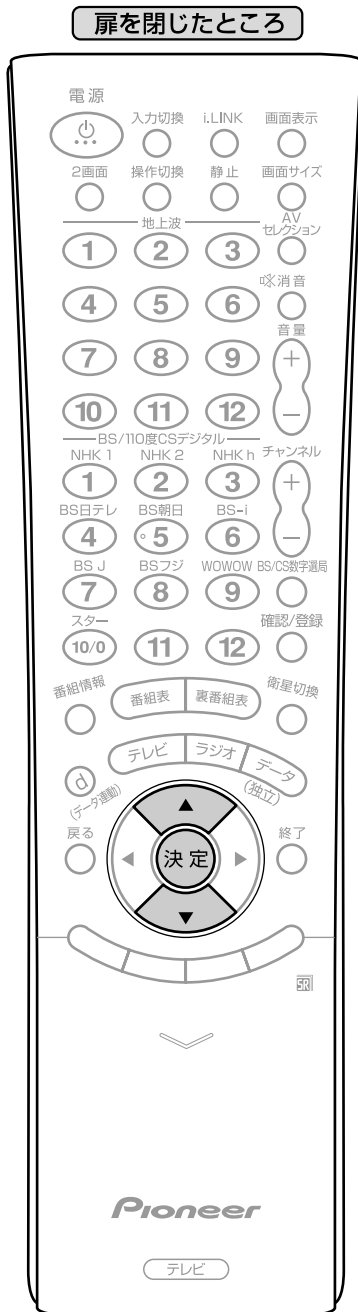
購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ(グループ)が複数あるときのみ必要な手順です。

1 ① 「追加購入グループ」で決定を押す

② で購入グループを選び、決定を押す

2 で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

i.LINK予約の場合(つづき)

扉を閉じたところ

使用するi.LINK機器を選択する

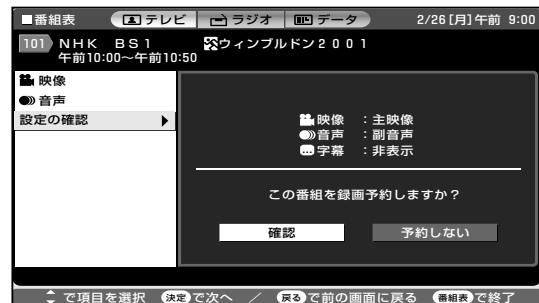
●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

1 ▲ ▼ で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す

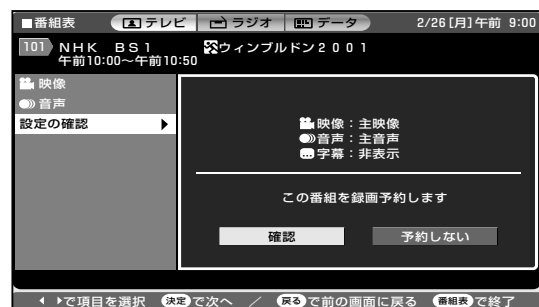
2 ▲ ▼ で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す

扉を開けたところ

予約設定を確認する

1 ▼で「設定の確認」を選び、決定を押す

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

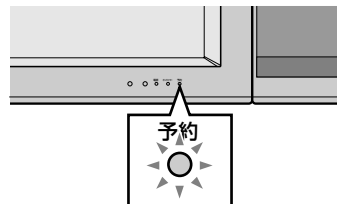
2 ① 画面に表示された設定内容を確認する

② 「確認」で決定を押す

●録画予約が設定されました。

●「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

おしらせ

予約ランプについて

● 番組を予約すると、本体前面の予約ランプが点灯します。

実行中の予約録画を解除するには

● 予約解除ボタンを押します（予約解除の2つを同時に押す）。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

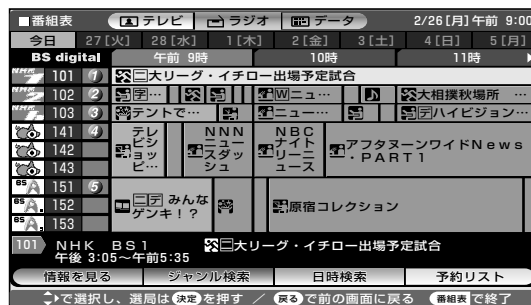
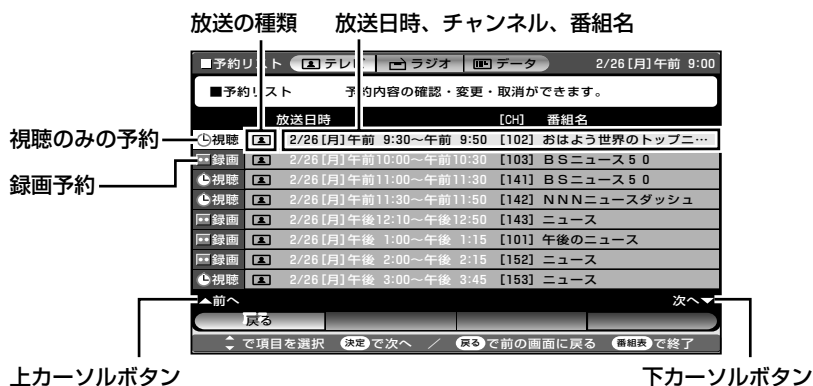
予約の確認・取消し・変更

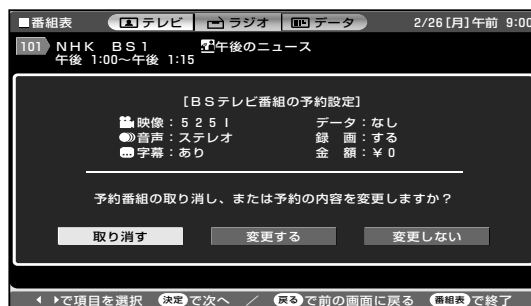
■番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

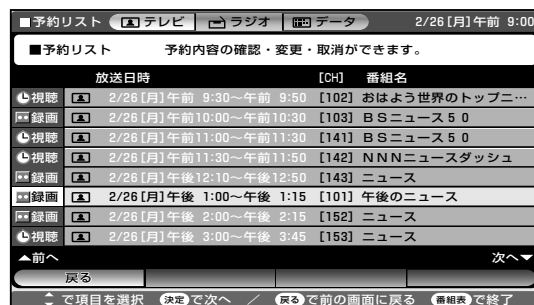
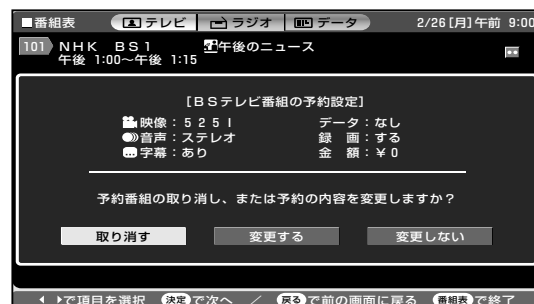
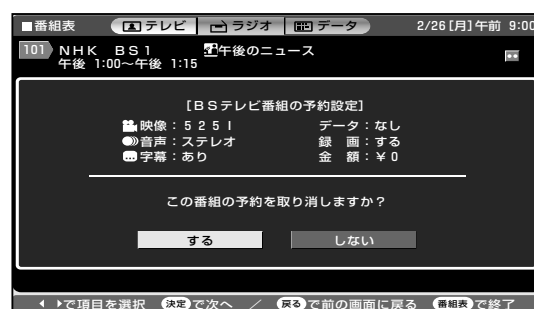
扉を閉じたところ

予約を確認したいとき

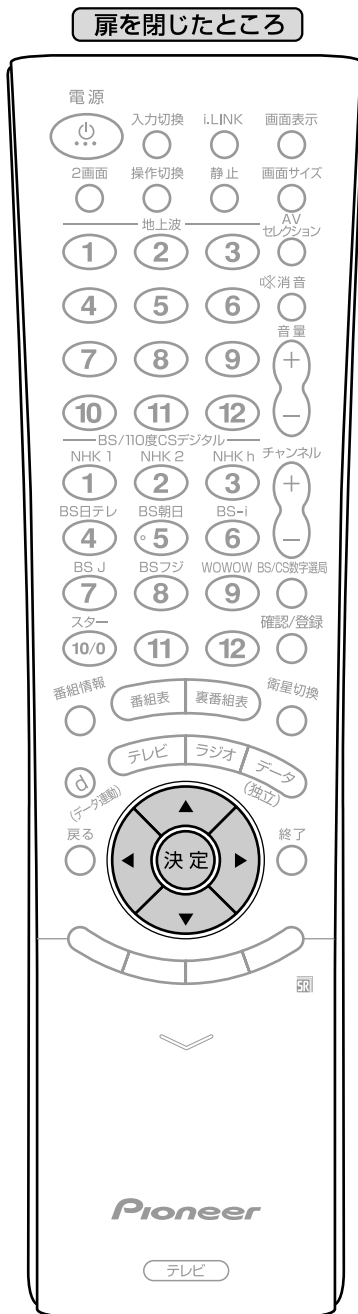
① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄（予約リスト）を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

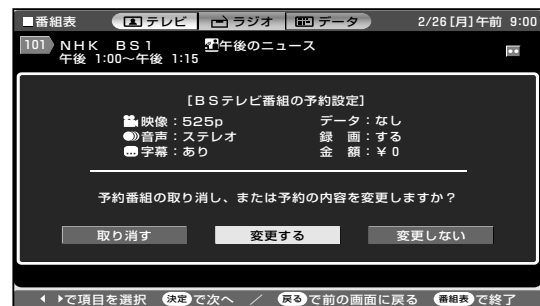
扉を開けたところ

予約を取り消したいとき

1 **予約を取り消したい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す**

2 **◀ で「取り消す」を選び、決定 を押す**

3 **◀ で「する」を選び、決定 を押す**

おしらせ

実行中の予約録画を解除するには

- 予約解除ボタンを押します（予約解除 の2つを同時に押す）。

予約を変更したいとき

1 **予約を変更したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す**

2 **◀ ▶ で「変更する」を選び、決定を押す**

● 予約選択画面になります。

3 **予約操作をやりなおす**

● **128**〜**139**ページの操作手順をご参照ください。

放送視聴のためのいろいろな設定

画面サイズの設定

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「画面サイズ設定」を選び、決定を押す

3

◀▶で「オート」または「フル固定」を選び、決定を押す

「オート」………525i放送以外の放送を1125i変換してディスプレイに表示・再生します。525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。通常はこの位置(オート)でお使いください。

「フル固定」……すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

おしらせ

2種類の画面サイズ設定について

- 「オート」…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- 「フル固定」…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

録画画面サイズの設定

■本機に接続した録画用機器にBS・110度CSデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

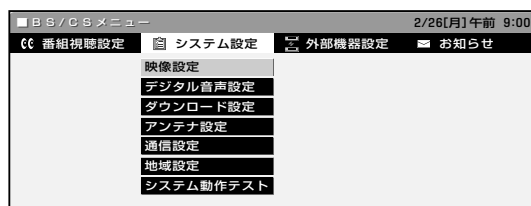
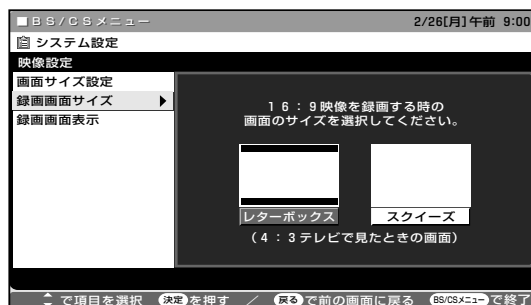
扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

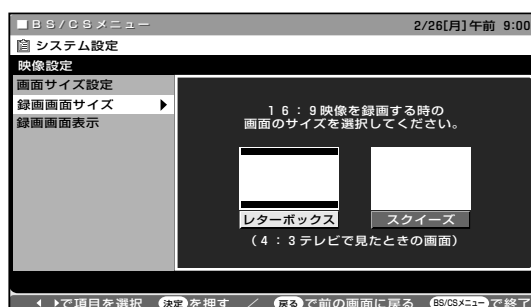
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定を押す

2

▲ ▼ で「録画画面サイズ」を選び、決定を押す

3

◀ ▶ で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定を押す

「レターボックス」… 4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

「スクイーズ」……… 4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

録画画面表示の設定

■本機のBS/CS出力端子に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕、メニュー、電子番組表などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

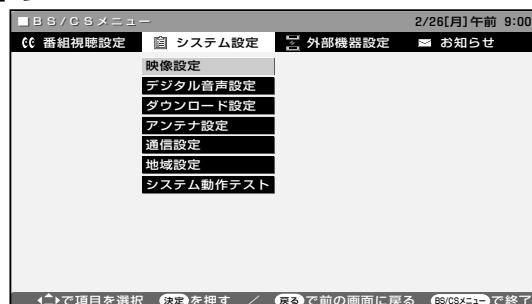
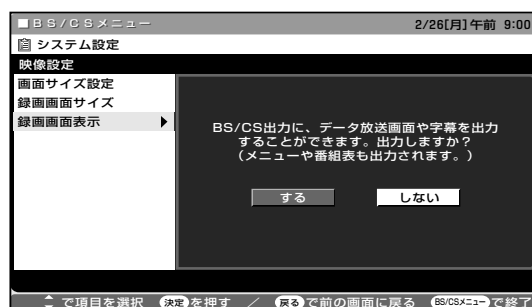
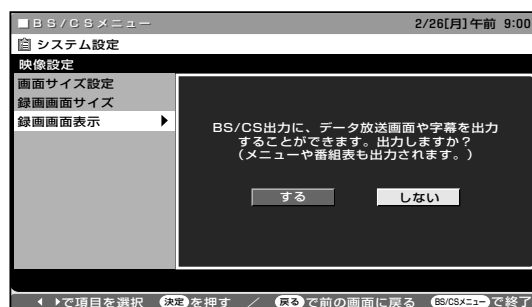
③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「録画画面表示」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

おしらせ

- 録画画面表示を「する」に設定したとき、BS/CS出力の画面サイズが変わることがあります。

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

チャンネル表示のしかたを選ぶ

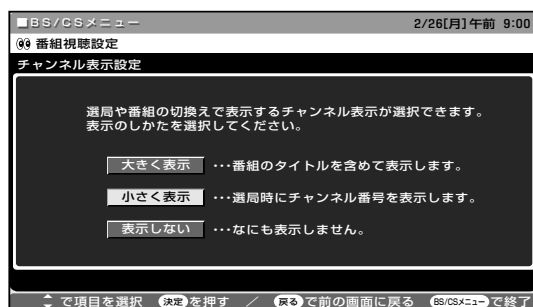
■番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

扉を開けたところ

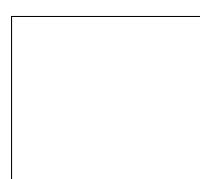
1 ① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼ で「チャンネル表示設定」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で表示のしかたを選び、決定 を押す

「大きく表示」… 選局時に番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

「小さく表示」… 選局時にチャンネル番号だけを表示します。

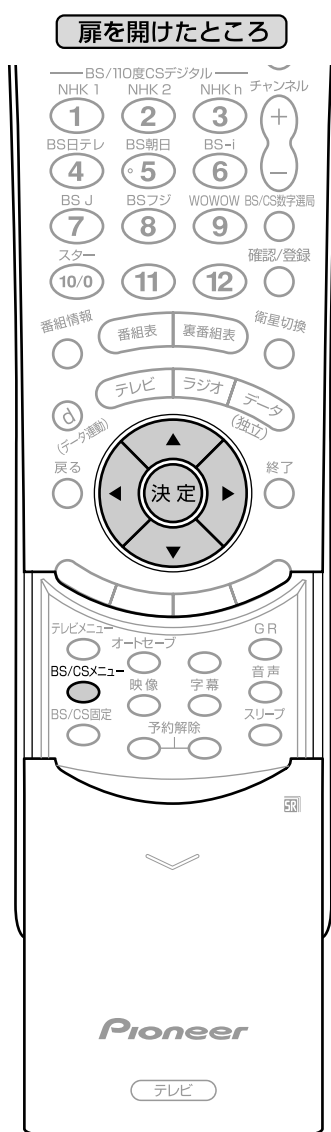
「表示しない」… 何も表示しません。(ビデオ連動予約時にチャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。)

3 BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

チャンネルスキップを設定する

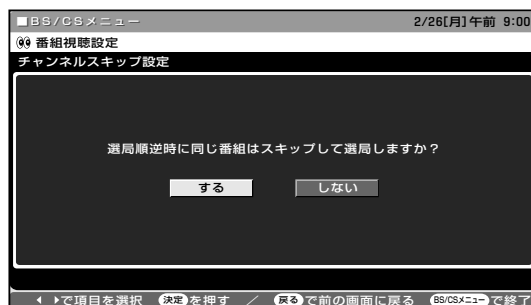
■チャンネル(＋／－)ボタンでＢＳ／110度CSチャンネルを選局するとき、同じ番組※をとばして選局するように設定することができます。

※ 時間帯によっては、同じ1つの放送局が複数のチャンネルで同じ番組を放送することがあります。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定を押す

2

◀ で「する」を選び、決定を押す

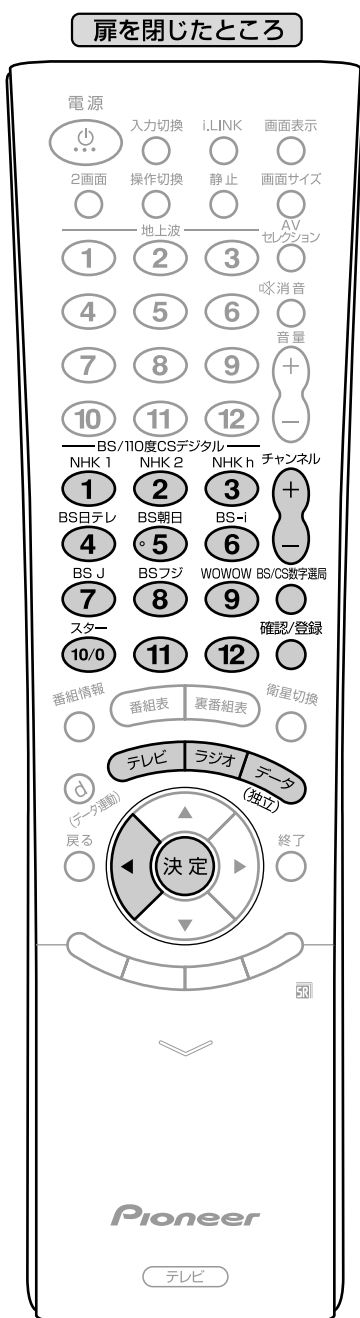
3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

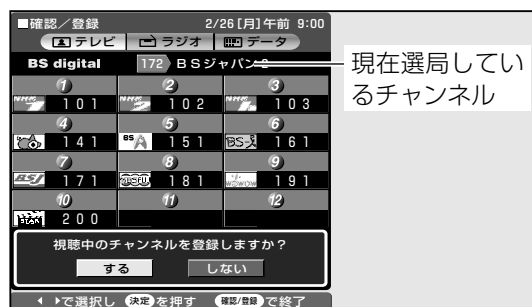
お好みのチャンネルを登録する

■BS・110度CSデジタル放送のテレビ放送・ラジオ放送・独立データ放送それぞれにつき、お好みのチャンネルを12局まで登録できます。登録できるチャンネルボタンは、BS／110度CSチャンネルボタン1〜12です。

扉を閉じたところ

1

① **登録したいBS・110度CSデジタル放送のチャンネルを選局する**

② 確認/登録 **を押す**

③ ◀ **で「する」を選び、決定を押す**

2

登録したいBS／110度CSチャンネルボタン(1〜12)を押し、決定を押す

<例>「BSジャパン2」(172チャンネル)を⑪に登録する場合は、BS／110度CSチャンネルボタン⑪を押します。

●登録確認画面が表示されます。

3

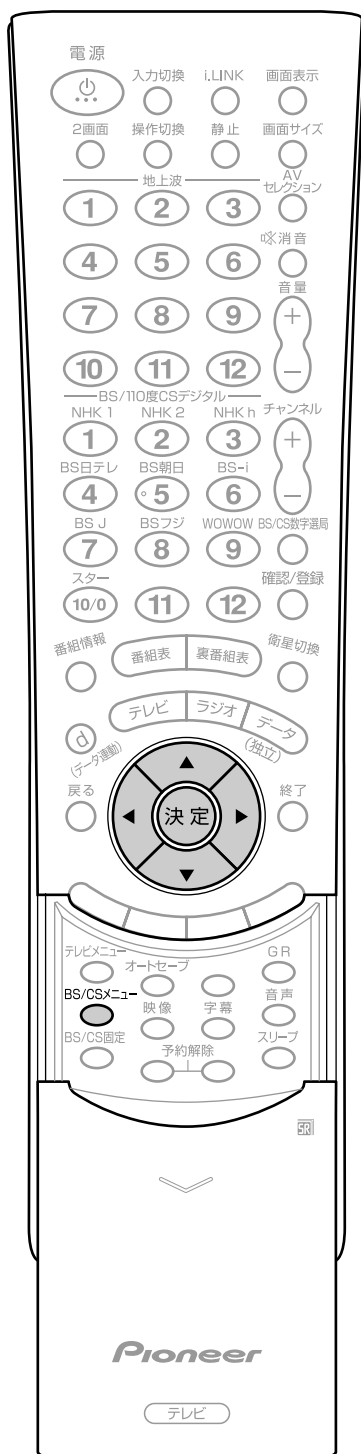
◀ **で「登録する」を選び、決定を押す**

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期設定」を選んで決定ボタンを押します。

電子番組表やBS/CSメニューを半透明で表示する

■背景の映像を見ながらメニュー操作などをしたいとき、BS/CSメニューや電子番組表を半透明で表示させることができます。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

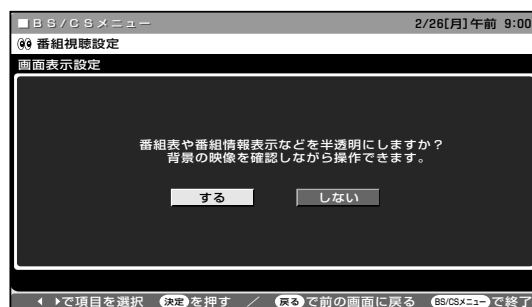
③ ▲ ▼ で「画面表示設定」を選び、決定を押す

2

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… BS/CSメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

「しない」…… 半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。

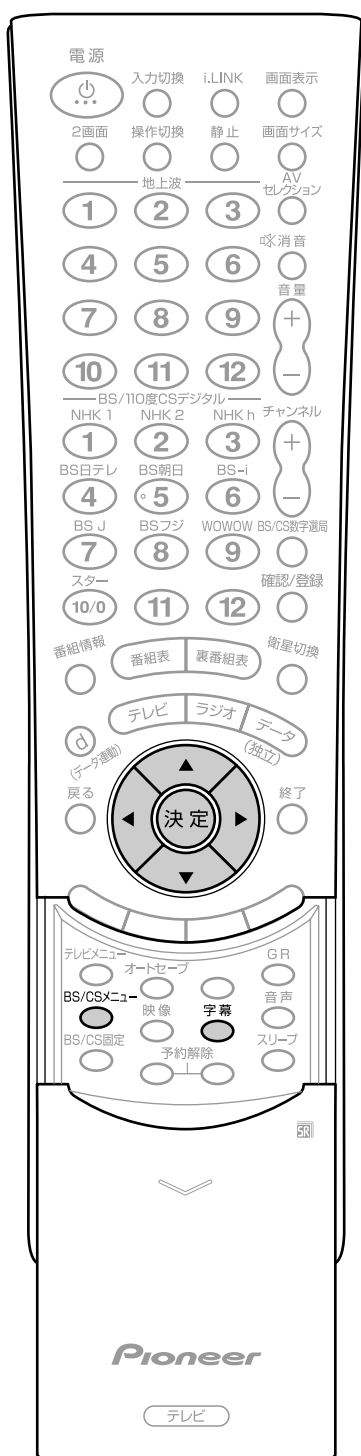
3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

字幕を表示する

■字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

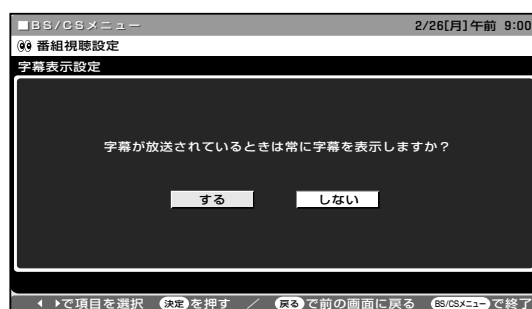
③ ▲ ▼ で「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 字幕のある番組では、常に字幕を表示します。(リモコンの字幕ボタンでは字幕表示を消せません。)

「しない」…… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示の入／切を選択できます。

3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

■暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

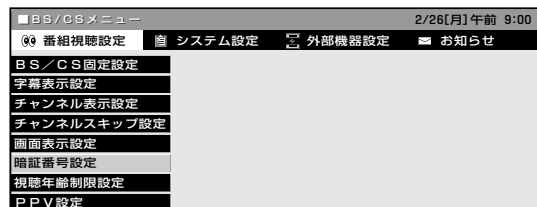
扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー **を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

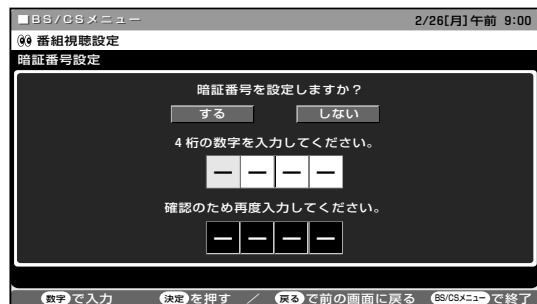
② ◀ ▶ **で「番組視聴設定」を選ぶ**

③ ▲ ▼ **で「暗証番号設定」を選び、決定を押す**

2

◀ ▶ **で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」……新しい暗証番号の設定(手順**3**)に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

3

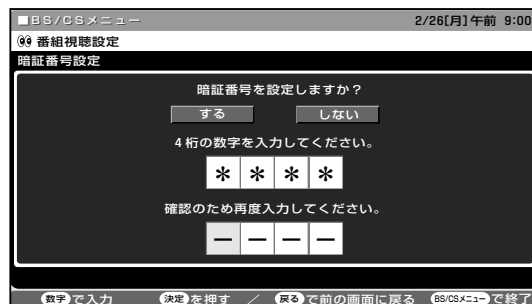
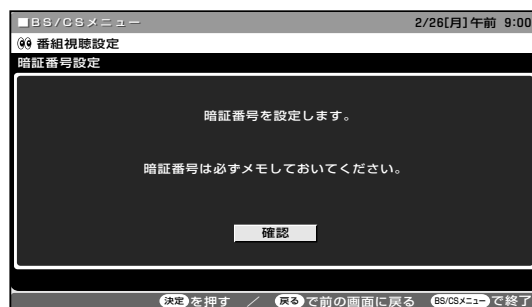
BS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で、新しい暗証番号を入力する

●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁削除できます。

次ページへ

次ページへつづく

扉を閉じたところ

4 確認のため、再度同じ番号をBS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で入力する

●番号の入力を間違えると、手順3からやりなおしになります。

5 暗証番号をメモし、「確認」で決定を押す

●新しく入力した暗証番号の設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

おしらせ

● 暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

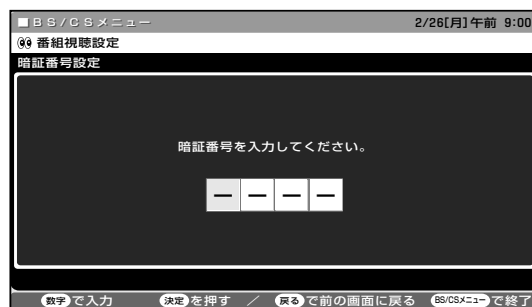
● 受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
暗証番号の消去には手数料がかかります。(2002年11月現在)

扉を開けたところ

暗証番号を変更するとき

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

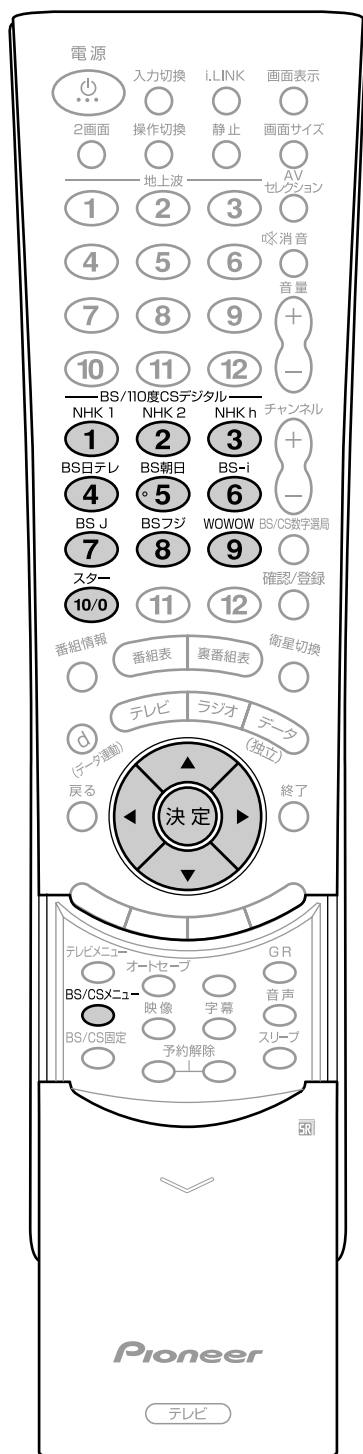
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

●暗証番号を入力すると、**151**ページ「暗証番号を設定する」の手順**2**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

視聴年齢制限を設定する

■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4〜20歳の範囲で設定できます。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定を押す

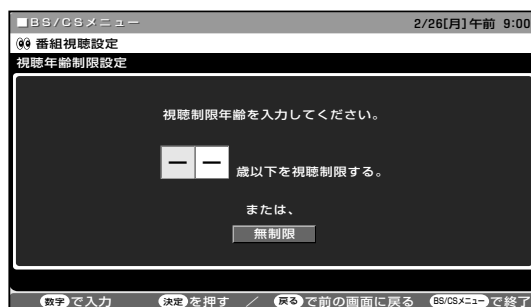
2

BS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する

● 視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3

① ▲ で年齢の入力欄を選ぶ

② 制限する年齢をBS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で入力し、決定を押す

● 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

PPV制限を設定する

■暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**151**ページ)をしておくことが必要です。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV設定」を選び、決定を押す

2

BS/110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

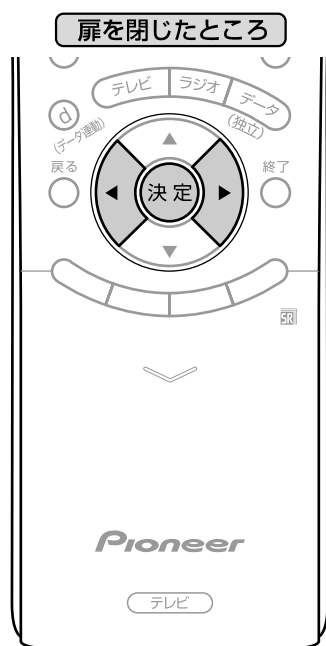
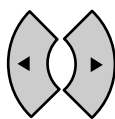
●PPV設定画面が表示されます。

3

「PPV制限」で決定を押す

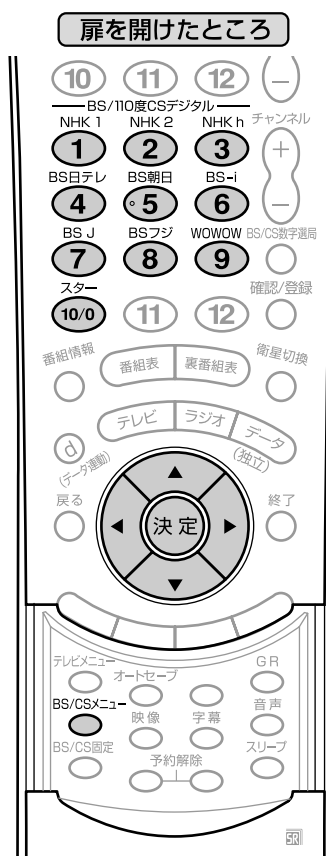
次ページへ

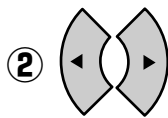
次ページへつづく

安心して使うための設定(つづき)

4 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……PPV番組の購入前に暗証番号の入力が必要になります。
「しない」…PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

購入金額制限を設定する

■PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV設定」を選び、決定を押す

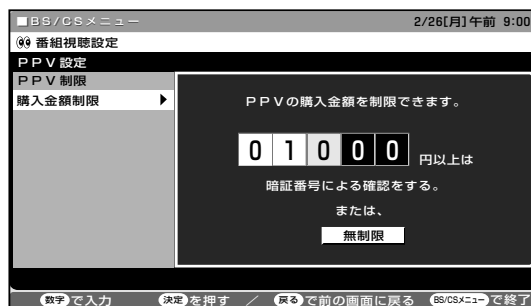
2 BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

次ページへ

3 で「購入金額制限」を選び、決定を押す

4 ① ▲で購入金額の入力欄を選ぶ

② 購入金額の上限をBS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で入力し、決定を押す

<例>1,000円のとき

- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定

ダウンロードの設定

■ ダウンロードとは、BS・110度CSデジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

扉を開けたところ

1 BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

2 ① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

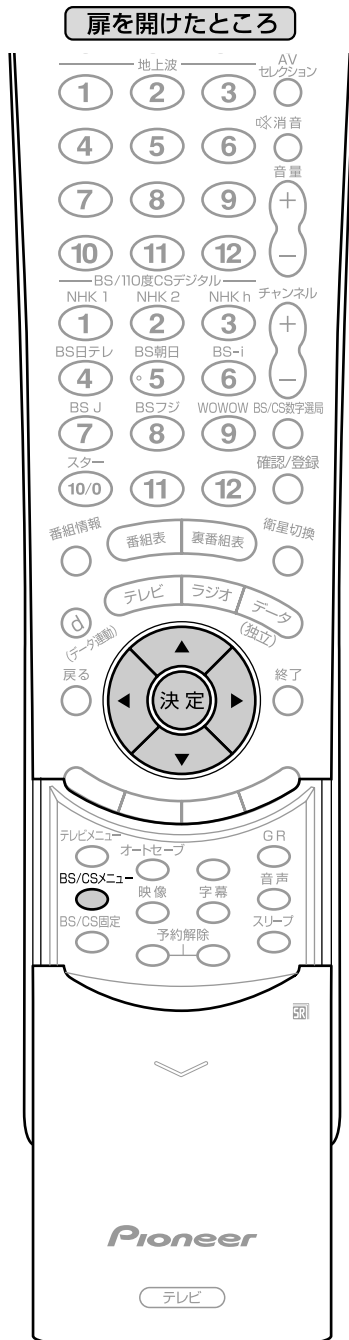
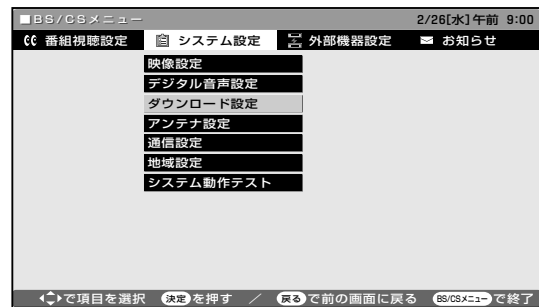
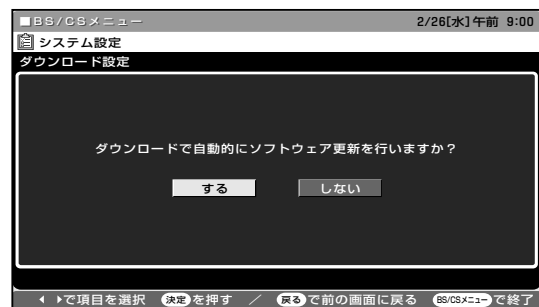
② ▲▼で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)

「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

4 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

● ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

手動でダウンロードを行うとき

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

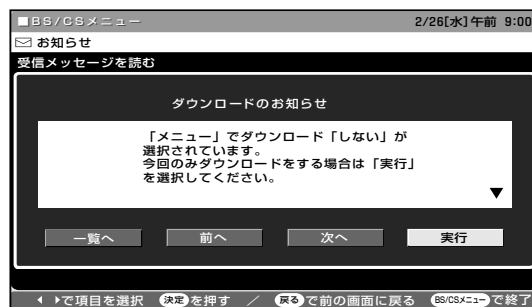
② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2

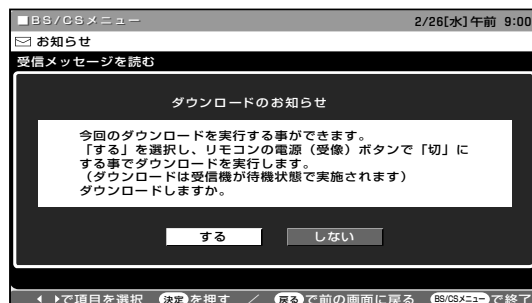
▲ ▼ で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

3

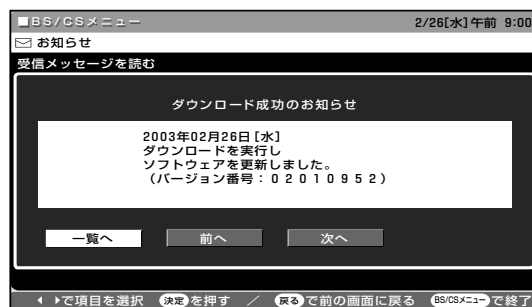
画面の表示内容を確認してから、▶ で「実行」を選び、決定を押す

次ページへ

扉を開けたところ

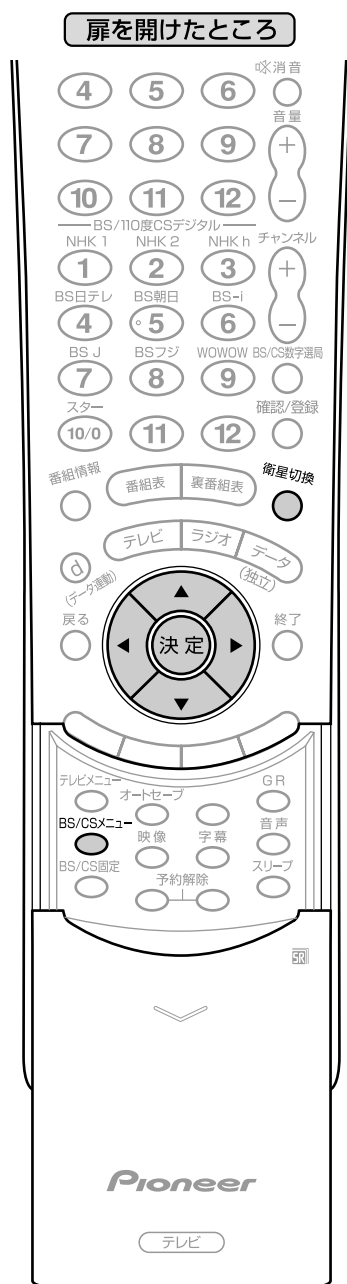
4 画面の表示内容を確認してから、で「する」を選び、(決定)を押す

おしらせ

- ダウンロードは、本機の電源がスタンバイ状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、スタンバイ状態にしてください。

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**159**ページ手順**1**～**2**の操作を行ってください。

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、BS/CSリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、デジタル放送受信ユニットの電源が入り、ファンが回る場合がありますが、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的にスタンバイ状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)に戻ります。

BS・110度CSアンテナの設定

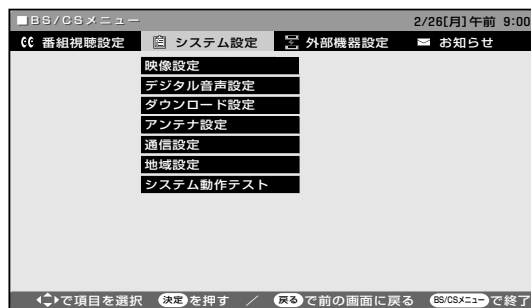
■BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要となります。その場合、アンテナ設定画面を見ながら設定を行うことができます。

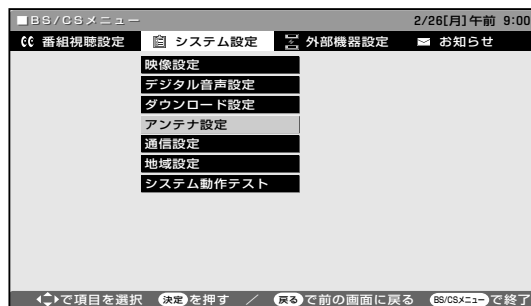
扉を開けたところ

アンテナ設定画面を表示する

1 **BSデジタル放送のチャンネルを選局する（116～118ページ参照）**

① 衛星切換でBSを選ぶ

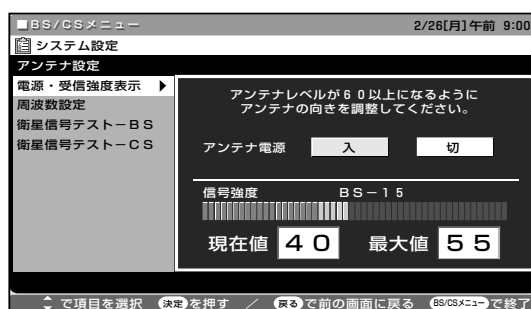
② 無料番組を選局する

2 **① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

3 **▲▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す**

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

アンテナに電源を供給する

1 **「電源・受信強度表示」で(決定)を押す**

2 **(◀)(▶)でアンテナ電源「入」または「切」を選び、(決定)を押す**

「入」……個人でアンテナを設置・接続している場合
「切」……共聴アンテナに接続している場合(電源を供給しないとき)(工場出荷時の設定)

受信強度を確認・調整する

3 (アンテナの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

アンテナレベルが最大になるようアンテナの向きを調整する

- アンテナレベル(信号強度)が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。

4 **(決定)を押す**

衛星信号テスト

[例] BSデジタル放送の衛星信号テストを行う

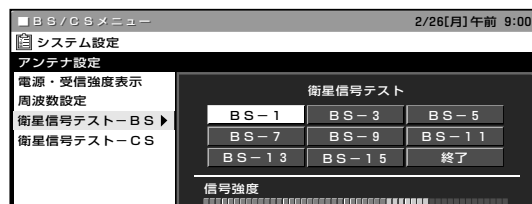
1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

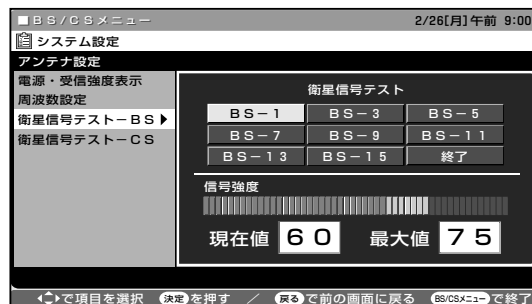
② ◀▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼ で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

2

▲▼ で「衛星信号テストーBS」を選び、決定を押す

3

テストしたいチャンネルを▲▼◀▶で選び、決定を押す

- アンテナレベル(信号強度)の最大値が60以上あることを確認してください。

4

▼▶ で「終了」を選び、決定を押す

扉を開けたところ

■110度CSデジタル放送の衛星信号テスト

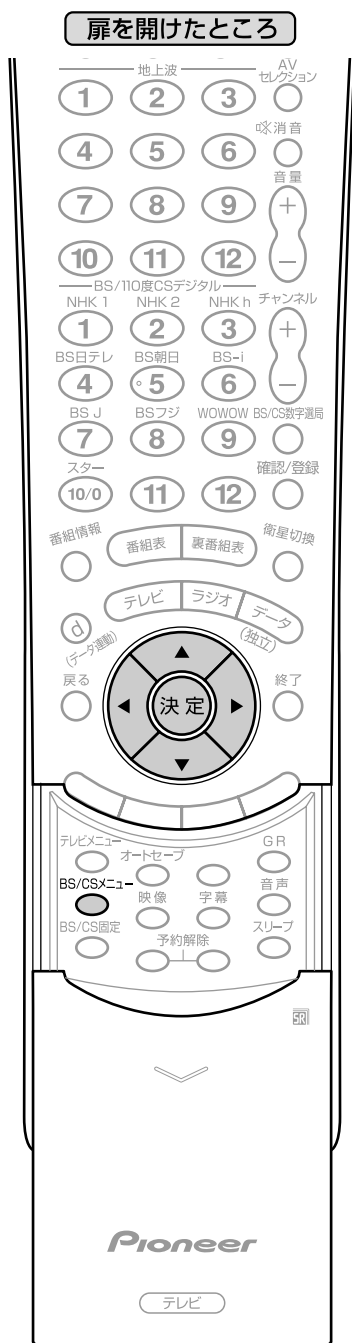
手順2で「衛星信号テスト-CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

■周波数設定

新しい衛星が追加されたり、現在の衛星が故障した場合、新しい周波数を入力することで、受信に必要な情報を取得できます。

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

電話回線の設定

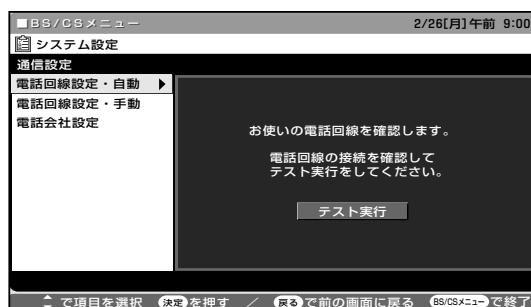
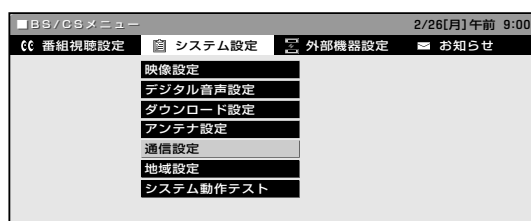
■引っ越しなどで電話回線の種類を変えたときは、電話回線設定をしなおす必要があります。

1 **電話回線が接続されていることを確認する(50ページ参照)**

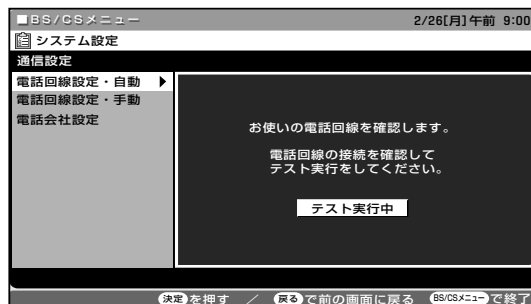
2

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

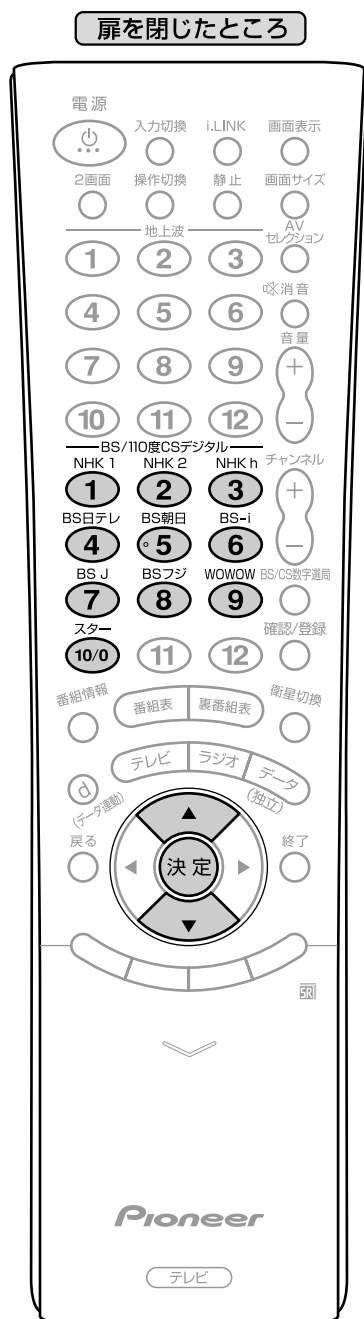
3

① 「電話回線設定・自動」で決定を押す

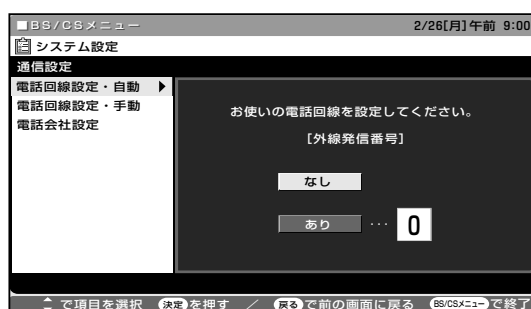
② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」が表示されます。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。(**165**ページ参照)

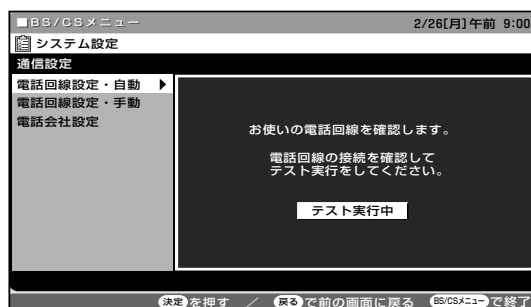
おしらせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

外線発信番号の設定

1 ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」……外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）
「あり」……電話交換機などをご使用の場合

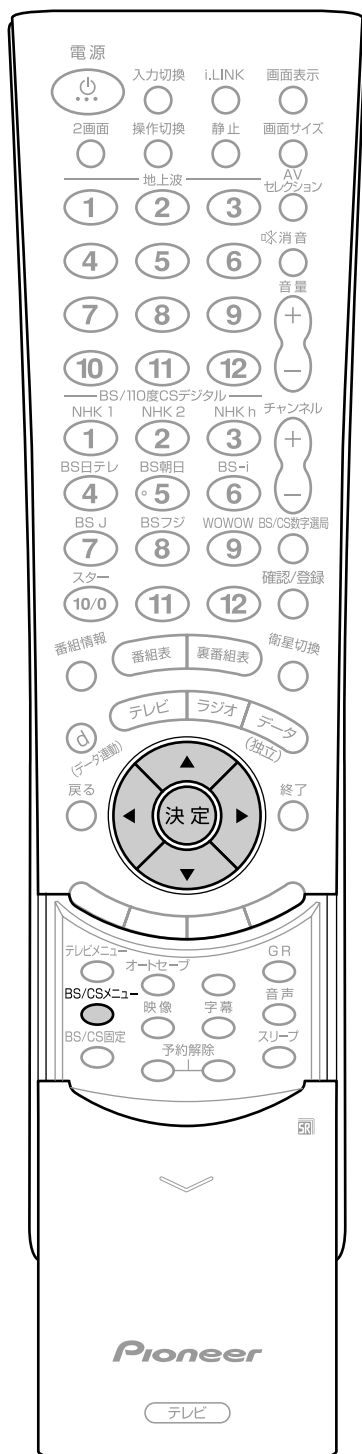
● 「あり」を選んだ場合は、BS／110度CSチャンネルボタン(1〜10/0)で外線発信番号(0〜9)を右のボックスに入力してから決定ボタンを押します。

2 「テスト実行」で決定を押す

● 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
● 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

ご注意
● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、166ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

扉を開けたところ

手動による電話回線設定

1

① [BS/CSメニュー] を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、[決定] を押す

2

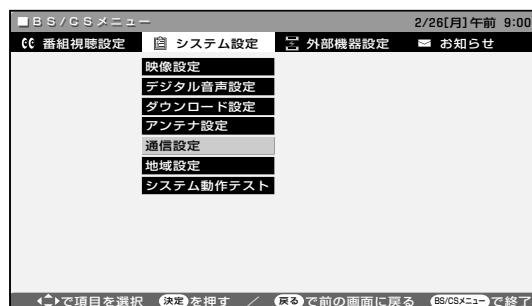
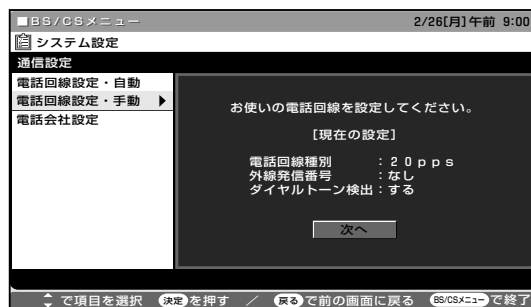
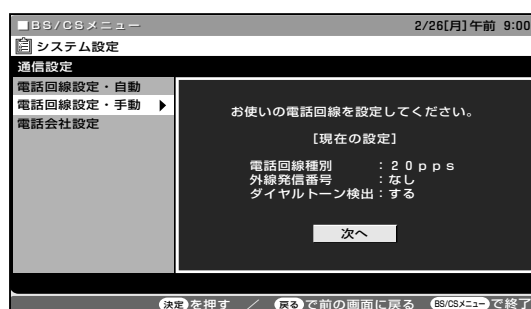
▲ ▼ で「電話回線設定・手動」を選び、[決定] を押す

3

① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で [決定] を押す

次ページへ

扉を開けたところ

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

ご注意

4 ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

● 契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

5 ① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

●「あり」を選んだ場合は、BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

6 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す

7 BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

電話会社設定

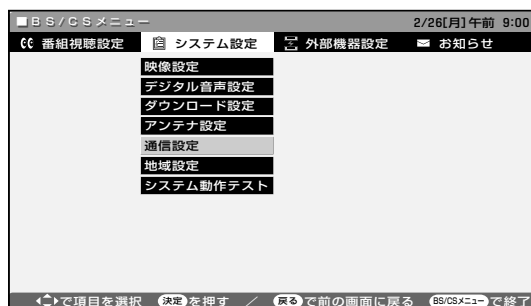
■ 放送局やプラットフォームなど、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
■ **通常は設定する必要はありません。**

扉を開けたところ

発信者番号通知設定

● 通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

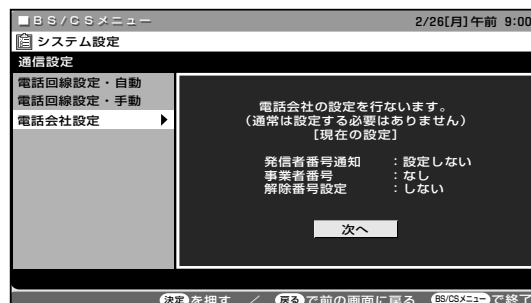
1 **BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

2 **① ◀▶で「システム設定」を選ぶ**
② ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

3 **▼で「電話会社設定」を選び、決定を押す**

次ページへ

4

① 「現在の設定」を確認する

② 「次へ」で決定を押す

5

▲▼で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、決定を押す

「設定しない」…… 「186」「184」のどちらにも設定しない

「186」……………… 番号を通知する

「184」……………… 番号を通知しない

■BS/CSメニュー　2/26[月] 午前 9:00
システム設定
通信設定
電話回線設定・自動
電話回線設定・手動
電話会社設定
発信者番号通知を設定してください。
[発信者番号通知]
設定しない
186
184
で項目を選択　決定を押す ／ 戻るで前の画面に戻る　BS/CSメニューで終了

次ページへ

次ページへつづく

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を開けたところ

事業者番号設定

- 電話回線による通信に利用する電話会社の識別番号を登録します。

6 **で、利用している電話会社の識別番号を選び、決定を押す**

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

7 **で「する」または「しない」を選び、** **を押す**

「する」………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」……… マイラインプラスを解除しないで発信します。

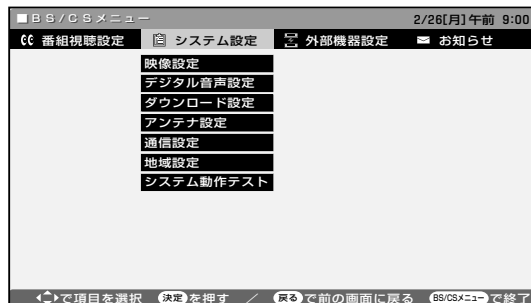
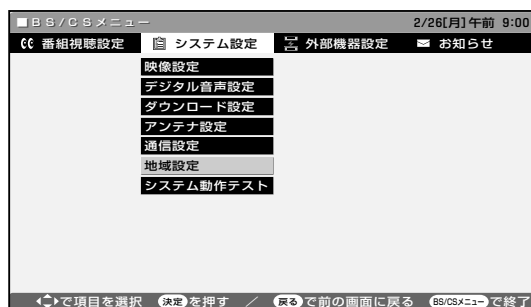
8 BS/CSメニュー **を押し、通常画面に戻す**

地域と郵便番号の設定

■緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お客さまがお住まいの地域に向けた情報を受信するために、必ず地域設定を行ってください。

扉を開けたところ

地域設定

1 BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

2 ◀▶で「システム設定」を選ぶ

3 ▲▼で「地域設定」を選び、決定を押す

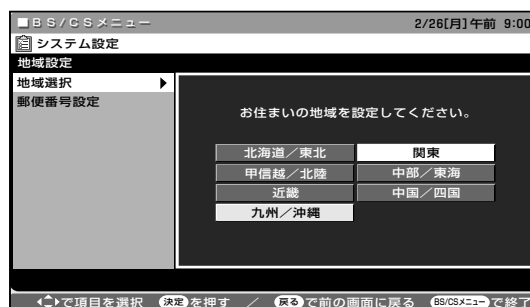
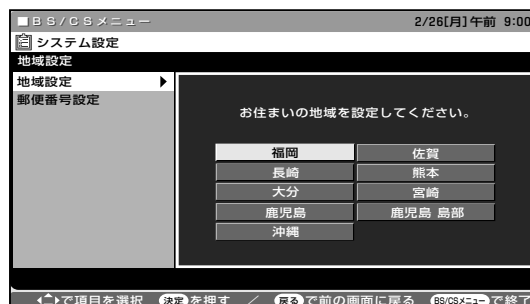
次ページへ

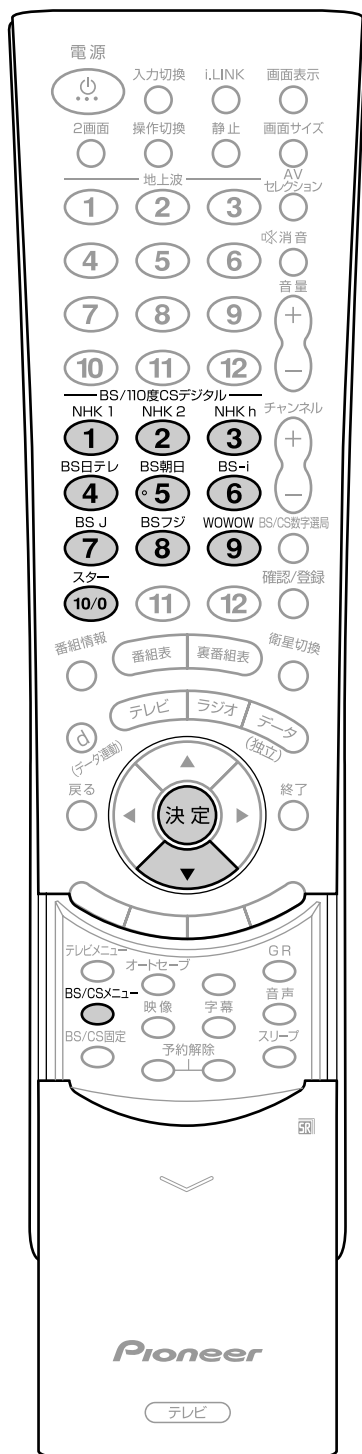
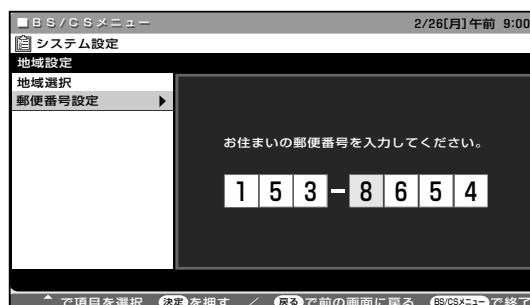
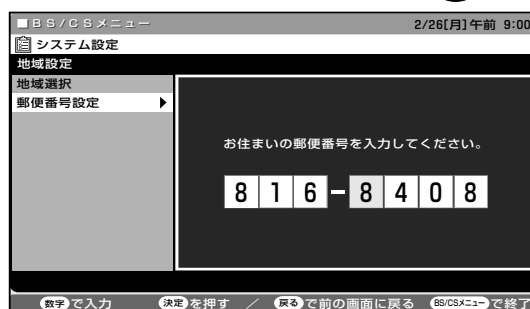
次ページへつづく

BS・110度CSデジタル放送受信のいろいろな設定(つづき)

扉を開けたところ

4 [▼]で「地域選択」を選び、[決定]を押す

5 お住まいの地域を[▲][▼][◀][▶]で選び、[決定]を押す

6 お住まいの都道府県を[▲][▼][◀][▶]で選び、[決定]を押す

次ページへ

郵便番号設定

7 **で「郵便番号設定」を選び、(決定)を押す**

8 BS／110度CSチャンネルボタン(1～10/0)で郵便番号を入力し、(決定)を押す

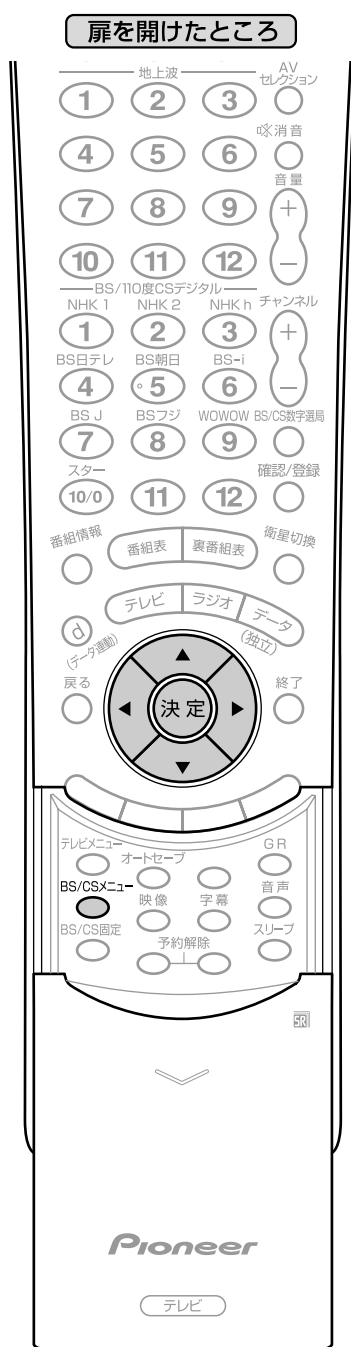
●入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、BS／110度CSチャンネルボタンで入力しなおします。

9 (BS/CSメニュー)を押し、通常画面に戻す

お知らせを見る

受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。

受信メッセージを見る

■受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

［例］ダウンロード成功のお知らせを見る

1

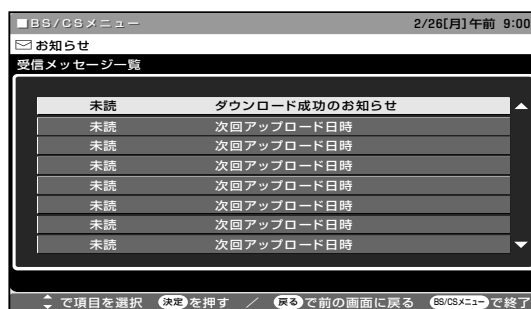
① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

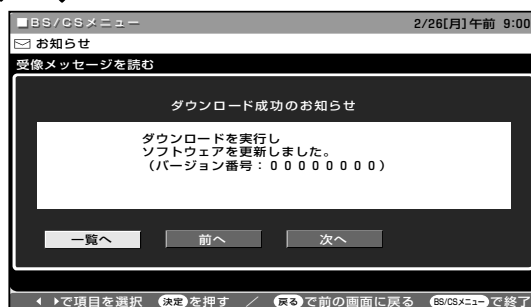
② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2

見たいメッセージを ▲ ▼ で選び、決定を押す

3

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定を押す

ボードを表示して情報を見る

■送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

扉を開けたところ

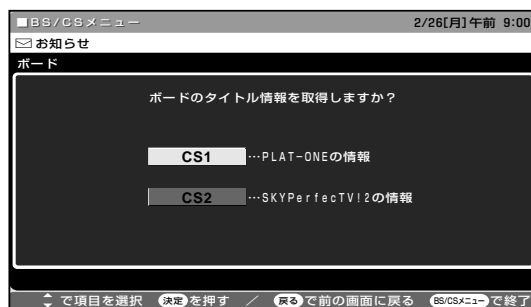
1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「ボード」を選び、決定を押す

2

表示したいネットワークを▲▼で選び、決定を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます

3

見たい情報のタイトルを▲▼で選び、決定を押す

(プラットワンのボード表示例)

次ページへ

次ページへつづく

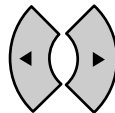
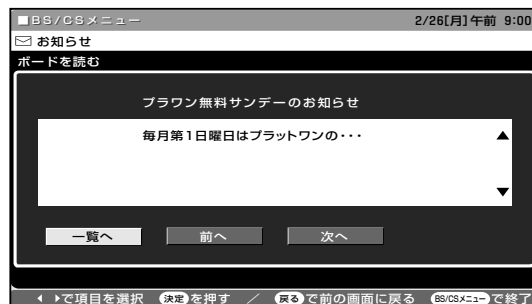
お知らせを見る(つづき)

4

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを

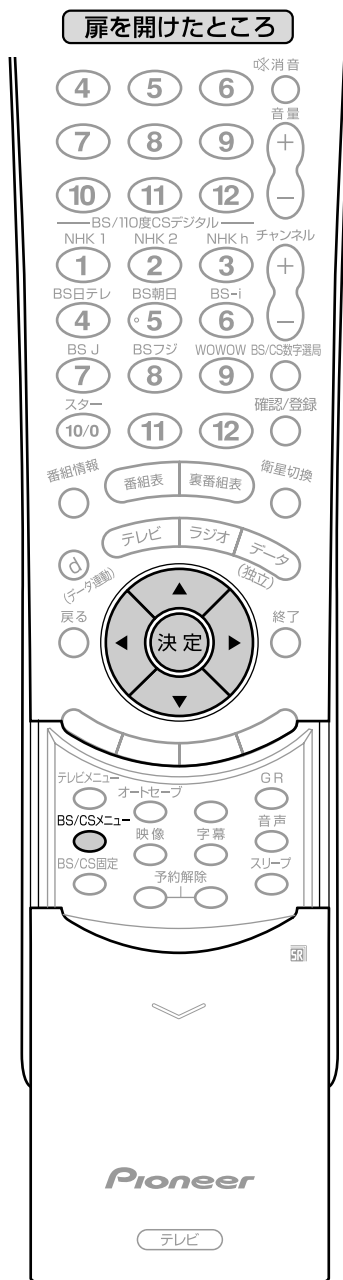
で選び、決定を押す

5

BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

受信機レポートを見る

■B-CASカードが壊れたときや、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

扉を開けたところ

おしらせ

● アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

［例］アップロード失敗のレポートを見る

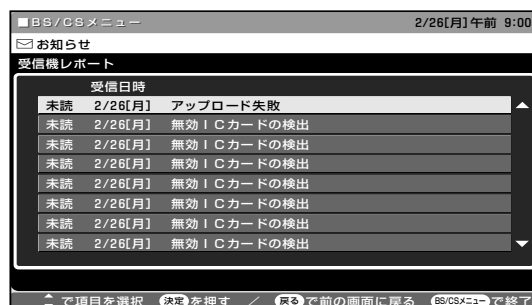
1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

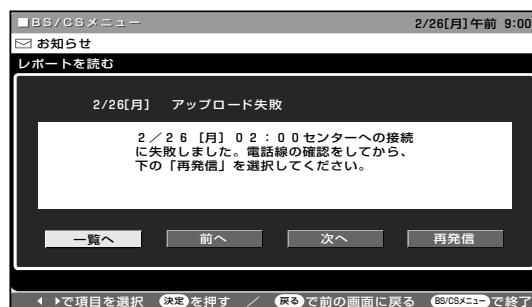
② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「受信機レポート」を選び、決定を押す

2

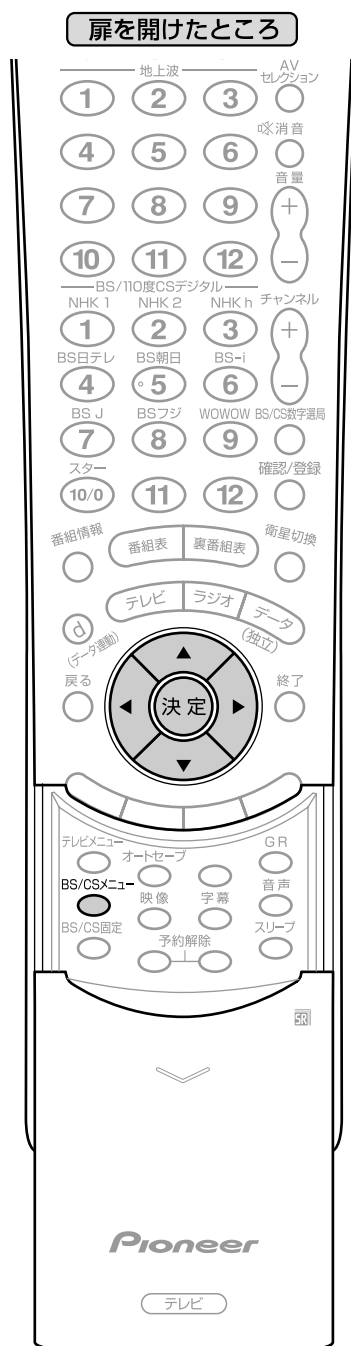
見たいレポートを ▲ ▼ で選び、決定を押す

3

① レポートの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定を押す

お知らせを見る(つづき)

B-CASカード番号を見る

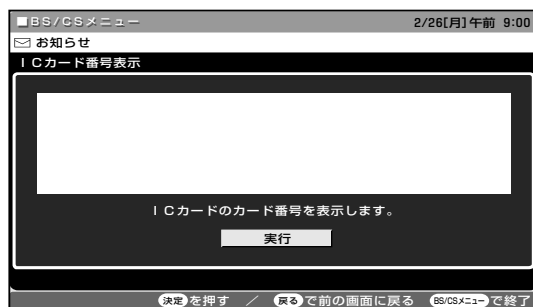
■受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

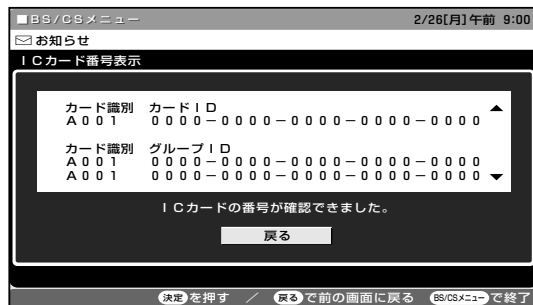
② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ICカード番号表示」を選び、決定を押す

2

「実行」で決定を押し、ICカード番号表示を実行する

3

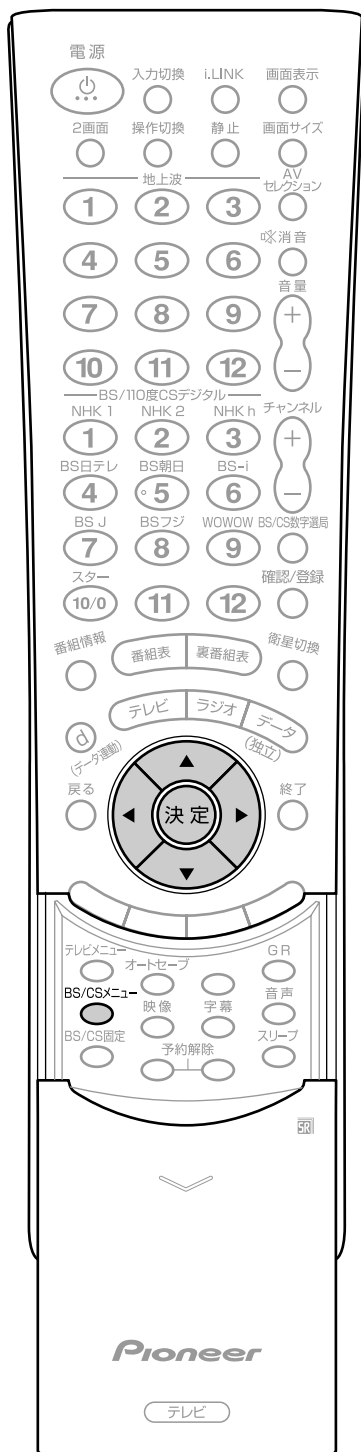
① カード番号を確認する

② 「戻る」で決定を押す

カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。
カードID……カード固有の番号です。
グループID…複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるB-CASカードに書き込まれます。

PPV購入履歴を見る

■購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

扉を開けたところ

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼ で「PPV購入履歴」を選び、決定を押す

●PPV購入履歴画面が表示されます。

2

① 画面を確認する

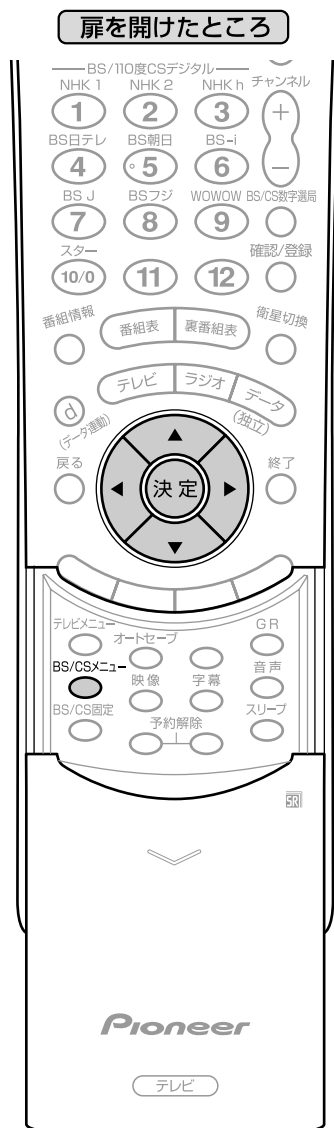
② 「戻る」で 決定 を押す

3

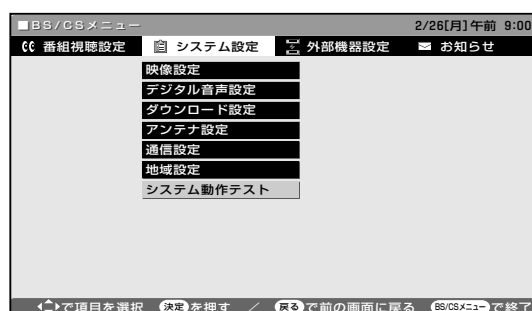
BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

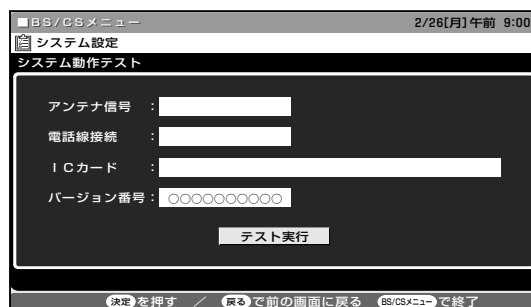
システム動作テストを行う

本機は、BS・110度CS共用アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「システム動作テスト」を選び、決定を押す

2

「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

●表示が「テスト実行中」に変わります。
テストが終了すると「テスト終了」になります。

3

① 結果を確認する

② 「テスト終了」で決定を押す

システム動作テストに失敗したときは

アンテナ信号

BS・110度CSアンテナの接続と設定を確認してください。
⇨ **27**・**161**ページ

電話線接続

電話回線の接続と設定を確認してください。 ⇨ **50**・**164**ページ

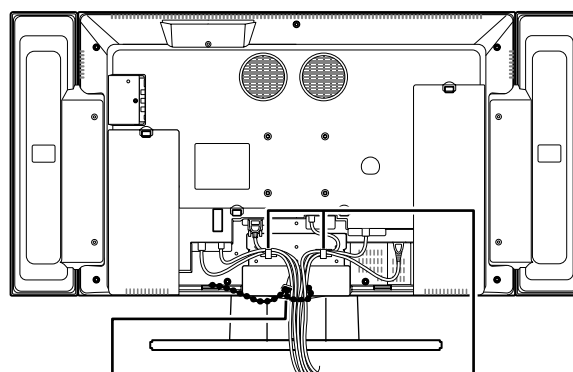
ICカード

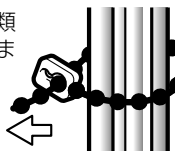
B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
⇨ **53**ページ

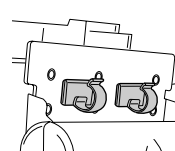
他の機器をつないで使う

端子のなまえとはたらき

ケーブル処理のしかた

各端子に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプやビーズバンドを使用して処理してください。

ビーズバンド

ケーブル類をたばねます。

ケーブルクランプ

裏面のシールシートをはがして、貼り付けます。

接続上のご注意

- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜き取ってください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため使わない機器の電源は切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

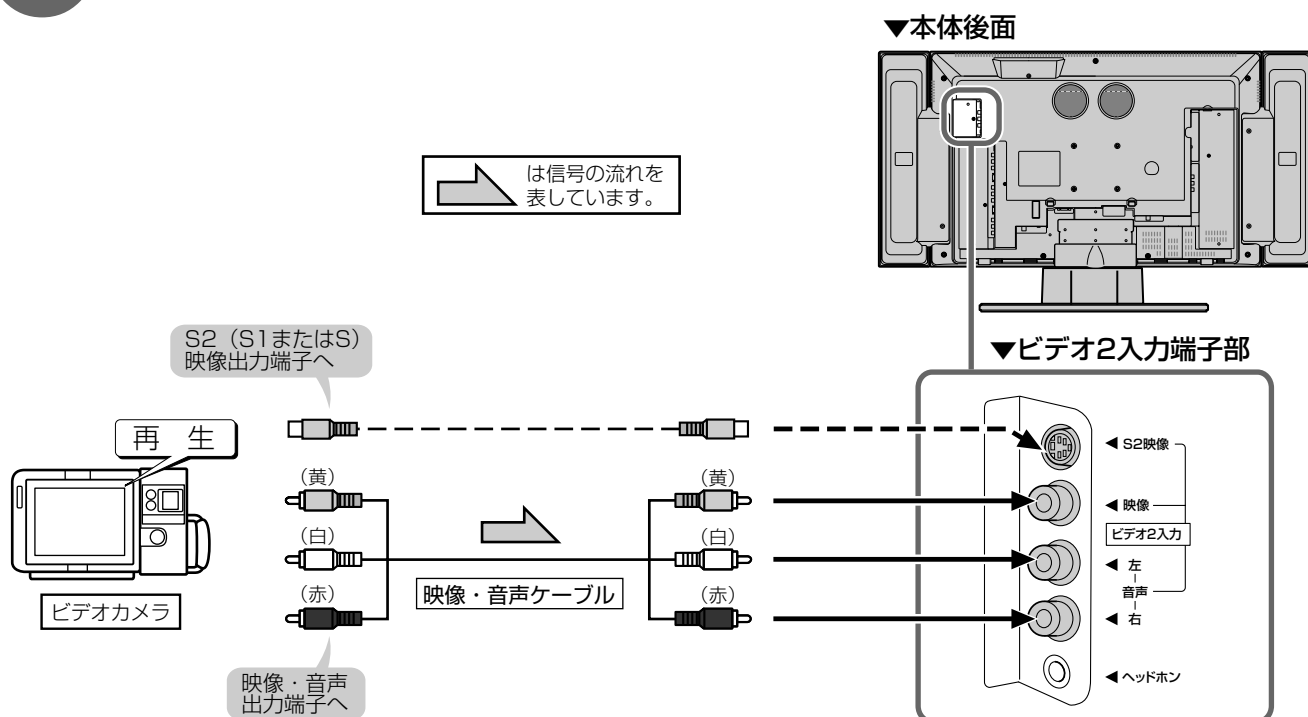
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ビデオ機器の再生映像を楽しむ

■本機はビデオ入力端子4系統とBS／110度CSデジタル出力端子1系統を搭載しています。
■映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。
ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。
■接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

ビデオ機器の接続について

映像・音声端子に接続する

● ビデオ1・3・4入力端子にも映像・音声ケーブルで接続ができます。

おしらせ

S2映像入力端子について

● S2映像入力端子は、より高画質な映像で再生するために映像信号を色信号と輝度信号に分離して入力する端子です。
● ビデオ1・2入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
● 本機は、フルモード制御信号の入った映像や、レターボックス制御信号の入った映像がビデオ1・2入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**75**ページ)

ビデオ入力のS2映像入力優先について

● ビデオ入力の映像端子とS2映像端子は、両端子とも接続しているとき、「ビデオ」の画面はS2映像端子からの入力映像になります。
● 映像入力端子に接続しているビデオ機器の映像を見るときは、S2映像入力端子のプラグを抜いてください。

■DVDプレーヤーなどの出力端子に、高精細映像に対応した出力端子がついている場合は、出力端子に適合する接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

DVDプレーヤーなどの接続について

S2映像、D4映像端子に接続する

おしらせ

- 出力機器側の端子が、通常のAV端子の場合は、映像・音声ケーブルを使用して映像・音声端子に接続してください。

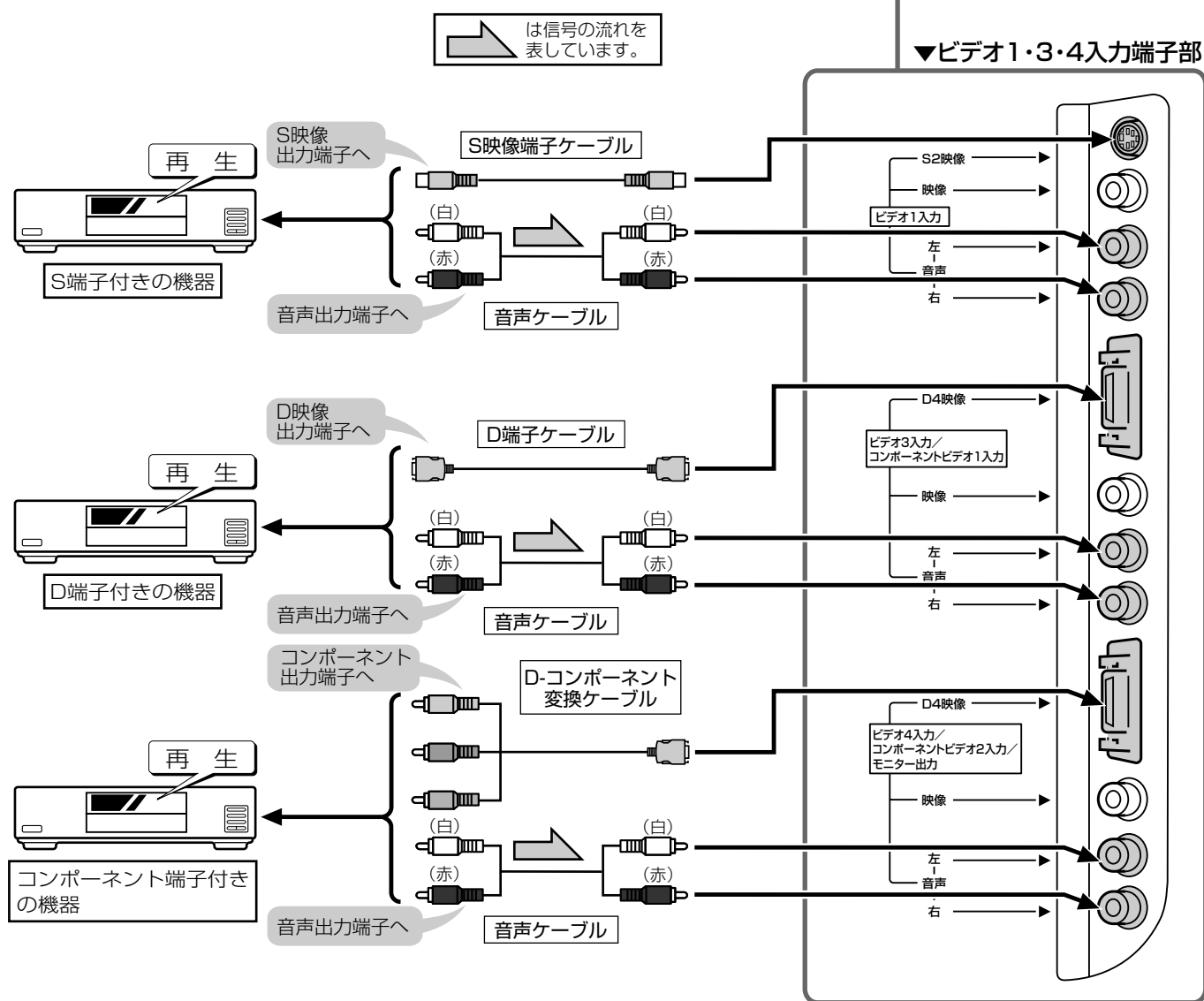
▼本体後面

は信号の流れを表しています。

▼ビデオ1・3・4入力端子部

再　生
S端子付きの機器
S映像出力端子へ
S映像端子ケーブル
(白)
(赤)
音声出力端子へ
音声ケーブル
S2映像
映像
ビデオ1入力
左
音声
右

再　生
D端子付きの機器
D映像出力端子へ
D端子ケーブル
(白)
(赤)
音声出力端子へ
音声ケーブル
D4映像
ビデオ3入力／コンポーネントビデオ1入力
映像
左
音声
右

再　生
コンポーネント端子付きの機器
コンポーネント出力端子へ
D-コンポーネント変換ケーブル
(白)
(赤)
音声出力端子へ
音声ケーブル
D4映像
ビデオ4入力／コンポーネントビデオ2入力／モニター出力
映像
左
音声
右

- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- D4映像端子に接続した機器の入力映像は、モニター出力(ビデオ4)端子から出力されません。
- 本機に機器を接続するときは、直接接続してください。ビデオ機器を通して本機で映像を見ると、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。

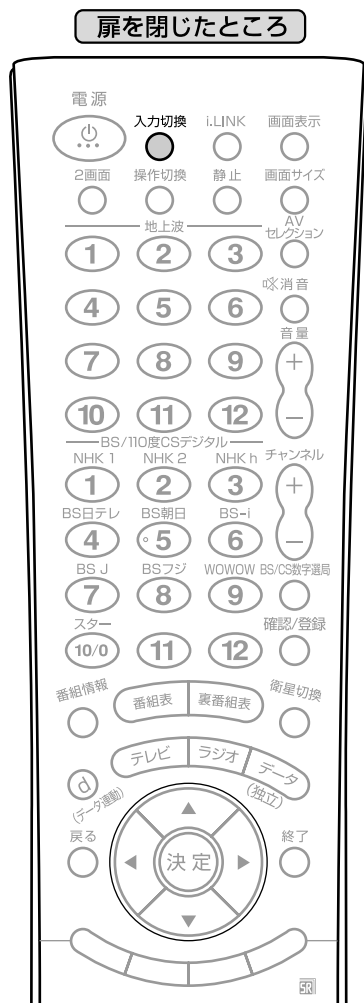
ビデオ機器の再生映像を楽しむ(つづき)

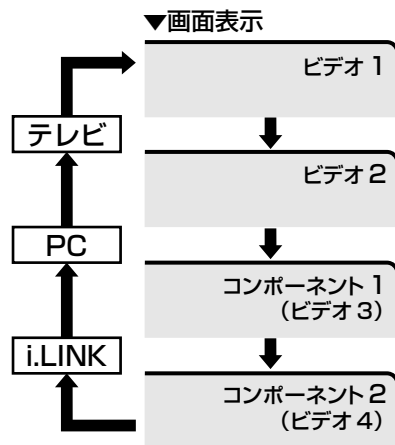
扉を閉じたところ

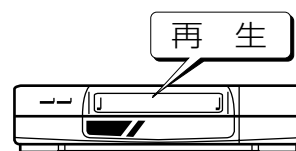
▼本体天面

おしらせ

- 本体天面操作部の入力切換ボタンでも、同じように入力を切り換えることができます。
- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

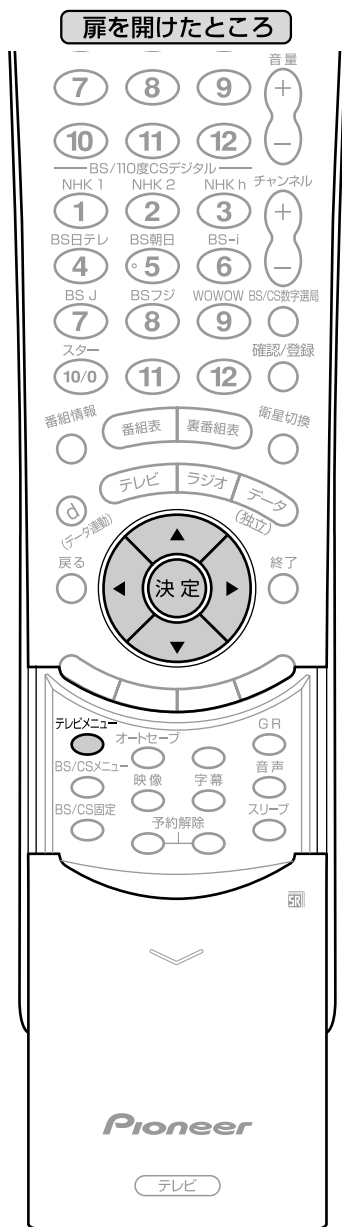
ビデオ機器の再生映像を見る

1 入力切換 ○ を押し、ビデオ機器を接続しているビデオ入力の画面に切り換える

▼画面表示

- ボタンを押すたびに、切り換わります。
- 工場出荷時、ビデオ3は「コンポーネント1入力」、ビデオ4は「コンポーネント2入力」に設定されています。
  映像端子(黄色)に機器を接続するときは「入力選択」メニューで、ビデオ3は「ビデオ3入力」にビデオ4は「ビデオ4入力」にそれぞれ設定を切り換えてください。
  (**188**・**189**ページ参照)

2 ビデオ機器を再生状態にする

再生映像をすっきりさせる

「ノイズクリーン」機能を使う

- **88**ページをご覧ください。

■ DVDなど、映画ソフトの映像がチラついて気になるときは、ピュアシネマの設定を「する」にすると動きのなめらかな映像で見ることができます。 メニュー項目 プロ設定

おしらせ

● ピュアシネマはDVD再生など、映画ソフトの映像の動きをなめらかにする機能です。通常は「しない」にしてください。

DVD映像のチラツキが気になるとき(ピュアシネマ)

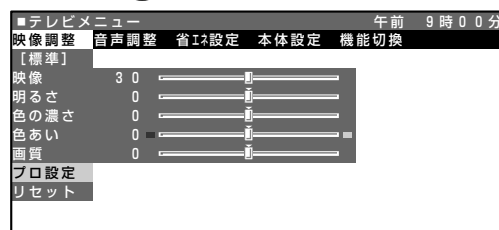
[例] ピュアシネマを「する」に設定する

1

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「映像調整」を選ぶ

③ ▲▼で「プロ設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「ピュアシネマ」を選び、決定を押す

3

◀▶で「する」を選び、決定を押す

4

テレビメニューを押し、通常画面に戻す

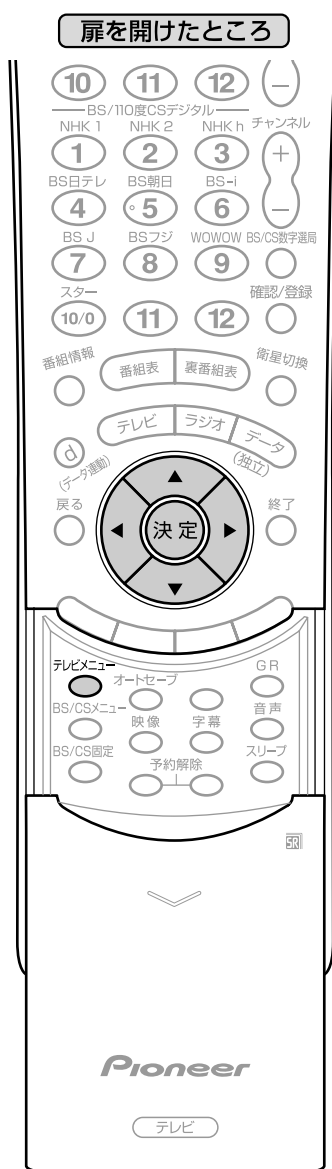
入力選択の設定

■ ビデオ3入力端子は、2種類の切換え設定ができます。入力する端子に合わせて切換え設定を行ってください。

メニュー項目 入力選択

（工場出荷時は「コンポーネント1入力」に設定されています。）

ビデオ3入力：
映像、音声端子に機器を接続したとき。

コンポーネント1入力：
D4映像端子に機器を接続したとき。

ビデオ3入力端子の設定

[例]「ビデオ3入力」に設定する

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

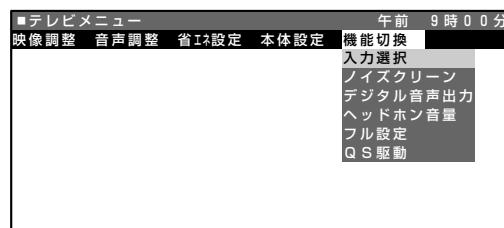
③ ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「ビデオ3切換」を選び、決定 を押す

3

▲ ▼ で「ビデオ3入力」を選び、決定 を押す

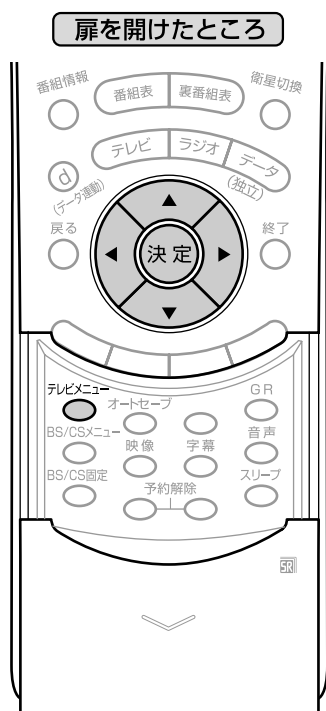
4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

■ビデオ4入力端子は、4種類の切換え設定ができます。 メニュー項目 入力選択
（工場出荷時は「コンポーネント2入力」に設定されています。）

ビデオ4入力：
映像、音声端子に機器を接続したとき。

コンポーネント2入力：
D4映像端子に機器を接続したとき。

モニター出力固定：
モニター出力として使用するとき、固定に設定するとモニター出力の音量レベルは一定で出力されます。スピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。

モニター出力可変：
モニター出力として使用するとき、可変に設定するとスピーカーからの音声は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。

●「モニター出力固定／可変」に設定したときは、ビデオ入力を切り換えてもビデオ4（コンポーネント2）はスキップされます。
●オンタイマー（**100**ページ）のチャンネル設定を「ビデオ4」にしたときは、「入力選択」で「モニター出力」を選ぶことはできません。

おしらせ

ビデオ4入力端子の設定

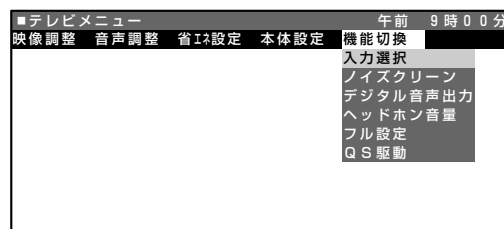
［例］「モニター出力可変」に設定する

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「ビデオ4切換」を選び、決定 を押す

3

▲ ▼ で「モニター出力可変」を選び、決定 を押す

4

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

外部機器に表示を合わせる

■ビデオ1〜4入力端子に接続している外部機器に合わせて、画面に表示する機器の名称を選択することができます。

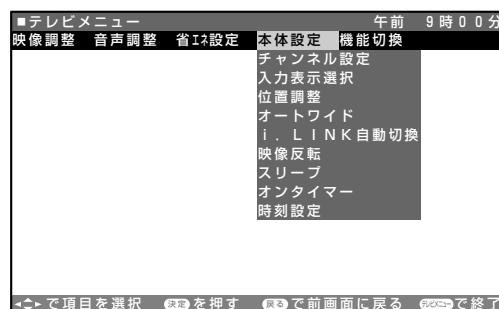
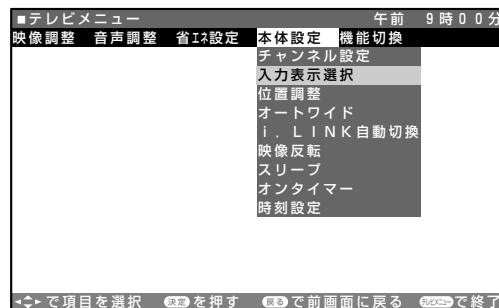
メニュー項目 入力表示選択

扉を開けたところ

入力表示を選択する

［例］ビデオ3の表示を「ゲーム」に変える

1 テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ◀▶で「本体設定」を選ぶ

3 ▲▼で「入力表示選択」を選び、決定を押す

次ページへ

4 ▲ ▼で「ビデオ3表示」を選び、決定を押す

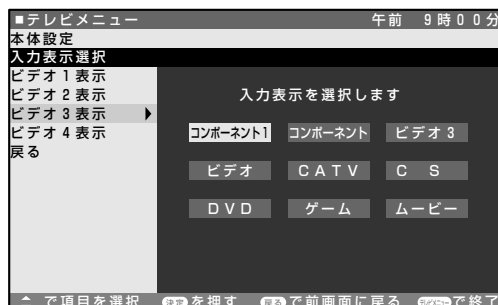
5

で「ゲーム」を選び、決定を押す

6 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

- ビデオ入力を切り換えると、「ゲーム」と表示されます。
- 「ゲーム」表示を選んだ場合は、リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ゲーム」画面にしてから2時間が経過すると、「2時間がたちました」というメッセージが5分間表示されます。

おしらせ

- ゲームの種類の中でピストル等を使った「シューティングゲーム」はできません。

入力表示設定できる名称

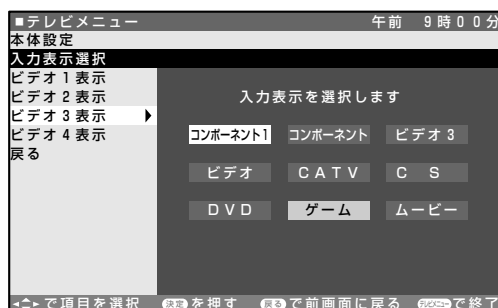
ビデオ1

ビデオ1　ビデオ　CATV　CS

DVD　ゲーム　ムービー

ビデオ2

ビデオ2　ビデオ　CATV　CS

DVD　ゲーム　ムービー

ビデオ3

コンポーネント1　コンポーネント　ビデオ3　ビデオ

CATV　CS　DVD　ゲーム　ムービー

ビデオ4

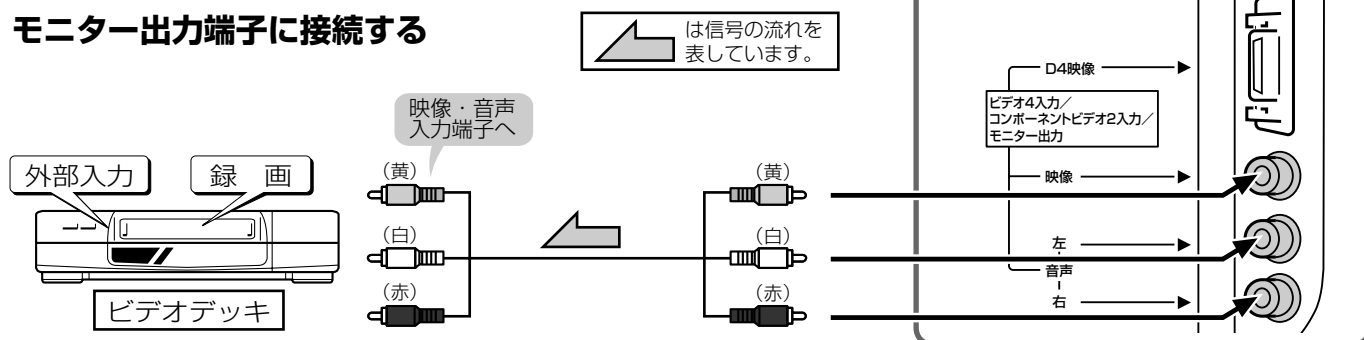
コンポーネント2　コンポーネント　ビデオ4　ビデオ

CATV　CS　DVD　ゲーム　ムービー

録画・編集

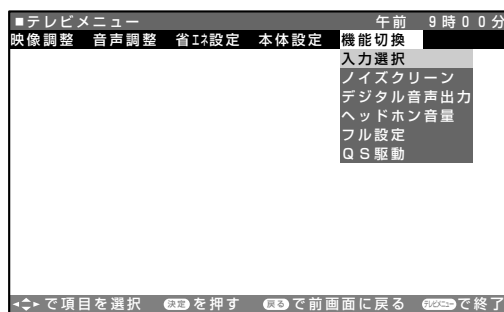
■本機で受信しているテレビの映像と音声を、ビデオ4入力／モニター出力端子から出力することができます。
■メニューで設定を「モニター出力」に切り換えて、本機のビデオ4入力／モニター出力端子とビデオデッキの入力端子を接続すると、受信した映像と音声がビデオデッキで録画できます。

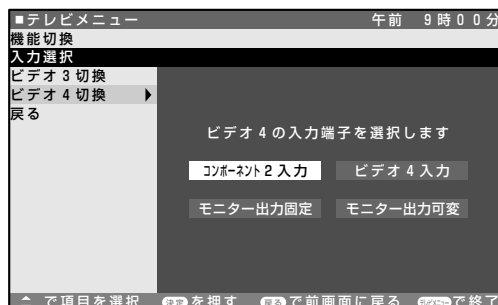
▼本体後面

モニター出力端子に接続する

テレビ番組を録画する

［例］6チャンネルの番組を録画する

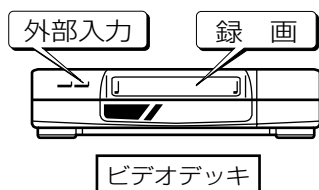
1 **地上波チャンネルボタン⑥を押し、録画する番組を選ぶ**

2
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する
② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ
③ ▲ ▼で「入力選択」を選び、決定を押す

次ページへ

3 ▲▼で「ビデオ4切換」を選び、決定を押す

4 ▲▼◀▶で「モニター出力固定」または「モニター出力可変」を選び、決定を押す

- ビデオデッキに録画用のモニター出力信号が入力されます。

5 テレビメニューを押し、通常画面に戻す

6 ビデオデッキを外部入力(モニター出力を接続している外部入力番号)に切り換えて、「録画」状態にする

- これで本機が受信しているテレビ番組を、ビデオデッキに録画することができます。

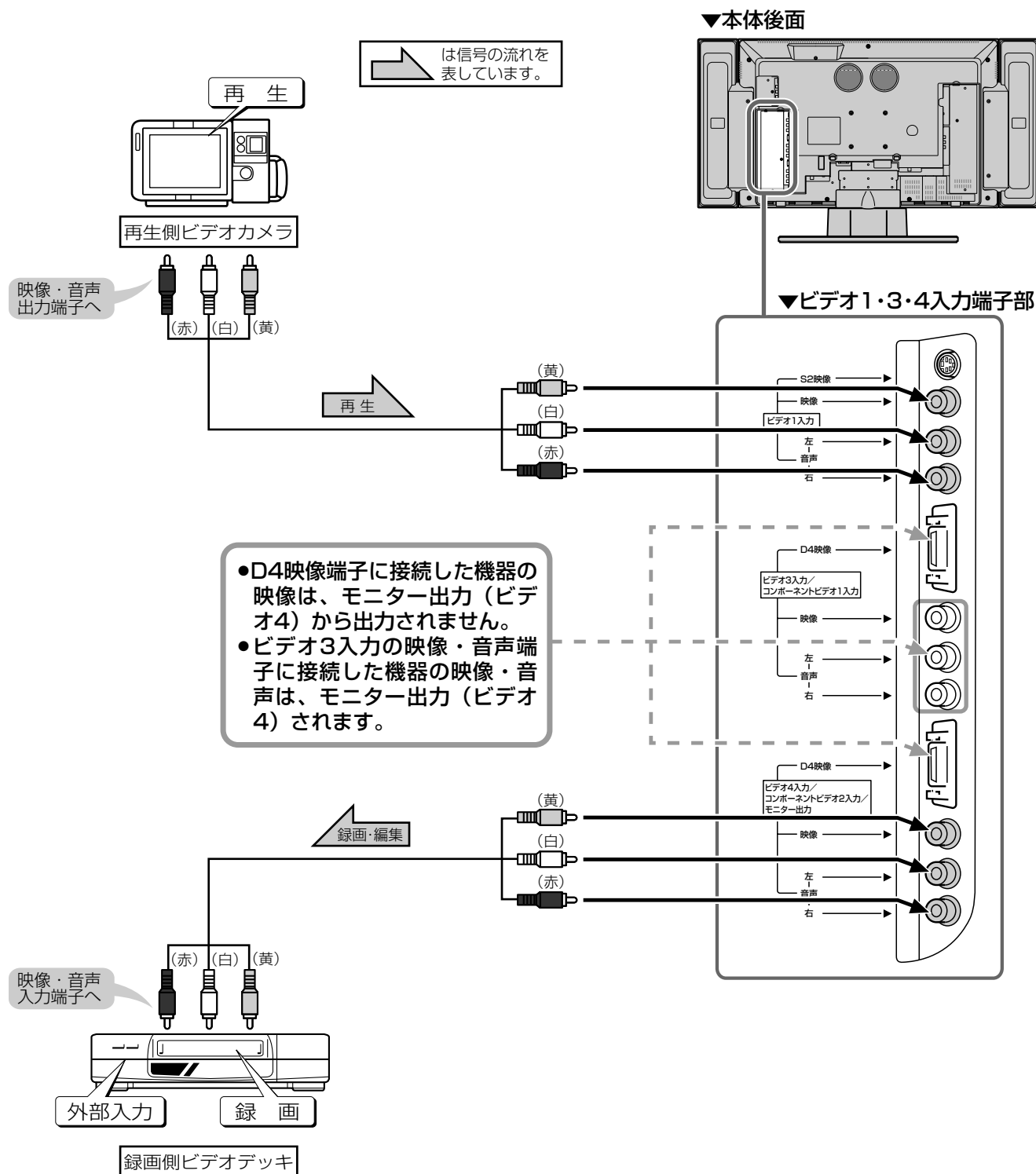
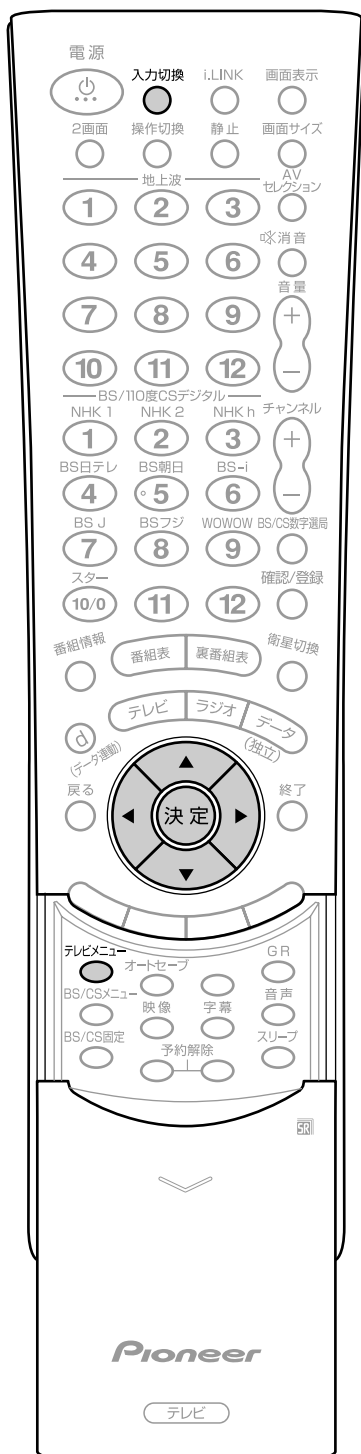
おしらせ

- 録画をするビデオデッキの入力切換えについて、詳しくはビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CSデジタル放送を録画するときは、「BS・110度CSデジタル放送を録画する」(**196**ページ)および「ビデオコントローラーを使って予約する」(**198**ページ)をご覧ください。
- テレビチャンネルを切り換えると、モニター出力端子の映像も変わってしまいます。
- D4映像端子から入力された信号と、BS・110度CSデジタル放送の信号はモニター出力(ビデオ4)端子から出力されません。
- オンタイマー(**100**ページ)のチャンネル設定を「ビデオ4」にしたときは、「入力選択」で「モニター出力」を選ぶことはできません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

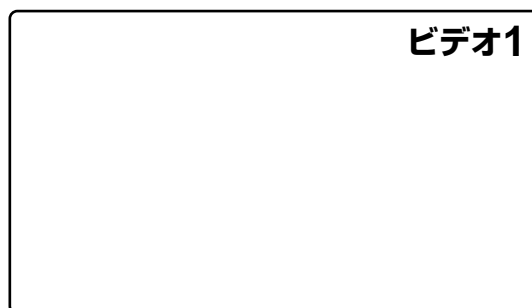
録画・編集(つづき)

■本機のビデオ入力端子に接続したビデオカメラなどの映像を、本機で見ながら、モニター出力端子に接続したビデオデッキで録画・編集することができます。

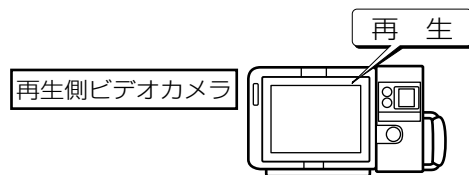
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

おしらせ

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

[例] ビデオ1入力に接続したビデオカメラの映像を録画・編集する

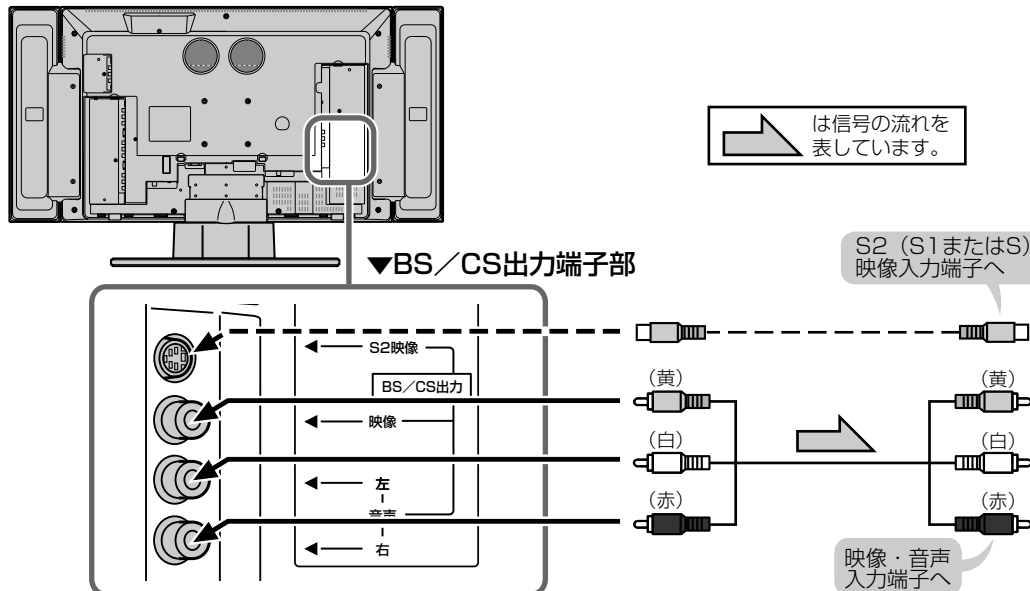
1 入力切換 ○ **を押し、画面を「ビデオ1」に切り換える(186ページ参照)**

2 **録画側ビデオデッキを接続したビデオ4入力端子の設定を「モニター出力」に切り換える(189ページ参照)**

3 **録画側ビデオデッキを外部入力に切り換えて、「録画」状態にする**

4 **ビデオ1入力に接続したビデオカメラを「再生」状態にする**

- これでテレビ画面で内容を確認しながら、再生側ビデオカメラから録画側ビデオデッキへ録画・編集することができます。

録画・編集(つづき)

■本機後面のBS／110度CSデジタル専用端子にビデオデッキを接続して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を録画することができます。また、D-VHSビデオデッキを接続して録画するときは、i.LINKを使って録画できます。(**202**・**204**ページをご覧ください。)

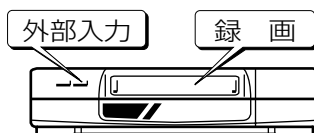
BS／110度CSデジタル専用端子に接続する

おしらせ

- BS／CS出力端子からは、BSデジタル放送のハイビジョン画質(走査線1125本)の映像を標準画質(走査線525本)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して、i.LINK設定を行ってください。(**202**・**204**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合があります。
- 2画面機能を入／切すると、BS・110度CSデジタル出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。
- BS・110度CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。

BS・110度CSデジタル放送を録画する

[例] NHK BS1の番組を録画する

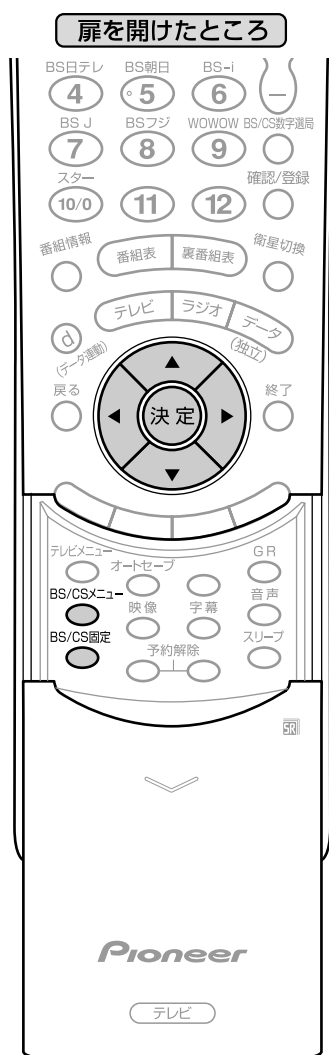
1 **BS／110度CSチャンネルボタン①(NHK 1)を押し、録画する番組を選ぶ**

2 **ビデオデッキを外部入力に切り換えて、「録画」状態にする**

おしらせ

- 本機の映像出力から録画した映像を4：3のテレビで視聴していて、縦長の映像になったときは、画面サイズを「録画画面サイズの設定」(**144**ページ)で切り換えることができます。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

BS/CS固定の設定

■「BS/CS固定」とは、現在受信しているBS・110度CSデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
BS・110度CSデジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
また、BS・110度CSデジタル放送の番組を録画しながら地上放送やCATV放送の裏番組を視聴できます。

■BS/CS固定は、リモコンでの直接操作またはBS/CSメニュー画面操作のいずれでも設定することができます。どちらで設定しても動作は同じです。

1

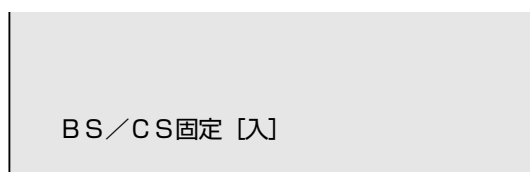
① 固定したいBS•110度CSデジタル放送のチャンネルを選局する

② BS/CS固定 を押す

●画面左下にBS/CS固定表示が出ます。

2

もう一度、BS/CS固定 を押す

●ＢＳ／ＣＳ固定表示が出ている間にボタンを押すと、BS/CS固定を入／切できます。

ＢＳ／ＣＳ固定［入］

BS/CSメニュー画面から設定するには

① BS/CSメニューボタンを押し、BS/CSメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「番組視聴設定」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「BS/CS固定設定」を選び、決定ボタンを押す
④ 左右カーソルボタンで「する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す
⑤ BS/CSメニューボタンを押し、通常画面に戻す

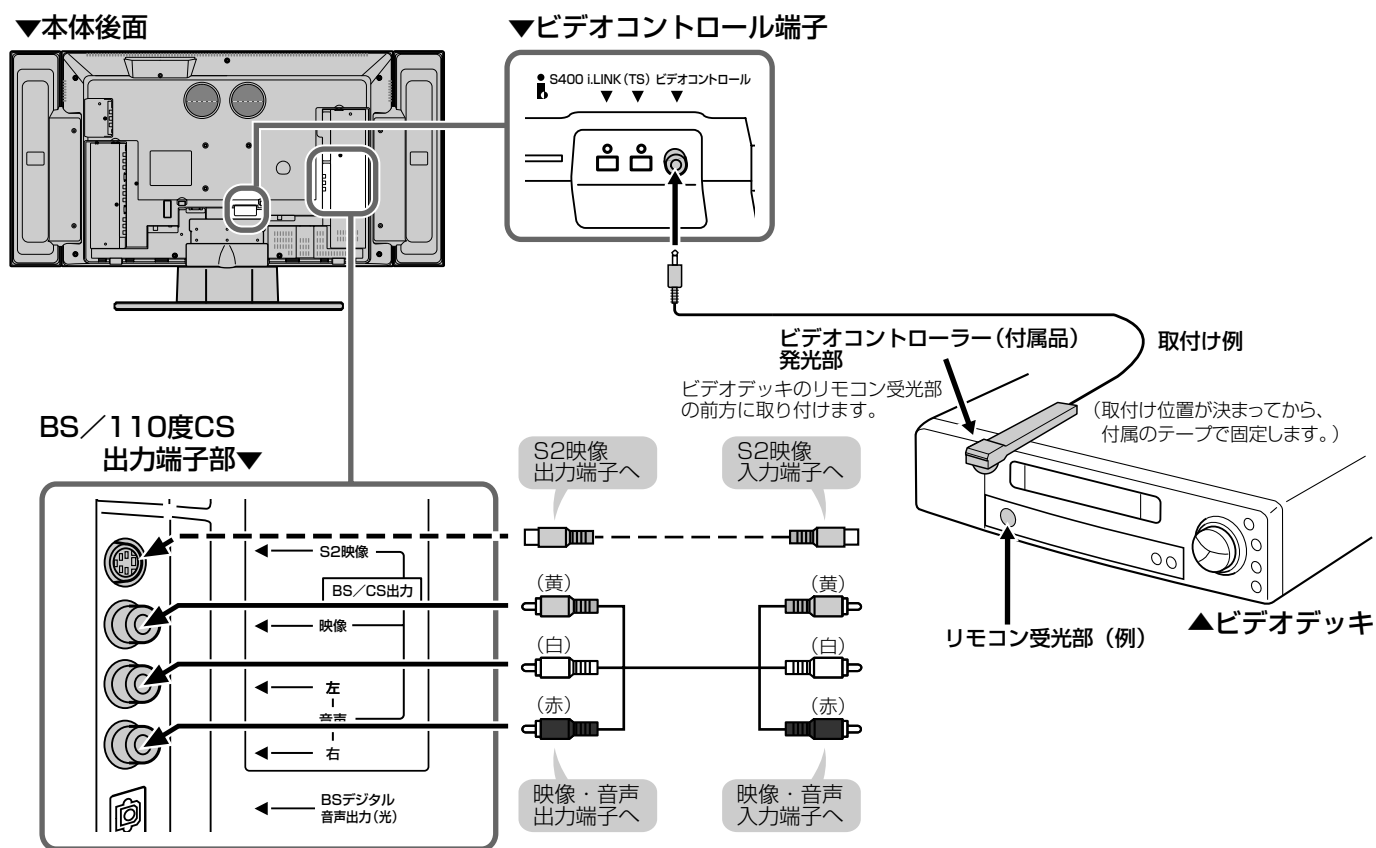
おしらせ

● BS/CS固定時は、BS・110度CSデジタル放送関連の操作(BS・110度CSデジタル放送の選局、メニュー・番組情報・番組表の表示等)ができません。
● BS/CS固定時は、i.LINK操作パネルを表示できません。
● BS/CS固定中に録画・視聴予約時間になると、BS/CS固定が自動的に解除されます。
● 予約録画実行中やi.LINK入力時には、BS/CS固定ができません。
● BS・110度CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
● BS/CS固定を「入」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」(スタンバイ状態)にしてもファンが回転しています。

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入/切や録画の開始/停止を行い、本機の予約機能と連動して録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキによっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた (ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます。)

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

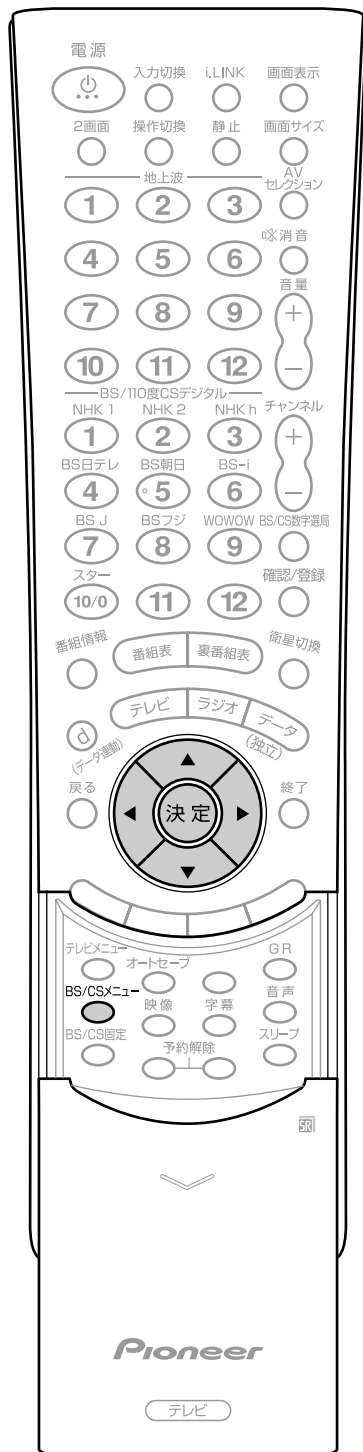
メーカー	機種番号	メーカー	機種番号
パイオニア	1,2,3	東　芝	1,2,3,4,5,6
シャープ	1,2,3,4,5,6,7,8	ビクター	1,2,3
ア イ ワ	1,2,3,4	日　立	1,2,3
N E C	1,2,3,4	フ ナ イ	1
サンヨー	1,2,3,4	松　下	1,2,3,4,5,6
ソ ニ ー	1,2,3,4,5,6	三　菱	1,2,3,4

工場出荷時の設定：パイオニア 1

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

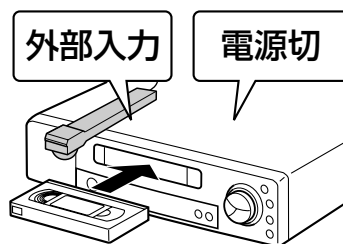
- リモコン受光部の位置は、ビデオデッキの機種やメーカーによって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発光部がビデオデッキのリモコン受光部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**199～201**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

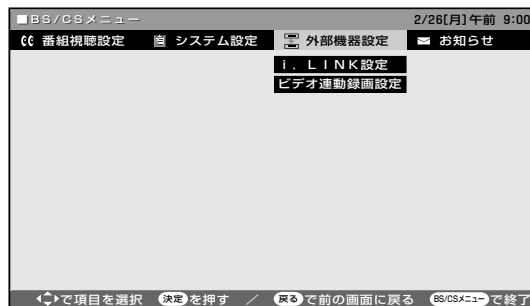
● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

扉を開けたところ

ビデオ連動録画の設定

1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ。（**198**ページ参照）
② ビデオコントローラーを取り付ける。（**198**ページ参照）
③ 外部入力に切り換える。
④ 録画用ビデオテープを入れる。
⑤ 電源を「切」にする。

2

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

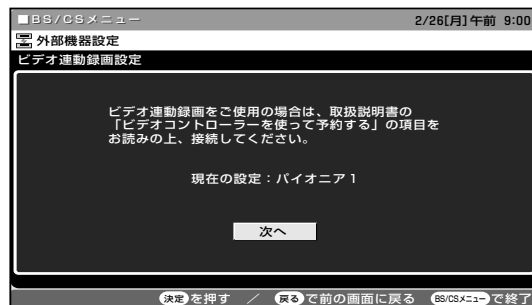
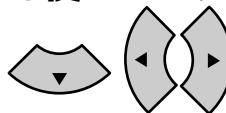
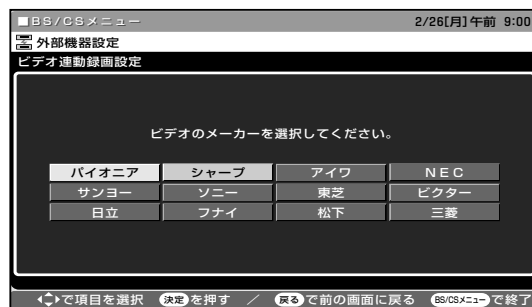
② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定 を押す

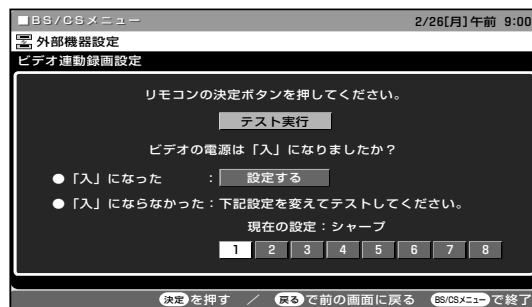
● 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

次ページへ

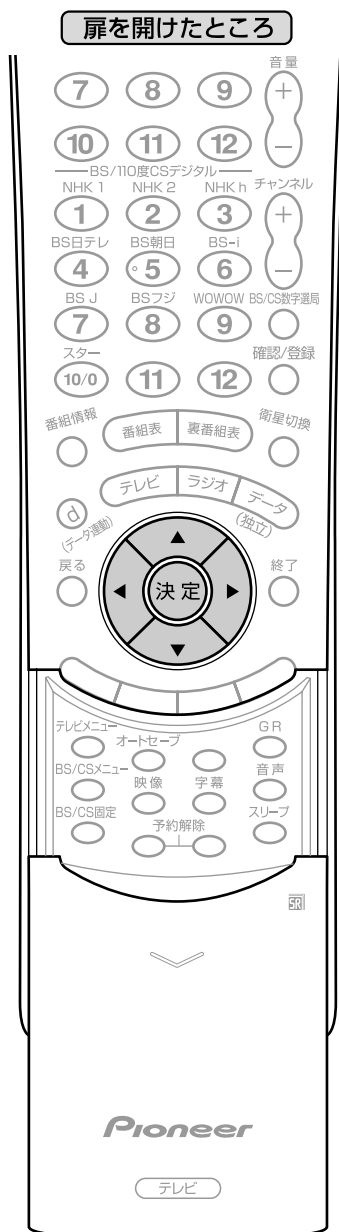
次ページへつづく

4

① ビデオコントローラーの接続を確認する
② 「次へ」で(決定)を押す

5

お使いのビデオデッキのメーカーを▲▼◀▶で選び、(決定)を押す

6

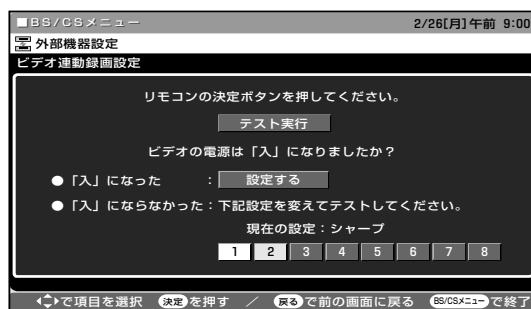
「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

テストの結果
- ビデオデッキの電源が「入」になった(正常)
  ⇨ 手順**9**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかった
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**7**に進みます。

次ページへ

おしらせ
- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないためにビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。
  その場合は、手順**6**～**8**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

7

① でカーソルを機種番号の欄に移動する

② でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

- **198**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**7**、**8**をくり返してください。

8

決定を押し、テストを実行する

9

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で決定を押す

- ビデオ連動録画が設定され、メニュー画面に戻ります。

おしらせ

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発光部がビデオデッキのリモコン受光部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約のしかたについては、**128**～**142**ページをご覧ください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)

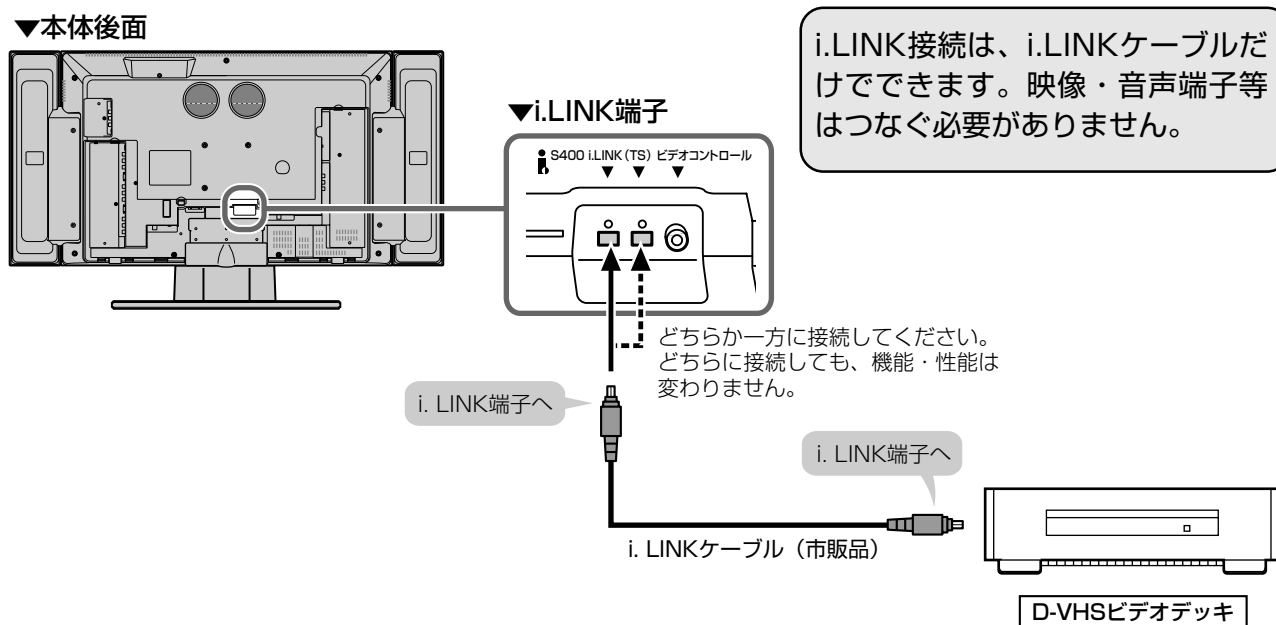
i.LINK(アイリンク)について

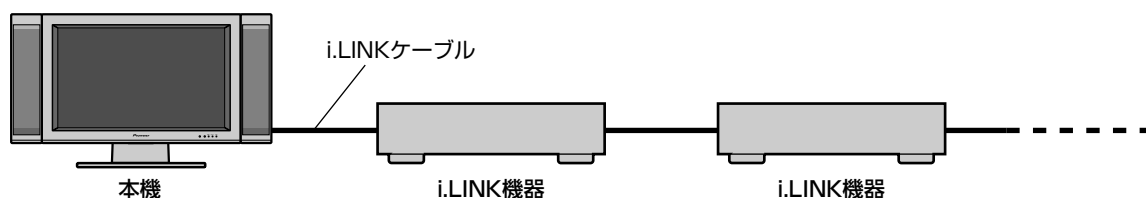
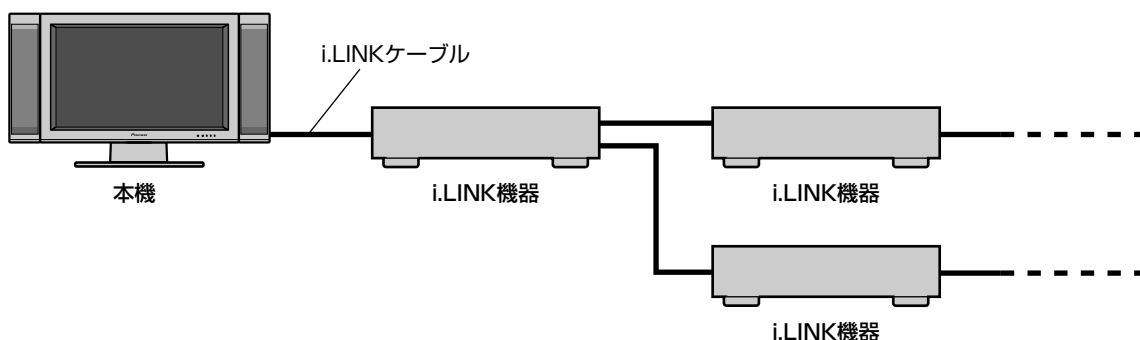
■i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

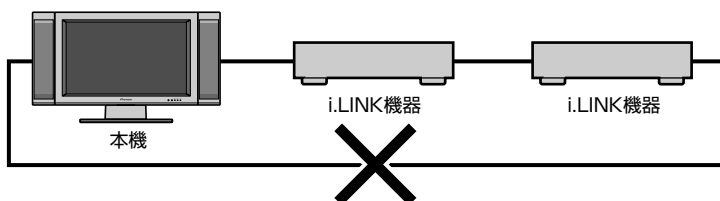
本機に接続できるi.LINK機器について

■**本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。**DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

i.LINK接続のしかた

[例] 接続するi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が1台の場合

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

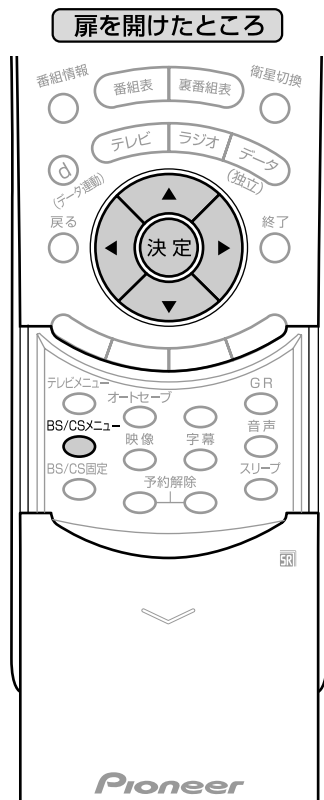
■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐をして接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。
  BS/CSメニューの「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**205**ページ参照)
- 下図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、パソコン、パソコン周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

i.LINK端子からD-VHSビデオデッキに録画する

■i.LINKに関する説明、i.LINK端子へのD-VHSビデオデッキの接続方法、i.LINK操作パネルの見かたと使いかたについては、**202**・**209**ページをご覧ください。

■ここでは、i.LINK接続したD-VHSビデオデッキを使用するための設定および録画操作について説明します。

扉を開けたところ

録画モードの設定

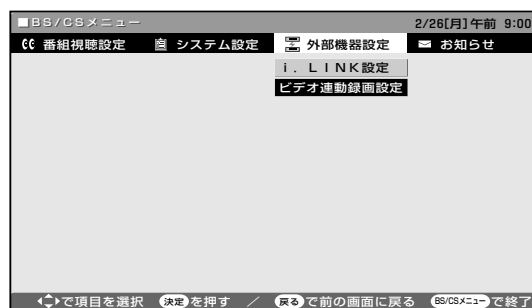
● 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を「入」にするかしないかを選ぶことができます。

1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

「録画モード設定」で決定を押す

3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

おしらせ

● 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。
● D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

扉を開けたところ

i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定によりスタンバイ時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

1

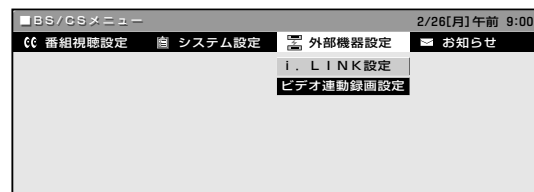
① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲▼で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

▼で「電源待機設定」を選び、決定を押す

3

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……スタンバイ時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。
「しない」…スタンバイ時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

お願い

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源をスタンバイ状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

おしらせ

- 本機の電源がスタンバイ状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

扉を閉じたところ

i.LINK機器の選択

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**202**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲▼◀▶で「機器選択」を選び、決定を押して、機器選択画面を表示する

現在選択されている機器

3 操作したい機器を▲▼で選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

おしらせ

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

i.LINK機器の使用解除

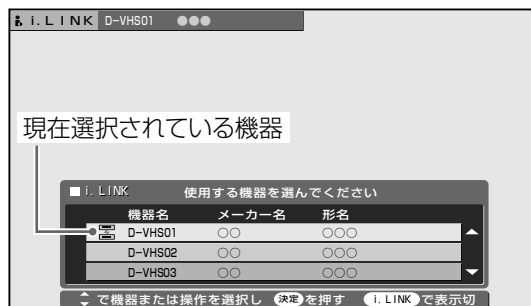
- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

扉を閉じたところ

1 **i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**202**ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 **▲▼◀▶で「機器選択」を選び、決定を押す**

- 機器選択画面が表示されます。

3 **▼で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す**

- i.LINK機器の使用が解除されます。

おしらせ

- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器をリストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1

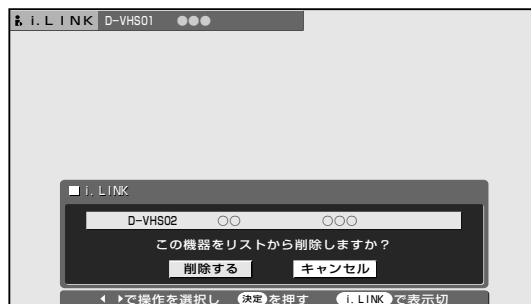
① i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

② ▲ ◀ で「機器選択」を選び、決定を押す

2

削除したいi.LINK機器を ▲ ▼ で選び、決定を押す

3

◀ で「削除する」を選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

i.LINK機器の操作のしかた

■ i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。

■ 操作を始める前に、**204**～**206**ページの「録画モードの設定」「i.LINK電源待機の設定」「i.LINK機器の選択」を済ませておいてください。

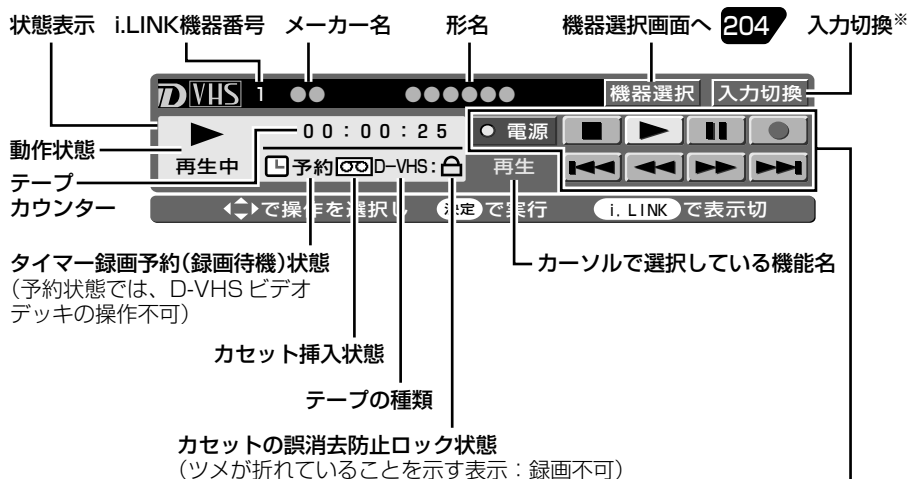
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

基本操作

1 i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する

2 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

i.LINK操作パネルの見かた

※入力切換ボタンについて
- i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、BS・110度CSデジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

●操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
○ 電源	電源の入／切	⏮	1つ前に戻って頭出し
■	停止	◀◀	巻戻し
▶	再生	▶▶	早送り
❚❚	一時停止	⏭	1つ先に進んで頭出し
●	録画開始		

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

扉を閉じたところ

おしらせ

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面(操作パネル)にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBS・110度CSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBS・110度CSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- 予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。

i.LINK機器でBS・110度CSデジタル放送を録画する

- i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作が画面上でできます。
- 以下の操作をする前に、**204**～**206**ページの設定・選択を済ませておいてください。
- 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 録画したいBS・110度CSデジタル放送の番組を選局する

2 (i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する

3 ▲▼◀▶で (録画ボタン)を選び、(決定)を押す

- 録画が開始されます。
- 録画を止めるときは、再度操作パネルを表示し、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを2回押します。

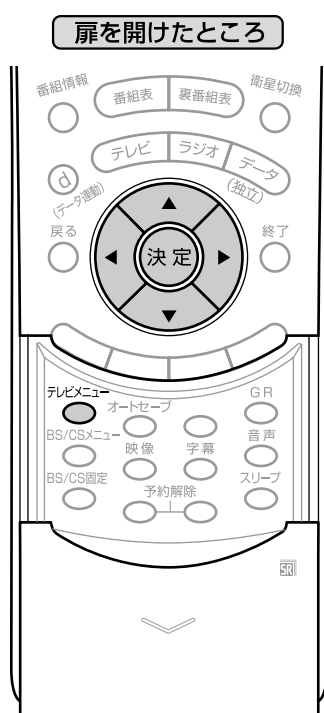
ご注意

- 録画中は、入力切換でi.LINKは選べません。

- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、BS・110度CSデジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機は、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができません。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBS・110度CSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBS・110度CSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS/CS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に(重ねて)表示することはできません。
- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像の品位が悪くなる場合があります。

i.LINK自動切換の設定について

■ i.LINKで接続したD-VHSビデオデッキを再生状態にしたときに、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようにするかしないかを設定できます。

扉を開けたところ

① テレビ入力またはPC入力のとき、テレビメニューを押してテレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

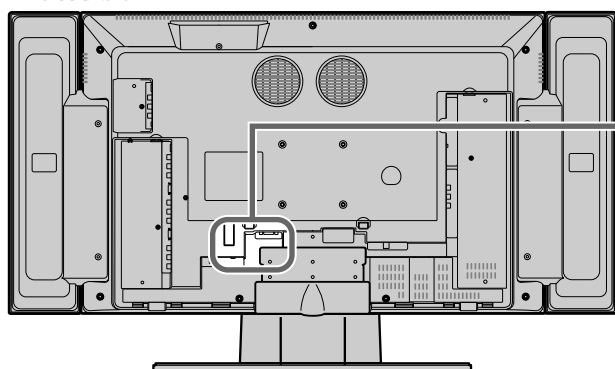
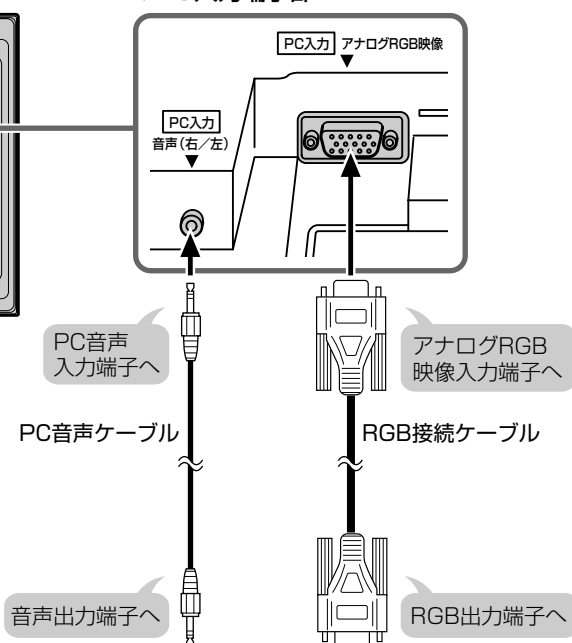
③ ▲▼で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す

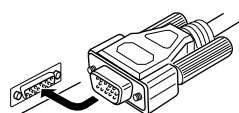
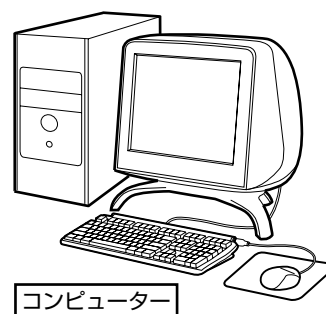
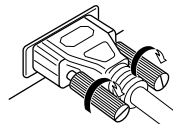
④ ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

⑤ テレビメニューを押し、通常画面に戻す

コンピューターをつなぐ

■本機は「プラグアンドプレイ機能」に対応しています。
　コンピューターの操作について詳しくは、接続するコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

接続のしかた

RGB接続ケーブルの取扱いについて

■本機とコンピューターに接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

①　②

コンピューター入力対応表

入力信号名称 <水平×垂直>画素数（ドット）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（kHz）	入力信号名称 <水平×垂直>画素数（ドット）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（kHz）
640×400	24.82	56.42	SVGA 800×600	46.88	75.00
	31.48	70.10		53.67	85.06
	37.86	85.08	16″モード（Mac） 832×624	49.72	74.55
VGA 640×480	31.48	59.95			
	37.86	72.81	XGA 1024×768	48.36	60.00
	37.50	75.00		56.48	70.07
	43.27	85.01		60.02	75.03
13″モード（Mac） 640×480	35.00	66.67	19″モード（Mac） 1024×768	60.24	74.93
SVGA 800×600	35.16	56.25	W-XGA 1280×768	48.134	60.017
	37.88	60.32		47.986	59.833
	48.08	72.19		48.214	60.571

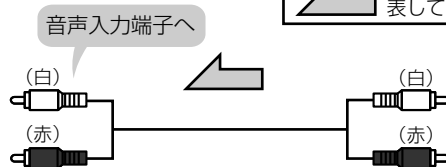
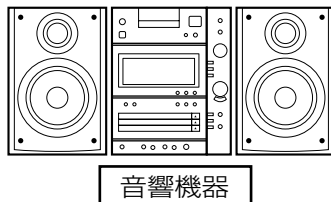
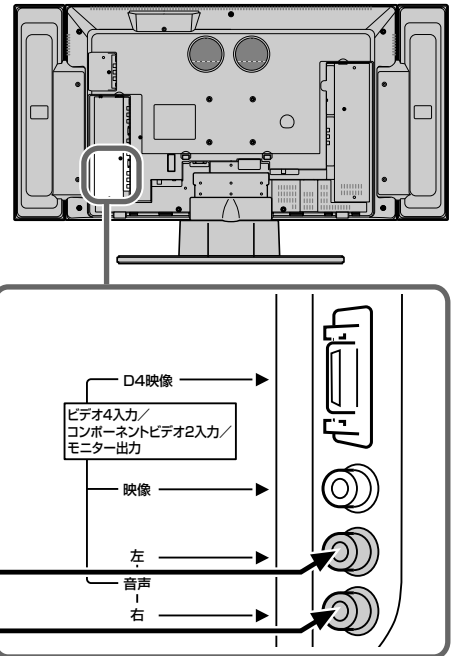
※上表の画素数および周波数の数値は目安としてご覧ください。実際に表示される数値とは異なることがあります。

音響機器をつなぐ

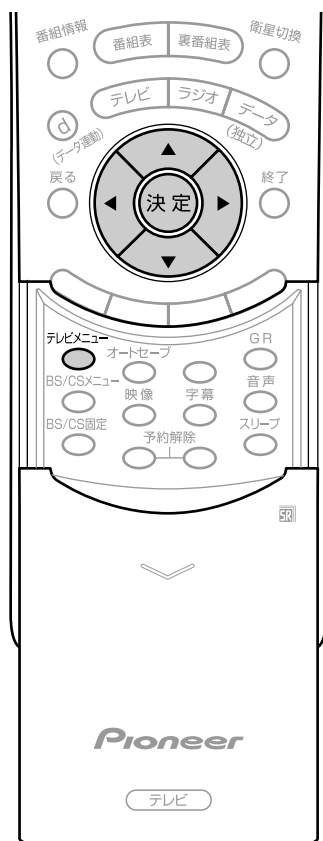
■ビデオ4の切換えをモニター出力に設定すると、お手持ちの音響機器で音声を楽しむことができます。メニュー項目 入力選択

モニター出力設定について

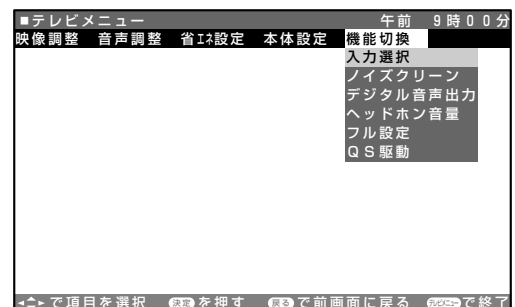
「固定」のとき：
モニター出力の音量レベルは一定で出力されます。スピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。

「可変」のとき：
スピーカーからの音声は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。（調整範囲：−60〜0）

おしらせ
●「ビデオ4切換」を「モニター出力可変」に設定しているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。

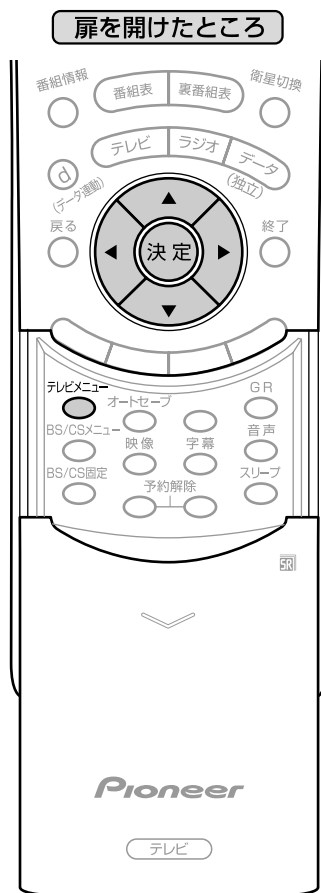
モニター出力の設定

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼で「入力選択」を選び、決定を押す

次ページへ

次ページへつづく

音響機器をつなぐ(つづき)

2

① で「ビデオ4切換」を選び、(決定)を押す

② で「モニター出力 可変」を選び、(決定)を押す

3

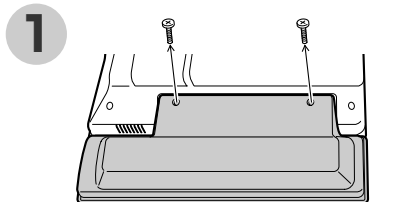
を押し、通常画面に戻す

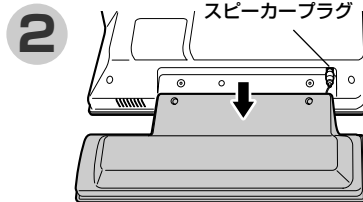
おしらせ
- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

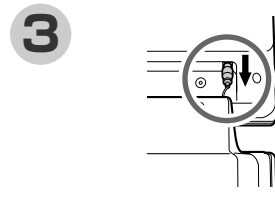
スピーカーの外しかた

■本機のスピーカーは取付け、取外しができるセパレートタイプです。

作業を始める前に
- スピーカーの取外し、取付けの際は本体の電源を切ってください。
- スピーカーの取外し、取付けの際は、ディスプレイに傷が付かないよう、平らな面にクッションなどを敷いて寝かせた状態で作業を行ってください。

1

スピーカーを固定している取付けネジを取り外します。

2

スピーカーを少し持ち上げてから、横にゆっくりとスライドさせます。
(スピーカープラグが接続されていますので、引っぱりすぎないよう、ご注意ください。)

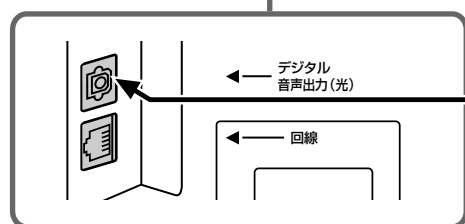
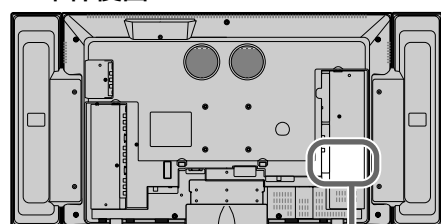
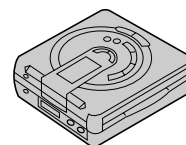
3

本体のスピーカー端子から、スピーカープラグを抜き取ります。
(コードを引っぱらず、スピーカープラグを持って抜いてください。)
これで本体から、スピーカーを取り外せます。

- 本体のスピーカー端子は付属スピーカー専用ですので、他機のプラグなど付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- スピーカープラグは奥まで完全に差し込んでください。
- スピーカー部を持って持ち上げたり、運んだりしないでください。

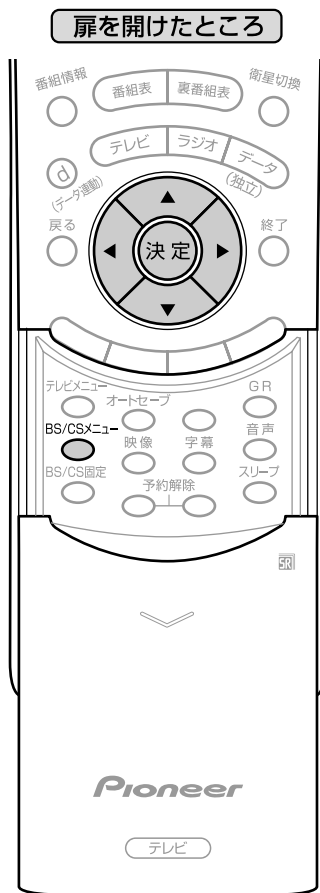
- 左右のスピーカーとも、同じ手順で行ってください。
- スピーカーを取り付けるときは、逆の手順を行ってください。

デジタル音声出力(光)端子から録音する

■デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の音声を高音質で録音することができます。
■また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声でお楽しみいただけます。

接続のしかた

おしらせ
- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- BS・110度CSデジタル放送の、一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。

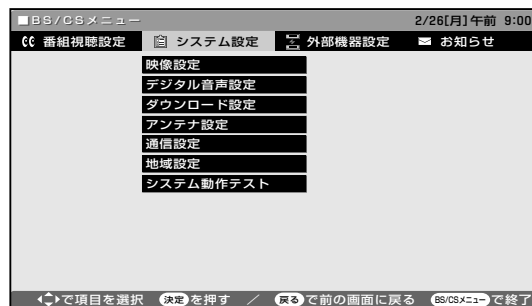
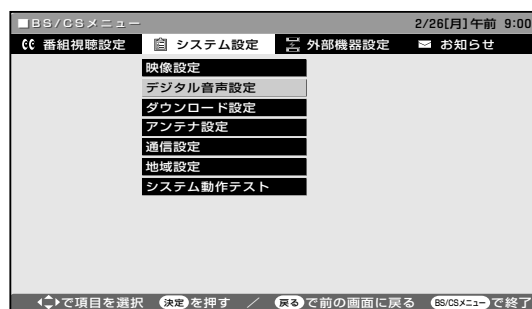
音響機器をつなぐ(つづき)

■本体後面のデジタル音声出力(光)端子を、接続する音響機器に合わせて設定します。

デジタル音声出力(光)端子の設定

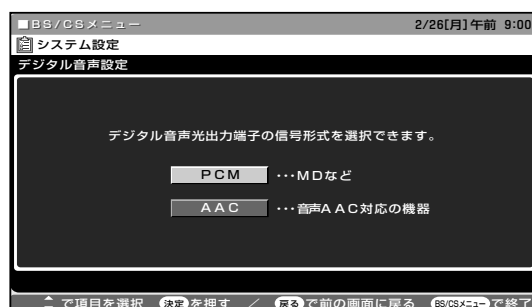
1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

2

▲ ▼ で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

3

接続する機器に合わせて「ＰＣＭ」または「AAC」を ▲ ▼ で選び、決定を押す

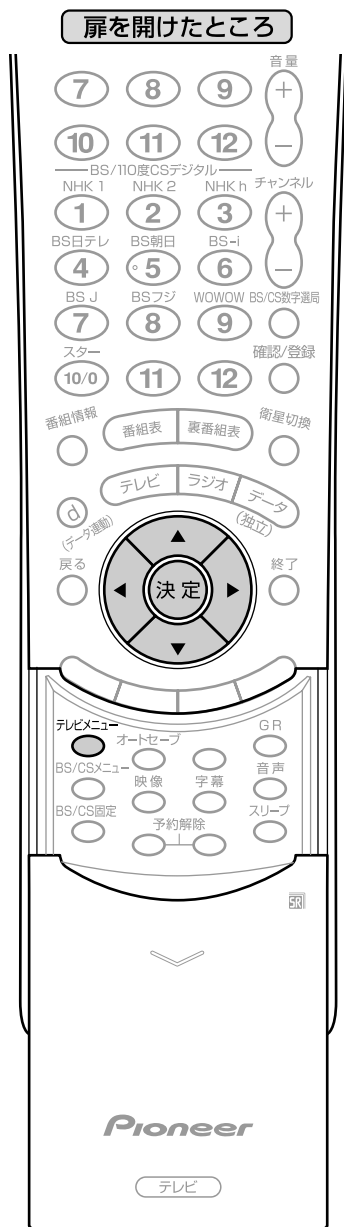
「PCM」……AACに対応していない音響機器(例. MDプレーヤー、MDコンポなど)に接続するとき
「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

おしらせ

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

■本体後面のデジタル音声出力（光）端子からの出力を、BS/CS固定と連動させるか否かを設定することができます。

BS／CS固定連動：
BS/CS固定した場合、BS/CS固定したBS／110度CSデジタル放送チャンネルの音声が出力されます。
BS／CS固定非連動：
BS/CS固定した場合でも、固定後チャンネルを変えたときは、出力される音声も切り換わります。

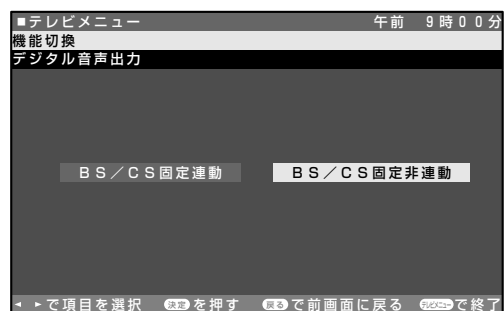
デジタル音声出力の設定

1

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼ で「デジタル音声出力」を選び、決定を押す

2

◀▶ で「BS／CS固定連動」または「BS／CS固定非連動」を選び、決定を押す

3

テレビメニュー を押し、通常画面に戻す

お知らせ

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては**231**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
テレビ側	映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●電源が「切」の状態になっていませんか。 ●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。 ●ビデオ4の切換を「モニター出力」にしていませんか。	24 42 186 189
	リモコンが動作しない	●電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。 ●リモコンの電池が消耗していませんか。 ●蛍光灯など強い光がリモコン受光部に当っていませんか。	21
	映像は出るが音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか。 ●「消音」状態になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ●ビデオ4の切換を「モニター出力可変」にしていませんか。	42 43 182 189
	色がうすい 色あいが悪い	●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	84
	特定のテレビチャンネルだけ映らない	●チャンネルの微調整がズレていませんか。	41
アンテナ側	映像が出ず 雑音のみ出る	●アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。	26
	画像にはん点が出る	●自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	–
	映像が二重になる （ゴースト）	●近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの方向や高さを変えてみてください。 ●GR設定を行ってみてください。	– 104
	色じま模様が出る	●近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	–
	雪が降っているような画面になる	●アンテナ線が正しく接続されていますか。 ●屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ●アンテナの方向が変わったり、こわれたりしていませんか。	26 – –
BS・110度CSデジタル放送関係	映像も音声も出ない	●BS･110度CSアンテナ電源が「切」になっていませんか。 ●映像、音声のない放送ではありませんか。 ●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	162 – 186
	画面に四角のノイズ （モザイク）が出る	●アンテナの向きがズレていませんか。 ●アンテナレベル(受信強度)を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか。 ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 162 – 27

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BS・110度CSデジタル放送関係	有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ●有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ●電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	53 54·55 50·56
	110度CSデジタル放送が受信できない	●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ●ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。	27
	画面にノイズが出る	●UHF/VHFのアンテナケーブルがBS・110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	●契約していない有料放送ではありませんか。 ●アンテナレベル(信号強度)を確認してください。	54·55 162
	電子番組表(EPG)が表示されない 電子番組表(EPG)に表示されない番組がある	●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	–
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ●ビデオ連動録画予約は正しく設定されていますか。 ●データ番組ではありませんか。	198 199 –
	番組の予約をしても受信できない場合があります。	●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	128
その他	リモコンで電源を「切」(スタンバイ状態)にしてもファンが回転している	●BS/CS固定を「入」に設定していませんか。「入」に設定しているときは、ファンが回転しています。 ●電源を「切」にしても、ファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、8〜10秒程度かかります。	197 –
	i.LINK接続されない	●接続先の機器の電源は入っていますか。 ●i.LINKケーブルが外れていませんか。 ●接続先はD-VHSビデオデッキですか。本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	– 202 202

● 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体の電源ボタンを「切」にし電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくした後再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときは故障ではありません

BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやテレビの故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まります。

BS・110度CSデジタル放送の注意文

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
IC カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入し、ロックスイッチをロックしてください。	**53**
この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	–	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**53～55**
このカードは使用できません。 正しいIC カードを装着してください。	–	専用のB-CASカードを挿入してください。	**53**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	–	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
この IC カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	–	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	–
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**26～27** **161～163**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしています。 アンテナとの接続を確認ください。	E209	アンテナ線を確かめてください。	**26**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	–	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	−	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	−	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	−
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	−	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**50・53** **54・55**
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、BS／CSメニューの通信設定を正しく行ってください。	**50・56**
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	−
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	−
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	−
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	−

■i.LINKに関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**203**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

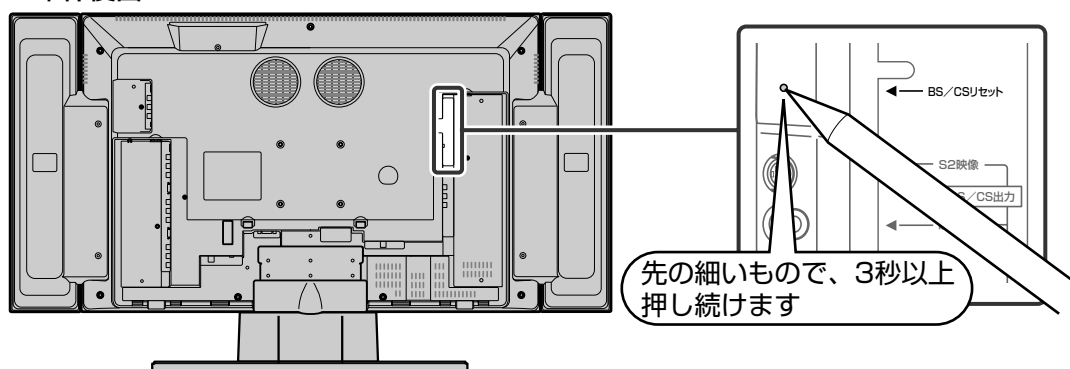
■システムエラー発生時の注意文

注意文	内容・対処のしかた
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	内部のファンが停止するなど、マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

BS／CSリセットボタンについて

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、本体後面右とびら内のBS／CSリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には時間がかかります。
- リセット後は、リセット前のテレビチャンネルに戻ります。

▼本体後面

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

おもな仕様

形名		PDL-30HD
種類		液晶カラーテレビ
受信チャンネル		VHF1～12チャンネル／UHF13～62チャンネル／CATV C13～C38チャンネル／ BSデジタル000～999チャンネル／110度CSデジタル000～999チャンネル
液晶パネル	画面サイズ	30V型(横643mm×縦385mm／対角750mm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	縦768×横1,280
アンテナ入力		VHF/UHF75Ω不平衡型、BS-IF75Ω不平衡型(C15型)
音声出力		20W(10W＋10W)
スピーカー		8cm 丸形 2個
定格電圧		AC100V
定格周波数		50／60Hz
消費電力		144W スタンバイ時：0.5W
年間消費電力		191kWh/年
接続端子		ビデオ入力4系統4端子、S2映像入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、 アナログRGB映像入力端子(ミニD-sub 15pin)1系統、 PC音声入力端子(3.5φステレオ)1系統、モニター出力1系統1端子(ビデオ4兼用)、 アンテナ入力(VHF・UHF)端子、ヘッドホン出力端子、 専用スピーカー接続端子、DC9V出力端子、AC100V入力端子、 デジタル音声出力(光)1系統1端子(AAC5.1ch対応) ＜BS・110度CSデジタル専用端子＞ i.LINK 2端子、BS／CS出力1系統1端子(S2映像付き)、電話回線端子、 ビデオコントロール端子、BS・110度CSアンテナ入力端子
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅1,002mm×高さ600mm×奥行き317mm 幅1,002mm×高さ497mm×奥行き95mm(スタンド含まず) 幅766mm×高さ497mm×奥行き92mm(スピーカー、スタンド含まず)
本体質量		22.5kg 17.7kg(スタンド含まず) 14.7kg(スピーカー、スタンド含まず)
使用温度		0℃～40℃

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 仕様の一部を予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

テレビメニュー項目一覧

■本機の設置調整をするときの手助けとしてご参照ください。

テレビメニュー項目一覧

テレビメニュー（PC）項目一覧

用語解説

● よく使われるテレビ用語です。

■ 16：9
BSデジタルハイビジョン放送の画面横縦比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（→ MPEG2 AAC）

■ B-CAS カード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS・110度CSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS デジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ 110 度 CS デジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「プラットワン」と「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォーム（運営会社）によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。すべて標準画質の放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D 端子
BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）
BS・110度CSデジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK（アイリンク）
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）
MPEG2音声圧縮技術の符号化方式の1つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV（Pay Per View）
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2 映像
セパレート（S）映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「ズーム」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS・110度CSデジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）の3つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の３色に分かれたＡＶケーブルを使うのが一般的です。

■ ハイビジョン放送
BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。現行の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

■ ワイドクリアビジョン放送
地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

用語索引

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書について（別途添付してあります）

ご購入時に、保証書にお買い上げの店の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。
保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したとき、あるいは誤った使用法で使用し故障した場合は、保証期間中であっても有料となりますのでご注意ください。
また、本機を分解しますと、保証が無効になります。
本機の保証期間は、お買い上げ後１年間となっています。（ただし、液晶パネル部のみは２年間です。）

修理を依頼されるときは

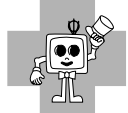
「故障かな？と思ったら」（**220** ページ）を見て、もう一度接続や操作に間違いはないか確認してください。
また、異常のあるときは使用を中止してください。必ず電源コードを抜いてから、販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご連絡ください（付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください）。

連絡していただきたい内容

1. 型名、型番「**液晶カラーテレビ　PDL-30HD**」
2. 故障の内容「映像も音声も出ない」など
3. お買い上げ年月日「○○年○月○日」
4. お名前、住所、連絡先電話番号
5. ご希望訪問日
6. ご自宅までの道順と目標物（建物、公園など）

保証期間中は

修理を依頼するときは、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定によって、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

販売店、アフターサービス連絡先、またはお近くのサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用部品の保有期間は

当社は液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談は、パイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（I・C）をご利用ください。所在地、電話番号は、付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 上下、または左右の映像が欠けて映る。 ● 映像が時々、消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜〜金曜　9：30〜17：00、土曜　9：30〜12：00、13：00〜17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口　：　**0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口　：　**0077-800-8181-33**

ファックス　：　**03-3490-5718**

<ご注意>
フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜〜金曜　9：30〜18：00、土曜　9：30〜12：00、13：00〜17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル）　：　**0120-5-81095**

一般電話　：　**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイアル）：　**0120-5-81096**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜〜金曜　9：30〜18：00、土曜　9：30〜12：00、13：00〜17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル）　：　**0120-5-81028**（ゴーパイオニア）

一般電話　：　**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイアル）：　**0120-5-81029**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜〜金曜　9：30〜18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話　：　**098-879-1910**

ファックス　：　**098-879-1352**

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くの ご相談窓口	
ご購入年月日	年　月　日		

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TSZZX/02J00000>　TINS-A227WJZZ